

横浜市図書館ビジョン（素案）に関する 市民意見募集の実施結果

- 市民意見募集の実施結果について・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 ページ
- 市民意見一覧及び意見に対する考え方・対応・・・・・・・・・・ 3 ページ

令和6年2月
横浜市教育委員会

市民意見募集の実施結果について

横浜市図書館ビジョン（以下「図書館ビジョン」という。）（素案）について、以下のとおり市民意見募集を実施し、多くの貴重なご意見をいただきました。

いただいたご意見を踏まえて、図書館ビジョン（原案）を策定しましたので報告します。

1 市民意見募集の実施概要

(1) 実施期間

令和5年12月14日（木）～令和6年1月21日（日）

(2) 意見提出方法

横浜市電子申請・届出システム、電子メール、郵送、FAX

(3) 素案（概要版）の配布部数

約6,300部

(4) 周知方法

ア 素案（概要版）の配布

市立図書館・図書取次所、区役所、市民情報センター、地区センター、地域ケアプラザ、地域子育て支援拠点、行政サービスコーナー

イ 広報手段

記者発表、広報よこはま（令和6年1月号）、教育委員会ホームページ、X（旧Twitter）、市立図書館メール登録者への一斉メール等

2 市民意見募集の実施結果

(1) 意見提出状況

273通、637件のご意見が寄せられました。

投稿手段・年代	通数	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	不明・団体
電子申請	114通	0	1	17	17	36	24	18	1	0
メール	39通	0	0	3	3	4	6	10	3	10
郵送・手渡し	64通	54	0	0	0	0	1	2	1	6
FAX	56通	0	0	0	2	4	8	31	10	1
計	273通	54	1	20	22	44	39	61	15	17

居住地	通数
市内	253通
市外	7通
未回答	13通
計	273通

(2) 項目別意見数

素案項目※	項目別意見数	割合
ビジョン全体について	88件	13.8%
はじめに、位置づけ	5件	0.8%
第1章 新たな図書館像、基本方針【全体】	49件	7.7%
基本方針1 未来を担う子どもたちのための図書館	60件	9.4%
基本方針2 あらゆる市民のための図書館	34件	5.3%
基本方針3 まちとコミュニティのための図書館	24件	3.8%
基本方針4 利用しやすい図書館サービス	60件	9.4%
基本方針5 柔軟に変化し魅力がいつまでも持続する図書館	34件	5.3%
第2章 新たな図書館像の実現に向けて【全体】	20件	3.1%
1 蔵書・レファレンスの充実	60件	9.4%
2 図書館の施設整備の考え方	72件	11.3%
3 新たな機能・機能拡充に伴う空間づくりの考え方	59件	9.3%
4 図書館外のサービスポイント設置の考え方	30件	4.7%
5 効率的・効果的なサービス提供とツールの充実/ デジタル技術の活用によるサービスの最大化	12件	1.9%
6 多様な主体との協働・共創	12件	1.9%
第3章 本ビジョンの策定の過程、第4章 資料編	6件	0.9%
その他	12件	1.9%
意見数計	637件	

※ ご意見を提出いただいた皆様が、意見提出時に選択・明記した項目にそって集計していません。明記されていなかったものは、各項目に紐づく意見として事務局で振り分けました。複数の項目に関連するご意見は、内容に応じて一つの項目に分けています。

(3) ご意見への対応状況

(詳細は「参考資料>資料1 横浜市図書館ビジョン(素案)への主な市民意見」参照)

対応状況	説明	意見数	割合
修正	ご意見の趣旨を踏まえ、原案に反映したもの	38件	6.0%
包含・賛同	ご意見の趣旨が既に素案に含まれるもの、又は素案に賛同いただいたもの	73件	11.5%
参考	取組等の参考とさせていただいたもの	519件	81.5%
その他	本ビジョンに関連しない意見・要望等	7件	1.1%
	計	637件	

市民意見一覧及び意見に対する考え方・対応

- 頂いたご意見と本市の考え方を記載しています。
- ご意見を提出された皆様が、意見提出時に選択・明記した項目にそって集計しています。明記されていなかったものは、各項目に紐づく意見として事務局で振り分けました。複数の項目に関連するご意見は、内容に応じて一つの項目に分けています。
- ご意見の内容によりご意見を分割して掲載しているほか、横浜市パブリックコメント実施要綱・運用方針に基づく要約等を行っています。
- ご意見の中のページ数は、横浜市図書館ビジョン（素案）冊子版、または概要版のページです。
※ 素案の「第2章-1 蔵書・レファレンスの充実」は、ご意見を受けて、原案では表題を「第2章-1 コレクション・レファレンスの充実」に修正しました。

No.	項目	ご意見	対応分類	本市の考え方
1	ビジョン全体	「本が歩き出したな」と言う印象を持ちました。古典的な図書館のイメージは「読まれるのを待っているカビ臭い古紙の山」。「本の森を歩くノウハウ」を持っているのは限られた特権者。古典的な教養主義の時代には「君も筑波山登山にトライして欲しい。それが出来たら次は奥多摩、丹沢。そして富士山頂へ」と言う啓蒙的読書指導で良かった。もうそういう時代じゃない。図書館に眠っていた本が、目覚めて歩き出した。かつて寺山修司は「書を捨てよ、街に出よう」とアジテーションしたが、今や、本の方が街へと出て行く時代なのだ。でも、未だよちよち歩きた。優しく、周到に、そしてお節介過ぎない「保護者」が必要だ。横浜市立図書館に、それを期待したい。	参考	ご期待いただきありがとうございます。いただいたご意見につきまして、本ビジョンを進めていくうえで、参考にさせていただきます。
2	ビジョン全体	将来に向けて明るく希望の持てる図書館へと生まれ変われることを心から期待したい。	包含・賛同	ご期待いただきありがとうございます。ご意見の趣旨を踏まえ、本ビジョンを推進してまいります。
3	ビジョン全体	単純に市立図書館全体で保有している蔵書数が多いことを「強み」と表記されていますが、人口当たりの図書館数も蔵書数も政令市でワーストワンです。とても「強み」として表記できる実態ではないと思います。しっかり課題に向き合って、他都市と比べてあまりに情けない状況を一日でも早く解消するために力を尽くしてください。そのためのエネルギーとなるビジョンとなるよう期待しています。新たな図書館像としては、特に小中学生、子育て世代を対象に、「滞在」できる、複合型の図書館を各区に複数整備をしていくをお願いします。	参考	蔵書についてのご提案は、ご意見の趣旨を踏まえ、素案の「第2章-1 蔵書・レファレンスの充実」の取組について本ビジョンを推進してまいります。図書館数の増加についてのご意見については、「第2章-2 図書館の施設整備の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
4	ビジョン全体	横浜市立図書館の利よう状況 図書館に行くと返却時にまた借りてしまい、毎週のように図書館に通うような身近な施設であってほしい。インターネットでなんでも調べられてしまう時代ですが、マイクロからマクロまでの、例えば生き物の生態などのひろがりを見せるような物はまだ得意ではなく、ピンポイントで点のような回答だけで自己完結してしまう懸念があります。親と一緒に学ぶ時間や、没頭して本を読み漁るような時間はとてもわずかかもしれませんが、生涯の宝物の時間です。利よう促進への尽力をよろしくお願いします。	参考	ご意見につきましては、本ビジョンを進める上で、今後の参考にさせていただきます。
5	ビジョン全体	ビジョンの内容を見たが、いろいろ細かく理想を説明されてもあまり意味がない。横浜市の図書館の問題は館数が少ないこと、蔵書数が少ないこと、設備が十分でないことに尽きる。他の近隣自治体の図書館と比較すれば一目瞭然である。自分が利用したことがある例では大和市、町田市、立川市は駅近くに規模の大きい図書館があり、蔵書数、雑誌の種類も多く、CD、DVDも扱っている。読書スペースも多く、カフェもある等設備も充実している。また市内に中規模の図書館も複数ある。横浜市の図書館は各区に一館しかなく、蔵書も少なく、利用したいという気が起らない。ともかく、ビジョン策定するよりもまず他の自治体を参考にし、予算を取って図書館等を充実させてほしい。人口比率で考えれば各区のメイン駅近くに大規模館を、他にも各区に中規模以下を2、3館設置すべきと思う。	参考	蔵書についてのご提案は、ご意見の趣旨を踏まえ、素案の「第2章-1 蔵書・レファレンスの充実」の取組について本ビジョンを推進してまいります。図書館数の増加についてのご意見については、「第2章-2 図書館の施設整備の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
6	ビジョン全体	図書館のビジョンについては、素晴らしい内容で、新しいシステムも導入されるので、期待しています。貸出についても、学校とも行っており、児童・生徒をバックアップしていることも盛り込んで貰えると嬉しいです。学校司書の研修に地域の図書館での回も有るのに、この素案には、学校図書館は全く出てこないのかと寂しい思いをしました。学校図書館は図書館との連携を密に取って成り立っているので、そこもアピールして欲しいです。	修正	学校図書館との連携については、「第1章-基本方針1 未来を担う子どもたちのための図書館」のなかで、学校など地域とのつながりのなかで子どもや子育てをサポートするとしています。学校の中には、学校図書館も含まれますが、いただいたご意見を踏まえ基本方針1の取組の方向性に「学校図書館とともに子どもたちの学びを支えます」を追記するなど、原案を修正しました。いただいたご意見は今後の取組の参考とさせていただきます。

No.	項目	ご意見	対応分類	本市の考え方
7	ビジョン全体	本を読む場所だけでなく、物理的なスペースも必要とされます。その確保はできるのでしょうか。個人情報のセキュリティはしっかりと守れる様にお願い致します。	参考	ご意見につきましては、本ビジョンを進める上で、今後の参考にさせていただきます。
8	ビジョン全体	今回の取り組みに非常に期待しています。図書館は大好きで大切な場所ですので、横浜市がこのように市民の意見を聞いてくれることをうれしく思います。	包含・賛同	ご期待いただきありがとうございます。ご意見の趣旨を踏まえ、本ビジョンを推進してまいります。
9	ビジョン全体	全体を通して記載がないのだが、はまかぜ号について。はまかぜ号は文化的側面と、27頁の図示に観念としては近いのとは思うが、本を通じての賑わいと交流の中心になると思う。一方で本を手取る機能としては、本屋でも地区センターでも、その機能は満たすことはできるのではないだろうか。端的に言えば、今後、はまかぜ号必要なのだろうか。という検討も必要かもしれない。言い出せば、ハコモノといわれる本棚だけの意味になっている図書館については、6頁の図示が全てなのかもしれないが、18区全てに図書館を置く必要なのだろうか。これはあくまでも例えで、どの駅という意味ではない。「鶴見」「横浜」「上大岡」「戸塚」「センター北」「長津田」「二俣川」「杉田」「ゆめが丘」等の電車が交差する様な駅近くに大きくまとめて集約するのも、一つの案になるだろう。また、18区に全てに近い例にはなるが、次のような案もあるだろう。建物を縦方向に伸ばすのはあまり図書館として使い勝手が良いとは個人的には思わないが、高度地区の範囲で建物の高さを検討できるのであれば、さいたま市の大宮図書館のように、図書館と区役所の空間を一体的に整備する等も考えられるのではないだろうか。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-4 図書館外のサービスポイント設置の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
10	ビジョン全体	子どもと絵本を借りに図書館に通うことがとても楽しみです。読みたい本を全ては購入できませんが、借りることでたくさん本に出会うことができます。ですが、読んでみたい本を検索してみても何十人と予約が入っていたり、図書館に並んでいる本は古すぎたり、子供にとっても自分にとっても魅力的でなかったりする本ばかりという印象です。魅力的な本はそれだけ借りられていますし出会えません。新しく出版されてる絵本を見ることもありません。それでは購入するしかないかとなってしまいます。他の県の図書館で絵本を借りられる方のラインナップはとても魅力的な絵本や人気の絵本が並んでいて、横浜市との差をものすごく感じます。まずは基本的な蔵書数を増やして欲しい。新しく出版されてる絵本もどんどん増やして欲しい。福音館書店の月刊本なども随時増やし借りられるようにして欲しいです。よろしくお願致します。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-1 蔵書・レファレンスの充実」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
11	ビジョン全体	全般としては・地区センターをサテライト図書館化して、今あるハードを有効活用しながら徒歩圏に本のある場所（ある程度精度の高い資料）を数多く作っていく・司書以外の「人専門」コーディネーターの設置、潜在的な利用者（困窮者等）への対応を厚くする・図書館に相談の場を設置してほしい。適宜、他機関へ繋いで行く。・図書館の資料費の担保と資料だけではない情報流通の要としての司書の待遇確保をお願いしたいです。また、今回なぜ有識者会議に「子育て支援」関係者を呼び、他の領域、例えば困窮者支援の関係者を呼ばなかったのかというのは疑問が残ります。子育て世代が来やすい図書館になれば、自ずと他の人も利用しやすくなると思いますが、それによって今いる困窮者の居場所（困窮者は子育て世帯より滞在できる場所が少ないのではと思います）が減らないことを願います。困窮者が他の利用者にとって怖いなどあるのであれば、そこから当事者が変容できるサポートを図書館側が持つくらいの気概を持って欲しいです。	参考	ご意見につきましては、本ビジョンを進める上で、今後の参考にさせていただきます。
12	ビジョン全体	【全般意見】・活字文化はまだまだ続く。Q：書籍は売れなくなった〔街の本屋さんが激減〕＝本を読まなくなった。A：いや、それは違います。朝読書やNIEタイムなどのカリキュラムを通じて今、過去最高に本（活字）を読んでいる。・官民連携によるまちづくり『駅前文化村』創出（基本方針5・3p+実現に向けて2・2p）Q：立地の良い駅前は地代や賃貸料金が大きく、好物件（土地）は残されていないのでは。A：市単体で考える必要はない。民間企業との連携により物件を取得する。1階、2階が商業施設でも、上層階がテナントオフィスや住居（マンション）でも構わない。・『駅前文化村』創出Q：『駅前文化村』とはどのようなものなのか。A：ついでに気軽に立ち寄れる立地にあり、子供から高齢者まであらゆる世代が「心の豊かさ」を実感できる村。視聴覚室（シアタールーム）・絵本図書館（分室を含め）・ノマドワークスペース・小さな本棚を併設することで人が集まり誰もがわくわくする【文化】を発信する拠点となる。	参考	ご意見につきましては、本ビジョンを進める上で、今後の参考にさせていただきます。

No.	項目	ご意見	対応分類	本市の考え方
13	ビジョン全体	素晴らしいビジョンが出来ました。これを毎年予算をつけて、実行していきましょう。 これからも市民が参加出来る機会があればとおもいますので、よろしく願います。	包含・賛同	ご賛同いただきありがとうございます。ご意見の趣旨を踏まえ、本ビジョンを推進してまいります。
14	ビジョン全体	横浜市図書館ビジョン（素案）概要版を見させていただきました。 総合的にまとめられていると思います。「外国人」や「外国につながる人」の位置づけが不明確と感じました。概要版のどこにも出て来ません（見落としかもしれませんが）。文章としては、「市民」「多様な主体」とかで読むのでしょうか。	参考	外国人や外国につながる方々については、素案の冊子版では「第1章－基本方針2 あらゆる市民のための図書館」の取組のアイデアとして記載しています。いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます
15	ビジョン全体	「ランガナータンの精神だけでは、現代の公立図書館は乗り切れない」と思われます 1 近未来の公立図書館の本質的目的とは 例として 選書：価値論か要求論か（含む、除籍論） 米国のALAを参考にすべきだと思われます 2 公立図書館の本質的な社会的意義とは 「国境なき図書館」（仏）と「図書館が成り立つための8つ社会的条件」（By Gate Jean Key “Introduction to Librarianship,1990）のどちらを横浜市は評価しますか、あるいは両方ですが？ 3 「豊橋市中央図書館」と「まちなか図書館（豊橋駅前）」のどちらを横浜市は評価しますか？（「まちなか図書館」構築に関与した私の経験からの質問です） 4 ユニークな公立図書館を目指して欲しい 5 おもしろい図書館を目指して欲しい 6 美しい図書館を目指して欲しい 7 読者が何かを発見する図書館を目指して欲しい 8 具体的に正確な図書館を目指して欲しい	参考	ご意見につきましては、本ビジョンを進める上で、今後の参考にさせていただきます。
16	ビジョン全体	図書館を利用して感じていることも含め書きました。図書館の機能を単に本を借りる場所とだけ考えていたので、ビジョン案が実現できたら、素晴らしいなと思いました。	包含・賛同	ご賛同いただきありがとうございます。ご意見の趣旨を踏まえ、本ビジョンを推進してまいります。
17	ビジョン全体	1. 「はじめに」の部分について 冒頭に、インドの図書館学者・数学者ランガナータンの「図書館サービスの五法則」なるものが引用されていますが、抽象的な表現で、分かりにくいです。特に、第四法則、第五法則が分かりません。枕詞的な位置づけであり、拘る必要は無いのかも知れませんが、横浜市図書館ビジョンの冒頭に引用するのなら、これからの図書館像にも通じる普遍的かつ具体的な（イメージが湧く）ものを選択すべきかと思います。市民にとっての分かりやすさという観点でも少しく難があるように思います。大変僭越ですが、1936年にアメリカ図書館協会が採択した「図書館の権利宣言」の様なものの方が、図書館とはどうあるべきか、という考え方がストレートに表現されており、市民を含めて議論が活性化するのはないか、と思います。決して「これを採用しろ」などと言うつもりはありません。ただ、横浜市が、図書館に対してどのような見識を持っているか、が問われる部分だと思いますので、敢えて意見を述べさせていただきます。 参考：図書館の権利宣言(jla.or.jp)	参考	ご意見につきましては、本ビジョンを進める上で、今後の参考にさせていただきます。
18	ビジョン全体	(1)市民の願いに沿った図書館づくりを 横浜市の中期的な方向性・姿勢をまとめた中期計画2022～2025の市立図書館に関わる政策では「老朽化が進む市立図書館の修繕や建替えとともに、まちの魅力づくりに資する新たな図書館づくりが必要」と明記しています。そして、新たな図書館像の構築と市民の豊かな学びの環境の充実の施策として「（市立図書館の）再整備の在り方を調査・検討し、ビジョンを策定」するとしています。 今回、図書館ビジョンについてのアウトラインが示され、市民参加のワークショップが開催されました。有識者の意見を聴取するときにしています。 あらたな図書館への市民の願い・要望は、市が行ったアンケートで明らかです。「静かに調べものや読書ができる環境」、子育て世代の願いである「子ども連れでも安心して訪れられる、遊ぶ場所がある」、「蔵書を増やして欲しい」との要望も出されています。バリアフリー化も大切です。図書館は市民のためのものですから、これらの願いに応える図書館づくりが求められています。	参考	いただいたご意見につきましては、本ビジョンを進めていくうえでの参考にさせていただきます。

No.	項目	ご意見	対応分類	本市の考え方
19	ビジョン全体	<p>全体について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・静かな所と会話のできる所を分けるという考えに賛成 <p>行ってみたい、使ってみたくなる図書館になるためのアイデア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CDのプレイヤーセット ・別室の用意（個人のスペース） ・カウンターを円形 ・机とイスのみの別室を作る（色々な人が使えるスペース）←この近くに辞書を置く ・本売り場と図書館の合併・協力（似ている本、同じ恩を置く） <p>市立図書館についての意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どこにあるのか知らない人が多いと思う 	包含・賛同	<p>静かな所と会話のできる所を分けることについて、ご賛同いただきありがとうございます。ご意見を踏まえ本ビジョンを推進してまいります。行きたくなる図書館、市立図書館についてのご意見は、本ビジョンを進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
20	ビジョン全体	<p>電子書籍は目が疲れるし、頭にもあまりよくないと思うのであまり賛成はできません。本の量が多いので電子書籍を増やすという動きがあったりするのならば、私は反対です。</p> <p>行ってみたい、使ってみたくなる図書館になるためのアイデア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・くつろいで本をよめるスペースがあること。 ・静かな集中できる環境もあること。 ・本の量があって簡単に探せること。 	参考	<p>電子書籍についてのご意見は、「第2章－1 蔵書・レファレンスの充実」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。行きたくなる図書館についてのご意見は、本ビジョンを進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
21	ビジョン全体	<p>全体について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・30Pの市民アンケートについて、アンケートに答えてくれた年代を見ると40代以上が多かった。そのうえ、若い人たちは、感心が低いと思う。だから、若い人に感心を持ってもらえるような取り組みをしたほうがいいと思います。 <p>行ってみたい、使ってみたくなる図書館になるためのアイデア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・くつろげる椅子（ヨギボーやマッサージチェアなど。。。） ・一人一人のくつろげつきり部屋（順番を守ってできるような60ふんの制限をつける） ・最新の漫画などがそろっている空間 	修正	<p>全体についてのご意見は、素案の「第1章－基本方針4 利用しやすい図書館サービス」の取組について本ビジョンを推進してまいります。ご意見のうち、くつろげる椅子については、「第1章－基本方針3 まちとコミュニティのための図書館」の取組・機能のアイデアに「自由な姿勢で本が読めるビーズソファなどの設置」を追記するなど原案を修正しました。行きたくなる図書館についてのご意見は、本ビジョンを進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
22	ビジョン全体	<p>全体について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・32Pを読んで、グラフがあつてとても見やすいし分かりやすかったです。 ・P9を読んで、どうしたら皆がまた来てくれるかを考えていて、図書館に対する思いを感じた。 <p>行ってみたい、使ってみたくなる図書館になるためのアイデア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マンガをいっぱいふやしてほしい。そのほうが図書館に行きたくなるから。 ・自分たちが欲しい本をアンケートにかくことが出来るようにしてほしい。自分たちが欲しい本があるかもしれないから。 	包含・賛同	<p>素案の「第1章－基本方針1 未来を担う子どもたちのための図書館」についてご賛同いただきありがとうございます。ご意見の趣旨を踏まえ、本ビジョンを推進してまいります。行きたくなる図書館についてのご意見は、本ビジョンを進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
23	ビジョン全体	<p>全体について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館にどんどん新しいものを取り入れていく方しんが書いてあっていいと思った。どんな人にも使いやすくするって書いてあっていいと思った。 <p>行ってみたい、使ってみたくなる図書館になるためのアイデア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろんな人としゃべりながら本を読むスペース ・マンガを置く ・マンガと本を同じスペースに置いてマンガ目あてに来た人にも本を手にとってもらおう ・毎月かならず新しい本がある。 ・日あたりのいいスペースにする。 	参考	<p>ご意見の趣旨を踏まえ、本ビジョンを推進してまいります。行きたくなる図書館についてのご意見は、本ビジョンを進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
24	ビジョン全体	<p>また学校図書館についても、公立図書館がしっかり支える仕組みの構築をお願いします。少なくとも学校図書館と公立図書館をつなぐ定期的なルート（輸送網）が必要です。ぜひ古い本は、廃棄基準にそって廃棄し、新しい本を子どもたちの手元に届けてあげてください。各学校図書館の経験を積みあげ支援する支援センターを教育委員会内に設置することをお願いします。</p>	参考	<p>学校図書館との連携については、「第1章－基本方針1 未来を担う子どもたちのための図書館」について本ビジョンを推進してまいります。学校図書館の支援へのご意見は、今後の参考にさせていただきます。学校支援センターについては、教育委員会内にその機能を担う部署がありますが、ご意見については今後の参考にさせていただきます。</p>

No.	項目	ご意見	対応分類	本市の考え方
25	ビジョン全体	私の周囲では、図書館に興味はあるものの使い方がいまいち分からずに敬遠している人が少なくありません。様々な施策を進めていただくのと同時に、広報活動にもぜひ積極的に取り組んでほしいです。	包含・賛同	広報活動へのご意見の趣旨を踏まえ、素案の「第1章－基本方針4 利用しやすい図書館サービス」の取組の方向性「積極的に情報発信を行います」について本ビジョンを推進してまいります。
26	ビジョン全体	港北区には、大倉山エリアに図書館があり、新横浜駅からのアクセスが難しい。また、子育て支援の施設も少なく、あるとしても小さいものしかいないため、新横浜エリアに作っていただくことを希望いたします。現時点でも新築のマンション、賃貸が5棟近く建設しているのに加えて、開発計画で高層マンション、中層マンションの建築予定があり、今後子育て世帯の大幅な増加が考えられます。子育て基盤のインフラを整える意味でも新横浜に新しい形の図書館の設置をお願いしたいです	参考	ご提案の趣旨は、「第2章－2 図書館の施設整備の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
27	ビジョン全体	基本方針全体から、図書館が市民生活に密着し、溶け込んだ存在になることを目指していることがわかります。図書館が市民に常に寄り添い、当たり前のように活用される存在になることは素晴らしいと思います。せっかくの素晴らしい基本方針ですから、理想を述べるだけで終わらないようにしっかりと取り組んでほしいです。そのためには予算も人員も充実させていただきたいと思っております。	包含・賛同	ご賛同いただきありがとうございます。ご意見の趣旨を踏まえ、本ビジョンを推進してまいります。
28	ビジョン全体	私自身は調査・研究のために図書館をよく利用するので、静かに閲覧できる場所（例えば県立図書館には静寂読書室という筆記用具等の使用もできない閲覧室があります）の確保をお願いしたいです。	参考	いただいたご意見につきましては、本ビジョンを進めていくうえでの参考にさせていただきます。
29	ビジョン全体	長津田駅に図書館が欲しい	参考	ご意見につきましては、「第2章－2 図書館の施設整備の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
30	ビジョン全体	「図書館」という基本が抜け落ちてしまっている印象を受けました。図書館にここまでの機能は誰も求めていないと思います。「交流」「コミュニティ」「居心地のいい場所」など耳触りの良い言葉が並んでいますが、図書館は本を借りたり読んだりする場所で、「3 新たな機能・機能拡充」は不要だと思っております。	参考	いただいたご意見につきましては、本ビジョンを進めていくうえでの参考にさせていただきます。
31	ビジョン全体	(概要版) 3pの、4.図書館外のサービスポイント設置の考え方は大変にありがた。一方で近年、高値がつく古書を図書館から盗んで売る輩もいるようだ。数年前に借りられた本が無くなっているケースが何度かあった。児童書はともかく一般書の利用については、返却期日の厳格化やペナルティ、あるいは閉架書庫の割合を高めることも考えてよいと思う。この機会に、本の損傷や紛失(盗難)、未返却といったマイナス面の実数について広く公開してほしい。モラルハザードに目を瞑っていると、未来につながる市民の財産が損なわれるばかりだ。	参考	ご意見の趣旨を踏まえ、素案の「第2章－4 図書館外のサービスポイント設置の考え方」を推進してまいります。蔵書の管理に関するご意見については、今後の参考とさせていただきます。
32	ビジョン全体	CDやDVDの貸し出しをして欲しいです。音楽や映像作品も、文化を知る・楽しむ、教養をはぐくむという点では大いに役立つと思います。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章－1 蔵書・レファレンスの充実」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
33	ビジョン全体	市民同様に図書館で働く職員の意見やアンケートも取り、集計結果を公表して欲しい。	参考	ご提案の趣旨は、「第1章－5 柔軟に変化し魅力がいつまでも持続する図書館」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
34	ビジョン全体	いつも図書館を利用させていただき、ありがとうございます。感謝とともに、ビジョン策定の、未来を志向したご努力に、敬意を表します。私事ながら、読書は、私の人生最大の楽しみであり、後期高齢を迎えるにあたり、命尽きる日まで読書できることを願っています。心身に障害を持つ高齢者への対応としてお願いしたいことがあります。マイナカード非取得者でも利用できるようにしてください。(セルフ化、ロボット化、ICタグ化などにあたり、従来カードでも対応できるシステム作り、窓口の設置など)	参考	ご提案の趣旨は、「第1章－基本方針4 利用しやすい図書館サービス」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
35	ビジョン全体	横浜市図書館ビジョン(素案)を読むことが出来ていないのですが、図書館が大好きで意見を伝えたく、書かせていただきます。私は近くでは大和市の図書館がだいすきです。大和市在勤中はよく出向きました。調べ物をする、自分の仕事をする、のんびりする、子供と遊ぶ。すべてのことが居心地良くできました。大和の図書館プラス横浜なので大きな窓一面から絵画のように海が見えたらまた素敵だなと思います。受験勉強の合間に、仕事の合間にふと海に癒やされる。考えただけでも素敵すぎます。そんな図書館が出来たら定年後は近くに引っ越して毎日通いたいです。的を得ていない勝手な意見ですが、送らせて下さい。	参考	いただいたご意見につきましては、本ビジョンを進めていくうえでの参考にさせていただきます。

No.	項目	ご意見	対応分類	本市の考え方
36	ビジョン全体	公共図書館と学校図書館の蔵書管理システムで連結し、公共図書館からの貸出が普通になることを強く求めます。	参考	学校図書館との連携については、「第1章-基本方針1 未来を担う子どもたちのための図書館」について本ビジョンを推進するとともに、具体的な取組へのご意見は、今後の参考にさせていただきます。
37	ビジョン全体	図書館が自由に使えることは民主主義の基本だと思います。だれでも図書館にアクセスできる必要があります。横浜市は広域なためいろいろと大変な面もあると思いますが、政令指定都市のわりに図書館が貧弱だと思います。中央図書館をもっと整備してほしいです。p.14まちとコミュニティのための図書館について 図書館がまちの中央にコミュニケーション広場として存在することが理想です。はじめて大和市のシリウスに向いた際、様々なイベントスペースもあり、明るくきれいでわくわくしたのを覚えています。このような施設が身近に欲しいと強く思いました。ぜひ横浜でも実現してほしいです。	参考	ご意見の趣旨は、「第2章-2 図書館の施設整備の考え方」「第1章-基本方針3 まちとコミュニティのための図書館」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
38	ビジョン全体	全国的にも有名で人口の多い横浜市には、もっと素晴らしい図書館があって欲しいです。個人的には利用したくても開館中に行けないことが多いので利便性を高める（駅中、夜間開館）だけでも、図書館の価値はかなり上がるものと思います。	参考	ご意見の趣旨を踏まえ、本ビジョンを推進してまいります。
39	ビジョン全体	今後とも図書館事業の取り組みは、住民参加型を基本にしてください。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-6 多様な主体との協働・共創」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
40	ビジョン全体	たぶん、横浜の図書館のビジョン作りは、初めての提案だと思います。その意味では、画期的で意義は大きいと思います。しかし、現状の図書館はあまりにも問題が山積してと思います。すぐにも着手してほしいこと。 ・地区センターなどの図書施設の貸し出しのオンライン化。 ・地区センター図書コーナーの図書館分館化。 ・現状の問題を速やかに解決する素早さ。例えば都筑図書館床面積の増設の工夫。 ・移動図書館の増設（本市に2台とは少なすぎ！） ・学校図書館司書の研修の充実（一人体制を支援する仕組み） 。図書館ごとのイベント（講演会、ワークショップなど）予算を増やす。など・・・。	参考	ご意見につきましては、図書館ビジョンを進める上で、今後の参考にさせていただきます。
41	ビジョン全体	いつも傍らに本がある生活をしています。新刊本を買うのは経済的に大変なので、原則借りています。丁度バス10分の所の図書館があります。が、最も近いのは、地域霧が丘のコミュニティーハウスの図書コーナーです。まずは近いところを利用、ただ数が少ないので次に図書館で探します。図書館に行くと、多数の様々な本があり、「私を読んでみて！」と呼びかけられている気がします。時々両施設の本が、家に混在していて、先日コミュニティーハウスの本を間違っ図書館に返してしまいました。電話があり、取りに行っコミュニティーハウスに返しました。市内全ての施設の本の貸し借りが、一括で出来たらと思います。近いところで自由に、たくさん本の貸し借りが出来る事を希望します。	参考	ご提案の趣旨は「第2章-2 図書館の施設整備の考え方」「第2章-4 図書館外のサービスポイント設置の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
42	ビジョン全体	既存の機関や施設（学校図書館、ケアプラザ等々）との共催イベントを増やしたり、読みたくなる、行ってみたいくなる図書館のホームページ作成（福井のように）等ビジョン実現に向けて今でもできることがあるのではないのでしょうか。	参考	新たな図書館像の実現に向けて、できることから進めてまいります。いただいたご意見につきましては、本ビジョンを進めていくうえでの参考にさせていただきます。
43	ビジョン全体	標記の件、以下のように要望いたします。 1. 待ち時間の短縮 本によっては半年待ちということも稀ではありません。 中には用意されている本の冊数が少ない物もあります。 貸し出し待ち件数が一定の数を上回った場合は本の冊数を買い増すなどして対応することを要望します。 2. 電子書籍の充実 3. 図書館にない本の購入希望をNETなどで申請できるようにして欲しい いちいち図書館まで出向いて窓口で申請するのは面倒	参考	ご提案の趣旨は、「第1章-基本方針4 利用しやすい図書館サービス」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
44	ビジョン全体	大和のシリウスを参考にしてください。とても頼りになるすばらしい施設です。	参考	いただいたご意見につきましては、本ビジョンを進めていくうえでの参考にさせていただきます。

No.	項目	ご意見	対応分類	本市の考え方
45	ビジョン全体	<ul style="list-style-type: none"> ・保土ヶ谷図書館の机数を増やしてほしい ・保土ヶ谷図書館の新書の希望する本をもっと早くそろえてほしい。 ・図書館をもっと増やしてほしい ・図書館にカフェを併設してほしい ・ブックカフェも時代にそって必要になっていると思う 	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-2 図書館の施設整備の考え方」「第2章-3 新たな機能・機能拡充に伴う空間づくりの考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
46	ビジョン全体	<p>①野毛山動物園入口の「中央図書館」に1年半ほど前に行き嬉しくありがたかったこと。 それはなじみの小さな本屋さんが休日→その少し坂の下の大きな古書店でも（特殊な本すぎ、古すぎ）断られ、さらに勧められて訪ねた1回でした。何も文句いわず、受け取って下さって、しかも笑顔の女性でした。おかげで重たいズリリの袋を、バスにも乗らず、ウォーキングで山田町まで戻れました。</p> <p>②遠すぎと喫茶室？その後足が向かなかった？夏日の続く中！何度も「図書館でお茶飲みながら休めたら、と思いつつ。」</p>	参考	引き続き、使いやすく利用しやすい図書館となるよう努めてまいります。いただいたご意見につきましては、本ビジョンを進めていくうえでの参考にさせていただきます。
47	ビジョン全体	図書秘書を入れてほしい。Wi-Fiを入れてほしい。マンガ入れてほしい。本好きな人との交流イベントしてほしい。図書館の数を増やして欲しい。	参考	いただいたご意見につきましては、本ビジョンを進めていくうえでの参考にさせていただきます。
48	ビジョン全体	港北図書館について 老朽化している。あまりにも本が少ない。新しい本がない。注文してもなかなか来ない。 二年ほど前から、月に一度通院する病院がある武蔵小杉の中原図書館を利用している。図書館の数を増やすための予算を大きくとる。大都市横浜にふさわしい図書館をのぞむ。	参考	ご意見につきましては、本ビジョンを進める上で、今後の参考にさせていただきます。
49	ビジョン全体	12月から1月半ばまでの日程でシステムを変えるために休館となっていてその説明が広報に少しのっていましたが、あまりよくわかりませんでした。私が描く図書館は、①カウンターに司書が複数いて、（アルバイトではなく資格をもった）どんな質問にも応じてくれ一緒に本を探したり選んだりしてくれる ②子どもたちも大人も通じたい本配架、すっと書架から手にとれる ③パソコンで調べられるコーナーがある ④DVD資料があって見ることができる ⑤貸し出しが勝手に借りて返す（つまり全て機械化）方式ではないこと、などです。	参考	いただいたご意見につきましては、本ビジョンを進めていくうえでの参考にさせていただきます。
50	ビジョン全体	まことに壮大な計画（素案）であるが、全体的に見てやはり何を目的としているかが漠然としすぎてよく分からない。見た目の美しさよりも市民の教育レベルの底上げ、子どもたちの学習サポートという教育施設としての図書館に絞った方が、具体的に動くにしてもやりやすい気がする。近年不登校や障害、学習困難、貧困により学校での教育が満足に受けられない子どもたちが増えている。また成人であってもそれまでの成育過程で必要な教育が受けられなかった市民は見えづらいが確実に存在する。横浜市のととは、市民個々の力を合わせることであり、その力を発揮する手助けをするのが市政ではないのか。だとすればそういう戦略的な意図を持って図書館政策を考えていただきたい。	参考	いただいたご意見につきましては、本ビジョンを進めていくうえでの参考にさせていただきます。
51	ビジョン全体	あったらいいな、できたらいいなと思う図書館像がたくさんあって、いいなと思ったが、本当にできるのか？これだけの事をする予算が本当につくのか？現実味がなく、夢で終わりそうな気がする。蔵書でさえ、横浜市全体で、一冊しかないものが、たくさんある。読みたくて、予約しても一年近く借りられない本がたくさんある。その蔵書ではなく、子育て支援施設、体験施設など、居場所に対するものが多いように思えた。中央図書館以外は、勉強する場所、閲覧スペースさえまならない。ゆったり座って、本が読める場所はない。今の図書館の大きさでは、当然賄えないと思う。建て替えて、大きくしなければ、全てを満たすことはできない気がするが、その事にはあまり触れられていない。都内は、一区に3、4館あるが、なぜ、横浜市は一区一館が前提なのかも疑問。子育て環境は、だいぶ変化している。20年前に比べて共働き家庭が増え、二、三歳の子を連れてくる人も減っているこの先10年15年先はもっと、変わっていると思う。みんなが集える場所である事は今もそう。でも、本当にスペースがない。狭い。毎年の予算で、少しずつ、どう変えて行けるのか、具体的な方法は一つもない。まずは一館。全てを満たした図書館を作って欲しい。公共施設で費用対効果って？企業に任せる事も、考えてもいいかもしれない。	参考	いただいたご意見につきましては、本ビジョンを進めていくうえでの参考にさせていただきます。

No.	項目	ご意見	対応分類	本市の考え方
52	ビジョン全体	市民の問題意識は図書館数、蔵書数が少ないことにあります。磯子区と人口数が近い鎌倉市では、図書館が5館、蔵書数は磯子区の4倍以上です。生産人口が減少し税収増が期待できない状況にあることは理解しますが、素案に書かれた通り市民にとって図書館の役割は重要です。優先順位を上げて取り組むべきです。市民にとって生活の身近なところで（徒歩圏内）で利用できることが大切です。小中学校の図書室、地区センターやコミュニティハウスの図書コーナーなどをネットワークでつないだ貸出・返却など、新たな箱物を建てなくてもできます。商店街の空きスペースの利用なども可能だと思います。地域では町の書店の閉店が続いています。新刊書やベストセラーを図書館が複数冊購入する必要はないと思います。一般では入手が困難であったり、専門的なものなど図書館ならではの蔵書が求められます。具体的な計画を進める前にぜひ市民の意見を聞く場を設けるべきと考えます。	参考	いただいたご意見につきましては、本ビジョンを進めていくうえでの参考にさせていただきます。
53	ビジョン全体	全体について。図書館ビジョンにはワークショップで各グループから出た意見が網羅されているように思います。限りある予算やスペースなど条件がある中で、意見をすべて取り入れて実現することは並大抵でないと考えます。ビジョンをどう具体化していくのか、期待していますし、たいへん注目しています。今後も折に触れて具体的な計画を市民に発表するように要望します。くれぐれも期待を裏切られることのないようお願いいたします。	参考	いただいたご意見につきましては、本ビジョンを進めていくうえでの参考にさせていただきます。
54	ビジョン全体	案にある新しい取り組みは、もちろん取り込んでいただきたい。ただそれ以前に、港北区の図書館はアクセス悪く、日吉の取次などを利用しているが、かなりの手間である。本との出会いは、一覧性のある書架から成るものである。予約して取次で受け取るには知見の限界がある。武蔵小杉の川崎市図書館を利用することが多いが、隣市民のため予約できず悲しい。新綱島駅エリアに本と出会う場が欲しい。私自身は転勤が多く、あらゆる地方の図書館を利用してきたが、港北区が最も不便です。人口15,000人の町の小さな図書館の方が、厳しい財政のなかで努力して来訪者に向けた蔵書対策をされていた。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-2 図書館の施設整備の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
55	ビジョン全体	図書館は何のためにはあるのか、何をするとところかをしっかり押さえ、このおおもとから外れないことが大事です。図書館は趣味や楽しみのためにもありますが、主眼は市民の学びのためです。それによって市民は自身と自身の生活を向上させ、市民力を挙げて市政に参加し、強くゆるがない、でも柔軟な横浜市をつくっていくのだと思います。図書館を一部市民だけでなくもっと多くの市民、行政従事者や議員など市政にかかわる人々ももっと利用してほしいと思います。使わねばと思われるような図書館になってほしい。そのためにも司書には内に籠らず学び続けてほしいと思います。	修正	図書館の役割については、「はじめに」や「第2章-1 蔵書・レファレンスの充実」等で触れておりますが、いただいたご意見を踏まえ、「新たな図書館像のイメージ図」のこれまでの図書館の図に「読書・調査研究」の文言や、「資料編 図書館の役割の変化」に「図書館は「社会教育のための機関」である」こと等を追加しました。

No.	項目	ご意見	対応分類	本市の考え方
56	ビジョン全体	<p>図書館の新たな形を模索した活動には、すごく共感いたしました。市民が集える場所としての機能に加え、象徴的な場所に多機能図書館を考えています。多機能図書館構想横浜が子育て世代をはじめとするあらゆる世代にとって魅力的な地域であり続けるために、山下埠頭の再開発地域に横浜市民の象徴的な場所としての多機能図書館の建設建設を提案します。教育水準と国民の幸福度が高いとされている北欧の国々には、子どもからお年寄りまで、誰もが居心地よく過ごせるようにデザインされた、魅力のいっぱい詰まった多機能図書館が発展しています。横浜市の人口は約380万、フィンランドやデンマークの人口の半分強となります。あまりにも大きく人口も多いため、18行政区ごとに縦割りの活動を考えがちですが、私は、横浜市全体の中で、人、もの、こと（経験）が魅力的につながる場所が必要だと考えました。この多機能図書館は、各区にある市立図書館を結び、そこに集う人たちのアイデアや思いを繋げて、再発進していきような施設とします。陽光をふんだんに取り入れたオープンなスペースに、横浜港の眺望を上げるよう机や椅子を配置し、リラックスしながら滞在できる施設とします。自らの思いや想像を巡らせるプライベート空間に加え、共有スペースではグループで話し合うことも可能です。またミーティングなどに活用できるスペースも多数用意します。多様な意見の存在を知り、その中からよりよい共通項を積み上げていく経験は、高等教育や社会に出てからも有用な力となります。子育て中の家族が気兼ねなく演劇や音楽を楽しむことができるホールも併設し、自由な発想で造形活動ができる（幼児の造形活動から想像力や創造力を育む：イタリアのレッジョ・エミリアのような教育）施設も併設します。日本では、多くのホールで、子ども連れの人が入れなかったり、別室で視聴しなければならなかったりしています。もちろん大きな声を刺さないように気をつけることは必要ですが、子どもの頃からちゃんとした施設で、音楽や演劇などに親しんでおけば、大人になってからも趣味や専門家を目指すなど、芸術にふれることに楽しみを見出し、生活の中に潤いを感じる機会が増えると思います。また、ここでいう造形教育とは、単にお絵描きをさせるというようなものではなく、子どもたちが素材の持つテクスチャーを存分に感じながら、想像力を巡らせて作品を作り上げていく活動です。子どもに、いくつかのおはじきを与えると、必ず、その子はおはじきを並べたり、弾いたりしながら遊び始めます。これは、大人が教えたり導いたりしなくても、子供たち自身の中に備わっている創造性を巡らせながら遊び始める行為です。子どもの中に自発的に生まれ出てくる物語に丁寧に寄り添い、引き出してあげることが、将来的に、あらゆる分野での活発な創造性に繋がっていく、貴重な体験となるはずです。Googleが、社員用の保育施設にレッジョ・エミリア教育を入れているのは、こういった教育の大切さを感じているためだと思われます。絵本や児童書は、リアルな紙媒体としてふれあいを重視し、分野によってはデジタルアーカイブ的な方法で、学習や検索ができるとよいかもしれません。小さな頃から文化・芸術に親しむことは、人が幸せな人生を歩んでいく一助となるでしょう。PCや先端機器を時間貸ししたり、使い方を教えたりもします。市民に一定の空間を場所貸しする形で、お気に入りの本を紹介できるブックカフェでは、本を通じた交流が楽しめると思います。若者の自殺が多く、ジェンダーギャップ指数が145ヶ国中125位と残念な結果だった日本は、裏を返せば、この問題の改善で幸せ度急浮上の可能性を秘めているとも考えられます。みなとみらい地区にグローバル企業の本社や研究機関が集まって存在しているという利点を生かし、企業が海外で蓄積してきた経験を地域に生かしてもらおう場を設け、市民との交流から、地域の活性化につなげられれば幸いです。マンションの自治会や町内会など、否応なしに組み込まれる集まりではなく、同じような興味関心を持った人たちのゆるい集まりを持つことは、都市生活に田舎のような温かみをもたらすこととなるでしょう。大きな施設の建設は、多くの時間がかかるかもしれません。でも、希望に満ち溢れた目標を掲げることは、多くの人々が、今ある社会課題に目を向け、考え、幸せな時間を紡いでいくことに、きっと繋がっていくと信じています。</p>	修正	<p>いただいたご意見につきましては、本ビジョンを進めていくうえでの参考にさせていただきます。なお、ご提案の趣旨を踏まえ、基本方針3の取組・機能のアイデアを「地域のアーティストと連携したワークショップや作品展示」を追記修正するなど原案を修正しました。</p>

No.	項目	ご意見	対応分類	本市の考え方
57	ビジョン全体	<p>以下の私の意見は、ニューヨークの公共図書館（NewYorkPublicLibrary,略してNYPL）がモデルです。この映画を数年前に見たとき、こんな図書館が日本にあったら、どんなにいいだろうと思ったからです。それは我々が想像する、ただ本を貸し出す「図書館」と言う役割をはるかに超えたものでした。</p> <p><理想とする良い点></p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 蔵書の種類がとても多い 2) 多岐に渡る無料の講演会を開催 3) 子供達への勉強や、いろいろな相談部署がある。一年齢によって設置されている。 4) パソコンやインターネットなど、時代についていくためのサポート部署の設置。 5) シニア市民への支援。 6) 障害者への支援 7) 絵画などの展示 8) 喫茶室、休憩所の設置 9) 楽譜の貸し出し。 <p>以上はすべて無料での提供です。</p> <p>あくまでも市民の生活に沿った、市民の頼り所となるような、そういう施設であって欲しいと思っています。NYPLも一カ所ではないですが、もし現在の図書館にも、これらの支援部署が併設されたら、近くの住人が行きやすいと思います。上記のサポートがどこかの企業によるものではなく、あくまでも公のサポートとして存在したら、信頼性が増すと思います。</p> <p>税金の投入、寄付金、などで運用すればできるのではないのでしょうか？</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、本ビジョンを進めていくうえでの参考にさせていただきます。</p>
58	ビジョン全体	<p>全体について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・45Pを見て図書資料が思ったより少なかった。 外国人は、あまり本をよむ人が少ないのは、少し意外だった。（文化人みたいな？） ・利用者のアンケートで30分以内の読書数が85%である。この結果はタブレット、スマホなどが原因。 <p>行ってみたい、使ってみたくなる図書館になるためのアイデア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テスト前など、静かな場所で、できるだけ、長く楽に、勉強したいので、放課後などに、勉強できる場所になってほしい。（席を増やす？） ・まん画を少し増やしてほしい。 ・飲み物が飲めるカフェテリアがあったらいいな。 ・自分にオススメの本がわかるタブレットがあったらいいな。 	参考	<p>ご意見につきましては、本ビジョンを進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
59	ビジョン全体	<p>全体について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館＝本が置いてある場所ではなく、人と情報をつなぐ場所、としてとらえてほしい。情報化社会で、知りたいことはすぐに検索できるけど、知りたいことだけではなく、そこから知識や見方を広げられる情報を発信してほしい。 	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨を踏まえ、本ビジョンを推進してまいります。</p>
60	ビジョン全体	<p>行ってみたい、使ってみたくなる図書館になるためのアイデア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ねんれいごとわかれているような物がはまっているのかしれるところ <p>市立図書館についての意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どこにどの本があるかわかりやすくしてほしい 	参考	<p>行きたくなる図書館、市立図書館についてのご意見は、本ビジョンを進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
61	ビジョン全体	<p>全体について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本で学んだことをすぐにその場（図書館）で体験・実践できるというのがとても良いなと思いました。 <p>行ってみたい、使ってみたくなる図書館になるためのアイデア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゲームの攻略本や、まんがやゲームのキャラのイラスト集などは、一冊一冊が高いので、図書館にあったら嬉しいです。また攻略本を見ながら、ゲームができたりすると、ゲーム好きの友達も図書館に興味を持ってくれると思います。 <p>市立図書館についての意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本をかりるのに、何かの登録をしなければいけないなどの、難しいイメージがあるので、そんなことはないのか、あったとしても、どんな手続きをするのか教えてほしいです。 	包含・賛同	<p>体験・実践について、ご賛同いただきありがとうございます。ご意見を踏まえ、本ビジョンを推進してまいります。行きたくなる図書館、市立図書館についてのご意見は、本ビジョンを進める上で、今後の参考にさせていただきます。なお、図書館の利用登録は、利用申込書に記入のうえ、ご本人であることと現住所を確認できるものを登録カウンター窓口へお出しください。その場で図書館カードを発行します。</p>

No.	項目	ご意見	対応分類	本市の考え方
62	ビジョン全体	<p>全体について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大人になるにつれて、本を読まなくなるイメージがあるので、大人になっても来なくなるような図書館が実現したら、とても良いなと思った。 ・子供の頃から本を読んでおくと、文章を読む力、読解力が身に付くので、基本方針1の「未来を担う子どもたちのための図書館」の子育て支援や子どもたちの学びの場を作ることはとても賛成だと思った。 ・理想をてんこ盛りにしたような図書館を横浜市に作ると言われてもイマイチ現実味がなくて信じられないが、外国では既に取り入れられていて、普通のものもあると聞いて、10～20年後、自分達が大人になった頃には実現できているかもと思った。 ・新たな取り組みは見本となるものがなくて大変だと思うけど、“新しい”といことはそれだけでワクワクするので、ぜひ、この取り組みを進めてほしいと思った。 	包含・賛同	ご賛同いただきありがとうございます。こどもから大人まですべての市民の皆様にご利用いただける図書館となるよう、本ビジョンを推進してまいります。
63	ビジョン全体	<p>全体について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「知る、学ぶ、深める」ことができる、とかいてあるが、具体的な案が書いていないし具体例を提示しなければ難しいと思う。 	参考	具体例については、基本方針1～5の冊子版に取組・機能のアイデアを掲載しています。いただいたご意見につきましては、本ビジョンの策定にあたり参考にさせていただきます。
64	ビジョン全体	<p>2.図書館ビジョンを拝見し、こうした現場の試みにも目を向けて頂き、読み聞かせや紙芝居のグループが活動する中で必要で必要な資料や資料相談なども含め、図書館の支援は欠かせません。社会の変化に合わせ図書館がどうあるべきかも変化します。しかし、図書館の本質である資料の収集・提供・保存の役割は不変です。大手のシンクタンクの国の方向に沿った計画で、民営化があたりか救い主であるような提案は如何なものかと思えます。</p> <p>地道な積み重ねと市民との協力・協同で図書館は発展していきます。今回の構想は国の方向に合わせて独自性のない構想に思えます。①生活圏に図書館をおくこと②安易な学校図書館を公共書館との合併といった鶴見区の発想は両方とも潰すことになりかねません。学校図書館は学校教育の支援を軸にしており、これからのIT化の中で、図書館が授業の場として使われ、自ら必要な資料を探し、討論し、熟議する方向の教育実践も行われています。横浜は学校図書館に常勤の司書をおいていない、資料費もすくな過ぎ、そうした実態を踏まえ、市民が望む構想に切り替えてください。市民が主体です。市民集会の開催を是非望みます。</p>	参考	いただいたご意見につきましては、本ビジョンを進めていくうえでの参考にさせていただきます。

No.	項目	ご意見	対応分類	本市の考え方
65	ビジョン全体	<p>「横浜市図書館ビジョン」を読みました。年末年始の「休館後の図書館」を見学しました。上記二件から感じたことを、率直に述べさせていただきます。「横浜市図書館ビジョン」につきましては、月並みの内容が述べられているだけで、具体的なものは全くなく、意見の述べようがありませんでした。「休館後の図書館」についても、従来の物と大きく変化はなく、意見の述べようがありませんでした。</p> <p>おそらく、ソフトの具体的な方法については、これから確立していくものと考えています。</p> <p>つきましては、私の考えを率直に述べさせていただきます。失礼ですが、箇条書きにさせていただきます。</p> <p>一般的な考え方につきまして、私の意見を述べさせていただきます。</p> <p>1 これからの投資は、ハード（土地、建物、設備など）ではなく、ソフト（人間のメンタル教育）に資金を投入すべきではないでしょうか？</p> <p>2 古き時代を知るための手段は、今後AI（チャットJPTなど）の進歩により、本以外の方法に任せるべきではないでしょうか？</p> <p>3 地域により又個人により、生活も考え方も変わると思います。これはそれだけ独自性が発揮されることであって、格差と解釈することはおかしいと思います。都市は都市なり、地方は地方なり発展していくことが大切だと思います。</p> <p>4 行政については、行政の役割は「運営の時代」から、「経営の時代」を迎えていると思います。特に政令都市の図書館は経営の時代を迎えたと思われます。予算を公平に、効率よく使用する努力が必要になります。予算の使途の効率を公開することが大切になると思います。</p> <p>5 公平、平等について、公平平等とは、市民全体に同じ条件で、サービス提供することではなく、状況におおじて、時には、サービスの方法が変わってもやむを得ないこともあると思います。その方法を考え出すのが行政の仕事なのではないでしょうか。</p> <p>6 経営については、すべて計画と実行には係数が重要になります。設備の評価額、利用者数、利用回数、購入額、経費額、回転率、前年比率、前月比率などがすべて公表されて、改善の評価をすることができます。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、本ビジョンを進めていくうえでの参考にさせていただきます。</p>
66	ビジョン全体	<p>人口に見合った図書館の数、蔵書数を希望します。予約しても本を借りられるまで1年以上かかることもあります。駅で返却できたり、地区センターで受け取り返却できることは良いと思います。</p>	参考	<p>ご意見の趣旨を踏まえ、素案の「第2章-1 蔵書・レファレンスの充実」「第2章-4 図書館外のサービスポイント設置の考え方」の取組について本ビジョンを推進してまいります。図書館数の増加へのご意見については、「第2章-2 図書館の施設整備の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>

No.	項目	ご意見	対応分類	本市の考え方
67	ビジョン全体	<p>これからの横浜市の図書館について、私の愚案を述べさせていただきます。</p> <p>1 現在の蔵書はすべて、ABC分析を行い、利用率の高い10%の図書を残して、90%との図書を中央図書館に移管します。移管された図書についてのサービスは、すべて中央図書館で行います。10%の図書を残した各区の図書館については、新しい情報関係の図書を、10%補充します。補充する図書は、新聞、雑誌、新刊本技術本を主体にして、利用率の高い図書を購入して、利用率を向上させます。利用率の高い本は、複数冊用意して、利用者の期待に応えるべきではないでしょうか。</p> <p>2 図書の陳列方法を工夫して、とにかく、見やすく、見つけやすく、活用しやすくします。各コーナーへの案内表示板をつけて、探す本が簡単に見つかるようにすることも大切と考えます。利用者が人手を借りずに元の陳列コーナーに返却しやすくする工夫も大切と考えます。人件費の節約に努力します。</p> <p>3 読書スペースは、椅子とテーブルを常に移動できる体制をとり、変化を持たせて、利用者の利用しやすい体制をつくることに努力します。軽い音楽なども常に流します。</p> <p>5 司書については、早急にチャットJPTを研究してもらい、それを活用して、中央図書館が横浜市の図書館の図書の補充を統一管理します。</p> <p>6 出張サービスなどについて経費が高つくつので中止して、中央図書館で、インターネットを使用して経費の安くつくサービスに切り替えるべきだと考えます。</p> <p>7 市民交流、コミュニティ形成、まちづくり、にぎわい創出などのことは、その他のサービス機関など（町会、体育館、公民館、公会堂、社会福祉など多数）で行われつきますので、お任せすることが大切かと考えます。サービス機関が沢山あることは、サービスの充実ではなく、サービスをバラマキしていることで、お互いに無責任になることではないかと思えます。</p>	参考	ご提案の趣旨は、基本方針2「あらゆる市民のための図書館」、基本方針4「利用しやすい図書館サービス」基本方針5「柔軟に変化し魅力がいつまでも持続する図書館」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
68	ビジョン全体	<p>・すべての人に本を手渡すのであれば、デリバリーサービスが必要です。</p> <p>1. 学校図書館へ物流サービスを行う。（東京都では実施）・・・ワークショップでお伝えしましたが、冊子には反映されていません。2. 地区センターで横浜市立図書館の予約本の受け渡しサービスを行う。3. 駅（西口-公会堂、東口-シークレイン）で、予約本の受け取り、本の返却ができるようにする。税込減少かと思いますが、あの立派な市庁舎を作れるのですから、市民の幸せのために文化の中心である図書サービス向上を切に願います。</p>	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-4 図書館外のサービスポイント設置の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
69	ビジョン全体	<p>全体について</p> <p>・図書館の素案の、イベントをすることや、集中できる環境を作るといところ、居心地をよくするといところ、市民のニーズを取り入れていくところがいいと思います。</p>	包含・賛同	ご賛同いただきありがとうございます。ご意見の趣旨を踏まえ、本ビジョンを推進してまいります。
70	ビジョン全体	<p>いろいろ盛りだくさんに書いてありますが、読んでいてもよくわかりませんでした。私の願う図書館は、身近にある図書館。せめて自転車に乗っていけるぐらいの距離にあってほしい。本の取次所ではなく、図書館に行って、どんな本を読もうか・どの本を借りようかと気持ちが豊かになる、いろんな本との出会いがあり、ゆっくり本が選べて楽しめる図書館、そんなドキドキワクワクできる場所がほしいと思います。資料や統計など必要なことが分かる大きな図書館も必要ですがそれは区に一つセンター館でもいいが、地域に気軽に利用できる所がほしい。子どもや高齢者は近いのが一番です。図書館司書の人の最近話題の本やこんな本もありますなど本の魅力を伝えてくれるものがあればなお良いが、有償ボランティアの活用などもいろいろできるのではないかと。全国の図書館の中には小さくても魅力的な図書館は、沢山あります。ぜひ参考にしてほしいと思います。</p>	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-2 図書館の施設整備の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
71	ビジョン全体	<p>・プラットフォームとしての図書館をお考えとのこと、アクセスの良さが必須となります。私は、鶴見区在住ですが、鶴見図書館は駅から遠く、駐車場がないだけでなく、車寄せもありません。身体的に不自由な方、お年寄り利用が難しいように思います。駅前の文化施設、サルビアホールのあるシークレインの中に図書館を作るべきだと思います。</p>	参考	ご提案の趣旨は、「第1章-基本方針3 まちとコミュニティのための図書館」「第2章-2 図書館の施設整備の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。

No.	項目	ご意見	対応分類	本市の考え方
72	ビジョン全体	21pの図書館の施設整備の考え方を踏まえた上での図書館ビジョンの印象について。市民アンケートにも、「身近な場所での本の貸出、返却」希望が複数挙がっているが、これまでも横浜市の図書館の利用が一部にとどまる最大の要因として、図書館が身近にないという課題が挙げられてきている。横浜市の規模なら100館が必要とこれまでの提言でも示されているのに、「1区1館を基本として」と明示してもいいのかが、ビジョンに示されている方策と併せて適切な館数を再検討することも必要と考える。「大半の市民の身近に図書館がない」という現状と将来像なのに、描かれたビジョンは図書館に来られる人を念頭に置いたものがほとんどで、市民全体のための図書館になるのか？という疑問がわく。司書が館外に出向くことや市民の身近な施設との連携・協働などにもっと重点を置いたビジョンを描いてほしいと感じた。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-2 図書館の施設整備の考え方」「第2章-4 図書館外のサービスポイント設置の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
73	ビジョン全体	自分のためにも、子供のためにも図書館を増やしてほしい。近くにないから行く気が起きない。蔵書も全然なく、足りない。以前東京の大田区に住んでいたので図書館と蔵書の少なさにとてもショックでなりません。それを理由にまた大田区に戻りたいと思うほどです。	参考	ご意見の趣旨を踏まえ、素案の「第2章-1 蔵書・レファレンスの充実」の取組について本ビジョンを推進してまいります。図書館数の増加へのご意見については、「第2章-2 図書館の施設整備の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
74	ビジョン全体	・図書館HP（蔵書検索、個人の予約状況など）はUIをシンプルにして、すぐに目当ての情報にたどり着けるよう、階層（手数）を増やさないでほしい。	参考	ご提案の趣旨は、「第1章-基本方針4 利用しやすい図書館サービス」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
75	ビジョン全体	・外国民間企業LINEとの連携には反対	参考	ご提案の趣旨は、「第1章-基本方針4 利用しやすい図書館サービス」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
76	ビジョン全体	全般このようなビジョンの策定には市民の意見が不可欠です。今後具体的なプランを作成するときにはワークショップだけでなく、市民と協議する場をぜひとも設けてください。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-6 多様な主体との協働・共創」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
77	ビジョン全体	・図書館の相談機能を高める。例えば、相談員のスキルアップを図り、利用者に沿った対応を追求すること。	包含・賛同	相談機能へのご意見の趣旨を踏まえ、素案の「第1章-基本方針5 柔軟に変化し魅力がいつまでも持続する図書館」の取組について本ビジョンを推進してまいります。
78	ビジョン全体	・図書館運営に利用者の意見を反映する仕組みを充実する。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-6 多様な主体との協働・共創」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
79	ビジョン全体	①現在中央図書館でも、CDは館内で試聴しか出来ない。東京都の図書館のように館外への貸出もして欲しい。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-1 蔵書・レファレンスの充実」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
80	ビジョン全体	基本方針に沿ってその達成度は毎年度検証をして、必要に応じて軌道修正や内容の追加を検討されるのでしょうか。市民ニーズの変化にあった知識・サービスについて、どのように情報を収集し、反映・実践していくのでしょうか。	参考	いただいたご意見につきましては、本ビジョンを進めていくうえでの参考にさせていただきます
81	ビジョン全体	行ってみたい、使ってみたくなる図書館になるためのアイデア ・新聞で紹介された、季節の本などの特設コーナーを作る	参考	行きたくなる図書館、市立図書館についてのご意見は、本ビジョンを進める上で、今後の参考にさせていただきます。
82	ビジョン全体	行ってみたい、使ってみたくなる図書館になるためのアイデア ・ものづくりや演奏は、設備の問題で、行う場所に困っている人も思うので、それらを行える部屋（スペース）があると良いと思いました。 ・市に1箇所程度でも良いので、色々なジャンルの本が大量に揃っているような図書館があるなら、行ってみたいと思いました。 ・（図書館なのかわからなくなってしまうけど）音楽のCDや、映画のCDなどと、その場で聴ける（見れる）機械があったら行ってみたいと思いました。	参考	行きたくなる図書館についてのご意見は、本ビジョンを進める上で、今後の参考にさせていただきます。

No.	項目	ご意見	対応分類	本市の考え方
83	ビジョン全体	全体について ・全体的にすばらしいと思った。少子高齢化もすすんでいるので高齢者もつかいやすいようにすると良いと思う。	包含・賛同	ご賛同いただきありがとうございます。ご意見の趣旨を踏まえ、本ビジョンを推進してまいります。
84	ビジョン全体	・専門の司書を育成してほしい	参考	ご提案の趣旨は、「第1章－基本方針5 柔軟に変化し魅力がいつまでも持続する図書館」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
85	ビジョン全体	基本方針1について：こどもの足で通える図書館が少なすぎる。1区1館ではとても足りない。これは基本方針2・4にも当てはまる。シニア、障害のある方にとって遠方に通うのは非常に困難である。スマホやパソコンでの蔵書検索・予約のシステムに関してもデジタルデバイドはますます広がるばかりである。公共図書館がそれらの人々を置いていいのか。基本方針5について：柔軟に変化し持続可能な図書館にするというのであれば、それぞれ1区1館にこだわらず身近な地区図書館をもっと作るべきではないか。図書館というのはただ本が置いてあれば良いということではない。司書がない拠点を増やしても、自分にとって必要な本を探すスキルのない人たちの助けにはならない。そういう人たちにこそ司書のいる図書館が絶対必要である。	参考	いただいたご意見につきましては、本ビジョンを進めていくうえで、今後の参考にさせていただきます。
86	ビジョン全体	全体について ・概要版 p 1 の、現在の図書館像と、未来のこの先の図書館像のことが具体的に書かれていてよいと思いました。p 3 などに、地域の交流のようなものがあったと思うのですが、具体的に何に取り組むのかまいち分かりませんでした。	参考	ご意見の趣旨を踏まえ、本ビジョンを推進してまいります。具体的な取組については、基本方針1～5、それぞれにこれからの図書館のイメージや、取組・機能のアイデアを記載していますのでご覧ください。
87	ビジョン全体	・蔵書を増やしてほしい（市民あたりの蔵書数があまりに少ない）	参考	ご提案の趣旨は、「第2章－1 蔵書・レファレンスの充実」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
88	ビジョン全体	市立図書館にキッズスペースや預り保育があると、お子さんだけでなく、子育て中のお母さん、お父さんも図書館を利用して本を読む時間ができたり、気持ちの余裕も生まれるのではないかと思います。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章－3 新たな機能・機能拡充に伴う空間づくりの考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
89	はじめに	1pのはじめについて、ランガナタンの五法則は、日本語のみの表記でよいと思いました。	参考	ご意見につきましては、本ビジョンを進めていくうえで今後の参考にさせていただきます。
90	はじめに	「はじめに、新たな図書館像、5つの基本方針」いずれも格調高い理想を掲げている点は大賛成。（要望）「はじめに」に、ユネスコ図書館宣言をふれてほしい。	参考	ご意見の趣旨を踏まえ、本ビジョンを推進してまいります。ご要望については今後の参考にさせていただきます。
91	位置付け	2. 「横浜市図書館ビジョン」の位置づけ について 行政内部用には「位置づけ」は必要なのでしょうが、市民にとっては、あまりピンとこない内容と思います。最初の2行はよく分かりますが、3行目以降は、何を言いたいのか市民にとっては難解です。	参考	ご意見につきましては、本ビジョンを進めていくうえで今後の参考にさせていただきます。
92	位置付け	・「横浜市図書館ビジョン」の位置づけ（3 p） 「10～20年後を見据え」たとしていますが、それには全体に抽象的で具体性に欠ける。 現状の評価がほとんどされていないため、「取組の方向性」に説得力が乏しく、記載されていることにはすでに取り組まれていることも多い。「目指す姿」がイメージしづらい。	参考	いただいたご意見につきましては、本ビジョンを進めていくうえでの参考にさせていただきます。
93	位置付け	・「横浜市図書館ビジョン」の位置づけ（3 p） 「図書館ビジョン→年単位予算」「は「図書館ビジョン→計画→年単位予算」とした方がイメージしやすい。そして計画づくりの段階では市民の参画を求めたい。	参考	いただいたご意見につきましては、本ビジョンを進めていくうえでの参考にさせていただきます。
94	第1章（全般）	ビジョンはよいと思いますが、実現させることが重要と思います。	包含・賛同	ご賛同いただきありがとうございます。ご意見の趣旨を踏まえ、本ビジョンを推進してまいります。
95	第1章（全般）	これからの図書館を変えていくという強いメッセージが伝わってくる。	包含・賛同	新たな図書館像の実現に向けて、本ビジョンを推進してまいります。
96	第1章（全般）	「身近なところに図書館を整備する」ということを基本方針で打ち出してほしい。	参考	ご提案の趣旨は、基本方針全体及び「第2章－2 図書館の施設整備の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。

No.	項目	ご意見	対応分類	本市の考え方
97	第1章（全般）	「図書館」という基本が抜け落ちてしまっている印象を受けました。図書館にここまでの機能は誰も求めていないと思います。「交流」「コミュニティ」「居心地のいい場所」など耳触りの良い言葉が並んでいますが、図書館は本を借りたり読んだりする場所。基本的なところを充実（アクセシビリティ・港南区であれば今は港南中央ではなくJR港南駅が中心です/蔵書管理/読書スペースの整備など）させてください。	参考	ご意見につきましては、5つ基本方針を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
98	第1章（全般）	既存のイメージに囚われなく新しい広がりを感じられました。	包含・賛同	ご賛同いただきありがとうございます。ご意見の趣旨を踏まえ、本ビジョンを推進してまいります。
99	第1章（全般）	一つ一つにスキのないことの捉えをされていると思います。	参考	ご感想をいただきありがとうございます。図書館ビジョンは市立図書館の「目指す姿」や「目指す方向性」を示すものとして策定を進めています。新しい図書館像（新しい“わくわく”を創り出せる子どもから大人まで、みんなが主役になれる場）の実現に向けて取り組んでまいります。
100	第1章（全般）	概要版1ページの「新たな図書館像のイメージ」について是非実現してください。期待しています。「これまでの図書館」の面積が0.95cm ² で「これからの図書館」の面積が36.30cm ² なので、これまでの図書館数が18に対し、これからの図書館数は688になります。つまり新たに670館が新設されることになります。10年から20年ということなので、1年に30から60館ベースになります。これまでの全国最低レベルの図書館行政から全国トップレベルの図書館行政へと大きな飛躍になります。	参考	ご意見の趣旨を踏まえ、本ビジョンを推進してまいります。なお、図はイメージです。記載の面積がそのまま図書館数を表現しているものではございません。ご提案の趣旨は、「第2章-2 図書館の施設整備の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
101	第1章（全般）	5Pの「まちとつながり・交流」について：交流機能を図書館に設置するのは今後ますます重要になると思う。それと同時に、情報弱者への情報提供のあり方も、しっかりと担保してほしい。	参考	ご提案の趣旨は、「第1章-基本方針2 あらゆる市民のための図書館」「第1章-基本方針3 まちとコミュニティのための図書館」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
102	第1章（全般）	学校司書です。公立司書さんの講習をうけたい場合、勤務時間と移動の兼ね合いで、実施が11時～など、遅めになってしまいます。学校は8時40分からやっています。臨機応変に対応していただけると、もっと依頼しやすいのですが。	参考	学校図書館との連携については、「第1章-基本方針1 未来を担う子どもたちのための図書館」について本ビジョンを推進するとともに、具体的な取組へのご意見は、今後の参考にさせていただきます。
103	第1章（全般）	マンガ、DVD、CDなどのメディアやパソコン、タブレットなどの機器を大幅に導入してもらいたい。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-1 蔵書・レファレンスの充実」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
104	第1章（全般）	最近栄区に引っ越ししてきました。前は鶴見区に住み港北区に勤めていた関係で港北区の図書館を利用するはずですが、一度も借りたことがありませんでした。勤めている関係もありましたが、電車に乗らないといけないという地の利の不便さでした。本は買うことがほとんどでした。現在栄区に引っ越しきて地がよいこと、年金暮らししてほしい本を買えないことなどで図書館利用することが多くなりました。ところが新聞などで紹介されている人気本もほとんど栄区にはなく1ヶ月や2ヶ月待ちもざらで忘れたところに回ってくる状態です。結局は買ってしまふことが多かったです。人気だけ古い本などはすぐに借りられることやなにかをするために相談すると教えてくれることは素晴らしいと思います。聞いたところによると図書館司書さんは臨時職員が多いことも聞きました。①前図書館に常勤の司書さんを複数配置②もっと図書館の数を増やしてほしい③新刊本などの各図書館に入れるようにして待ちを少なくしてほしいなどお願いいたします。	参考	ご提案の趣旨は、「第1章-基本方針4 利用しやすい図書館サービス」、「第2章-1 蔵書・レファレンスの充実」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
105	第1章（全般）	素案とか以前に、歩いて10分ぐらいのところに図書館が欲しい。新刊本も予約して半年待ち。なんとか博をする前に日常的に文化を楽しめるようにしてほしい。	参考	いただいたご意見につきましては、本ビジョンを進めていくうえでの参考にさせていただきます。
106	第1章（全般）	上大岡駅と港南台周辺(徒歩10分以内位)に図書館が図書コーナーを作って欲しいです。両駅とも利用者が多く、利便性が高くなると思います。ご検討宜しくお願いします。	参考	ご意見の趣旨は、「第2章-2 図書館の施設整備の考え方」「第2章-4 図書館外のサービスポイント設置の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。

No.	項目	ご意見	対応分類	本市の考え方
107	第1章（全般）	図書館のWiFiがわずか10分間とは、WiFiを利用できるというアリのように思える。せめて、1時間ぐらいいアクセルできるようにしてもらいたい。メールアドレスがないとアクセスできない。これでは高い経費をかけてWiFiを設けた制限をとり外してください。	参考	Wi-Fiの利用には、セキュリティ確保のためメールまたはSNSでの認証が必要です。ご提案の趣旨は、「第1章-基本方針4 利用しやすい図書館サービス」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
108	第1章（全般）	港北図書館は古いので、立て替えて蔵書を増やして欲しい。	参考	ご意見の趣旨を踏まえ、素案の「第2章-1 蔵書・レファレンスの充実」の取組について本ビジョンを推進してまいります。図書館数の増加へのご意見については、「第2章-2 図書館の施設整備の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
109	第1章（全般）	図書館の返却スポットを増やして欲しい。神奈川図書館はアクセスが悪く、車での利用をしているが、閉館後の駐車場閉鎖で返却が出来なくなった。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-4 図書館外のサービスポイント設置の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
110	第1章（全般）	意見募集。期間が短すぎ。再延長を望む。ワークショップも、やるなら、もっとやるべき。これでは。市民の意見を聞いたフリ。ふざけるな。	参考	いただいたご意見につきましては、本ビジョンを進めていくうえでの参考にさせていただきます。
111	第1章（全般）	一方、リアル図書館の施設、図書の充実はもちろん必要、不可欠で、その役割は、知的な意味で横浜市民の水準を底上げするような役割を担うものだと考えます。その点で、横浜市の図書館は、1区1図書館を基本とするとありますが、他の政令市と比較し、あまりに貧弱というしかありません。せめて、交通状況を考慮し、利便性の高い場所に各1館ずつ新規設置してほしい。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-2 図書館の施設整備の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
112	第1章（全般）	ネット環境の充実、発展にあわせて、ネット上での電子書籍の活用など、著作権との整理が必要ですが、ぜひ、実現していただきたい。一方、リアル図書館の施設、図書の充実はもちろん必要、不可欠で、その役割は、知的な意味で横浜市民の水準を底上げするような役割を担うものだと考えます。その点で、横浜市の図書館は、1区1図書館を基本とするとありますが、他の政令市と比較し、あまりに貧弱というしかありません。せめて、交通状況を考慮し、利便性の高い場所に各1館ずつ新規設置してほしい。	参考	市立図書館では電子書籍サービスを令和3年から開始していますのでご利用ください。ご意見の趣旨を踏まえ、素案の「第1章-基本方針4 利用しやすい図書館サービス」の取組について本ビジョンを推進してまいります。
113	第1章（全般）	市立中央図書館の中に、無料のパソコンコーナーがありますが、他の区の図書館にも、このようなパソコンを増やして欲しいです。	参考	ご提案の趣旨は、「第1章-基本方針4 利用しやすい図書館サービス」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
114	第1章（全般）	私は民間の数学史の研究者です。鶴見図書館にはほとんど毎日通っています。約30年くらいになります。横浜市図書館ビジョン（素案）を眺めてみて自然科学関係の図書についての言及が少ないと考えます。有識者の方々も図書館情報学の研究者で自然科学系の研究者がいないようです。川崎市の神奈川県図書館が自然科学関係に特化した図書館でしたが、溝の口に移ってあまり通えなくなりました。この施設も30年間以上通っていましたが、ビジョンの素案は子育て支援の有識者のため子供向けの図書館となっているように思われます。鶴見の図書館では自然科学関係の図書のスペースが少ないような気がします。横浜の中央図書館では情報関係の図書が特設されています。また数学関係の図書もある程度充実しています。鶴見図書館も豊岡小学校に移設計画があるようですが、自然科学関係の書籍の充実を求めます。特に数学に関する書籍の充実を求めます。毎年行っている教科書の展示企画も継続して実行されることを求めます。鶴見の図書館では年齢の高かたがたくさんいます。その方のスペースも確保していただくとありがたいです。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-1 蔵書・レファレンスの充実」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
115	第1章（全般）	冊子版p.6の「新たな図書館像のイメージ」について、図書館というよりも、地区センターのような複合的な機能の集合体を目指しているように受け止めました。それ自体は良いと思うのですが、物理的には近い場所にありながらも、それぞれの機能が高められるように静音性などを考慮したフロアやエリアを分けた方が良く思います。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-3 新たな機能・機能拡充に伴う空間づくりの考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。

No.	項目	ご意見	対応分類	本市の考え方
116	第1章(全般)	P5-6: ・図書館の担う機能が広がりすぎて、本来あるべき専門性が薄れてしまうような印象があります。 ・「連携・協働」やこの後で「共創」という言葉が各所でてきますが、誰を対象に何を意図しているのかわかりにくく、定義を示してほしいです。 ・「これまでの図書館」のところに、「市民交流～」 「まちづくり」 「子育て支援」とありますが、そのような取組をされていることを知りませんでした。 これまでの取組みとしてどのようなことをされ、それをどう評価されていて、これからのビジョンにつながっているのか説明があるといいと思いました。 ・「市民交流～」 「まちづくり」 「子育て支援」等の機能を増やすにあたって、誰が担うのか主語がわかりにくいです。 司書の方のやるべき業務ではないと思います。 また、先の機能は他の公共施設や専門性のある団体等他機関で既に取り組まれていることだと思いますが、他機関との連携を図ることでしょうか。 それであれば、どのように他機関で連携をしていくのか、そのプロセスを説明いただきたいです。	参考	いただいたご意見につきましては、本ビジョンを進めていくうえでの参考にさせていただきます。
117	第1章(全般)	未来を担う子どもたちのために、学校図書館への支援をお願いしたいです。 現在、学校図書館が市立図書館の図書を借りる際には、 ・ 図書を利用する教諭が市立図書館へ依頼し、依頼した教諭が本を借りに行く ・ 学校司書が市立図書館へ依頼し、学校司書が本を借りに行く(タクシー利用の可)で行っています。 教諭は多忙のため、学校司書が代わりに依頼し、市立図書館へ借りに行くことが多いです。 タクシーの利用が年に3回可能ですが、1週間前までに教育委員会へ申請の必要があり、なかなか利用することが難しいです。 市立図書館間に輸送システムがあるように、また学校間のメール便があるように、市立図書館と学校の間、輸送システムがあると大変便利です。 輸送システムがないために、図書を借りることをあきらめることもあります。 切に願います。	参考	学校図書館との連携については、「第1章-基本方針1 未来を担う子どもたちのための図書館」について本ビジョンを推進するとともに、具体的な取組へのご意見は、今後の参考にさせていただきます。
118	第1章(全般)	また、蔵書数も280万市民にふさわしく大幅に増やすことを求めます。 予算不足で、本の補充やリクエストにもこたえられない現状は、あまりに情けないと思います。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-1 蔵書・レファレンスの充実」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
119	第1章(全般)	新たな図書館像の5つの基本方針は、どれも魅力的だと思います。 冊子を読んで、わくわくしました。 生活圏にこのような図書館があることは理想であり、豊かな毎日を送れると思いました。 ただ、一区に一館しかない現状では物理的に利用が難しい市民が多く、そのような市民にとっては絵にかいた餅でしかないと思います。 図書館を増やしていくこともビジョンに加えて欲しいと考えます。	参考	5つの基本方針についてご賛同いただきありがとうございます。 ご意見の趣旨を踏まえ、本ビジョンを推進してまいります。 図書館数の増加へのご意見については、図書館数の増加へのご意見の趣旨は、「第2章-2 図書館の施設整備の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
120	第1章(全般)	3. 第1章「新たな図書館像、5つの基本方針・取り組みの方向性」について ○「新たな図書館像」 提示されている内容は、どれも、その通りと思いますが、肝心の「図書館像」そのものが何なのか?あまり伝わってきません。 p.6に「新たな図書館像のイメージ」が描かれていますが、核となる「図書館」を他のもの、例えば美術館や地区センターなどの変えてみても、そのまま成立してしまうように思います。 図書館の周辺事情ばかりが書いてあるので、もっと「図書館ならでは」ということを示してほしいと思います。 ○「5つの基本方針・取り組みの方向性」 5つの基本方針は、決して「自明」ではなく、本来なら、「なぜこの5つなのか?」を説明すべきだと思います。	修正	図書館の役割については、「はじめに」や「第2章-1 蔵書・レファレンスの充実」等で触れておりますが、いただいたご意見を踏まえ、「新たな図書館像のイメージ図」のこれまでの図書館の図に「読書・調査研究」の文言や、「資料編 図書館の役割の変化」に「図書館は「社会教育のための機関」である」こと等を追加しました。
121	第1章(全般)	・【概要版p2-3】基本方針1-3にあるイベントは子供の絵本の読み聞かせのみで良い。 大人対象のイベントは図書館ではなく、別のところで既にやっているし、それで十分。(広報よこはまに地区センターやコミュニティハウスのイベント情報が載っていますが、これで十分です。 図書館に人が集中して混んで騒がしくなるのが心配です。)	参考	ご意見につきましては、基本方針1～3を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
122	第1章(全般)	5つの基本方針自体に違和感はありませんが、「あらゆる市民のための図書館」が基本方針2であることに強い違和感を感じます。 基本方針1の「未来を担う子どもたちの図書館」もそれ自体は良いことだと思いますが、横浜市住民の年齢構成も鑑み「あらゆる市民のための図書館」が基本方針1であるべきと考えます。 そう言った意味では、6頁「新たな図書館像のイメージ」の「子育て支援」が唐突にあるのも不自然に感じる。 横浜市図書館は市民が英知を得る貴重な公共の場あり、「子育て支援」は保育・学校の図書館を中心に行うべきで、公共の図書館が子供の遊び場や子供を抱えるママ友のための保育施設ではないと考えます。	参考	横浜市では子ども・子育てに関する施策を積極的に進めており、5つの基本方針の順番もそれを踏まえたものです。 ご意見につきましては、本ビジョンを進めていく上で、今後の参考にさせていただきます。

No.	項目	ご意見	対応分類	本市の考え方
123	第1章（全般）	図書館ビジョンの5つの基本方針全体にかかわることですが、本以外にも、Kindle、DVD、オーディオブック、顕微鏡や双眼鏡など、学びの手段を拡大していくことで図書館が一層魅力的になり広い年齢層の利用が拡大していくと思います。アメリカでは、図書館を通じて学びの機会を増やすことを目的に、何でも借りられる「Library of things」というスローガンを掲げ必要なツールを提供しています。参考： https://uskurashinote.com/library/ https://note.com/elearning/n/ne1084f42106e	修正	素案の「第2章-1 蔵書・レファレンスの充実」において、活字だけでない多様な情報の収集に取り組むこととしていましたが、蔵書という表現が「図書」だけを指すようにも見えることから、いただいたご意見を踏まえ、第2章-1の表題を「コレクション・レファレンスの充実」にするなど原案を修正しました。ご提案の趣旨は、基本方針全体に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
124	第1章（全般）	8pの基本方針について図書館は社会教育の場です。社会教育法第3条では「すべての国民があらゆる機会、あらゆる場所を利用して、自ら實際生活に即する文化的教養を高め得るような環境を醸成するように努めなければならない」としています。市民が自由に学び成長できるような場を提供するという位置づけが大事です。そのためには多様な考え意見に寛容で、自由に学び、交流できる場所を確保していくことが重要です。図書館は教育の場であり、自由で多様な学習や教育を育てるという基本的な方針を加えて欲しいです。	修正	図書館の役割については、「はじめに」や「第2章-1 蔵書・レファレンスの充実」等で触れておりますが、いただいたご意見を踏まえ、「資料編 図書館の役割の変化」に、「図書館は「社会教育のための機関」であること等を追加しました。
125	第1章（全般）	基本方針には賛成です。図書館の役割の一つであった情報を調べること、情報に出会うことについては今後ますますインターネットに代替えられるものですので、それ以外の価値が重要になるものと思います。	包含・賛同	ご賛同いただきありがとうございます。ご意見の趣旨を踏まえ、本ビジョンを推進してまいります。
126	第1章（全般）	p.10で「基本方針1 未来を担う子どもたちのための図書館」で「学校図書館支援及び学校との連携事業 本の貸出し等による学校への授業支援」とあります。またp.16「基本方針4 利用しやすい図書館サービス」で「学校、地区センター等への本の選定に役立つ情報の提供や研修の実施」とあります。これらの取り組みのため、現在の学校連携サービスを発展させる形で、教職経験者をスタッフに加えた支援センターのような一部署を設けていただくことはできないでしょうか。学校図書館は、所蔵する資料も、学校の中の立場もまだまだ貧弱なところが多いです。現在、学校貸し出しサービスや職員にアドバイスを求めることができるしくみがあります。ですが貸し出しについては、忙しい教員に代わって学校司書（マイカーを使うことができない）がタクシー、バスなどで借り受けや返却をせねばならないことが多く、それがハードルになっている面があります。学校貸し出し専門の巡回車を設けていただくと大変ありがたいですし、図書を学習に活用する機会が増えると思います。また現在のように学校からの要請で職員を派遣するのではなく、教育課程に準ずる形（毎年一定のタイミングや内容）で図書の利用方法や検索方法を児童生徒に指導、もしくは学校司書に対して研修する等のしくみをつくってもらえないでしょうか。現代は変化の多い時代で、人は生涯を通じて学ぶことが推奨されています。公共図書館にはぜひ、学校での読書活動や学習への支援にも積極的に関わっていただき、学ぶ意欲を子どもたちから持てるようにするしくみを作っていただきたいです。子どもたちの学ぶ意欲を高めることは、将来の図書館利用者を増やすことにもつながると思いますので、ぜひ学校への支援をお願いしたいです。	参考	学校図書館との連携については、「第1章-基本方針1 未来を担う子どもたちのための図書館」について本ビジョンを推進するとともに、具体的な取組へのご意見は、今後の参考にさせていただきます。
127	第1章（全般）	横浜市の図書館ビジョンが策定されると聞いて楽しみにして内容を読みました。思っていたのとは違い、目指す方向が今一つピンとこない、よくわからない内容でした。盛りだくさん内容でしたが、横文字が沢山出てきて、もっとわかりやすい簡素な表現・内容にしてほしいと感じました。あれもこれも盛り込んでほしいものの、具体的にどのようにするのがわかりにくい内容でした。5つの基本方針の1と2は良くわかるものの3、のまちとコミュニティのための図書館や5の柔軟に変化し・・・とはどのようなことなのか？4についても利用しやすい図書館サービスとありますが、利用しやすいようにしてほしいのは図書館そのものです。港北区の人口は36万人、面積も31キロ平米と広く、そんな中に菊名の港北図書館が1館しかありません。あまりに貧弱です。せめて5万～10万人に1館10キロ平米に1館など作ってほしい。あるいは発想を変えてセンター館は1館地域に駅の数くらい分館があるような構想がほしい。専門書や調べるのはセンター館に行き、日常の利用は分館でなど。現在でも我が家のそばにコミュニティセンターがありますが土日1時～3時の利用しかできません。蔵書数もわずかです。これでは魅力的な・・・には程遠い。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-2 図書館の施設整備の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。蔵書の充実については、素案の「第2章-1 蔵書・レファレンスの充実」の取組について本ビジョンを推進してまいります。

No.	項目	ご意見	対応分類	本市の考え方
128	第1章（全般）	全体について ・p23のくつろぎのカフェなど飲食スペースと書いてあるのが休けいできて良いと思う ・p16の入りたくなるエントランスと書いてあるのがどういのかきになる ・p12の壁やしきりが少ないというのがよくなる	参考	ご意見の趣旨を踏まえ、素案の「第1章－基本方針2 あらゆる市民のための図書館」「第2章－3 新たな機能・機能拡充に伴う空間づくりの考え方」の取組について本ビジョンを推進してまいります。エントランスとは建物の入り口部分を指しますが、入ってみたい、行ってみたいと感じられる魅力ある「エントランス」となるよう「第1章－基本方針4 利用しやすい図書館サービス」の中で検討してまいります。
129	第1章（全般）	行ってみたい、使ってみたくなる図書館になるためのアイデア ・本は想像力のかたまりみたいだと思っているので、かべなどに宇宙や、自然などの絵がかいているとしよしつは、かたいイメージがなく、行きやすそう。 ・まんがなどをおく ・参加がたの本があったらたのしそう。（自分で物語をつくったり、さしえをかいたりする合作とかをして、1さつの本をつくってみる）	修正	「第1章－基本方針1 未来を担う子どもたちのための図書館」「第1章－基本方針2 あらゆる市民のための図書館」では、子どもたちや市民の皆様が企画し参加する取組なども検討していきたいと考えています。いただいたご意見を踏まえ、基本方針1の事例のひとつを「子どもたちが企画し自分自身も参加できる展示やイベント」に修正しました。
130	第1章（全般）	全体について ・読み聞かせの場所を作る←（子どもの） ・図書館内に季節のかざりつけをして明るくしてみる ・しおりを作ったりブックカバーを作ったりするきかくをする	参考	行きたくなる図書館についてのご意見は、本ビジョンを進める上で、今後の参考にさせていただきます。
131	第1章（全般）	概要版p2「5つの基本方針」について、基本方針の1番に「未来を担う子どもたちのための図書館」としている事に賛成です。（公共図書館から2キロ圏内の小学校の)学校司書をしています。公共図書館に行った事がないという子どもが一定数います。生涯的に図書館を使うには、まずは子ども時代の利用体験が大切だと思います。幼い子どもが親に連れて行ってもらえるような環境・施設の整備・イベントの工夫に力を入れてほしいです。	参考	基本方針1を「未来を担う子どもたちのための図書館」としていることについてご賛同いただきありがとうございます。環境整備やイベントについては、本ビジョンを進めていくうえでの参考にさせていただきます。
132	第1章（全般）	全体について ・遊ぶ、体験するなどを通して、どくしよの楽しさや、人とのふれあいを大切にしようと思うという案について、来た人またはおぼした人が1ページずつ物語をかいていって、1さつの本にするなどの参加がイベントがあるといいかもなと思いました。 ・図書室のかべに絵をかく ・大人でも子どもでも参加できる。例えば ・四季がかかれていてぜんぶまわると春、夏、秋、冬（つゆもあり）がみれる。 ・本のジャンルごとにちかくのかべにかかれてる絵がちがう。（れきしだったらおしろ）（芸術であるとのぐや、パレットなど）	修正	「第1章－基本方針1 未来を担う子どもたちのための図書館」「第1章－基本方針2 あらゆる市民のための図書館」では、子どもたちや市民の皆様が企画し参加する取組なども検討していきたいと考えています。いただいたご意見を踏まえ、基本方針1の取組・機能のアイデアに「子どもたちが企画し自分自身も参加できる展示やイベント」を追記するなど原案を修正しました。
133	第1章（全般）	1. p. 5「新たな図書館像」の本文について：最初の3行と最後の2行に短縮したほうがよい。中間の5行は、次ページ以降で解説がある。P.6のイメージ画像も分かりにくい。 2. p. 8「新たな図書館像の5つの基本方針」の内容について：内容、順番を再検討する必要あり。基本方針1. と2. の順序を変えたほうがいい。1, 2, 3と4, 5は視点が異なるので、別立てにすべきと思う。このことは補足に記述あり。 3. 基本方針1～5のタイトルでの表記が2つずつある。1-1, 1-2～5-1, 5-2のように表記したほうがいいと思われる。また例題の記述が多すぎるので、いずれも短文にまとめたほうがいい。多すぎると、何を表現したいのかわかりにくい。基本方針3の前段でプラットフォームとアーカイブという語がつかわれているが、こういったカタカナ表記は、実質がわかりにくい。	修正	1について、イメージ図については、これまでの図書館の機能を明記するなど文言を追記したほか、イラストの追加など原案を修正しました。 2について、横浜市では子ども・子育てに関する施策を積極的に進めており、5つの基本方針の順番もそれを踏まえたものです。ご意見につきましては、本ビジョンを進めていく上で、今後の参考にさせていただきます。 3について、原案全体について、レイアウトの調整を行いました。
134	第1章（全般）	概要版2-3P図書館ビジョンの5つの基本方針全体・これらを実現する上で、身近に図書館があることが大事です	参考	ご提案の趣旨は、「第2章－2 図書館の施設整備の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。

No.	項目	ご意見	対応分類	本市の考え方
135	第1章（全般）	基本方針の優先順位について。図書館はあらゆる市民のためのものであることが最優先されるものであり、図書館によってまちとコミュニティが心地よいものになってこそ、子育てにつながるものと思います。子供は大人を見ているものだと思いますので、大人の図書館とのかかわり方、図書館と地域のかかわり方を見て図書館とのかかわり方の理解を深めていくものとも思いました。よって基本方針1はあらゆる市民のための図書館、基本方針2はまちとコミュニティのための図書館、基本方針3が未来を担う子どもたちのための図書館という並び順に変更をいただき、取り組みの優先順位もそれに合わせて再考をお願いしたい。	参考	横浜では子ども・子育てに関する施策を積極的に進めており、5つの基本方針の順番もそれを踏まえたものです。ご意見につきましては、本ビジョンを進めていく上で、今後の参考にさせていただきます。
136	第1章（全般）	P8：「子ども達のための図書館」と「あらゆる市民のための図書館」のカテゴリーが並列されていますが、摩擦が生じるように思います。「あらゆる市民のための図書館」の中に子どもや親子への配慮とされる方が、対等ではないでしょうか。	参考	いただいたご意見につきましては、本ビジョンを進めていくうえでの参考にさせていただきます。
137	第1章（全般）	基本方針1・2に跨る施策として、クワイエットルームの設置を検討して欲しい。現在の図書館では静かにする事が前提であったりして、障害があったりうまく環境に適應できない子どものための設備がたりないように思う。理想としてはリサ・パップ著の絵本『わたしのそばでできている』のように、アニマルセラピーなども取り入れた一歩踏み出すための充電が出来るような施設になっていって欲しいと願っている。	修正	「第1章－基本方針2 あらゆる市民のための図書館」ではあらゆる世代・多様なニーズを包摂する居心地のよい居場所となることを目指しています。いただいたご意見を踏まえ、基本方針2「取組・機能のアイデア」ハード面に「感覚過敏の方も使えるような静寂室」の事例を追記修正しました。
138	第1章（全般）	1. 図書館ビジョン取り組みに賛成 ・基本方針1～4に関し賛成です。進めていただければと思います。	包含・賛同	ご賛同いただきありがとうございます。ご意見の趣旨を踏まえ、本ビジョンを推進してまいります。
139	第1章（全般）	図書館ビジョン5つの基本方針について 現在、鶴見図書館のボランティア「つるみっこえほん広場」に参加し、乳幼児健診時の絵本の読み聞かせをおこなっています。スマホを操作する親の膝からじっと絵本を見つめる赤ちゃんのまなざしの強さに驚き希望を感じています。 乳幼児期から絵本を読んでもらい読書の習慣を育むことは人が人として発達していく上でなくてはならない要素であることを教員生活の中で実感しております。乳幼児健診時には図書館への利用もご案内しておりますが、8割以上の方が図書館を利用しておりません。図書館の場所も知りません。「利用したいけれど車で移動しているので、駐車場はありますか？」と尋ねられることもあります。駐車場はないことを伝えると「それでは無理ですね」と残念そうです。起伏のある横浜市で1区1館となれば歩いて来られる方は極々近場の方です。「子どもたちのための図書館」が掲げられているので、一番距離が離れている方たちにどのように利用していただけるのか行政としてきめ細やかな具体策を望みます。 又、子どものための蔵書も他の自治体と比べるとかなり少なく、地域でのおはなし会もしておりますが予約しても間に合わず、自己負担で購入することも多いのが現状です。市民一人当たりの図書購入費を大幅に増額して頂かないとこのビジョンは実現できないと思います。 利用してみると不十分さが実感できますが、多くの市民が利用できる条件がないので、声が上がらないのだと思います。小学生がひとりで利用できる範囲に図書館を増設してください。	参考	図書館数の増加へのご意見については、「第1章－基本方針4 利用しやすい図書館サービス」及び「第2章－2 図書館の施設整備の考え方」に関連するご意見として、蔵書へのご意見は、素案の「第2章－1 蔵書・レファレンスの充実」の取組について本ビジョンを推進してまいります。
140	第1章（全般）	全体について ・8pの5つの基本方針を見て、良いアイデアだと思いました。	包含・賛同	ご賛同いただきありがとうございます。ご意見の趣旨を踏まえ、本ビジョンを推進してまいります。
141	第1章（全般）	全体について ・5つの基本方針を見て、本当にこれらが実現されたら、だれもが行きやすく、過ごしやすい空間に図書館がなると思った	包含・賛同	ご賛同いただきありがとうございます。ご意見の趣旨を踏まえ、本ビジョンを推進してまいります。

No.	項目	ご意見	対応分類	本市の考え方
142	第1章（全般）	図書館ビジョンの5つの基本方針は、20年後の横浜市の理想ですけど、それを実現していくためには、これまでの図書館に対する発想、取り組みを大幅に変えていかなければいけませんし図書館予算も今の何倍もの費用をかける必要があります。 横浜市民の不満①図書館が遠すぎる、徒歩範囲の所、身近なところにもっと増やして！②古い本を新しくして、本の順番待ちを短くして（人気本の予約待ちは半年～1年先）等々を解消する為にたくさんの図書館関連施設のネットワーク化を図り充実させていくことが望まれます。コミュニティ形成やら地域支援やら図書館がこれらの中心的拠点となるには、今ある図書館（1区1館）の規模ではとうてい無理です。本の収容スペースすら足りなくて貴重な本をどんどん廃棄しているのが現状ですから。絶版本、品切れ本、児童書の基本図書ですら今の市立中央図書館の知か書庫に1冊残すだけではあまりにひどすぎますよ。（もちろん数年で読まれなくなったベストセラーや古い版の実用書は廃棄すべきですが…）	参考	ご意見の趣旨を踏まえ、素案の「第2章-1 蔵書・レファレンスの充実」の取組について本ビジョンを推進してまいります。図書館数の増加へのご意見については、「第2章-2 図書館の施設整備の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
143	基本方針1	【多様性】・絵本図書館実現概要版：実現に向けて3・2p+基本方針1・2p+基本方針5・3pQ：館内に絵本の専門コーナーを用意するということか。A：現在ある絵本コーナーを充実させることも必要。当提案の肝は、官民連携で親子が気軽に立ち寄ることが出来る高利便性の駅前にある商業施設やテナントビルに空き部屋〔100平方メートル～150平方メートル前後のスペース〕が発生した際、〇〇分室として「絵本図書館」を立ち上げることである。そのためには600冊～700冊程度の絵本を用意したい。	参考	ご意見につきましては、本ビジョンを進める上で、今後の参考にさせていただきます。
144	基本方針1	(4)図書館ビジョンに学校図書館を位置付けること また、今回の図書館ビジョンに欠けていることの一つとしては、学校図書館の位置付けです。 学校図書館は、学校図書館法で規定されたすべての学校（小・中・高等学校、中等教育学校、特別支援学校）に置かなければならない、教育において欠くことのできない基礎的な設備です。使うに足る学校図書館でなければ学校の教育活動を支えられません。 学校図書館の運営は、学校図書館法で「他の学校の学校図書館、図書館、博物館、公民館等と緊密に連絡し、および協力すること」とされています。また、図書館法第3条9には公立図書館の役割（奉仕）として「学校、博物館、公民館、研究所等と緊密に連絡し、協力すること」とあります。公立図書館が学校図書館と連携協力し、支援をしていくことは公立図書館が果たさなければならない重要な役割であり、新しい図書館ビジョンに学校図書館を位置付けることは欠かせないことです。 学校図書館からの図書貸し出し要請などに親身に応えていくには、学校へ届ける配送ルートや貸し出し対象を司書や教員などの個人とせず、学校にするなどの改善が必要です。 子どもたちの生活の第一の場である学校には、学校図書館があり、学校司書が配置されています。学校司書が安心して働き続けられる環境を保持し、子どもたちの豊かな読書体験と学びを深める学習資料の活用能力を身に着ける取り組みの充実こそ、力を入れるべきだと考えます。そのために、学校図書館の蔵書数の充実も早急な課題です。 2020年度の「学校図書館の現状に関する調査」の結果によると、文部科学省が学校図書館蔵書数について定めた学校図書館図書標準とその達成率を示した「学校図書館図書標準の達成率」では、横浜市の公立小学校は、全国20政令市の中で、圧倒的なワースト1位の11.9%です。19位の堺市が29.3%ですから、あまりに異常な状態が続いています。中学校の場合も達成率は35.6%です。子ども達の健やかな成長を保障する図書が全く足りない現状を一刻も早く改善しなくてはなりません。国が定めた基準を達成する計画を作成し取り組むことを求めます。	修正	学校図書館との連携については、「第1章-基本方針1 未来を担う子どもたちのための図書館」のなかで、学校など地域とのつながりのなかで子どもや子育てをサポートするとしています。学校の中には、学校図書館も含まれていますが、いただいたご意見を踏まえ、「第1章-基本方針1」の取組の方向性に「学校図書館とともに子どもたちの学びを支えます」を追記するなど原案を修正しました。いただいたご意見は今後の取組の参考とさせていただきます。
145	基本方針1	素案の内容に概ね同意しますが、数点気になることがあります。基本方針1で「子どもたちのため」とありますが、幼い頃から図書館などで読書体験をすることはそれ以降の少年期や青年期における読書習慣にも結び付くと思うので大いに賛成です。しかし、例えば絵本の読み聞かせ担当など、限られた内容について民間企業と協力あるいは委託などをするのは良いとおもいますが、あくまでも公の施設として市主体となった運営を行ってほしいと思っています。こども青少年局の事業と連携するなど、市の施設であることを十分に活かした運営をしてほしいです。	包含・賛同	ご同意いただきありがとうございます。ご意見の趣旨を踏まえ、素案の「第1章-基本方針1 未来を担う子どもたちのための図書館」の取組について本ビジョンを推進してまいります。

No.	項目	ご意見	対応分類	本市の考え方
146	基本方針1	p.10 未来を担う子どもたちのための図書館について、私も小さい子どもが おりよく利用させてもらいますが、子どもは音が出る絵本や飛び出す絵本な ど、より五感を使って体験できる絵本が好きようです。予算の問題もある かと思いますが、こうした体験型絵本の拡充をしていただけると、本を読む 新たな楽しみに触れやすいのではないかと思います。	参考	ご提案の趣旨は、「第1章－基本方針1 未来を担う子どもたちのための図書 館」に関連するご意見として、今後の 参考にさせていただきます。
147	基本方針1	基本方針1 p.10本の貸出等による学校への授業支援について 横浜市立小学校司書です。自校不足分の図書を公立図書館から借りようと しても、「セットは市内で3つしかありません」といわれ単元の学習時期が他 校と重なるため利用できませんでした。百科事典ポプラディアを1人1冊用 意したいと不足分を借りた時も、ポプラディアは館内利用が基本で1セット 12巻の貸出はなく、旧版の1セットを各巻バラバラに貸出するしかないとい うことでした。つまり横浜市全体で1校しか利用できないのです。学校授業 支援のための貸出を考えるのなら公立図書館の蔵書を充実させてくださ い。さらに学校間、公立図書館とのネットが未整備のため、学校間の相互貸 出、公立図書館への貸出申請ができません。読み物シリーズの欠本など、続 きが読めないと嘆く児童に他校（特に中学）には眠っているだろうに！と忸 怩たる思いです。	参考	学校図書館との連携については、「第 1章－基本方針1 未来を担う子ども たちのための図書館」について本ビジ ョンを推進するとともに、具体的な取組 へのご意見は、今後の参考にさせてい たいただきます。
148	基本方針1	p.10未来を担う子どもたちのための図書館について 「未来を担う子どもたちのため」という考えにとても賛同します。子どもが すぐ行ける場所に図書館があることがとても重要です。一番身近な図書館と して学校図書館があります。子どもたちが外向きやすい学校図書館の整備を 強く求めます。そのために、1校に1人配置されている学校司書の待遇改善を 求めます。今の勤務時間では学校図書館を魅力的な場所に改善するのに時間 が全く足りません。学校司書が経験と責任をもって図書館業務にあたるよ う、子どもたちと向き合えるよう在校時間を延ばしてほしいです。	参考	学校図書館との連携については、「第1 章－基本方針1 未来を担う子ども たちのための図書館」について本ビジ ョンを推進してまいります。学校図書館の 整備や学校司書の待遇改善について は、今後の参考にさせていただきます。
149	基本方針1	基本方針1 未来を担う子どもたちのための図書館について 学校図書館と市立図書館の連携がスムーズに行われるように他県他市(宇都宮 市や松江市など)の例を取り入れ、貸し出しに伴う物流を保障してほしい。	参考	学校図書館との連携については、「第 1章－基本方針1 未来を担う子ども たちのための図書館」について本ビジ ョンを推進するとともに、具体的な取組 へのご意見は、今後の参考にさせてい たいただきます。
150	基本方針1	地域の図書貸出施設(市民図書室)が学校図書館内にあるのは、読書センター だけを求めている昔とは違い、学習センターとしての機能を持たせる今の時 代にそぐわないし個人情報保護の観点からも問題があるのではないかと。利用 者の少ない市民図書室や貸出施設は廃止し、その分の予算を公共図書館や取 次施設、また学校図書館との物流面での連携に少しでも役立てるべきと考 える。	その他	市民図書室等の廃止に関しては、本ビ ジョンに位置づけはありませんが、今 後の参考にさせていただきます。
151	基本方針1	冊子版P.10学校との連携、授業支援について学校貸出をもう少し便利にし てほしいです。	参考	学校図書館との連携については、「第 1章－基本方針1 未来を担う子ども たちのための図書館」について本ビジ ョンを推進するとともに、具体的な取組 へのご意見は、今後の参考にさせてい たいただきます。

No.	項目	ご意見	対応分類	本市の考え方
152	基本方針1	<p>冊子版p9 「基本方針1 未来を担う子供たちのための図書館」取組の方向性「子育て支援施設や学校、地域とのつながりの中で子ども・子育て世代をサポートします」について一番下の方向性の4つ目に、「小中学生が一番身近な学校図書館との連携を強化します」と入れてほしいです。学校図書館との連携の強化の理由は、学校図書館の蔵書が十分でないからです。2023年10月23日の神奈川新聞社HP「カナロコ」には「横浜の学校図書館 蔵書数の達成率が全国平均を大幅に下回る」という記事の中で、横浜市立小中学校の学校図書館図書標準の達成率が、横浜市立小学校が約16%（全国平均71.2%）、中学校も約35%（全国61.1%）にとどまっていると書かれています（※横浜市は2022年調査結果、全国平均は2019年調査結果）。また、この図書標準を達成するために、図書の廃棄を躊躇することもあとと耳にします。ということは、図書標準を達成していても、情報の古い使えない本が多くあることが考えられます。新しい情報の使える本を子どもたちの身近に置くことが本と子供をつなぐこととなります。冊子版p10 「基本方針1 未来を担う子供たちのための図書館」取組・機能のアイデアについてハード面に「学校と市立図書館間の本の流通手段を確立する」を入れてほしいです。ソフト面右列にある「学校図書館支援および学校との連携事業」「本の貸出等による学校への授業支援」「学校の課外活動や委員会活動と連携した、地域での体験・交流につながる取組」と、学校・学校図書館との連携を考えていただけている点はとてもうれしいです。しかし、上でも書きましたが、学校図書館の蔵書は非常に貧弱です。授業支援に合わせた本を揃えられなかったり、数が足らなかつたりすることが多いです。そのような場合は市立図書館に依頼して本を用意してもらうこととなりますが、その流通方法が「その本を利用するもの」が学校所在区の図書館に訪問して貸出返却をするとなっています。忙しい先生方ですので勤務時間内に何うことは難しいです。そのため躊躇する先生も多いです。また、本は冊数が増えるともとても重たいです。セット貸出では最大40冊となります。学校司書が代わりに動くにしても、車がかえませんので交通手段を利用することになります。タクシーも利用できるようですが、事前に申請をする必要があります。明日必要という場合には使えません。ぜひ、流通手段の確立をお願いしたいと思います。もちろん、訪問して市立図書館の蔵書から必要な本を選ぶとすることができ現在の環境も継続してください。ただし、教職員貸出用の図書館カードを作成して持たせてほしいです。休日ふらりと訪れた自宅の近くの図書館でよい本を見つけて子どもに紹介したい、授業で使いたいということが多くあります。しかし、そこは勤務校のある区の図書館ではないので、教職員貸出を利用することができず、個人の図書館カードの中で借りることがあります。教職員貸出用の図書館カードを図書館ではなく、私たちに持たせ、市立図書館であればどの館でも利用できるようになることを希望します。また、教職員貸出で借りた本は学校内での管理及び利用ということになっていますが、子どもたちに貸出できるようにしてほしいです。特に、母国語の本は、その母語の子どもが読めるようにと借りています。しかし、学校の休み時間だけでは読み終わりません。自宅でゆっくり読めるようにその子に貸出せるようにルールを変更してほしいです。（もちろん、紛失や汚損に対してのペナルティはつけます。社会のルールとして指導します）</p>	修正	<p>学校図書館との連携については、「第1章－基本方針1 未来を担う子どもたちのための図書館」のなかで、学校など地域とのつながりのなかで子どもや子育てをサポートするとしています。学校の中には、学校図書館も含まれていますが、いただいたご意見を踏まえ、「第1章－基本方針1」の取組の方向性に「学校図書館とともに子どもたちの学びを支えます」を追記するなど原案を修正しました。</p> <p>学校との連携については、「第1章－基本方針1 未来を担う子どもたちのための図書館」について本ビジョンを推進してまいります。</p>
153	基本方針1	<p>p10基本方針1 未来を担う子どもたちのための図書館の「子ども」についてこれからの図書館のイメージの「子ども」を指すのが未就学児のように感じました。小中高校に対してのイメージが現れるとよりよいと思いました。アイデアとして、小学生くらいでは、歩いていける距離でなければ、なかなか一人では図書館へは行けません。図書館行のバスを走らせるとか、はまかぜ号が放課後学校にやってくるとか、そんなイベントがあると子どもが本に興味を持ってくれるのではないのでしょうか。（はまかぜ号にはたくさんの児童書が積んでありますが、平日の日中は利用できる子どもは学校に通っています。利用した時に残念だと思ったことがあります）中学生であれば担当の司書を配置してレファレンス相談を受けるとか、学習スペースを設けるとか。進路相談会を実施するとかはどのように</p>	修正	<p>いただいたご意見を踏まえ、「第1章－基本方針1」に注釈として「子ども」が「概ね高校生までの子どもたち」を想定していることを追記するなど原案を修正しました。</p>

No.	項目	ご意見	対応分類	本市の考え方
154	基本方針1	<p>●10p 学校図書館支援及び学校との連携事業について 横浜市で学校司書をしています。市立図書館で本を借りることも多い仕事ですが、教職員貸出の改善を望みます。まず、40冊まで借りられることは大変ありがたいのですが、運搬がとても大変です。近年、運搬のために年に3回、タクシー券が使えるようにはなったものの、使用するためには事前に細かな手続きが必要で、その細かい手続きを踏んでいる余裕がないことも多々あります。また運搬の際には、40冊の本を自分で用意した複数の袋等に入れて運びますが、とても一度には運べません。せめて、教職員貸出で30冊、40冊の本を一度に借りる際に教職員が使える運搬のシステムがあればいいのにといつも思います。また、蔵書管理のシステムも市内全域の図書館で新しいものになるようですが、そこに学校図書館のPCでも直接アクセスできるようになればいいのと感じます。学校図書館のPCはネットに接続されておらず、市立図書館の図書については、別のネットにつながる端末で検索をしながらリストを作成し、それをFAXまたは図書館カウンターに直接持参して貸出手続きを踏まなくてはなりません。学校図書館も、公立図書館のネットワークにアクセスできるようなシステムを切に望みます。学校司書だけでなく、実際に授業を行う教職員とっては、それはとても有効なものになると思います。また、どの学校も同じような時期に同じ単元を学習しますので、その単元で使いたい本がなかなか借りられなかったりすることもあります。セット貸出も、早めに予定を立てて申し込まなければ使用するのが難しいこともあります。いつでも、学校図書館が安心して必要な量の本を公共図書館から借りられるようにしていただけたら、それが地域の公共図書館から借りられている本であるということを学校でその本を使用する子どもたちが知った際には、子どもたちにとってより地域の公共図書館が身近なものとなり、そこから子どもたち自身が「図書館に行ってみよう」「図書館ってこんな資料があるのだな」等、地域の図書館により関心が高まるのではないかと感じます。学校図書館にとって利用しやすい公共図書館にすることが、地域の図書館と地域の子どものための橋渡しにもなると感じます。</p>	参考	<p>学校図書館との連携については、「第1章－基本方針1 未来を担う子どもたちのための図書館」について本ビジョンを推進するとともに、具体的な取組へのご意見は、今後の参考にさせていただきます。</p>
155	基本方針1	<p>基本方針1、未来を担う子供たちのための図書館に強く賛同します。子供たちの心の健やかな発達のために、本は欠かせないものだと考えます。公の図書館は子供たちが楽しくほんと触れ合える場所であってほしいです。ハード面で「音を受容する雰囲気づくり」とありますが、最も重要なことのひとつだと思います。まず、こどもの声は騒音ではないということを知り、市民へ啓蒙して頂きたいです。私自身は中図書館、中央図書館をよく利用していますが、子どもがリラックスできるスペースが極めて狭く、周囲に気を遣った保護者の「静かにしなさい」という声もよく耳にします。声をひそめて静かにしなければならぬ場所を子どもたちが好きになるはずがなく、非常に残念なことです。理想は子供が安全に、安心して本を楽しむことができ、保護者が読み聞かせをしたり、また、子ども同士が本について話したり議論したりできる場所であることです。もちろん静かに読書を楽しみたい方もいらっしゃるのですが、こどものフロアを独立させたり、その他施設の間取りや建材で工夫して、にぎやかなスペースと静かなスペースを区切れればとても良いと思います。</p>	包含・賛同	<p>ご賛同いただきありがとうございます。ご意見の趣旨を踏まえ、素案の「第1章－基本方針1 未来を担う子どもたちのための図書館」の取組について本ビジョンを推進してまいります。</p>
156	基本方針1	<p>10p. 学校図書館支援及び学校との連携事業について 横浜市の学校司書です。公共図書館の学校図書館支援のひとつ教職員貸出しは、学校司書の負担が多く使いにくい。公共図書館までの運搬が物理的にも時間的にも辛く、研究会などでなければ自校の資料でどうにか賄えるよう最低限を揃える蔵書構築を目指すようになりました。瀬谷区が区内の学校に1、2ヶ月周期で、瀬谷図書館からの教職員貸出しを巡回配送する取り組みをしています。早めの予定で貸出依頼をするため、授業進度にあわないこともありましたが、学校まで配送、引き取りをしてもらえただけ助かりました。また、4月中であれば、職員貸出のカード登録をFAXやメールなどで受付けてくれました。異動で横浜市のどの区でもやっているのではないことを知り、職員貸出からまた足が遠のいています。区でなく市が先導した巡回配送のシステムの構築を希望します。</p>	参考	<p>学校図書館との連携については、「第1章－基本方針1 未来を担う子どもたちのための図書館」について本ビジョンを推進するとともに、具体的な取組へのご意見は、今後の参考にさせていただきます。</p>

No.	項目	ご意見	対応分類	本市の考え方
157	基本方針1	9Pの子どものにぎやかな声：子どもの声が許容されるのは大前提と感じます。保育ルームや保育人材の確保はとても素晴らしいです。それはぜひ実現させて欲しいです。以前、藤沢駅前の市民図書館を見学した際、よく設えてあるなど思いました。ああいったイメージのものを中央館だけではなく、各地区館に設置を希望します。一方で、子どもでも聴覚過敏の子などがいます。それは大人でもそうです。そういった方向けの静謐室のようなものもしっかり作られることを希望します。	修正	ご意見の趣旨を踏まえ、「第1章-基本方針1 未来を担う子どもたちのための図書館」の取組について本ビジョンを推進してまいります。「第1章-基本方針2 あらゆる市民のための図書館」ではあらゆる世代・多様なニーズを包摂する居心地のよい居場所となることを目指しています。いただいたご意見を踏まえ、基本方針2「取組・機能のアイデア」ハード面に「感覚過敏の方も使えるような静寂室」の事例を追記修正しました。
158	基本方針1	P10の学校図書館支援：手厚くして欲しいと思います。学校司書の方には、子どもに寄り添う時間をたくさん取って欲しいと個人的には思います。資料選定の面で、ぜひ地域図書館からサポートをして欲しいです。	参考	学校図書館との連携については、「第1章-基本方針1 未来を担う子どもたちのための図書館」について本ビジョンを推進してまいります。図書館ビジョンは市立図書館の「目指す姿」や「目指す方向性」を示すものであり、学校図書館との連携に関する具体的な取組について、位置づけはありませんが、今後の参考にさせていただきます。
159	基本方針1	基本方針1.2pにある「子どもたちのための図書館」は少子化が進む中、現実的ではない。また子連れだけを前提としているように見えるが、実際には子どもだけで自主的に足を運ぶところまで行ってこそ成功だろう。なので、子どもが不審者の被害に遭わないよう警備や監視の備えにも力を入れてほしい。また子どもたちの利用マナーを向上させるため、例えば大学生などのメンターを置くことよと思う(マナー向上や躰は司書の仕事ではない)。	参考	ご意見につきましては、「第1章-基本方針1 未来を担う子どもたちのための図書館」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
160	基本方針1	【基本方針1】未来を担う子どもたちのための図書館 ●まず、優先するべきは学校図書館の充実と連携と拡大ではないかと思ひます。学校図書は、子どもが図書利用に触れる大事なスタート地点です。また授業との連携や、地域図書館との連携など、学校司書の担う役割は大きく、そのための研修や、待遇の改善をより進める必要があります。 ●子どもたちの図書環境は、目標は、書かれている通りですが、現状は、図書館があまりにも狭い。横浜の図書館の施設の最も深刻な課題ではないかと思ひます。子育て世代が、集まりやすい環境をつくる、第一歩は図書館の子どもコーナーが広くのびのびの明るいことではないでしょうか？	参考	学校図書館との連携については、「第1章-基本方針1 未来を担う子どもたちのための図書館」について本ビジョンを推進してまいります。子どもコーナーの拡張へのご意見は今後の参考にさせていただきます。
161	基本方針1	p10 学校図書館支援や連携と記載があるので、ソフト面として各学校の貸出カードと公共図書館カードの一元化。(各学校の生徒が学校で公共図書館の本を受け取り貸し出せる様に) また、教員貸出やグループ貸出の際はハード面として学校と公共をつなぐ郵送や配送サービスをお願いしたいです。	参考	学校図書館との連携については、「第1章-基本方針1 未来を担う子どもたちのための図書館」について本ビジョンを推進するとともに、具体的な取組へのご意見は、今後の参考にさせていただきます。
162	基本方針1	p10 学校図書館の連携ということで、教職員貸出やグループ貸出の際はFAX申し込みでは無くネット予約にして欲しい。ハード面に書名や蔵書番号がわかるものは個人カードと同じ様に、教職員カードで検索し、予約出来るようにして欲しいです。	参考	学校図書館との連携については、「第1章-基本方針1 未来を担う子どもたちのための図書館」について本ビジョンを推進するとともに、具体的な取組へのご意見は、今後の参考にさせていただきます。

No.	項目	ご意見	対応分類	本市の考え方
163	基本方針1	基本方針1について、学校連携の点で要望です。私は学校司書をしており、教職員貸出を利用することがありますが、学校から図書館が遠い場合に教育委員会のタクシー利用も日時を決めたり手続きが煩雑で使いつらく、地域によって利用状況が変わってしまっていると感じています。学校が所属する区以外の図書館でも教職員貸出を可能にしてほしい。また、図書の貸出返却の運搬に関しては、メール便やまかせ号を活用するなど、公的な形で運搬する方法を整えて欲しいです。個人で借りに行くのではなく、勤務として勤務時間内に貸出返却に行くため、車で移動などができない中、1クラスの子どもが利用する本(30冊以上)を運搬しなければならない事情を汲んでいただければと思います。また、学校司書と学校図書館のIT関連の機器が完全に各学校まかせになっており、市として決まった予算がついておらず、運用の指針もほぼありません。そこで、学校司書も今後、ほかの教職員と同様にインターネットにつながるPCと、Googleアカウントを支給して欲しいです。個人情報が入っている学校PCやiPadが次々とオンラインになっている中、図書館のPCだけは未だにオフラインで利用するルールになっています。学校図書館の図書システムも図書システムが入っているPCも各学校の予算で個別に購入していて、学校内での保守の点検からも漏れています。市で一括購入した方が全体の費用的にも効率が良いのではないのでしょうか。また、市立図書館と学校図書館の書誌情報なども共有できれば、市と学校間、相互の連携が大きく進むと思います。	参考	学校図書館との連携については、「第1章-基本方針1 未来を担う子どもたちのための図書館」について本ビジョンを推進するとともに、具体的な取組へのご意見は、今後の参考にさせていただきます。
164	基本方針1	【多様性】・視聴覚室[シアタールーム]設置 概要版:基本方針1・2p Q:どの様な用途があるのか。A:最大の目的は、日頃「映画館」などには行くことが出来ないためタブレット端末などの小さい画面でしか映画や映像を見ることの出来ない支援学校や施設を利用する『医療的ケア児』やその家族とともに映画を楽しんでもらうと言うもの。車椅子やストレッチャーに乗ったまま、もしくはマットを敷いた床に寝転んで大型スクリーンに映し出される映画を楽しんでもらう[内容を定期的に入れ替え開催し、児童を招待する]室内はフローリング床として、他のイベントにも転用する。	参考	ご意見につきましては、「第1章-基本方針1 未来を担う子どもたちのための図書館」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
165	基本方針1	基本方針1(P10) 学校図書館との連携をお願いします。 特に、小学校は予算が少なく、買い換えも難しい状況です。 古い図書(2000年以前の出版)も多く残っている状況です。 教科書が改訂する度に、関連図書も見直しなければいけません、6学年分となると購入も一括では難しい状況です。 ぜひ、一般貸出とは別枠で学校図書館向けに貸出支援などをして欲しいです。	参考	学校図書館との連携については、「第1章-基本方針1 未来を担う子どもたちのための図書館」について本ビジョンを推進するとともに、具体的な取組へのご意見は、今後の参考にさせていただきます。
166	基本方針1	基本方針1 p.10 ■取組・機能のアイデア ・本の貸出し等による学校への授業支援 ・学校図書館支援 本の貸出しの仕組みは現在もありますが、貸出可能な本のセット数が横浜市全体の学校に対して少ないため、希望の時期に借りられないことが多いです。また、借りる際は教員や学校司書が取りに行かなければならず、タクシー利用も非常に煩雑な手続きが必要なため、あきらめてしまう場合もあります。学校が借りられるセット数の増加と、メール便等の利用ができるようになることを希望します。 千葉など他の自治体が行っているような、横浜市全体を包括する学校支援センターのような部署が出来れば、学校司書が授業支援や図書館の環境整備について相談がしやすくなると思います。現在は専門的な知識を持たずに学校司書になる場合もあるので、教育委員会と連携して学校司書の研鑽に力を借りたいです。	参考	学校図書館との連携については、「第1章-基本方針1 未来を担う子どもたちのための図書館」について本ビジョンを推進するとともに、具体的な取組へのご意見は、今後の参考にさせていただきます。学校支援センターについては、教育委員会内にその機能を担う部署がありますが、ご意見については今後の参考にさせていただきます。
167	基本方針1	基本方針1の子どもたちのための図書館の機能を充実するは大切だと思います。福井県立図書館のHPにティーンズコーナーがあり、ティーンズにお勧めする本が紹介されていて、参考になりました。子どもたちに良い本を読んでも欲しいと言う図書館の思いが伝わってきます。(これなどは現在でもできそうかなと思いますが。)子供たちに対して図書館はどういう役割を持ちたいのか、そのためにどんな取り組みが可能なのか、ビジョン案からもう少し具体的に见えてくるといいかなと感じます。	参考	ご提案の趣旨は、「第1章-基本方針1 未来を担う子どもたちのための図書館」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。

No.	項目	ご意見	対応分類	本市の考え方
168	基本方針1	<p>1. 未来を担う子供達のための図書館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じ学校（私立も含む）とも連携した学習や知的イベントを催す。ミニフィルム上映会をやって、監督や撮影係、美術係の話聞いてもいい。 ・余裕のない家庭のため、大学生や高齢者、民間サークル等のボランティアによる読み聞かせ、補習、社会人による講演、社会見学等を実施する。 ・高校生らのアルバイトも採用し、彼らの目線を取り入れる（収蔵本や展示の仕方、紹介文の作成など）。 ・司書という仕事・立場に興味を持ってもらう。例えば各学校の「図書係」を招いた体験会など。 	参考	ご提案の趣旨は、「第1章－基本方針1 未来を担う子どもたちのための図書館」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
169	基本方針1	<ul style="list-style-type: none"> ・基本方針1 <p>これについても、決して自明ではないことに、もっと自覚的であるべきだと思います。未来を担う子どもたちの図書館を！というのは大切であり必要な概念ですが、「なぜそうなのか」について、きちんと言葉にして明示することが必要と思います。</p>	参考	ご意見につきましては、「第1章－基本方針1 未来を担う子どもたちのための図書館」に関するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
170	基本方針1	<p>横浜市図書館ビジョン（素案）概要版p1「まち・地域とのつながりによる拡張」の図について、p3の基本方針 未来を担う子どもたちのための図書館について ◎学校との関わり、若しくは学校図書館も入れて欲しいです。学校との「協働」を強調することで、保護者からの注目度も違うと思われます。</p>	修正	基本方針1のなかで学校など地域とのつながりのなかで子ども・子育て世代をサポートするとしています。学校の中には、学校図書館も含まれますが、いただいたご意見を踏まえ基本方針1の取組の方向性に「学校図書館とともに子どもたちの学びを支えます」を追記するなど、原案を修正しました。いただいたご意見は今後の取組の参考とさせていただきます。

No.	項目	ご意見	対応分類	本市の考え方
171	基本方針1	<p>基本方針1未来を担う子どものための図書館P10「学校図書館支援及び学校との連携事業」について先生の多忙と学校司書の孤立（一人職場と言われたまま）を子どもの読書の障壁（バリア）ととらえます緑区の小学校司書の私が障壁を感じる現状A授業支援例）R5年度、5年国語「表やグラフを用いて書こう」の授業支援は不要だといわれたこと朝日ジュニア学習年鑑（2013年版以降は同じ目次編集になっている）を統計集の使い方入門ワークとしてなるべくクラス人数分用意したい（蔵書は11冊ある）ので教職員貸し出しを利用したいと学年に伺いました。先生からは社会科資料集を使うので必要ない、また夏休み中でも教職員貸し出しの券を作り緑図書館に行く時間はとれないといわれました。11月、子どもがばらばらと図書室に来たクラスもありました。「先生、先生」という声が飛び交いました。担任の先生は「これだけたくさんの本があるのだから、どこかにあるだろう」とおっしゃいました。私は準備不十分のまま、子どもの話を聞いて資料を探しました。課題解決の手がかりがえられない子もいたまま終わった授業時間でした。ある先生に「来年度本をそろえるために、この授業の成果物を見せてください」と頼みましたが断られました。このあいまいな達成度把握が学校司書の現状です。＜必要な対策＞クラス人数に対して十分な数の資料を、ハードル低く用意できるようにする必要があります。この単元なら「朝日ジュニア学習年鑑」「日本のすがた」は子どもにぜひ手にとってほしい資料だと思います。（ウェブでは「統計ダッシュボード」が子どもでもみやすいが、統計数が少ない。）教職員貸し出しをもっとハードル低くして、定期的な物流システムにすることを望みます。「本はハードル低く用意できます、こんな成果物を作らせることができますよ」という先生との話し合い、実践を積み上げていけるように、公共図書館の支援をお願いします。B子どもの身近に、読みたいと思ったときに本があるか担任の先生は、個別の課題に取り組みせて個人の進捗がまちまちな時など、（図書室に連れていくほどの時間は取れないが）本を読ませたい時間があるようです。その時、廃棄本の学級文庫で間に合っているのが現状です。公共図書館の「読んでみようこんな本」のお知らせに加えて、本そのものも配送していただきたいです。2018年夏の学校司書の選択研修で、瀬谷図書館の取り組みの紹介がありました。ぜひ継続していただきたいです。公共図書館にお願いしたい支援その1公共図書館と学校図書館との定期的な物流方法を作ってください。・知識の本は品切れのものもあり、公共の本が不可欠。・子どもの身近に（教室の近く）本を置くのに、公共の支援があったら潤沢になる。参考市立図書館との連携<市立図書館が中心となったシステム化により本を有効活用>市立図書館の司書が選定した様々なジャンルの本が周期的に児童に届けられたり、授業に必要な本が配送されたり、公立図書館との連携が充実してきた。学校司書が授業で活躍するための研修なども行われ、日々、学校司書が担任とタッグを組んで本と子どもをつなぐ取り組みが行われている。写真1の説明授業で使う本をリクエストすると、市立図書館から本が送られてきた。学校司書さんと図書委員会の児童が教室に届けてくれる。1テーマ40冊、合計200冊まで対応してもらえ。写真2の説明こちらは学校間を巡る巡回図書。学年に合った内容の本が40冊、各ジャンルミックスされて送られてくる。この他に団体貸出を受けると500冊まで最長で半年間借りることができる。【横浜市学校司書勉強会のレジュメより】その2学校図書館の現場を把握し記録を残してください・学校図書館からのレファランス、貸し出し資料名について、同意があれば公開、体系化できませんか。学校司書側もどの資料が有効だったか、可能な限り公共図書館側に伝えるとよりよい記録になります。（◎○△などの形で）・レファランスはメールでのやりとりはできませんか。・6月の区の図書館研修で、実践記録（授業支援、環境整備）を可能な範囲でデータ交換できませんか。・公共図書館司書の学校図書館への巡回相談をお願いできませんか。R5年度の教委学校司書担当者の巡回は、服務上の相談ができてありがたく思いました。以上、学校図書館の現状を報告し2点の支援を要望します。</p>	参考	学校図書館との連携については、「第1章－基本方針1 未来を担う子どもたちのための図書館」について本ビジョンを推進するとともに、具体的な取組へのご意見は、今後の参考にさせていただきます。
172	基本方針1	<p>2pの基本方針1について、子どもたちのための図書館と言いながら、市立図書館から遠い学校が多数あり、児童生徒・教職員が使いづらい。ひいては各学校図書館の充実が必須であるが、学校図書館についての具体的なビジョンがない。例えば、図書費の充実(特に読書と学びのきっかけとなる小学校)、学校図書館と市立図書館の蔵書管理システムの連携、学校司書が外部の研修会へ参加できるような仕組みづくり、使いづらい図書運搬ルールの見直しなどを求める。</p>	参考	学校図書館との連携については、「第1章－基本方針1 未来を担う子どもたちのための図書館」について本ビジョンを推進するとともに、学校図書館の充実へのご意見は、今後の参考にさせていただきます。

No.	項目	ご意見	対応分類	本市の考え方
173	基本方針1	①基本方針1の、「こどもたちの世界を広げるきっかけをつくります」について現在ほかの自治体と比較して人口に対する蔵書数は横浜市は著しく低いです。まずは蔵書をしっかり増やしてほしいです。人口一人当たりに対する蔵書数を少なくとも川崎市や東京都と同等になるようにしてください。また、小学校、中学校が授業で利用することができる蔵書をもっと準備してほしいです。小中約500校あるのたいし、例えばポプラディアのセット貸し出しのセットは1つしかありません。しえんセンターをつくるなりして、本腰をいれて学校図書館をサポートしていかなければ、こどもたちの本離れ、インターネットを利用するだけの丸写し学習に一層傾いていきます。	参考	ご意見の趣旨を踏まえ、素案の「第1章－基本方針1 未来を担う子どもたちのための図書館」について蔵書の充実など本ビジョンを推進してまいります。学校図書館との連携については、「第1章－基本方針1 未来を担う子どもたちのための図書館」について本ビジョンを推進するとともに、具体的な取組へのご意見は、今後の参考にさせていただきます。
174	基本方針1	②基本方針1の、「子育てしえん施設や学校、地域とのつながりのなかでこども・子育て世代をサポートします」に関して小学校の学校図書館と区の市立図書館をシステムと物流それぞれつないでほしいです。現在、各区に1館で市立図書館が運営されています。小学生が一人で市立図書館に出向くとなると非常に限られた地域のこどもたちしかいくことができないのが現状です。電車やバスを使わないといけない児童の方が圧倒的に多いです。住んでる場所によって図書館サービスが受けられないという事実はほかの自治体と比較しても残念でなりません。小学校はどの児童も歩いて通えます。システムと物流をつなぎ、小学校の学校図書館を通じて公共図書館のサービスを受けることが可能となれば、1区に1館しかなくてもサービスがいきわたります。	参考	学校図書館との連携については、「第1章－基本方針1 未来を担う子どもたちのための図書館」について本ビジョンを推進するとともに、具体的な取組へのご意見は、今後の参考にさせていただきます。
175	基本方針1	■p9.基本方針1未来を担う～戸塚区には学校以外の屋内で子供たちが集まって活動できる公共施設が少ないです。公共施設でも休憩用のイスがあるだけで、長居をさせないムードをひしひしと感じます……。こどもたちだけで集まれる学童のような、宿題カフェのようなエリアがあると嬉しいです。	参考	ご提案の趣旨は、「第1章－基本方針1 未来を担う子どもたちのための図書館」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
176	基本方針1	①未来を担う子どもたちのための図書館について記載のある内容について、今ある子育て支援施設とどう違うのか？という点が良くわかりませんでした。図書館に求められるものと子育て支援施設に求められる要素は重なる部分もあるかもしれませんが、もう少し本にフォーカスしたアプローチがあってもいいのではないかと、例えば本の面白さを伝える方に特化する人員配置やイベントを考えてもいいのではないかと思います。	参考	図書館には、すべての人が知識や情報を得ることができる権利を保障する役割があります。この役割を果たしつつ、子育てなどの機能を充実させていきます。ご提案の趣旨は、「第1章－基本方針2 あらゆる市民のための図書館」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
177	基本方針1	3、学校図書館との連携 目下、横浜市の小・中学校には、「学校司書」中の方が配置されていますが、市図書館との連携が図られていないので、孤軍奮闘されています。是非、市図書館支署による専門性を発揮した連携・援助が図られれば、生徒たちの身近に図書がいきわたり学習の援助に大きく寄与されるはずですよ。	参考	学校図書館との連携については、「第1章－基本方針1 未来を担う子どもたちのための図書館」について本ビジョンを推進してまいります。市立図書館では毎年学校向けプログラムを発行して各校にご案内していますのでぜひ活用ください。さらなる連携については、今後の参考とさせていただきます。
178	基本方針1	全体について <概要版> ・くつろげる子どもエリア、ゆとりのある閲覧スペースなどはたしかに良いと思いました。知り合いのお母さんは「本を子どもによませたいけれども、なかなか難しい…」とおっしゃっていたので、あったらすごく楽だと思います！	包含・賛同	基本方針1の機能・取組のアイデアについてご賛同いただきありがとうございます。ご意見の趣旨を踏まえ、素案の「第1章－基本方針1 未来を担う子どもたちのための図書館」の取組について本ビジョンを推進してまいります。
179	基本方針1	全体について ・子供が声を出す～というようなことが書いてあるが、防音室などを設けたら子どもも気にせず楽しめるのではないと思った。また、図書館で読み聞かせイベントもやってみたら、小さい子供も楽しみやすいと思った。	修正	ご意見の趣旨を踏まえ「第1章－基本方針1 未来を担う子どもたちのための図書館」の取組・機能のアイデアに「静寂とにぎやかさなど、多様な過ごし方を受容する雰囲気づくり」を追記するなど原案を修正しました。いただいたご意見につきましては、本ビジョンを進めていくうえでの参考にさせていただきます。

No.	項目	ご意見	対応分類	本市の考え方
180	基本方針1	基本方針1p10学校図書館支援及び学校との連携事業について学校司書への人的支援をさらに希望します。各地域図書館が中心となった地域のネットワークが必要です。	参考	学校図書館との連携については、「第1章-基本方針1 未来を担う子どもたちのための図書館」について本ビジョンを推進するとともに、具体的な取組へのご意見は、今後の参考にさせていただきます。
181	基本方針1	p10 未来を担う子供たちの図書館について。* 図書館や貸出拠点の数が少な過ぎる。増やして欲しい。1、市内の小中学校で学校司書として10年間勤務しているが、学区にこれらの施設がなく困っている。1つは、児童・生徒が徒歩で通う事ができず、図書館利用を勧めることができない。家庭環境の良くない場合、図書館には1度も行った事が無い。学校図書館の資料だけでは足りず、公共図書館の利用をすすみたいのだが、難しい。2、業務で使う資料を借りるのに不便。私たち学校司書は勤務時間数も少なく、貸し借りのための移動時間を確保するのも困難。タクシー利用には制約が多く、基本的には公共交通機関を利用する。ロスタイムが多く、多くの書籍を移動させるのも困難。自転車で移動する事が多いが、多数の資料の移動には危険を感じる時もある。* 貸出用の蔵書構成を教育課程に合わせて欲しい。1、百科事典、学習年鑑など、各学校で必要数揃えるのは困難。公共図書館で1クラス分貸出して欲しい。2、すでにいくつかのセット貸出があるが、さらに充実してほしい。読書会が行えるよう、同一タイトルのものが4、5冊ずつそろっているセットも用意して欲しい。3、現在の蔵書の内容は、良いと思う。しかし、市民の意見を集めるうちに、娯楽性の高いものにならないように注意して欲しい。	参考	蔵書の充実は、素案の「第2章-1 蔵書・レファレンスの充実」の取組について本ビジョンを推進してまいります。学校図書館との連携については、「第1章-基本方針1 未来を担う子どもたちのための図書館」について本ビジョンを推進するとともに、具体的な取組へのご意見は、今後の参考にさせていただきます。
182	基本方針1	冊子版基本方針1 未来を担う子どもたちのための図書館 p10 について「学校図書館支援及び学校との連携」小・中学校の学校図書館との連携や支援を充実してほしいと思います。学校では授業の単元の時にだけ必要である本、探求学習で学校で集めきれないテーマの本を子どもに手渡したい時があります。それを公共からサポートいただけるとよいと思います。横浜市の学校司書が出張して本を借りたくても出張も簡単でなく、制限があります。学校図書館のネットワークとつながり、予約・貸借ができ、本を配送してもらえたらと思います。小・中学生は行動範囲に公共図書館がない場合も多くあり、公共図書館が学校図書館と連携することで子どもの読書活動や探求学習が充実します。そして、将来、自分で公共の図書館へ足を運び課題解決していく力になります。	参考	学校図書館との連携については、「第1章-基本方針1 未来を担う子どもたちのための図書館」について本ビジョンを推進するとともに、具体的な取組へのご意見は、今後の参考にさせていただきます。
183	基本方針1	10pの学校図書館支援について、「本の貸し出し等による学校図書館の授業支援」とありますが、学校図書館支援センターを設置して学校司書経験者を配置し、選書の相談や学校図書館の授業へのサポート事例を提案するなど、先行して実施している自治体を参考に積極的に展開する必要があると思います。学校への本（資料）の貸出は教員個人でなく、学校図書館を窓口にする。どんな資料が役立つかが司書が把握できることで、次年度の選書につながり、学校内の資料の蓄積につながります。司書が取りに行くのではなく、市の図書館を中心とした物流を確保すること。小中学校の横のつながりだけでなく、高校もネットワークに加えること。小中学校の調べ学習の書籍は、高校でも利用できる内容のものがたくさんあります。時期的に利用していない資料の活用は、市全体の各校の資料を有効活用することになります。	参考	学校図書館との連携については、「第1章-基本方針1 未来を担う子どもたちのための図書館」について本ビジョンを推進するとともに、具体的な取組へのご意見は、今後の参考にさせていただきます。学校図書館支援センターについては、教育委員会内にその機能を担う部署がありますが、ご意見については今後の参考にさせていただきます。
184	基本方針1	冊子版p.10の「基本方針1 未来を担う子どもたちのための図書館」の「ソフト面」で、より深い学習が促進されるように、専門家と結びつける施策を取っていただきたいです。例えば、数学は、実験などの設備が不要で数百年の歴史があっても古びず、本による学習との親和性が高い学問で、横浜国立図書館には同じ分野でも多数の視点やレベルの違う書物と出会える良い場となっていますが、数学は積み上げの学問であるために、理解に詰まってしまったり次に学ぶべき方向が分からないといった場面があると思います。そういったとき、横浜国立大学など先生や学生からのアドバイスが受けられると、より高く能力を引き出せるきっかけになると思います。横浜国立大学の図書館には、先生が執筆した書籍が集められた書棚がありますが、書かれた著書を紹介し、執筆者からのより詳しい回答も得られる、私大との連携ならではの効果も生まれるように思います。技術者や作家など、登録制のボランティアを募るといったアイデアもあるかと思っています。	参考	ご提案の趣旨は、「第1章-基本方針1 未来を担う子どもたちのための図書館」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。

No.	項目	ご意見	対応分類	本市の考え方
185	基本方針1	9 pの子育て支援施設や学校、地域とのつながりのなかで子ども・子育て世代をサポートしますについて、学校との連携ではなく学校図書館との連携として重点を置き、取組の一つの柱に取り上げる。1区に1館しかない現状では、大半の子ども（特に小学生）にとって図書館は歩いて行ける場所ではなく、利用できるかどうかが親の意識や行動に左右され、利用しにくい。かつての横浜市には多数の子ども文庫、地域文庫が存在し、団体貸出や情報提供など図書館の支援を受けて、子どもの身近な図書施設として子どもの読書に多大な貢献をしてきた。現在、文庫の利用は減少しており、すべての子どもが利用可能なのは、学校図書館である。現在、横浜市の学校図書館には1校専任の学校司書が配置されて、図書館サービスを行っている。学校図書館をサービス拠点の一つ、図書館ネットワークの一部と考えれば、子どもと教職員への全域サービスが実現する。学校司書との情報交換の機会を増やし、連携行事などもその中から生まれるようにする。学校図書館からは、今の子どもの興味、関心や学びのありようなどの情報が得られ、公共図書館サービスにも反映できる。10 pのハードの取組について、学校図書館と横浜市図書館及び学校図書館同士の物流を含めたネットワークを構築する。地域図書館を中心に区内の学校を定期的に巡回するルートを作る。将来的には、個人（児童・生徒・教職員）が、学校図書館で公共図書館の資料を借りたり、返したりできるようにすることも考えられる。	修正	学校図書館との連携については、素案の「第1章－基本方針1 未来を担う子どもたちのための図書館」のなかで、学校など地域とのつながりのなかで子どもや子育てをサポートするとしています。学校の中には、学校図書館も含まれていますが、いただいたご意見を踏まえ、「第1章－基本方針1」の取組の方向性に「学校図書館とともに子どもたちの学びを支えます」を追記するなど原案を修正しました。学校図書館との連携については、「第1章－基本方針1 未来を担う子どもたちのための図書館」について本ビジョンを推進してまいります。
186	基本方針1	P10：日常生活圏との整合性・「靴を脱いでくつろいで過ごせるような子どもエリア」と言うが、そのような場所は、身近な日常生活圏にあってこそ意味がある。わざわざ電車に乗って靴を脱いでくつろぎに行くのは、日常的な感覚としてはナンセンスである。そこで、こうした日常的な活動の場は思い切って日常生活圏の地区センター、コミュニティハウス、地域ケアプラザ等に任せて、図書館は、各区に1か所は必要となる知識・情報のセンター機能に特化すべきである。そのような視点から地域の多様な施設との連携・協働のあり方を探ることが必要である。さもなければ、日常生活圏ごとに図書館を増設の考えがあってよいと思います。	参考	ご提案の趣旨は、「第1章－基本方針1 未来を担う子どもたちのための図書館」「第2章－2 図書館の施設整備の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
187	基本方針1	基本方針1 子供の勉強の補習ができる環境の提案	参考	ご提案の趣旨は、「第1章－基本方針1 未来を担う子どもたちのための図書館」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
188	基本方針1	・「未来を担う子どもたちのための図書館」（10 p） 子どもたちが必ず利用する学校図書館についての位置づけが弱い。学校司書が配置されてすでに10年たっている。一定の成果をあげているが、市立図書館との連携（本の物流、司書支援など）、子どもたちの情報リテラシーなど課題も山積している。現状分析をふまえた踏み込んだ記述が欲しい。	修正	学校図書館との連携については、素案の「第1章－基本方針1 未来を担う子どもたちのための図書館」のなかで、学校など地域とのつながりのなかで子どもや子育てをサポートするとしています。学校の中には、学校図書館も含まれていますが、いただいたご意見を踏まえ、「第1章－基本方針1」の取組の方向性に「学校図書館とともに子どもたちの学びを支えます」を追記するなど原案を修正しました。学校との連携については、「第1章－基本方針1 未来を担う子どもたちのための図書館」について本ビジョンを推進してまいります。

No.	項目	ご意見	対応分類	本市の考え方
189	基本方針1	<p>p10基本方針1未来を担う子どもたちのための図書館（学校図書館支援及び学校との連携事業・本の貸出し等による学校への授業支援）基本方針4利用しやすい図書館サービス（現状）市立図書館と市立学校図書館が連携し、「教職員貸出」や授業単元のテーマに合わせた資料図書の「セット貸出」の充実が努められていることに感謝いたします。また母語が外国語の子どもたちのためのセット貸出も近年充実されており、外国籍の子どもたちの増加にも対応されていることを感じております。各図書館には、学校連携担当の職員が配置されており、学校側からの相談にも対応して頂いております。学校側が本の借り入れをした際には大量の図書を運ぶ手段として年3回のタクシーの利用が認められています。（現在の問題点）①授業で行われる調べ学習で使用する資料図書が、学校の蔵書だけでは数量・質ともに足りない場合、上記の「教職員貸出」や「セット貸出」に助けられています。他校も同じ時期に借入希望が殺到する場合もあり、早い者勝ちとなる場合があること②つまり事前に早い段階で授業計画を立てておかないと手に入らない。今日授業を行って見たが、やはり資料が欲しいから図書館から借りたいなどという場合にはあきらめざるを得ない。③物流の問題。教職員が車を出し、貸し出し返却の作業を行う場合もあるが、学校司書が一人で運搬を行っている場合もあることが現状である。（希望）学校に対する現状のサービスをもう一步前進させていただけると幸いです。教員の授業の質の向上のためにも図書館との連携のハードルをもう少し下げて頂けると子どもたちの調べ学習の充実につながります。タクシー券を頂ける制度も正直手続きが面倒だったり、40冊以上の本を自力で運搬する体力と手間・時間を考えると、せっかく市立図書館との素晴らしい連携制度があるにもかかわらず、利用するのを躊躇しがちな空気も感じます。私の経験では、間に学校司書が入り、教員に利用をすすめて借りに行くということがほとんどです。急速に進化している情報化社会のなかで、学校と市立図書館、そして学校間のネットワークをさらに構築していく必要性を強く感じます。物流の問題も然りです。学校も市立図書館も予算が足りないからこそ、工夫して蔵書を子どもたちの教育のために最大限活用できるシステムを構築する必要があります。（例えば学校間として市立図書館との貸出のために図書館貸出ソフトのネットワークをつなげるなど）コロナ禍を経てロイロノートやグーグルクロームを使った授業も盛んになり、紙媒体の本というツール以外からの情報の収集も盛んになる中、特に小学生、特に低学年の子どもたちには紙の本での情報の収集、それ以前に読解力を向上させるために有用な読書の習慣をつけさせることが重要であることは周知のことだと思います。調べ学習の際、キーワードをいれて自分の欲しい情報を即座に得たいと思う子が増えているように思います。紙面の場合、自分が探そうと思ってもいなかった情報に出会えるチャンスがあると以前新聞の記事で読んだことがあります。紙の本にはネットにはない利点もあります。スマホをググって情報を収集する時代ですが、スマホを使いこなす前の子どもたちにせめて学校現場では、収集した情報が正確なものなのか、自分で判断し、すぐに欲しい情報が出てこなくても自ら努めて探す作業を調べ学習のなかで身につけさせていかねばならないと思います。そのためにも、学校図書館と市立図書館とのさらなる連携をお願いしたいと思います。</p>	参考	<p>学校図書館との連携については、「第1章－基本方針1未来を担う子どもたちのための図書館」について本ビジョンを推進してまいります。具体的な取組についてのご意見は、今後の参考にさせていただきます。</p>
190	基本方針1	<p>全体について ・P10子どもたちのための図書館では、ソフト面に「本選びのポイント」や「本を読むとどんな楽しさがるのかを伝える」など、子どもに、本を読むきっかけや、本を読むよさを感じるプログラムを入れると、なおよいと思った。</p>	参考	<p>ご提案の趣旨は、「第1章－基本方針1未来を担う子どもたちのための図書館」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>
191	基本方針1	<p>・P9～10の子育て関連で、子どもでもその家族でも行けるようにするのは良いと思うが、それ以外の静かにのんびりしたい人がいると思うので、壁だったり、日によっては専用の日、共同の日などと分けるのもいいと思います。</p>	包含・賛同	<p>ご意見の趣旨を踏まえ、素案の「第1章－基本方針1未来を担う子どもたちのための図書館」の取組について本ビジョンを推進してまいります。</p>
192	基本方針1	<p>全体について ・P10のハード面の設備エリア拡充、場所の設置など書いてあるが、場所が広くなりすぎて、その場所じたいを確保できるのかと思う。</p>	参考	<p>新たな図書館像の実現に向けては、ご指摘のとおり機能拡張に向けた空間の確保も必要です。ご提案の趣旨は、「第2章－2図書館の施設整備の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>
193	基本方針1	<p>全体について ・9の「触ったり聞いたり様々な感覚で楽しめる体験や遊びを提供します」という点で、「触る」は良いのですが、「聞く」は、どうやって行うのか知りたいです。「聞く」だと周りに音（声）が響いてしまうので、ヘッドフォンや部屋を分けて行ったら良いと思います。</p>	参考	<p>居心地のよい空間づくりに向け「第2章－3新たな機能・機能拡充に伴う空間づくりの考え方」の中で検討してまいります。ご意見は今後の参考にさせていただきます。</p>

No.	項目	ご意見	対応分類	本市の考え方
194	基本方針1	全体について ・基本方針1の取組、機能のアイデアに載っているハード面は、子どもが本も読める、遊び場の感かくとして使用できるからいいなと思った。基本的に図書館は静かにしなければいけないというまきり？があり、子どもと一緒に行きにくい場所ではあるが、靴を脱いでゴロゴロと過ごせるスペースがあると、いごちよく図書館に行けるかなと思った。	包含・賛同	基本方針1の取組・機能のアイデアにご賛同いただきありがとうございます。ご意見の趣旨を踏まえ、素案の「第1章－基本方針1 未来を担う子どもたちのための図書館」の取組について本ビジョンを推進してまいります。
195	基本方針1	〈冊子版〉・P37の「8.子育て支援：～あるいは司書などに本を読んでほしい」とあったのですが、もしそれが子どもから読んでほしいと声をかけるのであれば、それなりの勇気があるし、もし断り方が荒々しかったら、2度と声をかけられないと思います。ですが司書さんたちもお仕事が大変だと思います。なので、「子どもコーナーの司書」「テラスコーナーの司書」などその場所ごとに司書さんがいればいいんじゃないのかなと思いました。 →アンケートをとっている人たちの意見を取り入れたら、建設費、人件費などのたくさんのお金がかかってしまうし、色々な事情でムリなこともあるかもしれませんが、素敵な図書館が出来て、そこを通して市のみんなが楽しくこりゅうできたらいいなと思います！	参考	ご提案の趣旨は、「第1章－基本方針1 未来を担う子どもたちのための図書館」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
196	基本方針1	全体について ・10Pのこれからの図書館について、多様な世代が参加するイベントがあると書いてありますが、うるさくしてしまうと本を読んでいる人にとって嫌なので、うるさくしないための工夫が必要だと思いました。	包含・賛同	ご意見の趣旨を踏まえ、素案の「第1章－基本方針1 未来を担う子どもたちのための図書館」「第2章－3 新たな機能・機能拡充に伴う空間づくりの考え方」の取組について本ビジョンを推進してまいります。
197	基本方針1	全体について ・子育て世代に優しい設置をするという案がとてもよいと思った。 ・小さい子供もいるなら、もし階を分けられるなら、子どもたちのスペースを1階にして、勉強スペースを上階に設置するのがよいと思った。	包含・賛同	ご賛同いただきありがとうございます。ご意見の趣旨を踏まえ、素案の「第1章－基本方針1 未来を担う子どもたちのための図書館」の取組について本ビジョンを推進してまいります。
198	基本方針1	10p未来を担う子どもたちのための図書館 横浜市为学校司書です。横浜市の図書購入費の予算は少ないため、授業支援に必要な図書を用意するには公共図書館での貸出が必要ですが、手続きと運搬が大変です。貸出予約は一週間前まで。セット貸出は授業の時期が重なり数が足りない。流通システムがないため、貸出に時間と労力が必要。年3回のタクシーチケットはあるが、手続きに時間がかかり管理も大変。利用しても図書館まではカートや段ボールに積んで運ばないといけないなど。そのため、子どもたちには、学校図書館内の少ない図書で我慢してもらうか、個人貸出で借りたり、私用車で借りに行ってしまうというのが現状です。川崎市では、学校図書館と公共図書館がネットで繋がり、宇都宮市などでは、学校図書館貸出用図書が、別に多数ストックされていると聞いています。データの共有や流通システムの構築など、学校図書館と公共図書館がしっかり連携を取り、子どもたちに必要な図書を必要な時に届けてあげられることを、強く望みます。	参考	学校図書館との連携については、「第1章－基本方針1 未来を担う子どもたちのための図書館」について本ビジョンを推進するとともに、具体的な取組へのご意見は、今後の参考にさせていただきます。
199	基本方針1	素案の「基本方針1未来を担う子どもたちのための図書館」p.10学校図書館支援及び学校との連携事業・本の貸出し等による学校への授業支援についての意見です。私は横浜市の小学校で学校司書をしておりますが、現状、公共図書館の利用には大きなハードルがあると感じています。公共図書館からの教職員貸出についてタクシーの利用が認められるようになりましたが、その利用方法には制約が多く、学校司書が自家用車で資料の運搬をせざるを得ないのが実情です。しかもその行為は個人の判断によるもので、勤務時間としては認められておりません。このような現状では公共図書館との連携を図りたくともなかなか難しいと思われれます。公共図書館と学校間で貸出・返却がスムーズに行えるよう、定期的に専用の物流システムを作っていただきたいです。そして、学校司書や教職員向けに新しいお薦めの資料や子どもたちに読んでもらいたい本なども一緒に回していただけると、学校の蔵書構築の参考にもなりますし、先生方や子どもたちも公共図書館をより一層身近に感じられるようになるのではないかと思います。ご検討、どうぞよろしくお願いいたします。	参考	学校図書館との連携については、「第1章－基本方針1 未来を担う子どもたちのための図書館」について本ビジョンを推進するとともに、具体的な取組へのご意見は、今後の参考にさせていただきます。

No.	項目	ご意見	対応分類	本市の考え方
200	基本方針1	<p>基本方針1(P10)</p> <p>学校の授業の学びで使う資料の不足分を地域図書館の教職員貸し出しで借りています。が市内、区内に全ての学校が借りられるほどのセット数の用意がありません。ほぼ同時期に学ぶ時に、たとえ本校が借りられたとしても他の学校に資料がないと思うと十分な期間を借りるのに心苦しくなります。もっと図書資料セットを増やして欲しいです。カイクは年間を通して学ぶので長く使える資料だと助かります。</p> <p>また、運搬も40冊を一度にはできず、自転車で何度も往き来しなければならず前後の荷手に重く事故が起きないように気をつけていくのに負担があります。市内運搬車を学校にも回ってもらえるような適用はできないでしょうか？</p> <p>3回使えるタクシー券では予約配布までの手続きに時間がかかり、またタクシーを待たせて台車の用意や片付けなどムダな時間がかかるのもっと使いやすい配達システムがあるといいです。</p> <p>また学校司書が借りられる貸し出し数が40冊では少なく様々なジャンル本の読書支援のためには50～60冊あると児童数の一割に近づきます。ほか、一般貸し出しに迷惑がかからない条件があり、児童がよく読む本は借りられないことが多いので蔵書構成に学校図書館からリクエストができる連携が欲しいです。</p>	参考	学校図書館との連携については、「第1章-基本方針1 未来を担う子どもたちのための図書館」について本ビジョンを推進するとともに、具体的な取組へのご意見は、今後の参考にさせていただきます。
201	基本方針1	<p>概要版p2基本方針1の中で、「子育て支援施設や学校、地域とのつながりのなかで子ども・子育て世代をサポートします」とありますが、学校図書館との連携はまだ工夫の余地があると感じます。学校で不足している本を教職員貸出で利用する仕組みはありますが、公共図書館と各学校間の物流が整っていない為、使いづらく学校司書の負担が大きいです。少しずつ進歩してはいますが、更なる進歩を希望します。</p>	参考	学校図書館との連携については、「第1章-基本方針1 未来を担う子どもたちのための図書館」について本ビジョンを推進するとともに、具体的な取組へのご意見は、今後の参考にさせていただきます。
202	基本方針1	<p>2p.基本方針1・乳幼児の時から一人前の利用者として対応してもらえる図書館は、子どもの最初の社会とのかかわりの場であり、将来にわたる何をするにも必要な読むことを身につけられる最初の場でもあります。知識や技術のある専門職員がいる図書館が身近にあることがことさら重要です。</p>	参考	ご提案の趣旨は、「第1章-基本方針1 未来を担う子どもたちのための図書館」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
203	基本方針2	<p>【イベント】・つながりを生み出す小さな本棚概要版：実現に向けて6・3p+基本方針2・2pQ：本が人と人のつながりを創り出すのか。A：イベントを開催し、そのイベントに合わせた本を持ち寄り寄贈を受け付け仲間を増やしていく。例えば、イベントテーマ：『読書ゼロ』世代 [現在の小・中学生とは真逆の世代である21歳の若者] を引き寄せる内容。</p> <p>【新成人よ集まれービブリオバトルー】開催持ち寄ったおすすめの本を参加者に向けて5分間で発表→参加者とのディスカッションタイム：質疑応答→全員で投票一本の持ち主は設置された「小さな本棚」に本を入れていく [持ち寄った本の持ち主は本の思い出を一言添えた『メッセージカード』を添付] →発表を聴いて「読んでみたくなった」と投票した本を読み『メッセージカード』に感想を連ねていく→読書体験+新たな発想+持ち主の人柄を知る=本を通じて交流の場が作り出される。</p>	参考	イベントへのご意見につきましては、本ビジョンを進める上で、今後の参考にさせていただきます。
204	基本方針2	<p>行ってみたい、使ってみたくなる図書館になるためのアイデア</p> <p>・みんなと楽しく話せる</p>	包含・賛同	みなさまが楽しく話せる場となるよう、素案の「第1章-基本方針2 あらゆる市民のための図書館」の取組について本ビジョンを推進してまいります。
205	基本方針2	<p>基本方針2.あらゆる世代が利用しやすいといっても、実際には高齢者が朝から学習机や新聞を独占しているのが現状だ。利用時間について、例えば2時間更新制(待ちがいなければ引き続き利用可)などしないと、社会人の足が遠のくばかりだ。</p>	参考	ご意見につきましては、「第1章-基本方針2 あらゆる市民のための図書館」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
206	基本方針2	<p>P.11「基本方針2 取り組みの方向性」についてあらゆるひとがアクセスしやすく、また興味や知識を広げる図書館はとても良いと思います。ただし、排架はNDCを基本としてほしいです。学校の国語科ではNDCに触れており、学校図書館もNDCで排架し、説明しています。テレビで、独自の分類を導入している図書館を分かりやすく革新的なアイデアだと紹介しているのを見たことがありますが、学校と公共図書館が違ったり、図書館ごとの自由な配架だったりすると、アクセスしやすいとは言えないと思います。特定のコーナーを設けることに異議はありませんが、基本はNDCで並べていただきたいです。</p>	参考	ご意見につきましては、「第1章-基本方針2 あらゆる市民のための図書館」に関するご意見として、今後の参考にさせていただきます。

No.	項目	ご意見	対応分類	本市の考え方
207	基本方針2	冊子版p11 基本方針2「あらゆる市民のための図書館」の「人と本・情報をつなぎます」について アクシブルな本や読書支援ツール、多言語の本等を、必要な方につなげる手立てをお願いします。	包含・賛同	ご意見の趣旨を踏まえ、素案の「第1章－基本方針2 あらゆる市民のための図書館」の取組について本ビジョンを推進してまいります。
208	基本方針2	P11の年齢、障害の有無：この素案の中でずっと出てこないのが生活困窮者（ホームレス）対応です。実際として毎日訪れる彼らに対する施策はないのでしょうか。子どもや若いお母さんは、確かに怖いという感情を持つと思います。実際、私も図書館員として働いていて、対応に苦労したこともあります。しかしながら、図書館は何人にも開かれた場所だと思います。保育ルームの設置をしていただけるなら、生活困窮者や認知症の方が来られたときに、必要に応じて相談できる場所及びスタッフ（リンクワーカー）を配置して欲しいです。もしくは、繋ぎ先など。例えば、川崎市の宮前図書館のように、地域包括の繋がっておくなど。または、無理につながなくても誰もが安心して居心地良く感じられるように。このビジョンが生活困窮者のデザイン思考的排除に繋がらないことを強く望みます。難しいとは思いますが、ニューヨーク公共図書館のような視座も持っていたらと思います。P12の地域や社会の課題解決を支援します：地域や、まちだけではなく、そこに住む人々のストーリーにも注目し、そして応援してもらえようなもの（ビジネス支援、生活支援）もお願いしたいです。	参考	ご意見につきましては、「第1章－基本方針2 あらゆる市民のための図書館」に関するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
209	基本方針2	【基本方針2】あらゆる市民のための図書館 よい居場所作り、交流の拠点……。ソフト面は予算が必要です。現状の図書館にはその予算がほとんどありません。人、イベントに予算を！ハード面は、施設作りに本腰を！	参考	ご提案の趣旨は、「第1章－基本方針2 あらゆる市民のための図書館」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
210	基本方針2	基本方針2への要望 返却ポストを京急線の各駅に設置してほしい。大和市は小田急の各駅にある。 横浜市外の人は行った図書館にある本しか借りられないが他館の本も借りられるようにしてほしい。中央の蔵書数は多いが遠いのでなかなか行けない。	参考	ご意見につきましては、「第1章－基本方針2 あらゆる市民のための図書館」、「第2章－4 図書館外のサービスポイント設置の考え方」に関するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
211	基本方針2	基本方針②あらゆる市民のための図書館 様々な国籍の方が居住されており、その割に外国語の蔵書が少なく、充実した蔵書や案内等必要ではないでしょうか。	参考	ご提案の趣旨は、「第1章－基本方針2 あらゆる市民のための図書館」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
212	基本方針2	基本方針②あらゆる市民のための図書館 平成19年8月に横浜市立図書館のあり方懇談会報告書が出されており、市民との協働として…市民代表による図書館協議会議等市民意見が反映・実現される仕組み作りを進めるとあります。多くの市民が利用する図書館の運営について、やはり市民が意見を述べる場は必要だし、そうした意見を聞く中で図書館の持つチカラがアップしてくのではないのでしょうか。意見を言いつつ、図書館を応援する応援団にもなるような気がします。	参考	ご提案の趣旨は、「第1章－基本方針2 あらゆる市民のための図書館」「第2章－6 多様な主体との協働・共創」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
213	基本方針2	2. あらゆる市民のための図書館 ・多様な世代、国籍、宗教、健康状態、ライフスタイルに向けたイベントを積極的に誘致する。図書館が主催しても良い。 ・一冊の本（映像）を題材とし、2グループに別れてディベートを行う。立場は当日のくじ引きで決めることとするため、どちらのグループも双方の立場で事前準備せざるを得ない。これにより反対側の考えも考慮した多様な思考能力が身につく。 ・官公庁ではできないような、弱者への知的サポートを行う。その際は、お金が絡まない範囲で土業との連携も有効か。	参考	ご意見につきましては、「第1章－基本方針2 あらゆる市民のための図書館」に関するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
214	基本方針2	・基本方針2 あらゆる世代・多様なニーズを包摂する、とありますが、ニーズとは「わがまま」と表裏一体の面もありますので、「図書館の本来あるべき姿」と「ニーズ」とは常に一致するものではないことも自覚的であるべきと思います。ニーズに応えることが目的でなく、本来あるべき姿を目指すことが目的であるべきです。	参考	本ビジョンで示す新たな図書館像では、これまで図書館が果たしてきた役割に加えて機能の拡充を目指すこととしています。ご意見につきましては、「第1章－基本方針2 あらゆる市民のための図書館」に関するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
215	基本方針2	12p.のこれからの図書館（イメージ）について、音声読み上げ対応の電子書籍と書いてあり、小説など、難しい感じが含まれる本でも、この機能があることで、小さな子どもなど、いろいろな人が本を読めるようになり、良い機能だと思ったので、ぜひ、導入してほしいと思う。	包含・賛同	これからの図書館（イメージ）についてご賛同いただきありがとうございます。ご意見の趣旨を踏まえ、素案の「第1章－基本方針2 あらゆる市民のための図書館」の取組について本ビジョンを推進してまいります。

No.	項目	ご意見	対応分類	本市の考え方
216	基本方針2	・基本方針にあるように、居心地のよい場所になるためにも館内のテーブルや椅子の更新を希望します。	参考	ご意見につきましては、「第1章-基本方針2 あらゆる市民のための図書館」に関するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
217	基本方針2	2pの基本方針2について、近くの駐車場スペースが足りず寄りつきにくい(港南図書館)多言語の蔵書検索がしづらい。書名は日本語でも先方の国の言語でも調べられるようにしてほしい。	参考	ご提案の趣旨は、「第1章-基本方針2 あらゆる市民のための図書館」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
218	基本方針2	■p11.基本方針2あらゆる市民～男女共同参画センター横浜にも図書エリアがあり、ジェンダーに関する本などが豊富に揃っているのですが、施設を利用する方しか知名度がなく、また貸出カードも独自のもので図書館とは別に申請が必要です。インクルーシブな環境づくりに、男女共同参画センターの蔵書を図書館と統合して、関心のある人の目にしか触れない本ではなく、全ての人に手に取る機会を作っていただきたいです。	参考	ご提案の趣旨は、「第1章-基本方針2 あらゆる市民のための図書館」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
219	基本方針2	6. ビジョンとしては、子育て・若者世代に特化する政策だけでなく、あらゆる世代にわたって利用出来る図書館が望ましい、と考えます。	参考	ご意見の趣旨は、「第1章-基本方針1 未来を担う子どもたちのための図書館」「第1章-基本方針2 あらゆる市民のための図書館」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
220	基本方針2	行ってみたい、使ってみたくなる図書館になるためのアイデア ・1に書いた通り、同じしゅみをもつ人同士が話せる場があるといい。 ・私がおもしろい本を読んだ後は、「つづきを読みたい」か、その本だけで終(わ)るなら「感想を共ゆうしたい」と思うので、本の感想を共ゆうできるシステムがあるとうれしいと思う。そこから、ほかの本や知識に出会えるなら、最高だと思う。	参考	行きたくなる図書館についてのご意見は、本ビジョンを進める上で、今後の参考にさせていただきます。
221	基本方針2	全体について (概要版)・ワークショップとあったので、読まなくなった本やいらなくなった本をゆずりあえる機会があるといいかなと思いました!	参考	ご提案の趣旨は、「第1章-基本方針2 あらゆる市民のための図書館」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
222	基本方針2	行ってみたい、使ってみたくなる図書館になるためのアイデア ・1人で静かに読むのが図書館だけど、少人数室などで何人かのグループで読めるところをつける。	包含・賛同	ご意見の趣旨を踏まえ、素案の「第1章-基本方針2 あらゆる市民のための図書館」の取組について本ビジョンを推進してまいります。
223	基本方針2	青葉区には山内図書館(あざみ野駅近く)1か所しかありません。学生さんたちが、勉強する場所がなくて困っています。地区センターなどに行くと、小さな狭いスペースで沢山の学生さん達が勉強しているのを見かけます。中規模の図書館を沢山作って下さい。小さなお子さんから足の悪い高齢者まで、みんなが気軽に利用できて、長時間勉強が出来るスペースを備えた図書館を作って下さい。図書館は本を借りるだけでなく、地域の人々が集まり、憩いの場所となるような工夫をお願いします。カフェやコンビニの併設なども良いと思います。 先日、実家のある高知市に帰省の際に高知図書館を見に行ってきました。西日本最大の蔵書数を誇る素晴らしい図書館でした。高知の様な田舎の町でもこんな図書館があるのに、お金も人も集まる横浜市に1区に1か所の図書館しかないのは何故ですか?お金の使い方が違うのではないですか?お金儲けや箱ものではなく、文化や人を育てること、人々のコミュニケーションの場所にもっとお金を使って下さい。よろしく願い致します。	参考	ご提案の趣旨は、「第1章-基本方針2 あらゆる市民のための図書館」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
224	基本方針2	基本方針2 職がない人の職業訓練ができる環境	参考	ご提案の趣旨は、「第1章-基本方針2 あらゆる市民のための図書館」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
225	基本方針2	また基本方針2における交流・体験について、大人が常に学び続け、新しい知識や体験につながるようなワークショップの開催(働く世代も参加しやすい週末や夜の時間の開催等を検討)を盛り込んでいただけたら幸いです。リカレント教育というのが最近言われていますが、生涯にわたって学び続けて自身を高めていき、その地域に愛着をもっていけるような場に図書館がなってくれるようなプログラムやきっかけづくりを盛り込むことをご検討いただけますでしょうか。	参考	ご提案の趣旨は、「第1章-基本方針2 あらゆる市民のための図書館」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。

No.	項目	ご意見	対応分類	本市の考え方
226	基本方針2	P11-12: 経済的格差解消への取組の必要性・「あらゆる市民のための図書館」と言うが、「年齢、障害の有無、国籍」に加えて、経済的格差に悩む貧困層が知識・情報に自由にアクセスできる場となることを明記すべきだと思う。今日、お金さえ出せばあらゆる知識・情報にアクセスできるが、経済的に余裕のない貧困層は有料の知識・情報に簡単に触れることができず、それが格差の固定につながっている。図書館のサービスが原則として無料であることの大きな意義として、経済的格差の固定化をまずは情報格差の面で防ぎ、社会全体の豊かさの実現に貢献する基本的方針を打ち出してほしい。・「市民が講師・指導者」になる講座の手法には既に様々な問題点が出ており、破綻している仕組みも多いです。過去の手法から学び、新しい手法を検討いただくといいと思います。	参考	ご提案の趣旨は、「第1章-基本方針2 あらゆる市民のための図書館」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
227	基本方針2	全体について ・P11の「体験・交流・創造・発行の拠点になります」の2つ目に、読書と体験した活動をつなぐ、と書いてあるけど、読書をキッカケに、同じしゅみをもつ人同士をつなぐようにしてほしい。(感想を共ゆうできるから) 読書をキッカケに、交流の和が広がる図書館がいいと思う。P12のソフト面の「本を介した～」につながると思う。	参考	ご提案の趣旨は、「第1章-基本方針2 あらゆる市民のための図書館」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
228	基本方針2	全体について ・バリアフリーとあり良いと思う。 ・イベント、交流は良いと思う。	包含・賛同	ご賛同いただきありがとうございます。ご意見の趣旨を踏まえ、素案の「第1章-基本方針2 あらゆる市民のための図書館」の取組について本ビジョンを推進してまいります。
229	基本方針2	市立図書館についての意見 ・エレベーターに乗る人が多い時に全員乗れないので、エレベーターを多く、大きくしてほしい。 ・通路を広く。 ・学生が勉強できるようなスペース	参考	行きたくなる図書館、市立図書館についてのご意見は、本ビジョンを進める上で、今後の参考にさせていただきます。
230	基本方針2	全体について ・P11の基本方針2がとても良いと思った。本をたくさんの人に親しんでもらうために、障がいがある人や小さな子どもにたいする配慮は大切だと思う。→障がいが無かったり、普通の中学生がいききたいかというところ… ・入りたくなるエントランス旗を立てて目立たせる。例・今話題のあの本が!とか? 広告 ・流行のもの ・開放感 ・視覚的な楽しさ	参考	ご提案の趣旨は、「第1章-基本方針2 あらゆる市民のための図書館」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
231	基本方針2	全体について ・12ページにかいてある「多言語や手話のおはなし会」が良いと思います。手話はドラマもやっていたし、皆さんが興味あると思います。	包含・賛同	「第1章-基本方針2 あらゆる市民のための図書館」の取組・機能のアイデアにご賛同いただきありがとうございます。ご意見の趣旨を踏まえ、本ビジョンを推進してまいります。
232	基本方針2	・車いすの方も簡単に通れるように幅を広くしたら、誰もが利用できる図書館になると思います。	修正	ご意見の趣旨を踏まえ、基本方針2「第1章-基本方針2 あらゆる市民のための図書館」の取組・機能のアイデアに「車いす等が行き来しやすい広い通路」を追記するなど原案を修正しました。
233	基本方針2	全体について ・基本方針2のバリアフリー化や、閲覧スペースを広げたりするのはいいと思うけど、ワークショップはバリアフリー化でスペースがとられると思うから難しいと思う。	参考	居心地のよい空間づくりに向けて「第2章-3 新たな機能・機能拡充に伴う空間づくりの考え方」の中で検討してまいります。ご意見は今後の参考にさせていただきます。
234	基本方針2	全体について ・基本方針2のあらゆる市民のための図書館のあらゆる世代にとって居心地のよい居場所に。と書いてあるがそのことについてとても共感しました。	包含・賛同	ご賛同いただきありがとうございます。ご意見の趣旨を踏まえ、素案の「第1章-基本方針2 あらゆる市民のための図書館」の取組について本ビジョンを推進してまいります。

No.	項目	ご意見	対応分類	本市の考え方
235	基本方針2	十二ページ 基本方針2 あらゆる市民のための図書館 ソフト面 アイデア・本を介した交流を生み出す企画 ・読み聞かせ（朗読）のつどいを期待。…学級担任の朗読によって知った文学作品は記憶に残っている。 ・書店のPOPのようにわかりやすい書評・紹介を。テーマを決めて展示、掲示も楽しい。 ・二人、グループで互いにすすめたい本を紹介しあう。ファシリテータを介したイベント企画など。ピブリオバトルも楽しい。	参考	ご提案の趣旨は、「第1章－基本方針2 あらゆる市民のための図書館」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
236	基本方針2	行ってみたい、使ってみたくなる図書館になるためのアイデア ・飲食ができる。 ・休憩スペースがある。 ・子どもの遊び場みたいなものがある。	修正	行きたくなる図書館についてのご意見は、本ビジョンを進める上で、今後の参考にさせていただきます。なお、「第1章－基本方針3 まちとコミュニティのための図書館」の取組・機能のアイデアに「飲食できる場所と軽食等の提供」を追記するなど原案を修正しました。
237	基本方針3	2 横浜市内には数多くの図書館、あるいは類似施設があります。横浜市図書館がそのような施設の中心的存在になって欲しいのです。学校図書館も含まれるでしょう。よりネットワークを拡充していくことを希望します。	参考	ご提案の趣旨は、「第1章－基本方針3 まちとコミュニティのための図書館」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
238	基本方針3	P14の地域のビジターセンター：生活情報の多言語アーカイブはぜひ積極的に行って欲しいです。中々、外国ルーツの方で母語コミュニティに入っていないと行政情報は見つけ出せません。また、多言語情報の提供と関連して、国際交流ラウンジ等にも積極的に繋いで欲しいです。観光案内マップについては、それを手に取ってもらえるような立地から考えるべきだと思います。	包含・賛同	ご意見の趣旨を踏まえ、素案の「第1章－基本方針3 まちとコミュニティのための図書館」の取組について本ビジョンを推進してまいります。
239	基本方針3	基本方針3.まちとコミュニティというが、その土地固有の歴史や資料こそ地元図書館の本領だろう。しかし、そうした郷土の歴史などを習ったり子どもに伝えたりするイベントは少ない。区役所や市役所、また大学キャンパスなどとタイアップし、利用者に地域の歴史に目を向けさせる努力がより必要だろう。でなければ各区の図書館はただの取次であり、はまかぜ号を数十台に増やしたほうがより便利ということになる。	参考	ご意見につきましては、「第1章－基本方針3 まちとコミュニティのための図書館」に関するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
240	基本方針3	【基本方針3】まちとコミュニティ 全部その通り！図書館がまちの課題を解決していく場所であるように。	包含・賛同	ご賛同いただきありがとうございます。ご意見の趣旨を踏まえ、素案の「第1章－基本方針3 まちとコミュニティのための図書館」の取組について本ビジョンを推進してまいります。
241	基本方針3	地域と社会の問題解決の支援 とありますが ぜひ、仲間集めの場にもしてほしいです。横浜市にはこんな場がないので加えてほしいです。	参考	「第1章－基本方針3 まちとコミュニティのための図書館」では、集まった人々の交流と、にぎわいを生み出すことも、基本的な方向性としています。ご提案の趣旨は、「第1章－基本方針3 まちとコミュニティのための図書館」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
242	基本方針3	「図書館ビジョン：基本方針3」「実現に向けて：5 デジタル技術の活用」についての意見 横浜市は近代以降の多くの変化を経た地域であり、地域情報のアーカイブ充実が期待されます。 既に以下のような取り組みが進んでいるようですが、今後はより一層、市民への募集を広く行い、整備・公開を進めていただきたく思います。 特に図書館は市民からのアーカイブ提供の窓口としての役割が期待されると思います。以下にある山内図書館だけでなく、全市の図書館に取り組んでいただきたいと思います。 そうした素材の充実と平行し、VRやサイネージ等によるアーカイブ体験コンテンツの実現にも取り組んでいただけたらと思います。 https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kyodo-manabi/library/shuroku/ https://yamauchi-lib.jp/local/database/index.html	参考	ご意見につきましては、「第1章－基本方針3 まちとコミュニティのための図書館」に関するご意見として、今後の参考にさせていただきます。

No.	項目	ご意見	対応分類	本市の考え方
243	基本方針3	基本方針3に、地域や社会の課題解決支援があります。職員がコーディネーター役を担うとなるとすると、地域を知ること、地域の機関や施設との連携等必要になり、大変な業務になると思いますが、そうした過程で、地域に必要な情報、資料、書籍等がわかり、ひいては区ごとの特徴ある図書館が出来上がっていくのではないかと感じました。	参考	ご提案の趣旨は、「第1章-基本方針3 まちとコミュニティのための図書館」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
244	基本方針3	3. まちとコミュニティのための図書館 ・いわゆる「まちづくり」をしている団体にスペースや情報を提供し（市役所の担当職員を連れてきて説明させることも含む）、その代わりにアイデアのコンペを実施する。優秀な案は市等につなぎ、実現をサポートする。もちろん図書館の機能についての提言も受け付ける。	参考	ご意見につきましては、「第1章-基本方針3 まちとコミュニティのための図書館」に関するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
245	基本方針3	・基本方針3 「なんで図書館から地域課題の話になるのか？」話の連続性が無く、唐突に感じます。もう少し丁寧な説明が必要だと思います。図書館もこうした取り組みに参画することは良いのですが、ここで述べられていることは、図書館より、どちらかと言えば「大学」が担うべき機能の様に思います。図書館が担う「支援」の中味について、もう少し明確にすべきかと思います。	参考	図書館ビジョンは市立図書館の「目指す姿」や「目指す方向性」を示すものです。ご意見につきましては、「第1章-基本方針3 まちとコミュニティのための図書館」に関するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
246	基本方針3	・地域・まちの知識・情報を集め、アーカイブし次世代につなげますについて、本だけでなく、まちの文化や記憶等の情報も集めますと書いてあるが、まちだけでなくその近隣の地域や市、県の文化などの情報も集め、市立図書館や、図書取次所に展示したほうがよいと思う。	修正	ご意見につきましては、「第1章-基本方針3 まちとコミュニティのための図書館」に関するご意見として、今後の参考にさせていただきます。ご意見の趣旨を踏まえ、基本方針3の取組・機能のイメージに「地域の文化や歴史を学ぶ事ができる」と追記するなど原案を修正しました。
247	基本方針3	(3)郷土資料などの収集・記録・保存・活用を 図書館法第3条(図書館奉仕)の1には、「郷土資料、地方行政資料、美術品、レコード及びフィルムの収集にも十分留意して、図書、記録、視聴覚教育の資料その他必要な資料(電磁的記録(電子的方式、磁気的方式その他の知覚によっては認識することができない方式で作られた記録をいう。)を含む。以下「図書館資料」という。)を収集し、一般公衆の利用に供すること。」とあります。市民が所蔵している歴史的資料などが世代交代する中で散逸の危機にあるものも少なくありません。図書館としての収集・記録・保存・活用の取り組みが必要です。	参考	ご提案の趣旨は、「第1章-基本方針3 まちとコミュニティのための図書館」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
248	基本方針3	図書館はシニア世代(特に男性)の採用が難しい世界と感じていますが、こうしたアーカイブデータの収集や整理については、私のようなシニア世代の力が役に立つのではないかと考えられます。パート・アルバイト等での募集をご検討いただければ、応募を考えられる方も多いと思います。 ご検討いただけたらと思います	参考	ご提案の趣旨は、「第1章-基本方針3 まちとコミュニティのための図書館」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。なお、アルバイトの募集について、本ビジョンに位置づけはありませんが、今後の参考にさせていただきます。
249	基本方針3	3pの基本方針3について、コロナ禍で会議室が使えない図書館があった(磯子図書館)区によって受けられるサービスが異なる状態を改善してほしい。	参考	ご提案の趣旨は、「第1章-基本方針3 まちとコミュニティのための図書館」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
250	基本方針3	③まちとコミュニティのための図書館フリースペースは誰がどのように使う想定でしょうか？また、様々は複合施設を内包した大きな図書館を作るイメージなのか？と受け取れましたが、そのような場所は作れるのでしょうか？老朽化した図書館に求める役割を付帯させて刷新していく方が利用はしやすいと感じました。	参考	ご提案の趣旨は、「第1章-基本方針3 まちとコミュニティのための図書館」「第2章-2 図書館の施設整備の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。

No.	項目	ご意見	対応分類	本市の考え方
251	基本方針3	<p>1.日本発祥の紙芝居という文化を後世に伝えようと「紙芝居文化推進協議会」(行政・市民・企業協同)を結成してから20年以上経ちました。かつての街頭紙芝居はテレビにおされ、衰退の一途を辿っておりましたが、公共図書館で紙芝居の貸出が爆発的に増加したのが昭和40年代以降です。公共図書館が紙芝居という文化を下支えしたのだと思います。もちろん学校で教材指定されていた経緯もあります。加えて、県立が行っていた手づくり紙芝居コンクールが20年続きました。子どもも大人も自分で筋をつくり絵を描き、演じる。創造力をかき立て、発信力がある紙芝居は人々のコミュニケーションの手段として、今では、学校や図書館での読み聞かせの時間や高齢者施設や地域センターなどで演じられ、地域に根ざした紙芝居が市民の手でつくられ、地域資料として立派に通用する紙芝居が作られ、図書館に寄贈させるなど、市民が大活躍しています。</p> <p>紙芝居は、今ではコミュニケーションツールとして、アジアやヨーロッパにも用いられ、姉妹都市リヨンの図書館で「KAMISHIBAI」コーナーが設けられ、自転車で乗せた紙芝居舞台ごと、各図書館を回っております。</p> <p>紙芝居文化推進協議会は全国組織ですが、コンクールに関しまして、大いに横浜市の図書館の支援を受け、県立と合わせて40年以上も紙芝居の文化の下支えをして載っています。</p> <p>コンクールでは横浜市市長賞も設けられました。市民が自ら創り出した文化であり、図書館はこうした普段着の文化を支援するところでもであると改めて図書館の役割を再認識しております。図書館の実践が次ぎの次代に引き継がれる。そうした息の長い仕事が図書館です。</p>	参考	ご提案の趣旨は、「第1章-基本方針3 まちとコミュニティのための図書館」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
252	基本方針3	<p>○5月29日の横浜大空襲の日、8月6日、9日の日、10月2日の横浜市非核兵器平和都市宣言の日など戦争と平和に関わる日に合わせて、平和啓発の企画展示を行ってください。特に、2025年は戦後80年、横浜大空襲80年、被爆80年の節目の年にあたります。各図書館や博物館・資料館、市史資料室、区役所などと連携し企画展を行ってください。</p>	参考	ご提案の趣旨は、「第1章-基本方針3 まちとコミュニティのための図書館」「第2章-6 多様な主体との協働・共創」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
253	基本方針3	<p>p14 超高齢社会における図書館機能拡充の提案・今後も増大する高齢者大集団の知恵と力を、地域社会にどう発揮していただくかは、高齢者自身の生きがいになると同時に、地域力を育む大きな力になると考えます。高齢者の潜在力を開発・発揮する鍵を握るのが図書館ではないでしょうか。それに貢献できる機能拡充の記載を求めます。・私が考える「高齢者が期待する図書館機能」について、参考までに、記します。①超高齢期になっても、日常生活能力を維持する健康実現への学習と実践を支える役割例高齢期健康づくり・生き方に関する書籍コーナー、講演会、交流する企画等の開催②情報格差を改善する企画③多世代交流・社会参加の機会を醸成する企画④高齢者の図書館運営への参加・ボランティア協力</p>	参考	ご提案の趣旨は、「第1章-基本方針3 まちとコミュニティのための図書館」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
254	基本方針3	<p>P13-14:多様な地域特性の尊重・「地域の特性に応じた、特色ある図書館」と言うが、そもそも地域の特性は多様なものである上に、地域住民の価値観も千差万別であり、どのような特色を持つべきかという合意形成は容易ではない。区役所や地域の市民利用施設(地区センター、コミュニティハウス等)をはじめ、日頃から数多くの地域住民と接している自治会・町内会、商店街、医療・福祉施設等と連携・協働して多くの声を収集し、多様な地域特性を尊重しつつ、図書館の特色として何を活かしていくのか、議論を深める場を丁寧に用意していただきたいです。・なぜ地域課題の解決に図書館が乗り出すのか、理由がよく分かりません。図書館として解決したい地域課題があれば、それを明記してほしいです。例えば読書活動における格差解消であれば、その根拠となる地域調査(ネット普及率等)を行い方策を立てること、等を目標とされる等、具体性が欲しいです。・18区各地域の特徴とは例えばどのようなことか、説明があるといいと思いました。</p>	参考	ご提案の趣旨は、「第1章-基本方針3 まちとコミュニティのための図書館」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
255	基本方針3	<p>・「まちとコミュニティのための図書館」(14p) これからの図書館に多目的に使える「交流スペース」は必須だと思います。区民活動センターとの複合もありえますが、やはり図書館の中で置かれるのが有効です。</p>	参考	ご提案の趣旨は、「第1章-基本方針3 まちとコミュニティのための図書館」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。

No.	項目	ご意見	対応分類	本市の考え方
256	基本方針3	<p>図書館は戸塚駅から5～6分の所にありますが、利用は少ないです。また大正地区センターは隣町にあり、近いのですが、蔵書は少なくあまり利用していません。課題と対策案などを記述していきます。</p> <p>A) 基本方針3について</p> <p>課題1、郷土史、主に市南西部、具体的には戸塚区周辺の産業・社会の歴史を研究しています。アーカイブが不足しています。調査対象は主に戦後、高度経済成長期の1960年代～1970年代です。戸塚の1970年代の資料、書籍がなかなか見つからない。古い地図や写真などです。横浜市でも中区など都心部は多いのですが、郊外部は少ないです。</p> <p>対処案1、</p> <p>①市の中央図書館や県中央図書館の蔵書のデジタル化、アーカイブ化、保存と自由に見れる環境の強化。</p> <p>②区の図書館における司書機能の強化</p> <p>デジタル化はされているけれど「どう捜せば良いか」がわからない状態の改善</p> <p>質問司書（機能）の強化について記述が少ないと思うのですが、計画はありますか？コーディネーターも必要ですが、プロフェッショナルが必要と考えます。</p>	修正	<p>ご提案の趣旨は、「第1章－基本方針3 まちとコミュニティのための図書館」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。なお、対処案1①を踏まえ基本方針1の取組・機能のアイデアに「誰でも自由に利用できるようデジタルアーカイブのオープンデータ化」を追記修正するなど原案を修正しました。</p>
257	基本方針3	<p>B) 基本方針3について</p> <p>課題高価な学術書の強化</p> <p>対処専門的な学術書は中央図書館にあれば良いと考えます。専門的に近いのだが、広く一般向けである物です。例をあげますと、トーマスピケティ氏の一連の著作物です。高価です。アラングリーンスパンヌ氏の自伝やヘンリーキッシンジャー氏の一連の著作です。</p> <p>課題技術書、実用書が不足</p> <p>近年の半導体関連やAIの技術書、実用書は特にその変化が速いので、不足ではないかと考えます。</p> <p>対処上記の分野の充実</p>	参考	<p>ご提案の趣旨は、「第2章－1 蔵書・レファレンスの充実」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>
258	基本方針3	<p>全体について</p> <p>・P14の「基本方針3 まちとコミュニティのための図書館」について、図書に限らず音楽、ダンス、料理、工作、動画制作など様々なことができる図書館はすごい面白い考えだと思った。</p>	包含・賛同	<p>ご賛同いただきありがとうございます。ご意見の趣旨を踏まえ、素案の「第1章－基本方針3 まちとコミュニティのための図書館」の取組について本ビジョンを推進してまいります。</p>
259	基本方針3	<p>2、図書館法にある、資料の収集、整理、保存、利用の機能（特に3条で言う「郷土資料」）を強化して欲しい。これは「正」「負」の資料を問わずお願いしたい。ちなみに磯子区には「磯子の史話」という貴重な書籍がありますが、すでに発行以来50年近く経過しており欠落している史実も散見されます。こうしたことにも配慮の上、市（区）民要望も反映させるような取組みをお願いしたい。</p>	参考	<p>ご提案の趣旨は、「第1章－基本方針3 まちとコミュニティのための図書館」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>
260	基本方針3	<p>2、ヨコハマ資料の収集と保存・提供に力を入れ、区の図書館ごとに区の地域資料（住民のさまざまな活動・運動資料、種々のグループの作成資料なども網羅的に収集・保存・提供）の分野を核として特色を持たせてください。再開発で失われる資料や散逸する資料も多いと思います。かつて、中央図書館にはベテランの郷土資料に精通した司書さんがおられました。ここをしっかり受け継ぎ次代の郷土・市域資料のベテランを特に育成するプログラムを組んでください。行政資料はさらに複雑になっています。この面で、博物館、公文書館、図書館との連携が今注目されています。MLA連携を視野に入れた図書館構想を期待します。IT化に向け各図書館にはパソコンを設置し、自由に使えるようにし市民向けの情報の検索講座など取り入れてください。読書バリアフリーを視野に入れた構想を期待します。地域館では、司書が少なくなっているのかな。前みたいに調べてくれないとの意見あり。司書制度が確立しているのが横浜の最大の利点です。あざみ野は直営にもどすこと。図書館の良否は専門職集団の厚みです</p>	参考	<p>ご提案の趣旨は、「第1章－基本方針2 あらゆる市民のための図書館」「第1章－基本方針3 まちとコミュニティのための図書館」「第1章－基本方針5 柔軟に変化し魅力がいつまでも持続する図書館」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>

No.	項目	ご意見	対応分類	本市の考え方
261	基本方針4	利用しやすい図書館サービス コロナ禍で姪の絵本をお願いされて、中央図書館に行きました。絵本のタイトルがあいさつ順になっておらず非常に探しづらかった。都内かたの図書館では、司書さんのおススメブース以外にも、揺るがないベスト本などは自然と取りやすい配慮があった。可愛いイラスト的な絵本やおもしろ本は、放っておいても子どもは自分でみつけだし借りたがります。独特なタッチで美術的な幅を広げられる本や、知的好奇心、想像力を育てられる本は、大人が補足してチョイスします。ゆっくり子どもと一緒に探せる時間もないときがあります。ネット検索も一つの手段ですが、新しい発見も出来るような空間づくりを期待します。後、こまめな本の清掃は人手が要るので、絵本を清潔に保てるように消毒ペーパーを設置してもらえたら、自分で表紙のふき取りなど手間なくするのになと個人的には思っています。	参考	ご意見につきましては、「第1章-基本方針1 未来を担う子どもたちのための図書館」「第1章-基本方針4 利用しやすい図書館サービス」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
262	基本方針4	P16のソフト面について、窓口を一部無人化（電子化）し、職員が他の業務に集中できるように工夫してほしい。P16のハード面について、民営化も含めて、人件費等の削減を推進してほしい。また、ワークショップをできるスペースを拡充してほしい。	参考	ご意見につきましては、「第1章-基本方針4 利用しやすい図書館サービス」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
263	基本方針4	素案（概要版）2Pの 基本方針4 利用しやすい図書館サービス に関係しますが、アメリカでは、公共図書館を通じて、膨大な電子書籍資源（Kindleなど）が利用できるようですが、ぜひお願いしたいです。	参考	ご意見につきましては、「第1章-基本方針4 利用しやすい図書館サービス」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
264	基本方針4	基本方針4について、最近では電子書籍の貸出や年末年始の改修など、以前に比べて非常に利用しやすくなっていると感じますのでぜひ進めていただきたいです。ただ、戸塚区は図書館が駅やバスセンターから離れていることもあり、なかなか利用しにくい場所にあるため、区庁舎近くへの移転をはじめとした何らかの対策があるとありがたいと思います。	参考	ご意見につきましては、「第1章-基本方針4 利用しやすい図書館サービス」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
265	基本方針4	基本方針4 利用しやすい図書館サービスについて、予約可能本数を増やしてほしいです。	参考	ご意見につきましては、「第1章-基本方針4 利用しやすい図書館サービス」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
266	基本方針4	基本方針4 利用しやすい図書館のため、横浜市図書館のイメージキャラクターを2002年に横浜市帷子川にきて西区特別住民票を交付されたアゴヒゲアザラシのタマちゃんにしてください。印象がよくなると感じます。それに合わせアザラシ関連の本が増えるといいと思います。	参考	ご意見につきましては、「第1章-基本方針4 利用しやすい図書館サービス」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
267	基本方針4	2ページ目 基本方針4 予約冊数を6冊から増やして欲しいです。予約が多く入っている本が多いと、他の本が予約できなくなるので。ご検討よろしくお願いたします。	参考	ご意見につきましては、「第1章-基本方針4 利用しやすい図書館サービス」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
268	基本方針4	基本方針4において、学校連携に関してはまだアナログだと感じます。依頼は電話やFAX、引き取り返却は出向かないといけない(しかもタクシー代は事前申請で片道のみ)。市メールや移動図書館カーの利用など、できないものでしょうか。本の検索が、内容やアバウトな情報でもできるAIがあればよいなと思います。	参考	学校図書館との連携については、「第1章-基本方針1 未来を担う子どもたちのための図書館」について本ビジョンを推進するとともに、具体的な取組へのご意見は、今後の参考にさせていただきます。
269	基本方針4	郵送制度を実現してください。(介護の必要な高齢者でも、自分でできる仕組みづくりを願っています。有料も含む検討が必要かもしれません)	参考	ご提案の趣旨は、「第1章-基本方針4 利用しやすい図書館サービス」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
270	基本方針4	・【概要版p2】利用しやすい図書館サービスとして、開館時間を夜8時までにして欲しい。	参考	ご意見につきましては、「第1章-基本方針4 利用しやすい図書館サービス」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
271	基本方針4	p.16利用しやすい図書館サービス、p.18柔軟に変化し魅力がいつまでも持続する図書館について 学校の蔵書だけでは全く足りないので、公共からの支援が必要です。公共から借り出す際の運搬方法を利便性の高いものにしてほしいです。公共と学校図書館が繋がるためのシステムを導入してほしいです。	参考	学校図書館との連携については、「第1章-基本方針1 未来を担う子どもたちのための図書館」について本ビジョンを推進するとともに、「第1章-基本方針4 利用しやすい図書館サービス」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
272	基本方針4	15p電子書籍について 電子書籍の充実、貸出をぜひお願いしたいとおもいます。小さな子ども達はひとりで図書館に行くことが出来ないが、読みたい本はたくさんあるので、自宅ですぐに読める電子書籍の貸出充実を強く希望します。教職員向けセット貸出も、時期が重なり借りることが出来ない事が多いため、電子書籍になると、学校での利用もさらに便利になるとおもいました。	参考	ご意見につきましては、「第1章-基本方針4 利用しやすい図書館サービス」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

No.	項目	ご意見	対応分類	本市の考え方
273	基本方針4	15,16pに「電子書籍、デジタルアーカイブの拡充」とありますが「データベースの拡充」もお願いしたいです。学校では、小学校中学年から読書する層と不読者の二極化が進んでいると感じています。読書離れが進むティーンズ世代への対策として、学校図書館では予算的にカバーできない部分を充実して頂けると、子どもたちに利用案内がし易いです。	参考	ご意見につきましては、「第1章-基本方針4 利用しやすい図書館サービス」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
274	基本方針4	冊子版p15 基本方針4 利用しやすい図書館サービス 1区1館の図書館では通にくい人も多く感じます。特に子どもは一人で通うことは難しいです。取次サービスを拡大して、地区センターすべてに設置をお願いしたいです。難しいとは思いますが、学校図書館で市立図書館の本を予約して借りられたら、子どもの読みたい本に対応できるのではと考えることがあります。	参考	ご意見につきましては、「第1章-基本方針4 利用しやすい図書館サービス」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
275	基本方針4	●16p 学校・地区センター等への本の選定に役立つ情報の提供や研修の実施 現在、勤務している地域の図書館は自分の通勤経路上にはないこともあり、通勤経路上にある他区（自身の居住区）の図書館にて教職員貸出の登録を行っています。そのため、本校はどうしても地域の図書館との連携が取りにくくなってしまっている状況です。せめて、先に述べたような貸出上のネットワーク、運搬システムの改善があれば、通勤経路や運搬の心配をせずに地域の図書館との連携もとれるようになって感じています。研修については、年に一度、勤務している区の図書館で司書さんによる研修を行っていただいているが、私のようにその図書館で教職員貸出手続きをしていないような司書は、その図書館の司書さんとコミュニケーションできないのが現状です。図書館運営の情報・図書の情報・地域の情報等、もっと密に共有できるようなネットワーク構築を希望します。	参考	学校図書館との連携については、「第1章-基本方針1 未来を担う子どもたちのための図書館」について本ビジョンを推進するとともに、具体的な取組へのご意見は、今後の参考にさせていただきます。
276	基本方針4	私は、近くの港北区図書館を利用していますので、図書館ビジョン素案に関心を持ち、意見を提出します。5つの基本方針はどれも重複する概念であり、かつつながっている内容で、どれも重要な柱だと感じます。ただ、現実の図書館がこれらの基本方針とかけ離れている面がありますので、それを後半の「新たな図書館像の実現に向けて」で取り組んでいくことになるのかなと理解しています。一つ気になるのは、基本方針4の「利用しやすい図書館サービス」のところで、デジタル技術を活用した情報やサービスへのサクセスが出てきますが、市民の全員がデジタル環境にあるわけではありません。市職員の皆さんには当たり前でも市民層全体から見れば、デジタル環境にない市民が相当います。このような市民がいることをお忘れにならないように、かつ情報が公平にいきわたるように工夫をしてください。	参考	ご提案の趣旨は、「第1章-基本方針4 利用しやすい図書館サービス」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
277	基本方針4	P15のオンラインレファレンス：ぜひ進めて欲しいです。また、横浜市のレファレンス事例を積極的に公開して、利用者が検索できるようになったらいいと思います。（すでにされていたら申し訳ありません	包含・賛同	ご賛同いただきありがとうございます。ご意見の趣旨を踏まえ、素案の「第1章-基本方針4 利用しやすい図書館サービス」の取組について本ビジョンを推進してまいります。なお、横浜市のレファレンス事例は蔵書検索ページの「レファレンス検索」で検索できます。詳しくは「図書館ホームページのレファレンス」を参照ください。 https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kyodo-manabi/library/shirabemono/referance.html
278	基本方針4	P16の学校、地区センター等への本の選定に：教育委員会と事業事務（市民局）の壁はありますが、本来は地区センターこそを地区館サテライトとして充実させるべきだと思います。その場に子育て世代が気兼ねなく居られる場所を作ることが急務だと考えます。地区センターが本のある場所として入り口となり、地区館レベルでも本来はもう少し資料を使った調査に予算を振り向けられるといいのではないかと思います。ですが、その一歩として、資料の専門家が地区センターに積極的にアドバイスし、きちんとした蔵書構築ができていくと良いと思います。	参考	ご意見につきましては、「第1章-基本方針4 利用しやすい図書館サービス」「第2章-4 図書館外のサービスポイント設置の考え方」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
279	基本方針4	基本方針4.電子書籍の導入によって書籍購入費や保管費を抑えるべき。ベストセラー本はまず電子書籍で入れて、3ヶ月くらいしてから資料として紙本を購入するなどし、ブーム後の紙本の大量払下げを防ぎたい。金とスペースのムダである。	参考	ご意見につきましては、「第1章-基本方針4 利用しやすい図書館サービス」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

No.	項目	ご意見	対応分類	本市の考え方
280	基本方針4	【基本方針4】 利用しやすい図書館サービス 特に積極的に情報発信の項目の、図書館利用を知らない人たちへの発信。図書館員が地域にもっともっと出てくることが重要だと思います。移動図書館が本市はたったの2台！各区1台を目指してほしい。そして移動図書館とともに司書もまちの隅々に出向いてほしいです。	参考	ご意見につきましては、「第1章-基本方針4 利用しやすい図書館サービス」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
281	基本方針4	・ノマドワークスペース新設 概要版：基本方針4・2p Q：現存する閲覧席とは何が違うのか。A：受験生、大学生、社会人を中心ターゲットとして「図書館に行く」目的向上を狙う。電源やWi-Fiの完備は当然として、落ち着いたデザイン設計・ゆったりとした空間・ターゲットニーズに合致した専門書籍を本棚一杯に用意する。『くつろぎ』を演出するために「セルフドリンクバー」[カフェ類、スープ類、他]を設置：有料でも構わない。特に『本を読まない世代：20歳前後』に気軽に図書館に立ち寄り、気軽に本に接してもらいたい。	参考	ご意見につきましては、「第1章-基本方針4 利用しやすい図書館サービス」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
282	基本方針4	基本方針4 p.16 ■取組・機能のアイデア ・移動図書館の巡回場所の最適化 すべての人が利用できるように、移動図書館を増やしたり、地区センターの図書室なども共通したカードが使えるようになったらと思います。小学生が子どもだけで行ける範囲に、小さくても図書館があると、もっと気軽に利用できるようなと思います。	参考	ご意見につきましては、「第1章-基本方針4 利用しやすい図書館サービス」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
283	基本方針4	基本方針4 利用しやすい図書館サービス ・働いていると図書館の利用が難しい。 ・貸し借り出来る場所と時間を増やして欲しい ・例えばネット予約した図書本 横浜駅で宅配ボックスみたいな形で貸し借り出来るようにして欲しい	参考	ご意見につきましては、「第1章-基本方針4 利用しやすい図書館サービス」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
284	基本方針4	4. 利用しやすい図書館サービス ・デジタル化は避けられない。電子書籍の貸出し（閲覧権限の一定期間付与）やマイナンバーカードに図書館カード機能を付与させる（既にあるかも??）。 ・貸出・返却スポットや時間を拡充するため、市立小中学校の図書館、コミュニティ・ハウス、その他公共施設を経由した取寄せ・返却を可能にする。 ・映像資料を拡充する。著作権の問題をクリアした上で、民間放送局や映像配信者が作成したドキュメンタリー作品も提供する。 ・特定の調査項目に関し、専門家や関連施設を一括紹介する。関連資料だけでなく、展示施設や大学のゼミ、企業の研究所、民間有志のサークル等、知見を持つ人・団体を紹介し、「要するに誰に聞けば良いのか」というシンプルな疑問に答える。一方で、情報を峻別する大切さ、そのためのヒントを提供することも大事。これこそ司書の醍醐味か。	参考	ご意見につきましては、「第1章-基本方針4 利用しやすい図書館サービス」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
285	基本方針4	・基本方針4 デジタル技術の活用は不可欠ですが、プライバシー侵害のリスクもあることに、もっと自覚的であるべきです。	参考	ご意見につきましては、「第1章-基本方針4 利用しやすい図書館サービス」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
286	基本方針4	p.16の利用しやすい図書館サービスについて、デジタルとリアルで本や情報へのアクセスで、市民を支えていることがいいと思った。	包含・賛同	ご賛同いただきありがとうございます。ご意見の趣旨を踏まえ、素案の「第1章-基本方針4 利用しやすい図書館サービス」の取組について本ビジョンを推進してまいります。
287	基本方針4	基本方針1, 2及び4についての意見です。図書館へのアクセスが良いと言う事は、1区に1図書館では足りないと思います。移動図書館やデジタル図書の配信を行うとしても、誰でも行ける図書館とするなら最低でも1区に2館以上は必要でしょう。時間はかかっても図書館の増設は必須です。	参考	ご提案の趣旨は、「第1章-基本方針4 利用しやすい図書館サービス」「第2章-2 図書館の施設整備の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
288	基本方針4	地元の図書館にない本が他の地域の図書館から取り寄せてもらえて、最寄りの図書館で借りられるシステムはとてありがたく、今後も活用させていただきます。できたら本を導入してほしいという陳述もWeb上でできると助かります。	参考	ご提案の趣旨は、「第1章-基本方針4 利用しやすい図書館サービス」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。

No.	項目	ご意見	対応分類	本市の考え方
289	基本方針4	ビジョン2Pについての要望 戸塚区図書館では夏期と年末年始のお休みがいつも長いので、区役所などと同じにしてください。 休み前にはたくさん本を借りられますし、返却だけは可能ですが冬休みや長期休暇の方も多いため、そういう時期にこそ使いたいです。 点検業務は普段の時期では不可能ですか？	参考	図書特別整理のための3日間の休館は、5月から7月上旬にかけて、休館する館を分散して実施しています。なお、令和5年度は図書館情報システム更新のため、12/25～1/14の間休館しましたが、通常の年末年始の休館は12/28～1/3となります。ご提案の趣旨は、「第1章-基本方針4 利用しやすい図書館サービス」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
290	基本方針4	・図書館のキャラクターが設定されていてビックリ！！製作費もかかったことでしょうか。そのお金で蔵書の更新をしてもらいたかった。最近は何かというマスコットキャラクターを作りたいがそれで行政が親しみやすくなる。司書に真実な賃金を払って安定した親身なサービスをすることが第一です。	参考	ご提案の趣旨は、「第1章-基本方針4 利用しやすい図書館サービス」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
291	基本方針4	1、貸出期間が2週間になり短すぎます。皆が、図書館近くに居住ではないので、以前のように3Wに延長して頂きたいです。	参考	ご提案の趣旨は、「第1章-基本方針4 利用しやすい図書館サービス」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。なお、横浜市立図書館の本の貸出期間は、14開館日です。ただし、年末年始などの休館を挟むときには、貸出期間が長くなります。
292	基本方針4	年始早々図書館が声を聞いて下さる由感激です！その昔、東京から転居してきました。図書館は年中利用。 気付いた事。中央図書館 ①施設が立派です ②利用出来るものがすぐ手で手に入る（机、椅子、コピー機など） ③本（見たい）すぐ手に入り、傍らの机、椅子、コピー機）館内の従業員が親切、丁寧に扱い気持ちよく本を見つけて下さる。何度でもいやがらずやって下さる。 ④すぐ傍の机、椅子、ランプなど有難い。 ⑤小さい子供を連れて行った。三階迄一人で行って楽しんでた。幼児用は一階なのに、一寸（?不明）他を見ます。私のよく行く図書館は2階迄しかないので。コピー機は一階に一台、二階に置いてと頼んだが二年待っても駄目。大きな本など一階まで持ってくるのが大変。一階には大人用の机、椅子がない。 この中の一つでも満たして下さるなら感謝！	参考	ご提案の趣旨は、「第1章-基本方針4 利用しやすい図書館サービス」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
293	基本方針4	2pの基本方針4 利用しやすい図書館サービスについて・電子書籍サービスで、予約した本が届いた（貸出可能になった）場合、メールで知らせてほしい。いつ貸出可能になるのかわからないのに、頻りにチェックすることは難しいので。・電子書籍サービスの本が、電子書籍なのに一度にたくさんの方が借りられないのはなぜなのか。一人2冊までという制限があるのだから、同じ本をたくさんの方が無駄に借りることはないと思う。借りたいと思う本が頻りに貸出中だと、利用する人も減ると思う。・図書館内にゴミ箱を置いてほしい。図書館内のコンピュータで資料検索をしたときに出るレシートを、捨てる場所がなくていつも困る。	参考	電子書籍は、1ライセンスにつき1人の利用契約となっているため、同時に複数の利用ができません。ご提案の趣旨は、「第1章-基本方針4 利用しやすい図書館サービス」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。ゴミ箱の設置については、今後の参考にさせていただきます。
294	基本方針4	③基本方針4 について青葉区では駅のポストでの返却や、地区センターでの取次が行われています。このサービスをほかの区の図書館でも行ってほしいです。とはいえ、指定管理業者に一任するのはやめてほしいです。現在青葉区の山内図書館は指定管理業者が入っています。ほかの市内の図書館と人事交流がないためここだけ陸の孤島のようになっていて、スタッフのサービスと質が他の図書館と比べて非常に悪いです。	参考	ご提案の趣旨は、「第1章-基本方針4 利用しやすい図書館サービス」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
295	基本方針4	■p16基本方針6利用しやすい～オンラインの「図書館コミュニティ」があると、利用者の増加や地域の活性化につながるのではと思います。例えば、自身の読書歴を公開できる仕組みを作り、図書館のIDを持つ人が誰でもアクセスできるようにし、おすすめの書籍を紹介。気に入った方はリンク等から貸出申請ができるようにしたり、同じ書籍を好きな人同士で集まりバーチャルor対面の読書会を開催したり、コミュニティを拡げる機会づくりになると思います。	修正	ご提案の趣旨を踏まえ、「第1章-基本方針3 まちとコミュニティのための図書館」の取組・機能のアイデアに「オンライン会議やライブ配信も可能な設備」と追記するなど原案を追記修正しました。

No.	項目	ご意見	対応分類	本市の考え方
296	基本方針4	<p>行ってみたい、使ってみたくなる図書館になるためのアイデア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最近流行になって(いる)ものを(マンガとかも)もっと取り入れる ・そもそも知ってなかったり行くきかいがなかったりする人もいると思うので、地域と協力して大規模?なイベント(を)きかしたり、学校とかにその図書館のことをかいたポスターみたいなものを見えるところにはったりとか ・流行の音楽ながすとか ・1~5さいの子のためのスペースつくるとか 	参考	<p>行きたくなる図書館についてのご意見は、本ビジョンを進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
297	基本方針4	<p>今まで諦めていましたが、横浜市の図書館について市民意見を送ろうというチラシを戴き意見をお寄せしなく思いました。</p> <p>私は現在横浜市民ですが、学生時代から図書館が好きで、中・高・大そして社会人になっても図書館によく通っていました。しかし、戸塚に越して来て戸塚図書館で雑誌を読もうと空いていた席に座り、読んでいたところ、職員らしいスタッフがとんで来て「この席は新聞を読む方の席なのでどいてください。」と言われ、それ以来図書館には行かないようにしています。新聞を読む人の席に雑誌を読む者が座ったのは自分が悪かったと反省したのですが、後になって考えると何でそんな細かい規則を決めないといけないのか、それは戸塚図書館のキャパシティが飽和状態で雑誌を読む人より、新聞を読む人を優先する方針なのか、そういう飽和状態の場所には行かない方が良いのではないかという考えに至りました。</p> <p>今はコロナによって国民生活は大変な状況にあると思います。生活保護の申請者も増えていると聞きます。働いている方も大変な思いをしています。本や雑誌の一冊を買うのも大変な経済事情にある者にとってはたいへんな状況ではないでしょうか。そうした中で日本国憲法の定める「健康で文化的な生活」の実現としての図書館の役割は非常に大きなものがあるのではないのでしょうか。この図書館は何のためにやっているのか。もうちょっと利用する人達の声を聞いて事業の運営に反映してくれれば良いと思います。私たちの払った税金が何にどれだけ使われているか、国民の関心が強まっているのが今の世相だと思います。</p> <p>私は新聞を購読しているので新聞より、趣味の雑誌を少し読みたいなどと思って戸塚の図書館に行ったのですが、平日は利用者さんと歩くので、10分、15分雑誌を読みたいだけです。そういう市民の希望が叶えられない図書館は私にとっては無いのも同じです。</p> <p>横浜市民として国民として様々な税金を払ってそういうささやかな市民の声を聞けない図書館はどういう運営方針でやっているのでしょうか非常に疑問に思います。</p> <p>最後に意見を述べる機会を与えて下さりありがとうございます。以上</p>	参考	<p>ご不便をおかけして申し訳ありませんでした。ご提案の趣旨は、「第1章-基本方針2 あらゆる市民のための図書館」「第1章-基本方針4 利用しやすい図書館サービス」「第2章-3 新たな機能・機能拡充に伴う空間づくりの考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>
298	基本方針4	<p>市立図書館についての意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行きたくても、忙しかったり、遠いとかで行けない人もいると思うから、私が通う中学校の図書館みたいに、出前図書館みたいなのを1~2か月に1回くらいでやったり、ネットで予約して準備しておいてもらうとかできたらいいです。 	参考	<p>ご提案の趣旨は、「第1章-基本方針4 利用しやすい図書館サービス」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>
299	基本方針4	<p>どの区に住んでいてもどこでも近くに図書館がほしいです。</p> <p>東京出身ですが、1つの区に何箇所もありました。</p> <p>蔵書も新刊は何十人も待ち、本もボロボロで借りるのをあきらめてしまうことも多いです。</p> <p>大和市は図書館を変えたことで子どもの読書率が上がったとも聞いています。</p> <p>予算をつけて蔵書を増やしてください。</p> <p>正規雇用の司書さんを増やして、相談にのってもらえるようにしてください。</p>	参考	<p>ご意見の趣旨を踏まえ、「第1章-基本方針4 利用しやすい図書館サービス」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。司書の雇用方法については、「第1章-基本方針5 柔軟に変化し魅力がいつまでも持続する図書館」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>

No.	項目	ご意見	対応分類	本市の考え方
300	基本方針4	<p>本提言の趣旨 「横浜市図書館ビジョン」(素案)についての各種資料を拝見しました。 (素案)の目指している図書館をもっと市民に対して多面的なサービスを提供するシステムに作り上げていこうという方向には基本的に賛成いたします。</p> <p>しかし、図書館の一番基本的な機能は「本を提供し読んでもらう。」であると思います。横浜市では昨年貸出冊数を6冊から10冊へ増やしましたが予約冊数は従来と変わらず6冊のままです。「素案」では、この件は全く触れられていません。</p> <p>横浜市以外の関東地方の都、県に所属する区、市図書館を調べましたが、予約可能件数が6冊であるところは調べた限り横浜市しかなく、他は最低10冊、多いところではさいたま市の30冊でした。</p> <p>予約冊数の増加について何度か電話で横浜市図書館にお願いしましたが、いずれも予約本を置いておくスペースが無い、予算が無いので改善は不可との説明でした。</p> <p>横浜市以外の図書館が10冊以上の予約が可能である現状では横浜市だけが出来ない理由は全く考えられず、単にやる気がないだけで、図書館の根本のサービス向上を果たさず「横浜市図書館ビジョン」に傾注することは、責任逃れ、焦点ずらしとしか考えられません。</p> <p>早急に予約冊数10冊の実現をお願いしたく、私の経験を参考資料として説明したいと思います。</p> <p>私の経験 私は横浜市図書館だけでなく、東京都世田谷区と目黒区の図書館システムに登録、利用しておりますが、両図書館とも区内居住者、通勤者、通学者でなくとも予約/借出しが可能です。当然、新刊本の予約については居住者等に優先権があり横浜市住民の私にはハンディキャップがありますが、許容限度内であり、予約可能冊数の多いことの利便性が圧倒的に横浜市より優れています。</p> <p>各図書館の最大の予約、貸出冊数、私の'21~'23年の借出し冊数は次の通りです。 借出し冊数'21年'22年'23年 横浜市：予約冊数：6冊、貸出冊数：10冊、36冊53冊51冊 世田谷区：予約冊数：15冊、貸出冊数：15冊、110冊119冊108冊 目黒区：予約冊数：20冊、貸出冊数：20冊、(8月~)63冊 (上記の借出しは全て予約/借出しで行い、図書館の本棚を探して借りた本は皆無です。 予約可能冊数の多い図書館が好きな本を借りて楽しめる図書館ということです。)</p> <p>「横浜市図書館ビジョン」(素案)策定に際して行われた打ち合わせ等の議事録に次のような意見も述べられています。</p> <p>1. Q15:団体利用者・ボランティア「横浜市立図書館のサービス及び利用状況に関するアンケート」の中に「貸し出し冊数は10冊になったが、予約が6冊で少ない。いろんな分野の本を予約しているので、なかなか順番が回ってこないため、ずっと世や菊状態が続いていて、新規の予約ができない。」とあります。</p> <p>2. Q17「令和4年度第15回ヨコハマアンケート」抜粋に「予約できる本の冊数を増やして欲しい。人気作家の本の場合、図書館からの新刊案内と同時に数百人が予約するので、順番が回ってくるまで時間がかかります。人気作家でなくとも1冊しか蔵書がない場合、50人程度の予約数としても1年以上待つようになるので、貸出冊数と同じく、予約冊数についても10冊迄できるようにしてほしい。」</p> <p>取り敢えず借出し冊数を10冊にしたことにより図書館の有効活用が増えて喜んでる人も多いと思いますが、予約冊数の増加を希望している人も多いと確信しています。</p> <p>貸出冊数の最低10冊への拡大を早急を実現いただきたく、よろしく申し上げます。</p> <p>以上</p>	参考	<p>ご提案の趣旨は、「第1章-基本方針4 利用しやすい図書館サービス」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>

No.	項目	ご意見	対応分類	本市の考え方
301	基本方針4	全体について ・電子じしょが1冊になかを借りていると借りれないシステムになっているのですがそれだと電子じしょの強みが生かせなくなっている。 行ってみたい、使ってみたくなる図書館になるためのアイデア ・友達と一緒に行くとき腹がへってしまったりするのですがなかにフードコートとかがあるとありがたい	参考	電子書籍は、1ライセンスにつき1人の利用契約となっているため、同時に複数の利用ができません。ご提案の趣旨は、本ビジョンを進める上で、今後の参考にさせていただきます。
302	基本方針4	・36ページに「まちのアイコンになるためにデザインも重要」とあるように、全世代の人が入りたくするようなオシャレな外観や室内にしたら良いと思います。	包含・賛同	素案の「第1章－基本方針4 利用しやすい図書館サービス」の取組・機能のアイデアについてご賛同いただきありがとうございます。ご意見の趣旨を踏まえ、本ビジョンを推進してまいります。
303	基本方針4	冊子版基本方針4 利用しやすい図書館サービス p16 「学校、地区センター等への本の選定に役立つ情報の提供や研修の充実」 現在学校司書は、会計年度任用職員で十分な研修を受けているとはいえません。年に数回公共図書館が学校図書館に向けに選定した本のリストを知ることができますが、実際に本を手に行ける機会を研修として加えていただけると良いと思います。	参考	学校図書館との連携については、「第1章－基本方針1 未来を担う子どもたちのための図書館」について本ビジョンを推進するとともに、具体的な取組へのご意見は、今後の参考にさせていただきます。
304	基本方針4	16p利用しやすい図書館 サービス学校司書の研修は、区の図書館で年一回あるのみで充分ではないため、有志で講師を呼び、利用料を払って別に研修室などを借りて行っているのが現状です。学校司書のスキルアップ、そして公共図書館の学校連携との情報交換のために、区の図書館を利用した研修をもっと行えることを望みます。	参考	学校図書館との連携については、「第1章－基本方針1 未来を担う子どもたちのための図書館」について本ビジョンを推進するとともに、具体的な取組へのご意見は、今後の参考にさせていただきます。
305	基本方針4	基本方針4にデジタル技術の活用とあり、例として電子書籍の充実とあるが、紙の書籍の削減につながらないようにしてほしい。時代の流れとはいえ、やはり紙の本の方が読みやすいし、多くの本が並ぶ図書館での本の出会いも重要な図書館の機能と思います。例えば横浜市例規集は各図書館で所蔵していると思いますが、神奈川県例規集も各図書館にあるのでしょうか。横浜市報もインターネットのほか、各図書館で閲覧できますが、市販はされていないと思いますので、市政及び県政参画のきっかけとなる市や県の法令に図書館で身近に紙の書籍として閲覧できるように環境を充実してほしい。	参考	ご提案の趣旨は、「第1章－基本方針4 利用しやすい図書館サービス」「第2章－1 蔵書・レファレンスの充実」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
306	基本方針4	P16利用しやすい図書館サービスについて*貸出拠点の増加、配本サービスの充実。*1人1台端末となり、生徒・児童もOPAC、カーリルなどのオンライン検索が可能となっている。だが、初期の設定は大人の補助が必要である。登録の補助サービス。公共図書館がサービスを提供するのが基本だが、児童の立場からすると、学校司書が行う方が良い。そのためには、教育委員会が登録して補助サービスを整える必要がある。	参考	ご提案の趣旨は、「第1章－基本方針4 利用しやすい図書館サービス」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
307	基本方針4	概要版2ページの「基本方針4 利用しやすい図書館サービス」における「電子書籍の充実」について、大賛成です。電子書籍は持ち運びの負担等がかなり軽減されるため、図書館利用者の利便性向上に資するものと存じます。	包含・賛同	ご賛同いただきありがとうございます。ご意見の趣旨を踏まえ、素案の「第1章－基本方針4 利用しやすい図書館サービス」の取組について本ビジョンを推進してまいります。
308	基本方針4	基本方針4 外国の本が簡単に読めるデバイスの提案グーグルグラスみたいなものとか、机に備え付けの端末を通して見ると自動翻訳されて見れるようになるデバイスを常設するとかを期待	参考	ご提案の趣旨は、「第1章－基本方針4 利用しやすい図書館サービス」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
309	基本方針4	基本方針4(P16) 公共図書館の司書さんには独自テーマにそった本を用意していただいて、相談ののってもらうことができ、感謝しています。アドバイスもとても参考になります。 そのお知恵を他の学校司書にも共有できる機会が欲しいです。学校司書と地域の図書館での学びは年に一回の研修だけなのでせめて季節に一度はテーマ展示や新刊のオススメ本、各学年の調べ学習の本の選び方の学びの機会があったらと思います。 東京の特別区では長期休みに調べ学習の相談会があったり、優秀作品の展示、貸し出しがあります。横浜市でも有能な司書さんから教えていただく機会があると子どもたちの学習支援につながります。学校との連携をしながら子どもの学びを支えていけたらと思います。	参考	学校図書館との連携については、「第1章－基本方針1 未来を担う子どもたちのための図書館」について本ビジョンを推進するとともに、具体的な取組へのご意見は、今後の参考にさせていただきます。

No.	項目	ご意見	対応分類	本市の考え方
310	基本方針4	全体について ・p16「SNS等を活用し話題や共感を呼ぶ情報発信」とあり、若い世代は特に図書館に行っていないうえ、関心も少ないと思うので、積極的に若者の間で流行っている本を紹介したり、若者が来てくれるような情報をSNS等を活用して発信していくと良いと思いました。	包含・賛同	情報の発信へのご意見の趣旨を踏まえ、素案の「第1章-基本方針4 利用しやすい図書館サービス」の取組について本ビジョンを推進してまいります。
311	基本方針4	全体について ・P15～16のデジタル関連が書いてあるところの電子書籍について、ものによっては一人の人が読んでいる間、他の人が読めないことがあったりするので、電子でなくとも、同じ本でもいくつかあったりすると有難いと思います。	参考	ご提案の趣旨は、「第1章-基本方針4 利用しやすい図書館サービス」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
312	基本方針4	全体について ・P15の「利用しやすい図書館サービス」に電子書籍と書いてあるが、とてもいい案だと思う。最近、図書館に足を運ぶのではなく、家で書籍を読んでいる人が多いと実感している。私の友達もよく電子書籍をよく利用しているのですが、とても集中しやすく静かでおちつける場所があるといういろいろな人が足を運んで行けるのではないかと思う。	包含・賛同	ご賛同いただきありがとうございます。ご意見の趣旨を踏まえ、素案の「第1章-基本方針4 利用しやすい図書館サービス」の取組について本ビジョンを推進してまいります。
313	基本方針4	行ってみたい、使ってみたくなる図書館になるためのアイデア ・流行のものなどのコラボ。	参考	ご意見は、本ビジョンを進める上で、今後の参考にさせていただきます。
314	基本方針4	行ってみたい、使ってみたくなる図書館になるためのアイデア ・図書館にさそうーおすすめの本を紹介する。→ジャンルわけもされているからタイプの本が見つけやすい。	参考	行きたくなる図書館についてのご意見は、本ビジョンを進める上で、今後の参考にさせていただきます。
315	基本方針4	全体について (概要版)・SNSの活用と書いてあったのですが、私は色んな人と本のかんそうがいいあえるようなモノがあったらいいなっていました！	参考	ご提案の趣旨は、「第1章-基本方針4 利用しやすい図書館サービス」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
316	基本方針4	行ってみたい、使ってみたくなる図書館になるためのアイデア ・パソコンやタブレットを置き、読みたいと思う本を調べてすぐ読めるようにする ・図書館内でジュースを売るようにしたり、ドリンクバーを設置したりして、ジュースを飲みながら本を読めるようにする ・好きな音楽を流せる物を貸し出し、音楽を聞きながら本を読めるようにする ・パソコンなどで自分が読みたいジャンルの本を調べられるようにする	修正	行きたくなる図書館についてのご意見は、本ビジョンを進める上で、今後の参考にさせていただきます。なお、行きたくなる図書館のアイデアのうちパソコンやタブレットを置くことへの意見を踏まえ「第1章-基本方針4 利用しやすい図書館サービス」の取組・機能のアイデアに「館内でのタブレット端末の貸出」を追記するなど原案を修正しました。
317	基本方針4	市立図書館についての意見 ・棚が多く、どこを探せば良いのか分からない部分がある。 ・中学校の図書館は、ジャンルを明確にするべきだ。 ・さらに市立図書館は入荷頻度が低く、読みたい本がよめないこともある。それは改善すべきだ。	参考	市立図書館についての意見は、本ビジョンを進める上で、今後の参考にさせていただきます。
318	基本方針4	③検索システムは、初め当惑しましたが、慣れると使いやすく感じます。特に「貸出履歴」はうれしいです。	参考	ご提案の趣旨は、「第1章-基本方針4 利用しやすい図書館サービス」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
319	基本方針4	市立図書館についての意見 ・図書館が持っている便利な仕組みなどをもっと世の中に広めたら来る人も多くなるかなと思いました。	参考	ご提案の趣旨は、「第1章-基本方針4 利用しやすい図書館サービス」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
320	基本方針4	基本方針4p16学校、地区センターへの本の選定に役立つ情報提供や研修の実施について地域図書館の情報提供が必要です。	参考	ご提案の趣旨は、「第1章-基本方針4 利用しやすい図書館サービス」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
321	基本方針5	3 職員の育成について書かれています。情報のある場所、あるいは探し方について、もっと相談できるような職員、地域とのかかわりにより積極的な職員、そのような育成を願っています。以上です。よろしくお願いいたします。	包含・賛同	人材育成へのご意見の趣旨を踏まえ、素案の「第1章-基本方針5 柔軟に変化し魅力がいつまでも持続する図書館」の取組について本ビジョンを推進してまいります。
322	基本方針5	P17「司書を育てて活かす」について 業務の幅が広がることにともない、司書さんの増員が必要と思います。	参考	ご意見につきましては、「第1章-基本方針5 柔軟に変化し魅力がいつまでも持続する図書館」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

No.	項目	ご意見	対応分類	本市の考え方
323	基本方針5	冊子版p18の職員のチャレンジを支える組織について、職員の能力には差があるため積極的にチャレンジする職員のやる気を削がないために市民が協力できる制度があると良いと思う。(チャレンジを好まない職員もいるため。)図書館に配属される正規職員の割合もよくわからないが、非正規やボランティアもチャレンジできる制度があると良いと思う。	参考	ご意見につきましては、「第1章-基本方針5 柔軟に変化し魅力がいつまでも持続する図書館」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
324	基本方針5	18p「本の物流を支える施設機能の向上」について 現在、瀬谷区に勤務しており、セット貸出、教職員貸出の巡回便にとっても助けられています。(巡回便の無い区では、どうしても圖書の活動に熱心な司書や教諭に利用が限られてしまいます。)ぜひ他の区でも実施して頂き、子どもたちが平等に学ぶ機会を持てるようにお願いしたいです。	参考	学校図書館との連携については、「第1章-基本方針1 未来を担う子どもたちのための図書館」について本ビジョンを推進するとともに、具体的な取組へのご意見は、今後の参考にさせていただきます。
325	基本方針5	概要版3ページにある「貸出・返却のセルフ化」については、高齢者でも使いやすいシステムにしていきたい。スーパーのセルフレジのような高齢者には使いにくいシステムにしないでください。特にスマホを使ったシステムは高齢者にはわかりにくいです。	参考	ご意見につきましては、「第1章-基本方針5 柔軟に変化し魅力がいつまでも持続する図書館」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
326	基本方針5	8Pの基本方針5の中の司書の人材育成について：正規の専門職員を30代以上も採用してほしい。これからの図書館には、民間から図書館員へ転職したような人材も正規に必要なと思う。特に、素案の後に出てくる「コーディネーター人材」のようなポジションは、図書館情報学を学んだプロパーの方よりも、例えば民間で営業職を経験したことがあるような人材の方が適性があるのでは。非正規雇用も、会計年度で区切らずに、専門職としてしっかりとした待遇を用意してほしい。特に指定管理に任せて受託団体がコロコロ変わってしまうのは、「まち」と繋がっていくのなら好ましくないとします。	参考	ご提案の趣旨は、「第1章-基本方針5 柔軟に変化し魅力がいつまでも持続する図書館」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
327	基本方針5	P17の大学や研究機関等との連携：これは中央館に担っていただき、地区館は生活者にできる限り寄り添って欲しいです。	参考	ご意見につきましては、「第1章-基本方針5 柔軟に変化し魅力がいつまでも持続する図書館」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
328	基本方針5	P17の本・情報を活用した交流・協働：司書に、人と対応するスキル(特に高齢、障害、困窮者)を身につける研修を定期的に行って欲しいです。また、司書ではなくてカウンターにリンクワーカーのような「人専門」の人材もいてもいいのではないかと考えます。	参考	ご意見につきましては、「第1章-基本方針5 柔軟に変化し魅力がいつまでも持続する図書館」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
329	基本方針5	基本方針5.団体や企業との事業展開については癒着にならないよう細心の注意を持ってほしい。その上で、例えばライトノベルの編集部などを招いて中高生向けのお話の書き方などを講演・講評しても面白いのではないかと。もちろん高齢者向けの風土記とか文化史やエッセイの書き方講評などもよい。そこに集った人々が定期的に集まれるような場を設定できればなおよい。図書館が、単なる記録庫にとどまらず文化創出の土壌となるための試みを、いろいろ工夫してほしい。	参考	ご意見につきましては、「第1章-基本方針5 柔軟に変化し魅力がいつまでも持続する図書館」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
330	基本方針5	【基本方針5】 みんなその通り。横浜をイメージするときに、図書館を核にした、知的で、開放的で、あたたかい。住んでみたい魅力的な都市の真中に「図書館」があってほしい。	包含・賛同	ご賛同いただきありがとうございます。ご意見の趣旨を踏まえ、素案の「第1章-基本方針5 柔軟に変化し魅力がいつまでも持続する図書館」の取組について本ビジョンを推進してまいります。
331	基本方針5	・病院図書館展開 概要版：基本方針5・3pQ：初めて聞く名称けれども、病院の側に図書館を作ると言うことか。A：神奈川県立子ども医療センター、横浜市民病院長や民間の総合病院などとパートナーシップ協定を締結して入院病棟に書籍を貸し出すもの。専用の部屋を用意しなくても病棟の廊下添いの壁を利用して本棚を設置する。入院患者、医師、看護師などの医療従事者に『やすらぎ』の時間と空間を提供する〔1か月～2か月程度で定期的な書籍入れ替えを行う〕	参考	ご意見につきましては、「第1章-基本方針5 柔軟に変化し魅力がいつまでも持続する図書館」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
332	基本方針5	一般の私企業との協業、連携も反対です。私企業を避ける必要があると思うのはどのような本を読むのがよいのか、良質なコンテンツを選別するのが難しくなっている情報過多の昨今において司書の役割が大切になっていくと考えており、そのような役割の方は偏りのない100%公的な立場にいるのが望ましいと思っているため。資金的に充分かはわかりませんがやるのなら地域の大学と連携するか学術的な団体と共同で運営していくとか、他に方法を検討すべきと考えます。CCCと協業で運営していくような図書館、他の都道府県にありますが見物の見た目は美しいのかもわかりませんが知的な情報を得る場所として、中味は見劣りがします。図書館という内容から企業の宣伝の場になるのは全くもって相応しくありません。企業はその企業の利益のためにやるはずであり、情報を得る場所である以上、協業の相手としては相応しくないと考えます。	参考	ご意見につきましては、「第1章-基本方針5 柔軟に変化し魅力がいつまでも持続する図書館」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

No.	項目	ご意見	対応分類	本市の考え方
333	基本方針5	<p>9 図書館員教育にも力を入れる必要があると思われます</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語 日本語・英語以外に3か国（辞書を引いて理解できるレベル）を毎年増やす ・主題（サブジェク）を毎年一つ増やしていく ・「手話」は必須です ・認知症の方に対応できるための研修会への参加 ・研修はNDLではなくて、隣の図書館を覗きながらの連携 ・学校図書館へ足を運ぶ（例：いじめ防止対策としての公立図書館の役割） ・カウンターや館から外へ出て仕事をする（図書を高齢者・障害者に届ける等） ・図書館長もカウンターに出て仕事をする（週1回でもお願いしたい：利用者とのコミュニケーションとスタッフの気持ちを理解したうえで図書館員育成） ・いつも笑顔で余裕のある対応（仕事を失敗しないようにすることの緊張感が利用者に伝わってしまう。そのことを防ぐためには失敗したらきっちり誤れば理解されるという気持ちをもつこと） ・近隣の刑務所へ足を運ぶ（図書の貸出、あるいはストーリングテリング等） ・本（読書）が苦手な子どもたちのために、犬（ワンちゃん）を活用する以上 *参考になればと思い、勝手なことを申し上げました。 	参考	ご意見につきましては、「第1章－基本方針5 柔軟に変化し魅力がいつまでも持続する図書館」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
334	基本方針5	<p>基本方針5(P.18) ハード面 本の物流を支えて欲しい。 図書館と学校図書館との物流を市メール便のように支えて欲しいです。 現在、40冊まで借りられますが、勤務時間内に教員や学校司書が貸出返却をするのは負担が大きいです。 ぜひ、子ども達にとっての一番身近な図書館である学校図書館についても、図書館ビジョンに取り上げて頂き、支援して欲しいです。</p>	修正	学校図書館との連携については、「第1章－基本方針1 未来を担う子どもたちのための図書館」のなかで、学校など地域とのつながりのなかで子どもや子育てをサポートするとしています。学校の中には、学校図書館も含まれていますが、いただいたご意見を踏まえ、「第1章－基本方針1」の取組の方向性に「学校図書館とともに子どもたちの学びを支えます」を追記するなど原案を修正しました。具体的な取組についてのご意見は、今後の参考にさせていただきます。
335	基本方針5	<p>5. 柔軟に変化し、魅力がいつまでも持続する図書館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館を総合文化教養施設と位置づけ、「ハコ」に対してではない文化予算を獲得する。 ・図書館機能を外注してもいいし（指定管理者制度等）、施設によって特化した分野を持つ図書館とか、本のない図書館があってもいいかもしれない。 ・旅行ガイドは、もう揃えなくても良いと思う。WebやSNSでよりアップデートされた特典付きの情報が手に入るし、地図ページを切り取られるだけではないか。 ・時事的な雑誌類も不要。その予算とスペースは、より専門的な雑誌、論文類に。 	参考	ご意見につきましては、「第1章－基本方針5 柔軟に変化し魅力がいつまでも持続する図書館」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
336	基本方針5	<ul style="list-style-type: none"> ・基本方針5 <p>言っていることは理解しますが、少し抽象的です。将来変わることは承知の上で、現時点で「魅力」とは何なのかについて、もう少し踏み込んで示してほしいと思います。</p> <p>各論になりますが、「司書の役割」について、もっと中心的な議論にしたいのではないかと思います。</p>	参考	ご意見につきましては、「第1章－基本方針5 柔軟に変化し魅力がいつまでも持続する図書館」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
337	基本方針5	<p>花博のようなものに資金を投入することに比較したら派手さや速効性、分かり易さはないかもしれませんが、図書館は市民にとって重要なコンテンツであり削る対象として優先度高めになる方針がそもそも理解できません。企業と協業して資金問題を解決するなど安直過ぎます。</p>	参考	ご提案の趣旨は、「第1章－基本方針5 柔軟に変化し魅力がいつまでも持続する図書館」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
338	基本方針5	<ul style="list-style-type: none"> ・司書は正職員より有期雇用の方が多く聞かれます。経年的に市民の読書文化を育てる為にも継続して雇用される正職員化をすすめて欲しい。何と言っても司書は図書館におけるプロなのだから、正当な評価としての正規雇用を希望する。 	参考	ご提案の趣旨は、「第1章－基本方針5 柔軟に変化し魅力がいつまでも持続する図書館」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。

No.	項目	ご意見	対応分類	本市の考え方
339	基本方針5	3, 文化を豊かにするという点では、司書の安定的確保、正規化を強く希望します。	参考	ご提案の趣旨は、「第1章-基本方針5 柔軟に変化し魅力がいつまでも持続する図書館」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
340	基本方針5	今日、各地の自治体で「公設民営化」が進んでいます。教養、文化のとりくみを民間にまかせてはなりません。図書館の設立、運営は行政が責任をもってすすめるべきです。	参考	ご提案の趣旨は、「第1章-基本方針5 柔軟に変化し魅力がいつまでも持続する図書館」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
341	基本方針5	17p基本方針5司書の人材育成は大賛成です。ぜひ今後も専門職の採用を続けていただきたいと思います。	参考	ご意見につきましては、「第1章-基本方針5 柔軟に変化し魅力がいつまでも持続する図書館」を進めるうえで、今後の参考にさせていただきます。
342	基本方針5	1, 前は本について尋ねると、いろいろ調べてくれて支援してくれました。近頃、司書でない方がカウンターにいるようで、前みたいに聞いても応えてくれません。何となく司書さんが減ったような気がします。職員の方の構成が変わったのでしょうか？	参考	ご意見の趣旨は「第1章-基本方針5 柔軟に変化し魅力がいつまでも持続する図書館」「第2章-1 蔵書・レファレンスの充実」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
343	基本方針5	○山内図書館について、指定管理者ではなく、本市の直接管理に戻してください。	参考	ご提案の趣旨は、「第1章-基本方針5 柔軟に変化し魅力がいつまでも持続する図書館」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
344	基本方針5	概要版3pの「基本方針5」に記載されている「司書の人材育成」、「市の強みである司書を育てて活かします」、「(例えば)職員のチャレンジを支える組織」という記述は、「基本方針1~4」を実現する上で、とても重要なポイントだと思いました。「司書が、職員が、安心して継続的に、図書館で働くことができる」、「図書館員としてスキルを磨き、図書館内で、希望する職種につける」ことも、今後、横浜市が「新たな図書館像」を描き、それを軌道にのせるために、欠くことのできない事柄だと思います。そうした記述もぜひ加えていただきたいと思います。	参考	いただいたご意見につきましては、本ビジョンを進めていくうえでの参考にさせていただきます。
345	基本方針5	p18 図書館運営への住民・利用者参画の仕組み構築の提案図書館は、地域住民のための施設です。その充実・発展へ住民も図書館運営への1員としてその責任を果たしたいと考えます。参画の場を作って頂きたい。(要望)全国の図書館運営参画の例を資料集に掲載されることを希望します。	参考	いただいたご意見につきましては、本ビジョンを進めていくうえでの参考にさせていただきます。
346	基本方針5	また、概要版3ページの「基本方針5 柔軟に変化し魅力がいつまでも持続する図書館」における「貸出・返却のセルフ化」について、本件も大賛成です。東京都ではセルフ化がすでに実現している図書館もあるので(確か港区の三田図書館がセルフ化を実現している)、横浜市でも実現は十分に可能だと思います。また、貸出・返却のセルフ化を実現することにより、司書の皆様が専門性を発揮する時間を確保できるものと存じます。これに加えて、図書を消毒する機械の導入を合わせて検討いただけると大変嬉しいですよ(確か品川区の品川図書館に図書を消毒する機械があった)。図書館の蔵書は不特定多数の方が触れるものなので、貸出時に消毒ができると安心できます。	包含・賛同	ご賛同いただきありがとうございます。ご意見の趣旨を踏まえ、素案の「第1章-基本方針5 柔軟に変化し魅力がいつまでも持続する図書館」の取組について本ビジョンを推進してまいります。図書を消毒する機械は、市立図書館全館で導入していますのでご活用ください。
347	基本方針5	(p.18の司書の人材育成についての項目について) 全体を通して、図書館に求めるのはコミュニティを作る場というより、「居場所」としての機能なのではないかと考えます。そして司書さんに求められる資質も、居場所を作るような役割ではないかと思えます。・司書さんを身近に感じられる働き方はできないのか？(いつも忙しそう)・本屋大賞のような、「司書大賞」のような取り組みを図書館でも出来たら面白いのではないかと。司書さんも横浜市民。利用者だけでなく、働く人も混ざったコミュニティ作り、交流の場づくりができればと思います。	参考	ご提案の趣旨は、「第1章-基本方針5 柔軟に変化し魅力がいつまでも持続する図書館」「第2章-5 効率的・効果的なサービス提供とツールの充実/デジタル技術の活用によるサービスの最大化」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
348	基本方針5	P18魅力が持続する図書館について*文化的で知的なレベルの維持。一般的に娯楽性の高い方が優先される傾向にあるが、図書館にはそうあってほしくない。知の拠点であって欲しい。市民の意見を求めるのも良いが、専門家の意見を尊重して欲しい。	参考	ご提案の趣旨は、「第1章-基本方針5 柔軟に変化し魅力がいつまでも持続する図書館」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。

No.	項目	ご意見	対応分類	本市の考え方
349	基本方針5	基本方針5 ビジョンを見て想像以上に貸出量が多くて驚きましたなので書庫の自動ピックアップシステムがあればいいと思います、窓口で頼まなくても書庫にある本はユーザーが自動で取れるようになると楽でいいと思います	参考	ご提案の趣旨は、「第1章-基本方針5 柔軟に変化し魅力がいつまでも持続する図書館」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
350	基本方針5	図書館本来の機能充実と共に、それを支える「人づくり」にさらに力をいただきたいと思います。横浜市は、それが可能な、全国最大の基礎自治体だと思います。	参考	ご提案の趣旨は、「第1章-基本方針5 柔軟に変化し魅力がいつまでも持続する図書館」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
351	基本方針5	・「柔軟に変化し魅力がいつまでも持続する図書館」（17p） 専門職としての司書の役割はとても重要だと思います。横浜市において継続的に司書を採用していることは強みだと思います。素案に記載されていることに加え、経験を積んだ有能な司書の昇任・昇格のルートが制度化されてほしい。また、司書が力を発揮できるペースとして図書館が安心・安全で働きがいをもてる職場であってほしい。その点で地域図書館での業務委託化については疑問を持っています。中央図書館クラスの大規模館はともかく、地域図書館レベルの小規模図書館で業務を分業し2つの指揮命令系統のスタッフが存在することで業務の一体性が損なわれていないか。業務委託を直接雇用で切り替え、臨時職員も含めワンチームとして持続・成長する図書館でありたい。	参考	ご提案の趣旨は、「第1章-基本方針5 柔軟に変化し魅力がいつまでも持続する図書館」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
352	基本方針5	2、司書職制度の堅持 横浜市は、司書の専門性を重視して、長く制度を堅持してきましたが、「住民の知る権利を保障する教育機関」としての図書館における司書の専門性を維持・継続を後世につないでいくべきです。	参考	ご提案の趣旨は、「第1章-基本方針5 柔軟に変化し魅力がいつまでも持続する図書館」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
353	基本方針5	3、民営化は建物を建築する場合の手法としてはわかりませんが、こと図書館や保育など教育に関わる分野は直営で運営してください。図書館は儲けをポイントにする民営化には不向きですし、衆参国会の論議でも図書館はなじまないと答弁してきています。図書館の民営化は専門職員が育ちません。低賃金、非常勤職員化が著しい今、図書館法に則り、自治体が責任を持つ運営に切り替えてください。世界の動きは民営化から公営化に向かっています。	参考	ご提案の趣旨は、「第1章-基本方針5 柔軟に変化し魅力がいつまでも持続する図書館」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
354	基本方針5	3p.図書館ビジョン基本方針5・横浜市の図書館はいったん変化するとそこで止まってしまうがちです。変化の速い時代にあって、柔軟に変化し続けることが本当に大事です。それには図書館職員(司書)の広い視野と不断の学び、図書館組織のあり方にも十分な配慮が必要です。時代遅れの図書館にならないでほしいと切に願います。	参考	ご提案の趣旨は、「第1章-基本方針5 柔軟に変化し魅力がいつまでも持続する図書館」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
355	策定過程	1. p. 34 「市民ワークショップ～結果概要」の最初の2行は必要なし。テーマ毎1. 2. 3の事例票は簡潔にまとめたほうがよい。 2. p. 36 「有識者の意見聴取～主なご意見(1)表4、「空」の最後の行「ZEB、グリーンインフラとしての図書館」とは何? 以上の文章を分かりやすい言葉と表現にしてほしい。このことは、同上の表5、「効率化」でも同様のことが言えます。	修正	ZEBについて、いただいたご意見を踏まえ、注釈を追記するなど原案を修正しました。いただいたご意見につきましては、本ビジョンの策定にあたり参考にさせていただきます。
356	策定過程	5、おわりに この市民意見をぜひ「広報」新聞などで公開して市民全体で共有できるようにしてください。	参考	市民意見募集の結果は横浜市のホームページで公表する予定であり、新聞での公表の予定はございませんが、今後の参考にさせていただきます。
357	第2章(全体)	・本が古いので市民の声をみくあげてそろえてほしい ・席にすわって読めるスペースを増やしてほしい ・予約がとりやすくなるようにしてほしい ・区民の文化センターとなるような建物にしてほしい ・取次所を増やしてほしい ・近所に図書を貸し出す所がほしい	参考	ご意見の趣旨は、「第2章-1 蔵書・レファレンスの充実」「第2章-4 図書館外のサービスポイント設置の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
358	第2章(全体)	21pの図が、分かりにくいです。25pの図、配置はよく分かるのですが、四角の中に入るように大きさを調整するとよいではないでしょうか。26pの内容を読んで、効率的に使えるようになることが分かり楽しみになりました。	修正	21p、25pの図版へのご意見につきましては、図版の差し替えや拡大など原案を修正しました。 ご意見の趣旨を踏まえ、素案の「第2章-5 効率的・効果的なサービス提供とツールの充実/デジタル技術の活用によるサービスの最大化」の取組について本ビジョンを推進してまいります。

No.	項目	ご意見	対応分類	本市の考え方
359	第2章(全体)	21頁：間違いない。その中で、中央図書館の在り方が少々気になっている。竣工して30年まだ解体には早く十分使える施設と思う。しかし、立地が良いようで悪い。これは次の頁にもつながる話でもあるので、次に行きたい。 22～24頁：今の建物で、この3頁に渡るビジョンに可変できるか？ということがあると思われる。25頁：上記の4頁(21-24頁)に渡って、考えられる一つの案は、移転が考えられると思う。特に空白地帯の市の西側である。図示されるなかでは、市の東側は図書館の密度が高いことがわかる。花博の後、横浜で大きく使える土地は瀬谷通信隊跡地である。今後いわゆる「KAMISEYA PARK」として開発される場所だ。このプランには駅の開発もある。また公園隣接地区に公園・防災地区がある。この空間に入れ込むことで、より一層の賑わい、空間の価値が高まるだろうと思う。さて、取次所である。横浜市の図書館機能については、人口に対しては、小さいのではないかとされることもある。図示のとおり、空白地が多い。建物を建てたりするのは、横浜市の財政を考えると適切には思えない。市の施設での授受をしたいのであれば、区役所のサービスカウンターや地域ケアプラザを活用するのも良いだろう。一方で、「PUDO」や「アマゾンのロッカー」のようなものを活用できないであろうか。また、その設置場所を大規模小売店などに設置できると、日常生活に図書が重なる部分が増えてくると思われる。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-2 図書館の施設整備の考え方」「第2章-3 新たな機能・機能拡充に伴う空間づくりの考え方」「第2章-4 図書館外のサービスポイント設置の考え方」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
360	第2章(全体)	電子書籍の充実、デジタル技術活用による効率化に期待しています。	包含・賛同	ご期待いただきありがとうございます。ご意見の趣旨を踏まえ、素案の「第2章-1 蔵書・レファレンスの充実」「第2章-5 効率的・効果的なサービス提供とツールの充実/デジタル技術の活用によるサービスの最大化」の取組について本ビジョンを推進してまいります。
361	第2章(全体)	これまでの図書館は古くて狭いという印象があるが、これからの新たな図書館の姿を想像するとワクワクしてくる。	包含・賛同	ご期待いただきありがとうございます。新たな図書館像の実現に向けて、本ビジョンを推進してまいります。
362	第2章(全体)	1.3.4.5は良いと思います。	包含・賛同	ご賛同いただきありがとうございます。新たな図書館像の実現に向けて、本ビジョンを推進してまいります。
363	第2章(全体)	予算化して図書館充実をぜひ実現してください。	包含・賛同	ご意見の趣旨を踏まえ、本ビジョンを推進してまいります。
364	第2章(全体)	戸塚は、地区センターも併設で、すでに図書も、イベントも、ができています。他の図書館もこんな風になれば素敵ですね。子ども図書と大人用がわかれているのもよいです。栄のようにフロア別だとわかりやすい。ただ、戸塚では、子ども用スペースで大人が寝ていたり学習していたりを見かけるので、専用席ではなかったっけ？と思いながら横切ります。席の独占を避けるためにも、予約制はいいですね。司書さんが本のことだけではなく、地域やサービスについて学び提供していく取り組みが気になります。詳細を示していただけるとうれしいです。	包含・賛同	いただいたご意見につきましては、本ビジョンを進めていくうえでの参考にさせていただきます。取組例については、基本方針1～5にこれからの図書館のイメージ、機能・取組のアイデアとして記載しておりますのご覧ください。
365	第2章(全体)	p.21図書館の施設整備の考え方、p.25図書館外のサービスポイント設置の考え方、について1区1館が基本とありますが、エリアによっては交通費をかけることができません。これでは平等なアクセスではないと思います。少なくともどのエリアに住んでも図書にたどり着く手立てが必要だと思います。主要な駅や施設等で予約本の受け取り、返却ができるよう整備してほしいです。	参考	ご意見につきましては、「第2章-2 図書館の施設整備の考え方」「第2章-4 図書館外のサービスポイント設置の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
366	第2章(全体)	子供の不登校が増えています。平日、学校に行けない子供の学びの場として活用できないでしょうか。知りたい情報提供がスムーズにできる場になると良いと思います。本だけでなく、美味しいお店や趣味やスポーツなどできる場所を探すなど。共通の趣味などのコミュニティが作りやすい場になると良いと思います。読みたい本の取り扱いが無い場合があります。そこを極力埋め合わせられると良いと思います。また、予約待ちが多い本は増やすなどスムーズでストレスの無い貸出を望みます。	参考	いただいたご意見につきましては、本ビジョンを進めていくうえでの参考にさせていただきます。

No.	項目	ご意見	対応分類	本市の考え方
367	第2章(全体)	本を借りるというサービス自体は素晴らしいものですが、平日仕事をしていると、身近な図書館には開館時間内に行くことができません。利便性の向上として、駅中に在ったり夜まで開館するだけでも、利用者数はかなり増えるものと思います。また滞在スペースがあったり飲み物可になれば、カフェは混雑しているのですから、利用したい人はたくさんいると思います。最近はそのような図書館が日本各地でできていますので、そうした成功事例を取り込んでいただければ、市民に愛される図書館となるものと思います。個人的には人気のある図書館は座る場所が無いことが多いので、座席も事前に予約できれば安心して通えてうれしいです。	参考	いただいたご意見につきましては、本ビジョンを進めていくうえでの参考にさせていただきます。
368	第2章(全体)	p.20「3.新たな機能・機能拡充に伴う空間づくりの考え方」p.27「6 多様な主体との協働・共創」では、これまでの市民サービスでは行き届かなかった部分へのリーチを目指しているように見えます。子どもや高齢者も過ごしやすく、本を読んだり借りたりする以外にも、地域活動や個々の学びに応じた機会やスペースを利用できる場としての図書館は、欧米の先進的な例に則った歓迎すべきものです。ただ、このようなサービスを活用したいと思う市民を、育てるのも大切かと思うのです。p.27に「様々な主体と手を取り合って、社会や市民ニーズの変化に応じた知識・情報サービスを創り」「司書は地域に向いて、ニーズや知見を学び、図書館運営や、新たなサービスに反映させるとともに、コーディネーターとして、人とまちと図書館をつなぎます」とあり、表に取り組み例があります。こうした活動はこれまでも単発的には行われてきたのですが、従来のような市報掲載や館内掲示物だけでは市民へのPRが不足しています。新しく導入するデジタルサービスなどを通じ、常に新しい情報を市民へ届け、市民の好奇心や学ぶ意欲を喚起するしくみづくりを構築してほしいです。どうぞよろしくお願いたします。	参考	「第2章-3 新たな機能・機能拡充に伴う空間づくりの考え方」「第2章-6 多様な主体との協働・共創」など、新たな図書館像の実現に向けて取り組むとともに、市民の皆様へサービスを届ける取組について、今後の参考にさせていただきます。
369	第2章(全体)	○ジャンル別に特化した図書館 文学関係、科学・技術関係、社会科学・政治関連、芸術・文化関連、経済・金融関連 保険・医療等、産業などジャンル別に分けた図書館があると利用です。 ○図書館を中心にしたコミュニティ施設 図書館を中心にして、講演や演劇ができる小ホールや、会議室を併設した文化コミュニティ施設がほしいですね。 ○図書館が主催する文化・技術・芸術行事 図書館が主催する文化、技術、芸術など講演会や、絵画・彫刻・写真の発表会や交流会ができる場所がほしい。・・・関連する図書の紹介などもあればいいですね。	修正	ご意見につきましては、本ビジョンを進める上で、今後の参考にさせていただきます。いただいたご意見を踏まえ、基本方針3の取組・機能のアイデアを「地域のアーティストと連携したワークショップや作品展示」を追記するなど原案を追記修正しました。
370	第2章(全体)	①単なる図書館ではない図書館。例えばカフェ・紅茶コーナーの併設図書館。 ②幼児を預かる施設、遊ばせる施設を併設した図書館。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-3 新たな機能・機能拡充に伴う空間づくりの考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
371	第2章(全体)	民間企業からの情報が少ない印象あり。市民が集う場が欲しい。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章新たな図書館像の実現に向けて」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
372	第2章(全体)	行ってみたい、使ってみたくなる図書館になるためのアイデア ・洋書を入れている図書館。 ・静かで落ち着いた図書館。 ・駅などから近く、行きやすい。→多少遠くても行ける範囲なら…	参考	行きたくなる図書館についてのご意見は、本ビジョンを進める上で、今後の参考にさせていただきます。
373	第2章(全体)	青空移動式図書、良いです。	参考	ご提案の趣旨は、「第1章-基本方針4 利用しやすい図書館サービス」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
374	第2章(全体)	「横浜市図書館ビジョン(素案)」概要版2～3p「新たな図書館像の実現に向けて」に描かれた「図書館」は、単なる書庫としての役割を脱却し、図書館としての可能性を拡げる新たな試みだと思いました。確かに、図書館は単なる書庫ではなく、なおかつ、人を支えるために、人がいる、人的インフラです。	包含・賛同	図書館ビジョンの趣旨にご賛同いただきありがとうございます。ご意見の趣旨を踏まえ、本ビジョンを推進してまいります。

No.	項目	ご意見	対応分類	本市の考え方
375	第2章(全体)	第2章 新たな図書館像の実現に向けてについて。 1. P.20 「蔵書・レファレンスの充実」の最初の6行は不要と思われる。 2. p. 21「図書館の施設整備の考え方」の最初の5行は、簡潔な表現にするとよい。また、ファシリティマネジメント等、英語のカタカナ表記は、極力避けた方がいいと思われる。 3. p. 22「3. 新たな機能・機能拡充に伴う空間づくりの考え方」(1)子どもや子育て世代が利用しやすい環境づくり」の最初の4行の解説は、できるだけ短くするとよい。また、それに続く5つの事例の表現は、簡潔にすべきである。 4. p. 27 「6. 多様な主体との協働・共創」は、もっと簡潔な表現にしてほしい。 ** 全般に日本語の文章表現を短くしたほうが、むしろ読み手は理解しやすいと思われます。長すぎると、勝手に端折ってしまい誤読することが多いのではないのでしょうか。	参考	いただいたご意見につきましては、本ビジョンの策定にあたり参考にさせていただきます。
376	第2章(全体)	上記(注:30を指す)と同じ理由で、「3 新たな機能・機能拡充」は不要だと思います。	参考	ご意見につきましては、「第2章-3 新たな機能・機能拡充に伴う空間づくりの考え方」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
377	第2章-1	行ってみたい、使ってみたくなる図書館になるためのアイデア ・小学生の時に、図書館に行ったとき、周りではやっている本を借りようと思ったけれど置いていなかったの、はやっている本は、積極的にいれてほしいと思った。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-1 蔵書・レファレンスの充実」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
378	第2章-1	全体について ・8ページを読んで、基本方針をわかってわかりやすかった。 特に基本方針5で地域づくりに貢献できる図書館があるといいと思う。 行ってみたい、使ってみたくなる図書館になるためのアイデア ・たくさん本を図書館に置く。 45ページを見たら金沢区の図書館には本149917冊あることが分かりました。しかし中央図書館では1759747冊あるので、もっと金沢区にも本を増やして欲しいと思いました。また、たくさん本があることで、知識が得られるから。	包含・賛同	基本方針5について賛同いただきありがとうございます。ご意見の趣旨を踏まえて、本ビジョンを推進してまいります。蔵書の充実に関するご意見は、素案の「第2章-1 蔵書・レファレンスの充実」の取組について、本ビジョンを推進してまいります。
379	第2章-1	現在1人6冊までの予約ができるので、常に6冊を予約しています。残念ながら、現在1年近く待っているもの、10ヶ月、半年など、数ヶ月単位で待っている状況です。新刊のみならず、人気の小説、エッセイ、雑誌等いつも待ちくたびれます。忘れた頃に来るので読者の楽しみが味わる文化都市という郷土愛が持続しないのが現実です。 他市へのふるさと納税などせず、横浜の為に納税し続けるつもりでいる市民として、是非、図書館の充実をお願いします。 その為に、1年近く待つ利用者がいる現実を改善できる図書館職員の数を増やし、蔵書を増やし、市民の希望が生かせるシステムなど、つくっていただきたいと思えます。	参考	ご意見の趣旨は、「第2章-1 蔵書・レファレンスの充実」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
380	第2章-1	20p「レファレンス」：より利便性の高いAI(図書館システム)だけでなく、地域の物事に熟知した司書の存在は必須で、それを考えると正規雇用で経験年数と合わせて長く勤務できる司書の育成を見通した雇用を行う必要がある。長期のビジョンが必要だ。	参考	ご提案の趣旨は、「第1章-基本方針5 柔軟に変化し魅力がいつまでも持続する図書館」「第2章-1 蔵書・レファレンスの充実」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
381	第2章-1	蔵書・レファレンスの充実に関してですが、国会図書館との連携により蔵書・レファレンスサービスの拡大、充実が期待できるかもしれません。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-1 蔵書・レファレンスの充実」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
382	第2章-1	・【概要版p2】蔵書・レファレンスの充実について、劣化の酷い本が多いので基本の本の管理をしっかりして欲しい。また、話題の本、新刊本をスピーディーに蔵書にして欲しい。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-1 蔵書・レファレンスの充実」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。

No.	項目	ご意見	対応分類	本市の考え方
383	第2章-1	p20 蔵書レファレンス充実について 学校単元で使える基本書のセットを増やし、より多くの学校が授業支援のための図書貸出を申し込めるようにしてください。授業支援の拡充を強く求めます。また、公共図書館、市内学校図書館間とのネットを構築して相互貸出を可能にしてください。学校図書館は子どもが初めて身近に接する図書館であり、小学校で図書館の社会インフラとしての有益性を体験学習することで、生涯図書館を利用する、利用できる市民を育成することができます。そのためには職業体験などの一過性のイベントに頼るだけでなく、日々、折々に「公共図書館から借りた本」を利用することで児童に公共図書館を身近に感じさせることが有益です。児童数減少で図書予算が減るなか、自校だけで児童のニーズに応える蔵書構築は難しいですが、公共図書館からの貸出がスムーズであれば、自校独自のニーズに合わせた蔵書構築が可能になります。1 ネットで貸出申込 2 市メール便などで図書館-学校間の図書貸出返却の実現を切望します。他県、他市では実施されています！川崎市、山梨県の学校司書に蔵書管理パソコンから公共図書館の貸出が申し込めないと言ったらありえないと驚かれました。	参考	学校図書館との連携については、「第1章-基本方針1 未来を担う子どもたちのための図書館」について本ビジョンを推進するとともに、具体的な取組へのご意見は、今後の参考にさせていただきます。
384	第2章-1	20頁の生成AIの活用や情報リテラシー向上についての記載がありますが、生成AIが情報を主体的に選ぶこと、AIに任せることで情報の公平性が担保できなくなる。もしくは何故その情報を選択したのかの追跡、検証ができなくなる恐れがあり危惧を感じます。個人的には、図書館に専門性の高いキュレーターがいてくれる方が安心して情報の選択ができると思います。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-1 蔵書・レファレンスの充実」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
385	第2章-1	P20の地域の知・文化のコーディネーターについて：生活のコーディネーターができる人材も必要だと思います。（それは司書でなくても）また、司書として出来ることとして、レフェラルサービスの一環として、地域の他の公共施設や支援施設へリファーできる能力を備えて欲しいです。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-1 蔵書・レファレンスの充実」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
386	第2章-1	1 蔵書・レファレンスの充実 司書が、まちのコーディネーターとして生き生き発揮できる環境を！まちを知る司書に！	包含・賛同	ご意見の趣旨を踏まえ、素案の「第2章-1 蔵書・レファレンスの充実」の取組について本ビジョンを推進してまいります。
387	第2章-1	○蔵書・レファレンスの充実 図書館には、国会図書館、県立図書館、市立図書館などのヒエラルキーに応じた役割分担論があり、それに合った運営をすべき、という考え方があります。地域の図書館（市立図書館）は、先ず図書に親しむことを子どもに教えるべきだ、だから選書（蔵書）よりも読書案内や貸出業務に注力すべき、というようなものです。 基本方針1も、この辺りの考え方が通底しているように思います。しかし、この考え方は「限られたリソース配分をどうすべきか」という問題から生まれたもので、間違いではありませんが、「図書館の本来あるべき姿とは何か」という理想論から生まれたものではないことに注意すべきだと思います。また、これからの時代「メディア情報リテラシー」が大切、というのは全くその通りですが、では一体どうしたら情報リテラシーを養うことができるのでしょうか？ 「養う」という言葉を使いましたが、それこそ子どもの頃から、良質な情報に大量に接し（読む）、自分の内面に情報に対する相場感みたいなものを身につける、ことしかないのではないでしょうか。 この、良質な情報に大量に云々、というところに「図書館のリファレンス機能の充実」や「司書の再評価」などが活かされるのだと思います。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-1 蔵書・レファレンスの充実」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
388	第2章-1	1. 蔵書の充実について。30代、40代のときに、保育士の資格をとるためと、心理学を学ぶため大学の通信教育で学んでいました。ひと月に1~2本のレポート提出に2~3冊の参考文献を読むことが求められていました。レポートは20本もあり、そのつど本を買うことはできず、港北図書館に通いました。しかし、社会福祉や心理学の本は、どれも10年くらい古い本しかなく（当時）レポートに求められる新しい研究や情勢にあっているのかどうか、不安でしたが、どうすることもできず、それを参考文献として提出しました。学問を学びたいと思っている市民はたくさんいるはずで、もっと、本を充実させてほしいです。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-1 蔵書・レファレンスの充実」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
389	第2章-1	①本の種類と数の充実 特に新聞や雑誌などに掲載されたニュースや出来事等を閲覧できるようにして欲しい	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-1 蔵書・レファレンスの充実」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。

No.	項目	ご意見	対応分類	本市の考え方
390	第2章-1	・蔵書数が少なすぎる。また古本が多すぎる。 歴代の図書館関係者の力が弱かったためか、他都市と比べ蔵書が見劣りする。民間委託などさせないためにも、もっと市内部や議員にも図書館の理解者を増やし、魅力的な蔵書を増やしてほしい。もちろんこれは市民である私たちの役割でもあるが、図書館など一部マニアのためのもの、本など買って読めばよいと考えている議員や市幹部をぜひ説得してほしい。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-1 蔵書・レファレンスの充実」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
391	第2章-1	一行政区一館では少なすぎます。最低でも倍にすべきです。蔵書数も市民一人あたりにすると20政令都市で最下位とか。予約しても、半年以上待っても、まだ順番にならない場合がしばしばです。	参考	蔵書の充実については、素案の「第2章-1 蔵書・レファレンスの充実」の取組について本ビジョンを推進してまいります。図書館数の増加へのご意見については、「第2章-2 図書館の施設整備の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
392	第2章-1	グローバルゼーションとアジャイルをキーワードにした選書の充実をお願いしたい。具体的には海外の雑誌が毎月読めること。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-1 蔵書・レファレンスの充実」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
393	第2章-1	The Economist や Foreign Affairs などの雑誌を貸し出し禁止にしてコピーでの利用、活用に限定してください。常に書架にその雑誌が備えてあるようにして下さい。そうすれば利用者は10倍以上に増えると確信します。何時来ても閲覧できるようにして下さい。経済雑誌の『経済』【新日本出版社】を備えて欲しいです。	参考	ご提案の趣旨は、素案の「第2章-1 蔵書・レファレンスの充実」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
394	第2章-1	特に「横浜市図書館ビジョン(素案)」に含まれていませんでしたが、蔵書が明らかに少ないです。私はWebの予約サービスを利用していますが小説作品の取寄を予約してから手元に届くまで半年以上かかったこともありました。一方で書架を眺めているといわゆる「ヘイト本」と呼ばれるような特定の国や民族を差別的に取り扱った本が置かれていることがあり、本当にうんざりします。そうした書籍であっても人々が読み批判することも必要なため図書館の公益性の上で蔵書するなどは考えませんが、少なくとも公開書架に置かないなどの対策はしてほしいです。またそうした本を選別できるリテラシーのある司書を育成してください。また、司書の待遇が極めて悪く生活が成り立たないという話も聞きます。司書を適正な待遇で任用してください。	参考	蔵書の充実についてのご意見は、「第2章-1 蔵書・レファレンスの充実」において、司書については「第1章-基本方針5 柔軟に変化し魅力がいつまでも持続する図書館」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
395	第2章-1	政策の内容ではありませんが以下の点について検討をお願いします。 視聴覚(CD等)の貸出 ・全図書館、全ジャンルとは申しませんが、主要分野、主要図書館での貸出を希望します。東京都、川崎市では実施済みです。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-1 蔵書・レファレンスの充実」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
396	第2章-1	・問題意識としては図書館は「開いて、目的の本はなかった」というような事が現状は日常的です。あと、現状の12/25～1/14まで休業という体制を少しでも短くしてほしい。つまり営業時間を長くしてほしい。改善点。 ・あと細かな所では「旅の案内」の本は古くなるので2年位で交替 ・「作家」の本では芥川賞、直木賞等は最低用意してほしい。	参考	ご提案の趣旨は、素案の「第2章-1 蔵書・レファレンスの充実」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。なお、令和5年度は図書館情報システム更新のため、12/25～1/14の間休館しましたが、通常の年末年始の休館は12/28～1/3となります。
397	第2章-1	港南図書館利用 ・本が古すぎる。新しい本を入れてほしい。予約しても（主に新刊本）何百人待ちを改善して！！ ・東京のように「DVD」の貸し出しをするように	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-1 蔵書・レファレンスの充実」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
398	第2章-1	物価高の昨今、書籍購入の余裕がありません。いつも図書館を利用していますが、新刊の予約は天文学的な人数待ちです。新刊なのでしかたがないとは思いますが、もう少し書籍数を増やして欲しいです。文化的な生活を送ることに図書館の意義があると思います。どうぞよろしくをお願いします。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-1 蔵書・レファレンスの充実」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
399	第2章-1	・人気のある本、連続本など予約しても、1ヶ月経っても届かない。せめて1ヶ月くらいで届いてほしい。 ・新刊本が少ない＝新鮮さが湧かない＝マンネリ化？ ・掲示物（おしらせ物）に時折目がひかれる物があり司書の方々が努力している様子が伺えます。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-1 蔵書・レファレンスの充実」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。

No.	項目	ご意見	対応分類	本市の考え方
400	第2章-1	図書館が徒歩圏にあるため便利に使わせていただいております。蔵書率、図書館比率が「低」など想像すらしめておりませんでした。①新刊が借りにくい②たのんでも時間がかかる と思うこともあります。地区センターの本と図書館の本で私の読書欲は満たされております。 図書館の本の背表紙をみながら、いろいろな想像をふくらませるのは本当に楽しい時間です。 どんな内容? 借りたかった本があった! 読まず嫌いだった、面白かった、など図書館が身近にあつてこそその大きな楽しみであります。ぜひ図書館の中身の充実をおねがしたい。 コロナ渦を経て「紙媒体での読書」とはかぎらない時代がやってくるのでは…と思うこともあります。その時は図書館の有り方も大きくかわるのでは? しかし本は高いですネエ…。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-1 蔵書・レファレンスの充実」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
401	第2章-1	・たまに港北図書館に行くが、暗い狭い。蔵書が古いという印象がぬぐえない。美術全集等も新刊に更新してもらいたい。新しい物(印刷)の方がやはり発色が良いので。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-1 蔵書・レファレンスの充実」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
402	第2章-1	2, リクエストしても20人待ち30人待とかなりの期間を待たされます。購入部数が少ないのでしょうか。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-1 蔵書・レファレンスの充実」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
403	第2章-1	私は仕事の関係で「The Economist」や「Foreign Affairs」などの海外雑誌を読んでおります。読みたい雑誌が貸し出し中ということがあり、不便な思いをすることがあります。仲間にも大変困っている人が多いです。以前にもお願いしましたが、禁帯出にしてくださいませよう改めてお願いいたします。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-1 蔵書・レファレンスの充実」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
404	第2章-1	行ってみたい、使ってみたくなる図書館になるためのアイデア ・もっと漫画をいれてほしいです。(いきなり小説を読み始めるのはちょっとハードルが高いから) いきなり小説を読み始めるのが難しい人もいるため、漫画などの手を出しやすいものから、段階的に利用者を増やしていくといいと思います。 ・ライトノベルなどのごらく小説をいれてください。 ライトノベル(転スラみたいな)ものは、横浜市だと、瀬谷にしかないので、もっと広くのはんに広げてください。	参考	行きたくなる図書館、市立図書館についてのご意見は、本ビジョンを進める上で、今後の参考にさせていただきます。
405	第2章-1	・蔵書の充実化について、地域図書館についても充実化を図っていただきたい。電子化はいいのですが、書籍そのもののすばらしさ、良さを継承していただけるような取り組みをぜひお願いしたい。リカレント教育にもつながらような蔵書の充実化、おすすめをするような書籍の充実化も検討いただきたい。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-1 蔵書・レファレンスの充実」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
406	第2章-1	・1区1図書館であることは理解はするものの、図書館によっての書籍の充実度、新しい書籍の充実度に差を感じる。図書館によってのアンバランスを可能な限り解消いただきたいとともに、駅前での返却ポイントを増やしてほしい。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-1 蔵書・レファレンスの充実」「第2章-4 図書館外のサービスポイント設置の考え方」に関するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
407	第2章-1	冊子版21pにて図書館の施設整備について記載がありますが、施設整備の前に蔵書の充実を力を入れるべきだと考えます。中身がないのに箱だけきれいにしたり使いやすく駅前に移転したって意味がないです。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-1 蔵書・レファレンスの充実」「第2章-2 図書館の施設整備の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
408	第2章-1	行ってみたい、使ってみたくなる図書館になるためのアイデア ・最近の人気の本をおく。 ・しよるいをほうふにする。	参考	行きたくなる図書館についてのご意見は、本ビジョンを進める上で、今後の参考にさせていただきます。
409	第2章-1	行ってみたい、使ってみたくなる図書館になるためのアイデア ・ゲームのこうりゅうく本やゲーム関連の本などを置くと良いと思う。 ・「そんな場所あったんだー!」という感じであまり認知がないかもしれないので、学校に1枚ポスターをはったら良いと思う。	参考	行きたくなる図書館についてのご意見は、本ビジョンを進める上で、今後の参考にさせていただきます。
410	第2章-1	市立図書館についての意見 ・本がもっとほしいと考えました。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-1 蔵書・レファレンスの充実」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。

No.	項目	ご意見	対応分類	本市の考え方
411	第2章-1	行ってみたい、使ってみたくなる図書館になるためのアイデア ・今は社会や科学・産業など授業に生かせるものが注目される場所に置かれており、小説や文庫本など中学生の興味がひかれるものが固まってはなれた所にある ・私は、小説がたくさんほしいので小説など物語をふやす方が良いと思う。 ・また分類の表示も漢字ばかりで分かりにくいものが多く、具体的にどのような本があるのかを見える場所に提示するべきである。	参考	行きたくなる図書館についてのご意見は、本ビジョンを進める上で、今後の参考にさせていただきます。
412	第2章-1	本は返す日時に自信がないのでほとんど借りていませんが、最近興味を持っている講師の神田伯山さんが講話のCDは、東京都はほとんどの図書館にありますとのこと。横浜も同じと思い、借りに行きましたが3種類だけありました。もう少し、CDの数を増やして下さい。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-1 蔵書・レファレンスの充実」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
413	第2章-1	1.読みたい本のネット予約をする時、またか、またかとやるせない気持ちになるのがウェイトリグリストの人数です。5~6人の、あるいはそれ以上のことも珍しくありません。ぜひその解消をお願いしたい。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-1 蔵書・レファレンスの充実」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
414	第2章-1	・予約本の順番がなかなかこないことは何人の方からききます。3桁で、忘れた頃に来るのはどうにかならないか。といって購入冊数を増やしてブームが去った後の重複本どうなるの?とも思うし。 ・予約冊数を6冊→増やしてみたらどうなるか?考えてみてはどうでしょうか?(貸出冊数10冊はあまりありがたくないです。) ・文芸雑誌の購入・設置を増やして下さい。初出誌が文芸誌ということ多いので、予約本殺到の一解消法につながると思う。	参考	ご意見の趣旨を踏まえ、素案の「第2章-1 蔵書・レファレンスの充実」の取組について本ビジョンを推進してまいります。予約の冊数についてのご提案の趣旨は、「第1章-基本方針4 利用しやすい図書館サービス」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
415	第2章-1	・他の自治体に比べて市民一人当たりの所蔵冊数が少ないようなので改善してほしい。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-1 蔵書・レファレンスの充実」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
416	第2章-1	・ネットで検索して本を借りようとしても、購入されていないものがとても多い。新聞の書評欄にのっているようなものでも、ないことがしょっちゅうです。書架の本も古いものが多く、市全体の資料量が少なすぎることを実感させられます。資料が少ないので、6冊までしか借りられません。さいたまや東京では、少なくとも10冊は1度に借りられます。予算の大幅増を。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-1 蔵書・レファレンスの充実」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
417	第2章-1	・字の大きな本があると助かる	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-1 蔵書・レファレンスの充実」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
418	第2章-1	港北図書館に新しい本がない。絵本も児童書も古い本ばかりで読みたい本がない。図鑑も古くて、その後、改定されている。シリーズものの本は1冊しかおいてなくて、ほかのをよみ取れば他の図書館にしかおいてなくて取りよせないとよめない。雑誌などもおいていない。話題になっている本を購入してほしい。本を座ってよめる場所がない。狭い。古い。冬、寒い。子供向けスペースを居心地のいいスペースにしてほしい。中高生向けの文庫本をおいてほしい。日本の歴史や伝記のマンガをおいてほしい。今ある子供向けの古い本は全部処分して新しい今の子が興味のある本に入れかえてほしい。	参考	蔵書の充実については、「第2章-1 蔵書・レファレンスの充実」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
419	第2章-1	行ってみたい、使ってみたくなる図書館になるためのアイデア ・色々な種類の本がある。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-1 蔵書・レファレンスの充実」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
420	第2章-1	全体について ・たくさんの種類のマンガを置く! ・どれがどこにあるのか、もっと分かりやすくする。 ・図書館でも、本について話せるスペースを作る。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-1 蔵書・レファレンスの充実」「第2章-3 新たな機能・機能拡充に伴う空間づくりの考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
421	第2章-1	○蔵書について、本を検索しても、どこの図書館にもない場合があります。基本は各区図書館に配置してほしいですが、少なくとも、いずれかの図書館には配置されている状態にしてください。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-1 蔵書・レファレンスの充実」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。

No.	項目	ご意見	対応分類	本市の考え方
422	第2章-1	<p>(注：前段は527参照)</p> <p>二つ目は、「マンガ・アニメに特化した(専門)図書館の創設」を要望いたしました。あるいは、本格的な「マンガ専門図書館」でもよいのです。ワークショップで発言が許された番でこのことを力説したのですが時間制限により打ち切れ、結論を申し上げるまでに至らず、意図が十分伝わらなかったことと思います。そして、再度発言する意欲を失ってしまいました。理由としては、私事ですが、身体障害者である家内の介護で疲労が蓄積していた事やグループの皆様もあまりマンガやアニメの話には関心をもたれなかったような印象を持ちましたので、黄色い小さな紙にせいぜいマンガやアニメの図書を多く揃えてほしい趣旨の文言を書いて済ませてしまった記憶があります。</p> <p>しかし、これは、決して私の本意では決してありません。</p> <p>実は、この二つ目の課題こそが、横浜市の図書館の将来(展望)を左右する非常に重要なポイントであると確信を致しております。100年先を見据えての計を立てるべきだと考えるからです。</p> <p>日本人だけでなく外国人までもが、親子だけでなく、家族で行ってみたいくなる、楽しめる、そして、近くに住みたくなる本格的な総合的に魅力のある図書館は、これしかないと考えます。そして、これを創設出来るのは真図書館しかないと思います。その理由を下記及び「提案書2」にて詳しく述べさせていただきます。</p> <p>マンガ・アニメは日本が世界に誇る冠たる二大文化です。「マンガ・アニメ」と言えば、日本を指すのですが、多くの日本人、特に大人たちがこの事への認識が低いのか無関心なのです。「マンガやアニメは、アメリカのディズニーか子どもや若者の見るもの」と決めつけているふしがあるようです。同程度に、出席したグループ①の皆さんもあまり関心を持たれなかった印象があります。日本のマンガ・アニメは世界中を熱狂させているのに日本人は概して無頓着です。あるいは、その有効性や活用法についての知識をあまり適合させていません。</p> <p>現に、例えば、神奈川県だけとらえても、日本のマンガ・アニメによって知り魅せられた大勢の外国人が家族連れで、聖地と云われる鎌倉や江の島、藤沢などに押し掛けて、もはやオーパーツリズムとなっているではありませんか。それは、日本のマンガやアニメが教育性、芸術性、繊細性、ファミリー性、情緒性において、他国の追従を許さないからです。「今でしょ」講座で有名になった林修氏も「マンガ・アニメは日本の宝」と言い切っています。</p> <p>我が国及び日本人が全体として「宝」という強い意識や関心をもって盛り上げ活用しなければ、せっかくの宝も持ち腐れになってしまうでしょう、米国に名を成さしめ、中国、韓国の猛追によって世界一の座から転落しそうな現状と言っても過言ではないのです。</p> <p>日本のマンガ・アニメは魅力があり金になるだけに、国内外からのパクリや違法サイトの莫大なタダ読みが後を絶たず、損失が1兆円以上存在することはご存じでしょうか？国民全体の認識が低いのでセキュリティもしっかりしていないのです。当業界は我が国の高齢化社会の問題もあり、段々と規模が縮小していく傾向は免れません。何としても、この首位の座、日本文化を守り抜かなければなりません。死守するためにも貴図書館の役割は多大なものがあると思います。</p> <p>つい最近、奮起して当提案書を提出させる動機にもなった「わが意を得たり」と思う嬉しい出来事がありました。それは、「上瀬谷におけるテーマパーク」の構想について、横浜市が「日本のコンテンツと最先端の技術を活用する」と発表されたことです。日本のコンテンツとは、アニメ・ゲームを主体とする日本独自の文化を指すと考えられます。実は、2022年8月、市長の山中竹春様及び担当者様あて、当テーマパークにおける日本独自のアニメ・マンガ、ゲームなどの活用をご提案申し上げましたが、私の思いや意見をご採用いただいたよう感じがして大変うれしく光栄に感じているところでございます。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、本ビジョンを進めていくうえでの参考にさせていただきます。</p>

No.	項目	ご意見	対応分類	本市の考え方
		<p>その時のご提案と重複する部分が多々ありますが、編集し直して「提案書2」として、さらに詳しくご提案の趣旨を申し上げたいと思います。</p> <p>結論から申しますと、動の文化である「アニメ・ゲーム」を上瀬谷パークが担い、静の文化である「マンガ本を中心とする図書」を貴図書館が担うなど役割分担をして情報交換を行い相互に連携協力し合って、夢のあるファンタジックな世界を創造し、国際的に発信していくことこそ、持続可能なものにする最善の方策と考えます。日本の冠たる二大文化（首位の座）を死守する最善の道筋でもあります。このことによって、横浜市が国際都市として更に知名度を上げて一層の発展を遂げることを確信してやまない次第です。</p> <p>宜しくご検討のほどをお願い申し上げます。 追伸：自治体としては、「さいたま市立漫画会館」があります。</p> <p>提案書2 今般、マンガ・アニメに特化した「マンガ・アニメ専門図書館」の創設をご提案いたします。あるいは、マンガだけの「マンガ専門図書館」としてもよろしいかと思ます 提案の理由 マンガとアニメは、世界に誇る日本の二大文化であります。「今でしょ講座」で有名な林修氏も「マンガ・アニメは日本の宝」と申されています。然しながら、このことを認識している日本の大人たちが極めて少ないのは大変残念なことであります。マンガとアニメは子どもたちや若者のものと思っている傾向があります。従って、活用することも少ないのです。むしろ、外国人の方が深い認識と理解を有しております。 折しも、宮崎駿監督の「君たちはどう生きるか」は米国でゴールデングローブ賞の最優秀長編アニメーション映画賞を受けました。北米市場で興行収入第一位、全世界で100億円突破の勢いです。 この題名は、宮崎氏が愛読した1937年刊行の吉野源三郎氏の小説から借りたものです。氏はこれを長編アニメとして原作・脚本したのです。実はその前の2017年8月に、羽賀翔一氏によって漫画化され、不況に喘ぐ出版界で、約2か月間で43万部を売り上げ大ヒットしたとのこと。現在まで235万部の売上を示しています。当マンガ本のPR用キャッチフレーズを見ると「子ども、親、祖父母すべの世代で、2018年一番読まれた本」とあります。更に、政治学者姜尚中氏の「情報過多で本質を見失い、子どもをどう育てていいか、確信の持てない親に読んでほしい」との推薦文が添えられています。 90年近くも前に刊行された一小説から、マンガ、アニメ化を経るといかに国際的に感動を与える作品になるのか、その影響の大きさに驚かされる一つの例であります。 近年、増加しているインバウンドの観光客もそのきっかけの大半はマンガ、アニメによるものと言って過言ではないでしょう。 つい最近、上瀬谷テーマパークにおいて、「和の文化」(アニメ、ゲームなど最先端のジャパンテクノロジーを主体とする)を世界に向けて発信することが横浜市と三菱地所株式会社との間で決定されました。それを絶好の機会ととらえ、アニメと並び立つもう一つの文化であるマンガ(紙芝居も和の文化なので含めて可)の発信を貴図書館で担っていただきたいとするご提案でございます。</p> <p>前述のように、マンガだけに特化した、いわゆる「マンガ専門図書館」でもいいかと思ますが、なぜ、マンガ・アニメと一括りに言うのか、と申しますと、マンガのヒット作からアニメに波及・派生し製作されたもの、逆にアニメからマンガ化されヒットしたものが数多く存在するからです。つまり、相互に深いつながりを持っています。従って、アニメを入れる場合には、貴館では、マンガ約8割、それから波及・派生した関連のアニメ2割位の比率でお取り扱いされてはいかがかと思ます。 ファンタジックな世界感を構築してファミリー一家を楽しませて世界中から観光客を呼び集め市の知名度や事業の向上を図るのはこれしかないと思確信いたします。 アニメ・マンガ活用のご提案は、一昨年度に横浜市長あて上瀬谷テーマパークの施策についてご提案させていただきましたが、今般は、その趣旨に加筆・修正したものです。</p>		

No.	項目	ご意見	対応分類	本市の考え方
423	第2章-1	<p>C) 具体的に研究、調査したい企業や事業所を列記します。</p> <p>①戦時中の原宿国立病院（現独法医療センター）</p> <p>②米軍深谷通信隊</p> <p>③現侯野別邸庭園の前身。住友家の別邸である事は解っていますが、詳しい事が知りたい。</p> <p>④ドリームランド（主に侯野町）</p> <p>⑤現明学院大学グラウンド（侯野町）の前身。たしか古河電工さんのグラウンドでした。</p> <p>⑥高田工業さん（深谷町）</p> <p>⑦阿部製作所さん（侯野町）</p> <p>⑧山田養魚場さん（深谷町）</p> <p>⑨水道塔小雀浄水場の水を貯蔵していた塔。建造物（小雀町）以上</p>	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-1 蔵書・レファレンスの充実」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。研究に関して必要な資料へのお問い合わせは、最寄りの市立図書館にご相談ください。
424	第2章-1	<p>図書館利用にあたり、ラベルに小説以外、分類番号しかない事にも呆然となりました。専門的な知識を必要として図書館を訪れても、著者の頭文字が無いのでは、探すのに手間がかかります。ましてや著者名順に並んでいないのですから。</p> <p>何より驚いたのが、書棚の本の並びの汚さです。斜めになっていたり倒れていたり横になっていたり…並び方もガタガタです。</p> <p>港区・品川区・大田区の図書館を利用してまいりましたが、どこであっても書棚の本は背表紙が棚の端にきれいに一直線に揃って並んでいます。それは当たり前だと思っていました。書架整頓といって司書の方が手空き時間に利用者が利用しやすいように書棚の本を常にきれいに整えているそうです。横浜では著者の頭文字が入っている小説でも作家名順ではなかったりします。とにかくガタガタで汚い、見た目が悪い。</p> <p>司書のみならず、役所の偉い方々も是非（注：元文は下線部の箇所に傍点）、1度都内の図書館の書棚を見てほしいです。図書館を増やすのは無理でも、せめて本をきれいに正しく並べる位の事はできるのでは？</p> <p>図書館は利用しやすいよう増やしてほしい。でも難しい。</p> <p>ただ、せめて書棚はただ本を戻すだけでなく、都内の図書館を見習って、きちんと書架整理をしていただきたい。本が斜めになっていたり、倒れていたり横になっていることなく。</p> <p>背表紙が書棚の端に揃ってきれいに並んでいる。著者名がアイウエオ順である。人気作家の本は、シリーズ毎に、出版順に並んでいる。-そんな事は当たり前だと都内に住んでいる時は思っていました。横浜はそうではありませんでした。</p> <p>図書館の未来のためのビジョン…まずその前に、現状に驚いている利用者もいます。書棚に本をきれいに並べるところから始めていただきたいと、切に思います。できれば、小説以外の本も、ラベルに著者名を。</p>	参考	ご提案の趣旨は、素案の「第2章-1 蔵書・レファレンスの充実」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
425	第2章-1	<p>全身全力をこめてお願いしたいことは、①TheEconomistやForeignAffairs、B.BusinessWeek、Foren、Newsweek等の雑誌の貸し出しを止めて、読みたいところはコピーして持ち帰る体制に改めていただきたいことです。</p> <p>定期刊行の雑誌がいつきても2年分はそろって書架に置くようにして下さい。上記の雑誌はいつきても書架にはなく、読みたい雑誌が貸し出されていて、何時帰ってくるかもわからず、返って来てもよごれて返ってくるのは悲しいです。</p> <p>10年来、窓口ではお願いしてきましたが、相手にされませんでした。</p> <p>②もう一つは、日本では唯一誌となった経済（論文）誌の「経済」を購入していただきたいと思います。</p>	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-1 蔵書・レファレンスの充実」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。

No.	項目	ご意見	対応分類	本市の考え方
426	第2章-1	<p>2、紙芝居にも、1960年代に出版されたものでも、とてもいいものがあり、今でも使えます。そういうものが破棄されて、あ、もったいないと思います。</p> <p>古い年代のものでも、いいものは是非保存して欲しいと思います。紙芝居を研究されている方もいます。神奈川は紙芝居やコンクールの普及に横浜を中心として各図書館が協力していると聞いています。</p> <p>今、県内の他の図書館の紙芝居も取り寄せはできますが、聞くところによると、県立図書館は児童書や紙芝居を収集していないようです。もともと児童サービスはしてこなかったと聞いています。是非、横浜中央図書館は大きいので、県内の図書館同志で話しあって、紙芝居（出版と手作り）の収集と保存を担っていただけないでしょうか？かつての街頭紙芝居のコレクションは市立歴史博物館に移管され、保存されています。図書館と合わせ、横浜には紙芝居のコレクションに力を入れるとなれば、他の市でも使わせてもらえます。是非紙芝居や児童書に力を入れてください。紙芝居は今アジアからヨーロッパの世界の国々でも注目されています。コミュニケーションツールとして優れ、日本の発祥の文化です。是非コレクションとして保存と提供と普及を担ってください。</p>	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-1 蔵書・レファレンスの充実」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
427	第2章-1	<p>市立図書館についての意見</p> <p>・電子図書館の本の数を増やしてほしい。</p>	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-1 蔵書・レファレンスの充実」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
428	第2章-1	<p>市立図書館についての意見</p> <p>・専門的な本は置いてあるのですが、高校受験や大学受験用の過去問や赤本がおいてあると、図書館を利用する人は増えるんじゃないかなと感じます。</p>	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-1 蔵書・レファレンスの充実」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
429	第2章-1	<p>基本方針4、利用しやすい図書館サービスについて</p> <p>・本を多くふやしてほしいです。</p> <p>山内図書館をいつも利用させてもらっています。昨年本を予約しましたが、360番待ちとのこと。ただ市内に19冊しか所有しているので、しばらくは待っていただきますが…とのこと。秋に申し込み、届いたのは翌夏近くでした。もう、頼んだ時のよみたい気持は失せていました。</p> <p>予約本が早く届いてほしいと切に思います。</p>	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-1 蔵書・レファレンスの充実」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
430	第2章-1	<p>2pの1.蔵書・レファレンスの充実について、市立図書館だけでなく学校図書館の蔵書・レファレンスの充実にも着目してほしい。学校司書のレファレンス技能向上のための研修や、近隣校同士の貸出のための蔵書検索システムの構築について、横浜市として指針を示してほしい。現状では学校司書の力量ややる気によって学校間格差が生じている。また、予約冊数を増やしたり、貸出期間を長くする。CD貸出可とするなど、柔軟に現状の規則を見直してほしい。</p>	参考	<p>学校図書館との連携については、「第1章-基本方針1 未来を担う子どもたちのための図書館」について本ビジョンを推進するとともに、具体的な取組へのご意見は、今後の参考にさせていただきます。</p> <p>予約の冊数の増加等については、「第1章-基本方針4 利用しやすい図書館サービス」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>
431	第2章-1	<p>①20pの蔵書の構築について現在中央図書館の蔵書数が群をぬいている状況です。1区に1館しかない以上、どの区でも同じサービスを受けられるよう各図書館の蔵書をもっと増やしてほしいです。少なくとも人口に対する蔵書数をパーセンテージで見た場合に、近隣と自治体と同等にしてください。横浜市は低すぎます。また、電子書籍については、教職員貸し出しができるようにしてほしいです</p>	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-1 蔵書・レファレンスの充実」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。学校図書館との連携へのご意見は、今後の参考にさせていただきます。
432	第2章-1	<p>冊子版20pの蔵書についてですが、他市町村に比べて蔵書が少なすぎます。神奈川県は他県に比べ蔵書が少ないようですが、その中でも横浜市は特に1人あたりの蔵書が少ないように感じます。数年前に他県から移住しましたが、借りたい本が借りれない日々が常態化しています。新刊が借りれないのは仕方ないかと思いますが、それだけでなく特に新しくもない有名な本も人気があれば、借りれないのがつらいです。子供からこの本読みたい！と言われても、数十人待ちで来るのは半年後？とかだと予約する気もなくなってきます。蔵書の充実についてはもう少し本腰を入れて取り組んでいただきたいです。</p>	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-1 蔵書・レファレンスの充実」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。

No.	項目	ご意見	対応分類	本市の考え方
433	第2章-1	冊子版p.20の「1蔵書・レファレンスの充実」の「(1)蔵書の構築」について、横浜市立図書館の蔵書のバランスや、中央図書館の蔵書で書庫からすぐに入手出来ほとんどの書籍が借りれることは大変優れていて、今後も引き続き行っていただきたいのですが、横浜市立大学の図書館では、恐らく分かってのことと思いますが、蔵書数に制限があることを意識してか社史など集約された文書の蓄積に注力しているように見え、横浜市立図書館以外の施設との棲み分けを意識して、任せる部分は任せて、外部にある蔵書に対してアクセスしやすい運用を作り上げていただければと思います。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-1 蔵書・レファレンスの充実」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
434	第2章-1	20pの情報メディアリテラシーについて、蔵書構築とレファレンスだけでなく、より積極的な関わりを持つべきである。能登地震でもフェイクニュース、偽情報が話題になったが、すべての市民に「信頼できる情報を見極める力」が求められている。それは喫緊の課題である。様々なメディアを扱い、情報のプロである司書があり、あらゆる人が利用できる図書館こそ、この力をつける機関として、主体的、積極的に取り組んでいくべきである。図書館を「市民が誰でも情報リテラシーを獲得できる場」と位置づけ、市役所・区役所・企業・施設・団体・学校図書館・専門家などと連携して、講座、イベントを企画したり、定期的な相談日を設けたりなど、図書館がそのハブとなって機能することを期待する。	修正	ご提案の趣旨は、「第2章-1 蔵書・レファレンスの充実」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。なお、ご提案の趣旨を踏まえ、「第1章-基本方針4 利用しやすい図書館サービス」の取組・機能のアイデアに「デジタル活用講座などの情報リテラシー支援」を追記するなど原案を修正しました
435	第2章-1	蔵書、レファレンスの充実について、これからの国際化社会に対応すべく、外国語書籍のいっそうの充実に力を入れてほしい。とくに外国語辞書は高価で個人所有が難しいので、大学図書館が利用できればよいが、横浜市内には文学部を持つ大学が少ないので、公立図書館に期待します。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-1 蔵書・レファレンスの充実」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
436	第2章-1	概要版3p「新たな図書館像の実現に向けて」の「1蔵書・レファレンスの充実」の2行目「蔵書・情報を充実させます」は、「蔵書・情報、および、それらを扱い、図書館を支える人材(司書、図書館員)をさらに雇用育成、充実させます」といった記述にしてほしいです。	参考	ご意見の趣旨は、素案の「第2章-1 蔵書・レファレンスの充実」の取組に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
437	第2章-2	私は、港北図書館を月に数回利用しております。主に、本の借り出しと新聞主要5紙の書評欄の閲覧です。ネットで図書予約ができますし、職員への対応も親切で感じが良いです。市が「横浜市図書館ビジョン」を策定しつつあると聞き、意見を述べさせていただきます。 1「素案」を拝見し、多くのことが書かれていて、実現すればいいと思います。しかしそれらのことを現実化するには、資金と人が必要です。日本経済が長きにわたって低迷してきているのは、人にお金をつぎ込んでこなかったことが大きいと思います。「図書館の施設整備の考え方」において、「1区1館を基本としながら」とか、「現地での建替えやリノベーションを基本しつつ」、のような、図書館を質量ともに充実させていく上で足かせとなるような考え方は取るべきではないと思います。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-2 図書館の施設整備の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
438	第2章-2	具体的なことが書かれていないと思いました。 図書館ビジョンの5つの基本方針はすべて大切なことです。図書館の機能としてあたりまえな事柄。よく考えれば素人でもわかることが、理想としてかかげられています。本来ならば、今までにこういう図書館であるべき(注:元文は下線部の箇所に傍点)なのだと思えます。5つの基本方針を可能にするために、必要なことは図書館を増やす(注:元文は下線部の箇所に傍点)ことです。横浜市の図書館が少ないこと、それが致命的です。 体験イベント、くつろげる子どもエリア、多世代交流イベント、バリアフリー化、アイデアを持ち寄るワークショップ、交流スペースetc. 字を見ると、とてもステキです。こういう企画を円滑に行うためには、人々に、図書館へ足を運んでもらえるかどうかにかかっています。 幼い子どもたち、ご家族、高齢の方々、お身体の具合が悪い方たちが、交通機関を使わずに、歩いていける所に、今、図書館があるでしょうか?横浜市の地図を広げて、図書館のある場所に印をつけて、もう1度ご検討ください。 予算はどうする?夢物語だ!と思われるかもしれませんが、でも、こういう考えの市民がいることを知っていただきたくて、ペンをとりました。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-2 図書館の施設整備の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
439	第2章-2	・図書館を増やして下さい。近くになさすぎ、借りるのも返しに行くのも大変です。 ・地域の地区センター内にも書籍コーナー(図書室?)がありますが、本が古い、少ない、新しい本が少なすぎます。 ・新しい本、話題の本は購読申し込んで○百人待ち!!なんて、おかしくないですか? 市、区の図書館政策にもっと予算をつけて下さい!!	参考	いただいたご意見につきましては、本ビジョンを進めていくうえでの参考にさせていただきます。

No.	項目	ご意見	対応分類	本市の考え方
440	第2章-2	(概要版) 2pの施設整備について、少子化を迎える横浜市においてこれ以上箱物を増やすべきではない。現状でも地区センター等でも借りれるし、図書館は2区に1でも充分。シリウスあるから大和市に引っ越した人なんて聞いたことがない。本はインターネットでも読める媒体でありフィジカルにこだわるべきで無い。CD等の音楽の聞かれ方の変化を見れば分かる。現在の投票数は多いが、残り数年しか生きない老人のワガママの為に未来へのコストを発生させるべきではない。知る権利はインターネットで十分に保証されている。	参考	ご意見につきましては、「第2章-2 図書館の施設整備の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
441	第2章-2	2.施設整備の考え方についての「一区一館を基本」というのは納得できません。他都市と比べて人口に対する図書館比率、蔵書比率が低い横浜市の図書館の課題を解決するには、一区一館制をやめて身近なところに図書館を整備していく方向に踏み出す必要があります。市長の公約にも新たな図書館の整備が掲げられています。ぜひ市民ニーズに応えてほしい。	参考	ご意見につきましては、「第2章-2 図書館の施設整備の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
442	第2章-2	概要版2ページにあります1区1館に限らず図書館を増やしてください。区だけでも必ずしもアクセスがよくなかったり、遠かったりします。	参考	ご意見につきましては、「第2章-2 図書館の施設整備の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
443	第2章-2	2 1 p 2 図書館の施設整備の考え方について この、豊かな未来へのビジョンを実現するには、1区1館では空間的に不足かと思えます。従来図書館の、地域に親しまれてきた歴史の継承し、歩いて利用できる範囲に図書館があること、などの点からも、アクセス性・利便性を重視した駅周辺の図書館は、移転ではなく新設を希望します。1区1館先にありきではビジョンが前に進まないことを危惧します。	参考	ご意見につきましては、「第2章-2 図書館の施設整備の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
444	第2章-2	2 pの「2 図書館の施設整備の考え方」について：施設整備は、老朽化やバリアフリー化の遅れなど、さまざまな現状があると思えます。財源も考えながら、現状の問題を改善し、さらに機能の拡張などを考えるわけですから、なかなか難題だと思えます。市民としては、だからといって、利便性や効率性を優先して安易に現在ある図書館を移転させないでほしいのです。事前に必ず地元の住民の意見を聞いてください。	参考	ご意見につきましては、「第2章-2 図書館の施設整備の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
445	第2章-2	P21の1区1館：できれば、中長期的にこの前提を崩して欲しいです。図書館の近いかそうでないかによって、現状利用頻度はかなり変わってしまいます。そもそも1館では、子育て世帯の保護者が連れていくことは出来ても、徒歩圏ないと子どもが自ら出向ける居場所とはなり得ません。子育て世代に図書館を活用していただく施策はとても大切ですが、それが子育て世代の利用に特化したものになるのは違うと感じます。子ども、YA世代が楽しんで居られる場づくりも大切、その物理的な環境づくりも大切でないかと思えます。小学生の時は、区の図書館からとても遠く高学年になってから自転車で30分かけてやっと行けるようになりました。格差を埋めるために、1区にせめて2から3館あると良いです。もしくは、地区センターをサテライト地区館とみなしてしっかりと拡充をして欲しいです。ある意味、図書館業界が最近目指しているものは、すでに地区センターに原型ができていていると感じます。	参考	ご意見につきましては、「第2章-2 図書館の施設整備の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
446	第2章-2	2 10年~20年後を見据えてなのに、なんとまだ一区一館！には驚きます。図書館を増やすこと、増やすときにこそビジョンが反映されるのではないですか？もちろん改装、建て替え、移転時にもぜひ反映を！	参考	ご意見につきましては、「第2章-2 図書館の施設整備の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。

No.	項目	ご意見	対応分類	本市の考え方
447	第2章-2	<p>私の希望は区ごとの図書館の整備・拡充です。</p> <p>日常的に東京23区の図書館でカードを作って利用しています（カード作成が区外の住民に開放されている9つの区にて）。23区では区ごとに平均で5つ程度の館があり、各区で蔵書が整備されているため、貸出予約の競争が起きにくく、横浜市図書館で貸出中の書籍を、都内で借りる、というようなことを頻繁に経験しています。23区の人口970万人、面積622km²に対し、横浜市は人口370万人、面積432km²。この比では、横浜市が1区に1館では少なすぎる印象を否めません。少なくとも、23区内の全体館数に対して、横浜市全体で4分の1から3分の1程度の館が必要と感じます。</p> <p>例えば、23区で最大人口の世田谷区でも94万人で、面積が58km²。ここに図書館が16館も整備されています（他に図書室5、貸出・返却カウンター3）。このように密に図書館網が整備されているために、例として、世田谷区の奥沢図書館と目黒区の緑ヶ丘図書館が徒歩15分程度の直近に位置している他、豊島区の上池袋図書館と北区の滝野川西図書館が自転車で10分程度、というように、利用者の住まいによっては、隣りの区の図書館の方が近いケースも散見されるほど、充実した図書館ライフが保証されています。</p> <p>横浜市もこのレベルの整備を目標として目指してはいかがでしょうか。</p> <p>以上、意見を送らせていただきました。</p>	参考	ご意見につきましては、「第2章-2 図書館の施設整備の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
448	第2章-2	<p>1区1施設では絶対に少ないと思います。昨今の税制の変更の影響からか、地域の小規模書店がどんどん閉鎖しておりただでさえ本を手にする機会が減っていくのにさらに公的な図書館が減るのは強く反対します。仮に本を手にする場所がアマゾンしか無くなったら更に活字離れが進み、横浜市の知的水準は減っていくのではないですか？図書館へのアクセスし易さを市民から奪わないでください。</p>	参考	ご意見につきましては、「第2章-2 図書館の施設整備の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
449	第2章-2	<p>項目2 図書館の施設整備の考え方 掲載ページ22ページ 新横浜駅近くに図書館を設置してください。</p>	参考	ご意見につきましては、「第2章-2 図書館の施設整備の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
450	第2章-2	<p>基本的にこの美辞麗句に盛られた長文は、誰も読みそうもない。</p> <p>18区に各1館という方針がそもそもおかしい。各区で人口が違う。</p> <p>川崎や東京都に長く住んで来た者として、図書館・分館数が、人口比に対して極端に少なすぎる。小生の住む港北区は35万人以上で、分館もないこんな貧困な図書館行政を担う担当者が、いくらデジタル化、子どもの未来など</p> <p>作文しても絵空事だろう。</p> <p>多くの市会議員は何をしているのか、市長や局長、責任者達は図書館を身近で使ったことがあるのか？</p> <p>駅から遠い、不便、分館もないから子ども利用は少ないなど、基本的な改善をしてほしい。</p>	参考	ご意見につきましては、「第2章-2 図書館の施設整備の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
451	第2章-2	<p>p21 2.図書館の施設設備の考え方</p> <p>「1区1館」について、区にひとつ、いくら立派な施設ができて、行きにくい場所では、限られた人しか日常的に利用できない。せめて、地区センターを区の図書館の分館のように整えられるとよいと思う。地区センターが市立図書館の資料の取次だけでなく、蔵書数は少なくとも地域住民に合わせた蔵書構成で、レファレンスできるような司書がいると良い。</p>	参考	ご意見につきましては、「第2章-2 図書館の施設整備の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
452	第2章-2	<p>2頁 図書館の施設設備の考え方</p> <p>お世話になっております。</p> <p>図書館にいる際に、返本で複数の本を手で運んで、落下させてしまっているのをお見掛けします。</p> <p>職員が怪我されてはいけませんし、本の劣化にもつながると思いますので、ブックトラックの数を増やすことをご検討されてみたらいかがでしょうか。</p>	参考	作業環境については「第1章-基本方針5 柔軟に変化し魅力がいつまでも持続する図書館」「第2章-2 図書館の施設整備の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。

No.	項目	ご意見	対応分類	本市の考え方
453	第2章-2	<p>常日頃から横浜市は図書館が少ないと感じています。港南区に在住する私にとって読みたい本を図書館で探すには、港南区の図書館より、中央図書館の方が交通の便が良いため、時間がかかっても中央図書館に行くこととなります。</p> <p>○少なくとも各区に2から3館程度の図書館がほしい 各区内に2から3館程度の図書館があれば、気軽に利用できます。</p> <p>○駅に近いこと（最寄りの駅から徒歩10分）が重要 根岸線沿線、横浜線、相鉄線、市営地下鉄、東横線、田園都市線の駅に近い場所に 図書館があれば多くの方が利用できると思います。</p>	参考	ご意見につきましては、「第2章-2 図書館の施設整備の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
454	第2章-2	<p>○図書館の施設整備の考え方 後段の「図書館サービスポイント設置の考え方」や「デジタル技術の活用」などと連携し、検討すべきものと思います。</p>	参考	ご意見につきましては、「第2章-2 図書館の施設整備の考え方」および「図書館サービスポイント設置の考え方」や「デジタル技術の活用」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
455	第2章-2	<p>(2)「1区1館」をやめ、身近なところに公立図書館を 政令都市で、1人あたりの蔵書数が最低という横浜市の汚名は今回の新たな図書館づくりで何としても返上したいものです。</p> <p>図書館に対する人口比の全国平均は4万人に1館ですが、横浜市は「1区1館」としているため、市内最大人口の港北区では約36万3000人に対して1館しかないという全国でも異常な事態が続いています。横浜市が今回の図書館ビジョン策定にあたって比較対象としている東京都の図書館の現状を見ると、人口57万3000人の杉並区は、図書館14館と3つのサービスコーナーがあり、人口73万3000人の大田区は、17館と1つの窓口です。横浜市と比較するとどちらも身近な生活圏に図書館があります。これはこの2区に限ったことではありません。</p> <p>また、図書館が購入する図書購入冊数を県内で比較すると25万6000人の平塚市と、ほぼ同じ人口の神奈川県（24万7000人）の2022年度の年間図書購入冊数は、平塚市は一般書1万2877冊、児童書3837冊に対して、神奈川県は一般書5776冊購入、児童書2253冊です。市民一人一人が手に取れる図書が他都市と比べて圧倒的に少ない現状が見えてきます。</p> <p>貸し出しについても、横浜市は、1人が一回に借りられる冊数の比較で20政令市でワースト2位であり、市民から「人気本や話題の本は何週間・何か月も待たないと借りられない」の声が聞かれます。</p> <p>このように横浜市の図書館をめぐる課題の中心点は、蔵書があまりに少ないことと、市民に身近なところがないということに尽きます。</p> <p>これらの現状や市民の声に向き合い、「一区一館」をやめ、公立図書館を増やしていくことに踏み出す計画に繋がることこそ、新しい図書館ビジョンを策定する最大の意義があると考えます。</p> <p>人目を惹く、図書館を何十万人に1館ではなく、誰でも気軽に、子ども一人でも通うことのできる身近な図書館を横浜市に強く要望します。</p>	参考	ご意見につきましては、「第2章-2 図書館の施設整備の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
456	第2章-2	<p>・港北区で言うと菊名図書館しかなく、駅から遠いので、あまり行きません。神奈川区の図書館は駐車場もあり行きやすい。</p> <p>・今後は10年以上前にできた武蔵小杉駅の所にある川崎図書館のような形態を検討してほしい。「駐車場はいらない」駅と直結したような所を作ってほしい。例えば横浜駅、新横浜駅に直結できる図書館を作れば広域から利用出来ます。</p>	参考	ご意見につきましては、「第2章-2 図書館の施設整備の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
457	第2章-2	<p>・図書館の数が少なすぎる。もっと増やしてほしい。</p> <p>イメージ的には、東京の区など横浜市の地区センター並みにある感じだ。1区1館などおかしな基準だ。確かに以前はインフラや福祉、医療など不十分だったので、そちらの充実が優先だったと思う。しかし、ある程度、充足した現在、文化の面も充実させてほしい。</p>	参考	ご意見につきましては、「第2章-2 図書館の施設整備の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
458	第2章-2	<p>・幼い時から図書館に親しめるように、より近くに図書館が必要です。1区で2館以上の図書館にしてください。</p>	参考	ご意見につきましては、「第2章-2 図書館の施設整備の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。

No.	項目	ご意見	対応分類	本市の考え方
459	第2章-2	図書館には、月に1回は行っています。市営地下鉄の無料バスを使っていますが、近くにもっと市立図書館があったら、と希望しています。歩いていける範囲に1ヶでもあれば、と思います。歩いていける範囲にある地区センター、地域ケアプラザなどの図書の充実が望まれます。いつ補充されているのかも分からないくらい、少量の古い本ばかりが並んでいます。新しく図書館を造るのは、大変な費用がかかりますが、こうしたセンターやケアプラザの図書棚をもう少し増やし、本を手にとって休みをとりながら、散歩の途中で気軽に立ち寄れる、充実した図書コーナーが設置されることを希望しています。	参考	ご提案の趣旨は、「第1章-基本方針2 あらゆる市民のための図書館」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
460	第2章-2	21p~24p「図書館設備の考え方」「新たな機能・機能拡張に伴う空間づくりの考え方」：横浜市蔵書は他の自治体より多いというが、地域が広い・市民も多いことを考えれば当然と言えるし、蔵書の多くは中央図書館に偏って他区の図書館蔵書は多くない。一つの区が大きいにも関わらず。だから(身近にないから)市民の図書館登録率が23%止まりなのだ。たとえば埼玉県さいたま市には、図書館が25館あり(横浜市は18館)蔵書は約358万冊(令和4年度数値埼玉県図書館協会より)。市民数は2022年で約130万人(横浜市は370万人)だが、登録者数は横浜と変わらない約90万だ。明らかに登録率の違いが判る。理想の図書館をつくることは歓迎だが、現在の箱では器が小さく数も少な過ぎる。身近になればただの観光拠点となるだけで市民にとって利用しやすい図書館とはなり得ない。また地域や学校連携は必須であり、教育にも大きく影響を与える場所であることを熟考してほしい。	参考	ご意見につきましては、「第2章-2 図書館の施設整備の考え方」「第2章-3 新たな機能・機能拡充に伴う空間づくりの考え方」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
461	第2章-2	2, 3及び4についてですが、1区に1館が基本だとしている点に無理があると思います。移動図書館や取次場所を増やすことは勿論必要ですが、1区に1館の前提を変更してください。区役所や地区センターにある図書室を図書館にレベルアップし取次機能も持たせることで、図書館利用の利便性は格段に上がるはずです。	参考	ご意見につきましては、「第2章-2 図書館の施設整備の考え方」「第2章-3 新たな機能・機能拡充に伴う空間づくりの考え方」「第2章-4 図書館外のサービスポイント設置の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
462	第2章-2	綱島は不便なところで、新綱島駅に中原図書館のように出来ることを期待していました。市の本を借りても日吉か、移動図書館で返す以外ありません。この意見をサイトで送ろうとしましたが、入れませんでしたよ。余りにも古い本は処分してほしい。菊名図書館も不便。	参考	図書館の増設についてのご意見につきましては、「第2章-2 図書館の施設整備の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。蔵書の充実については素案の「第2章-1 蔵書・レファレンスの充実」の取組について本ビジョンを推進してまいります。
463	第2章-2	図書館ってとても大事な存在です。知の宝庫ですから。旭区若葉台はとにかく役所迄も遠く不便なところ。図書館もしかり。却って緑区の図書館の方が近いくらいです。(高齢者には不便この上ない状況です)昔「ポストの数ほど保育所を」と言ったけれど、それ位、図書館が欲しいです。若葉台団地には、地区センターに「図書室」がありますが、蔵書数も少なく新刊本などまわってきません。ここを図書館にして欲しいと切に希望します。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-2 図書館の施設整備の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
464	第2章-2	この数年間 前進面 貸し出し冊数が10冊に増えたことは評価。さらに増やすようにして欲しい。予約が6冊までとなっているが、この予約冊数を増やすようにしてほしい。 金沢区在住ですが図書館がよく利用されているのは良いのですが、古くなっていて、建て替え、リフォームの必要を感じます。 現在の図書館まで遠いので「分室」的な建物があると良いです。 図書館書籍の返却を簡便にできないものなのでしょうか。駅に回収所を設置するとか、大きなスーパーマーケット入口に設置するとか。	参考	ご意見につきましては、「第2章-2 図書館の施設整備の考え方」「第2章-4 図書館外のサービスポイント設置の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
465	第2章-2	横浜市は、図書館が少なすぎると僕は思います。 それから勉強になるDVD、例えばジャッキーロビンソンの「42」など、映画も置いた方が僕は良いと思います。 それから、CDも貸し出して欲しいと僕は思います。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-1 蔵書・レファレンスの充実」「第2章-2 図書館の施設整備の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。

No.	項目	ご意見	対応分類	本市の考え方
466	第2章-2	冊子全体について市民の意見を募集して下さったことに感謝します。文部科学省のこれからの図書館サービスの在り方検討者会議による議論の概要に、1 これからの図書館像(1) 図書館の基本的あり方に『ク全国どこでも図書館サービスを受けることができるようにするには、図書館の設置を促進する必要がある。中学校区などの生活圏に図書館を整備することが必要である。人口当たりだけでなく、可住地面積当りでの図書館の整備をめざすことも必要である。』とありました。理想的な図書館をより多くの横浜市民が利用できるように進めて下さることを期待しています。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-2 図書館の施設整備の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
467	第2章-2	・図書館の存在自体が遠い→図書館が少ない！衛星図書館なども検討してほしい。物理的に近い存在であって欲しい。増設をして欲しいです。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-2 図書館の施設整備の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
468	第2章-2	現在の港北図書館は老朽化して2Fに本を置くことができないと聞きました。しっかり予算をとって建て直して子供連れで本に親しめるような図書館らしい図書館にしてほしい。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-2 図書館の施設整備の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
469	第2章-2	港北区図書館古すぎて、修理箇所もたびたびボロボロで入ると気がおちこみます。地下は駐車、駐輪場にして地上5階とかに新築して、皆が行きたくなるような、いこえる場所も作ってほしい。もちろん多くの本を入れて、展示他文化のもよおしもできるように立地(？建物？)ものを作って下さい。子供のために。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-2 図書館の施設整備の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
470	第2章-2	30代の頃白根の図書館へ行きましたが音楽関係の専門書は皆無と言っていい位で、駅からも遠くて駐車場もなく、それ以来一度も行っていません。あれから50年。大分事情や内容も変わった事と思います。第五公園に来る移動図書館も利用しましたが仕事も有、タイミングが合わず一般的な本は借りましたがあまり利用が便利ではありませんでした。専ら必要な本は購入する事になり家の中が一杯で処分も惜しくて(高価?!!)近くに図書館が欲しいなど、つくづく思います。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-2 図書館の施設整備の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
471	第2章-2	【蔵書数、図書館数を増やして】頂きたく強く要望致します。 【改造など不要】です。今のままの図書館で結構です。その費用を、人口に見合った館数、本一特に児童書の数にして、図書館を横浜市に作ってください。 今の横浜市は図書館がゼロ無い、と言っても過言ではありません。子供を連れやとこさ行っても、良作は貸出中のことが多々で、予約しても半年以上待つ事多々です。その間に子供は成長してしまい興味移ります。広い面積の人口密度多い区にたった一つ(区にもよりますがほとんどの区が)。図書館がある状態にして下さい。【余計な費用を使わないで】頂けますか。 ただただ、まずは、本を増やして、館数を増やして下さい。強くお願いいたします。 可哀想ですこのままでは。酷すぎます。横浜市の特に子供達、保護者達、中々行くのが困難な障がい者、高齢者も。	参考	ご意見の趣旨を踏まえ、素案の「第2章-1 蔵書・レファレンスの充実」の取組について本ビジョンを推進してまいります。図書館数の増加へのご意見については、「第2章-2 図書館の施設整備の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
472	第2章-2	他の都市に比べて大変おそまつだと思えます。大都市の立派さ、同じ政令都市(?)の川崎市の中原図書館と比べて、他の地方都市と比べても書架を見学させてもらいたいと思えます。 今回のシステム変更(?)で大変な思いをしました。 各区に1つ(?)とは少なすぎます。 暑い時期に高齢者の避難場所になるとは思えません。スロープがなく階段の移動はきついです。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-2 図書館の施設整備の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
473	第2章-2	冊子21p図書館の施設整備の考え方「1区1館を基本」という文言には反対します。現在の横浜市の人口に対する図書館の数は全国で最低レベルです。アクセスが悪く使いたくても使えない市民のためにぜひとも増やすことを考えていただきたいのです。「1区1館を基本」と決めてしまうと図書館を増やすことがむずかしくなるのではないのでしょうか。それでは、基本方針の「利用しやすい図書館サービス」を実現することは難しいと思います。25pに「図書館以外のサービスポイントの拡充」に触れていますが、図書館は本を借り返すだけの施設ではありません。「1区1館を基本」を削除してください。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-2 図書館の施設整備の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
474	第2章-2	概要版2ページ2「図書館の施設整備の考え方」について横浜市の人口からいっても1区2館以上はほしい。「より利便性の高い主要駅周辺等への移転」とあるが、移転して新図書館を建てる時には、図書館の基本を守って、図書館に似ているが文化館みたいなものにしてほしい	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-2 図書館の施設整備の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。

No.	項目	ご意見	対応分類	本市の考え方
475	第2章-2	<p>横浜市図書館ビジョン（素案）（21ページ）「2.図書館の施設整備の考え方について」意見したいと思います。財政負担を考慮し、1区1館を基本としながら...とありますが、現状もそうですと少なすぎると思います。横浜市民は、今までも図書館が全く身近にないので、現状が当たり前に思っており、意見を言えと言っても全国の状況も知らないで代表して意見したいと思っております。他市町村の人たちが、どれだけ図書館を利用し、足を運んでいるか？、話をすると横浜市に居ることが恥ずかしいくらいです。確かにスタバは沢山あります。横浜市内のどこのスタバに行っても、勉強している学生で一杯です。お金払わないと、勉強できる場所が全く無いんです。横浜市民は、全国一の図書館貧乏市だと思います。市民の殆どの方が図書館に行ったことが無い、知らないと思います。20万人に1館しか図書館が無い市町村は無いと思いますし、横浜市民のほんの一部の方が使用しているだけです。私も神奈川区で育ちましたが、図書館が何処にあるか？知らなかったですし、図書館に行くなんて話もしたことがありません。現在は、区内の別の地域に住んでいますが、状況は変わらず、仮に東神奈川駅直結になったとしても電車2本を乗り換えていかなければとどろ着けません。小学生に、こんな図書館に行って来いと言えますでしょうか？（5ページ）新しい図書館像にもあるように、未来を担う子供たち...「つどう・憩う」や「遊ぶ・体験する」などを実現できる環境ではないと思います。財政負担も考えとありますが、高い税金を払っている割には、他都市の状況見ても横浜市は相当市民に優しく無いと思います。・横浜市（人口）3,769,595人（209,300人/館）、（面積）437.4km²（24.2km²/館）、（図書館数）18館・千葉市（人口）971,900人（64,793人/館）、（面積）271.8km²（18.1km²/館）、（図書館数）15館※政令指定都市・埼玉市（人口）1,264,000人（50,560人/館）、（面積）217.4km²（8.6km²/館）、（図書館数）25館※政令指定都市・世田谷区（人口）938,602人（44,695人/館）、（面積）58.0km²（2.7km²/館）、（図書館数）21館※特別区・西東京市（人口）200,000人（33,333人/館）、（面積）15.8km²（2.6km²/館）、（図書館数）6館※20万人都市上記を見ても、20万人に1館しかない都市は無く、逆に20万人都市（中核都市）では複数図書館があるのが普通です。圧倒的に図書館数が少なすぎて市民が本に触れる機会が全くありません。これだけ、図書館の事を知らない市民は全国でも珍しいくらいです。各区に1館+分館2館くらいないと、小学生がせめて歩いて行ける範囲に図書館は必要だと思います。横浜市の職員にこの話をすると、必ず公民館施策もあると言われるますが、今回図書館ビジョンという事に注力した場合は全く別問題かと思えます。（16ページ）のハード面にもあるように「まちのシンボルとなり入ってみたいくなる魅力的な施設」を作り、皆が図書館に行きたいと思える図書館を作ってほしいと思っております。ただ市民の一部の方しか行けない図書館では、議論する意味が無いと思えますし、どんなに良い図書館を作って運用しても意味が無いと思えます。横浜市民として、横浜市には「こんなに良い図書館があるよ！」「皆で行ける図書館なんだ！」「スタバに行かなくてもつどえる場所が沢山ある！」と言えるような図書館を、未来を担う子供たち、市民のために作っていただくことを強く希望します。</p>	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-2 図書館の施設整備の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
476	第2章-2	<p>施設整備の考え方について（1）いきなり財政ビジョンが最優先され「1区1館」を基本とする方針が何の根拠なく示されている。（意見）平均で20万人もなる行政区中で、「1区1館で十分であるとする根拠」を示して頂きたい。（私が政令市を調べたところ、1区1館は3市のみ大阪・熊本。同じ1区1館だが、人口2位の大阪市は24館で横浜市より6館も多い。20市平均の1区内の図書館数は1.7館になる）（要望）政令市での図書館統計を「資料編」に掲載していただきたい。（2）「施設整備の考え方」に関しての意見「20年後を見据えた新たな図書館像」を370万都市で実現するためには、2つ必要と考えます。①圧倒的に少ない「図書館の必要数を明確にし、そのための年次計画」づくりと、②「歩いて行けるとして本の受取・返却できるよう地区センターの機能充実」が不可欠と考えます。以上2点の補強を求めます。（参考統計）令和4年子育て世代アンケート結果で、「必要なサービス・機能の1位が『身近な場所での本の貸出・返却』66.6%」</p>	参考	政令市の図書館統計については「横浜市の図書館（横浜市立図書館年報）」 https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kyodo-manabi/library/unei/Annual-report/ でご覧いただけます。ご提案の趣旨は、「第2章-2 図書館の施設整備の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。

No.	項目	ご意見	対応分類	本市の考え方
477	第2章-2	冊子P21施設整備の考え方「財政負担を考慮し、一区一館を基本としながら」について。私は、地域図書館の近くに住んでいます。子どもが小さいころから孫ができた今まで、読書は勿論のこと、その時々々の生活情報や知恵を与えてくれる場として、図書館の恩恵を受けてきました。子どもたちが小さい時は絵本や紙芝居がいっぱいある楽しい場であり、子育てに悩んだら育児書、冠婚葬祭の本、生き方の本、病気の知識本、お祝いのスピーチ本、離乳食からお弁当、手芸、手紙の書き方、数か月前の新聞記事の確認、旅行ガイド、等々、困った時には近くにある図書館へ行くのが当たり前でした。ですが、おはなし会のボランティアで図書館から少し離れた小学校に行った時です。低学年の3学年の子供たち、それぞれ150名近くの子に『図書館に行ったことのある人』と尋ねたら、手を挙げたのはどの学年も10名に満たなかったのです。我が子は小学校から帰ったら、毎週走って図書館のおはなし会に行っていました。図書館から少し離れると横浜市の子供たちは図書館を知らずに大きくなっているのかも知れないと愕然としました。一区一館しかない横浜市では、図書館が遠いということで、多くの人が図書館を身近なものとして利用できていないと思います。10年～20年後を見据えた図書館ビジョンが素晴らしいとしてもその恩恵を受けるのは一部の市民のみです。一区一館を基本とする根拠は何でしょうか、財政負担を考慮してのことでしょうか、それは本当に横浜市民のための施策ですか。一区一館しかないのは、現状がそうであるだけではないですか。1995年に都筑図書館、緑図書館ができてから28年間図書館数は成長がないうままです。これからの横浜市の図書館は、現地での整備をしつつ、より利便性の高い主要駅周辺や図書館から遠い地域への図書館増設を目指すべきだと考えます。未来を見据えてのビジョンに足かせをするような『一区一館を基本として』という文言は、削除して下さい。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-2 図書館の施設整備の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
478	第2章-2	概要版2p.新たな図書館像の実現に向けて2について・「1区1館を基本としながら」と明記するのは、どう見ても基本方針と矛盾するのではないのでしょうか。この記述は削除すべきです。横浜市の図書館に何よりも必要なのは館数を増やすことです。これからの社会において、そのときどき市民が自らの意思で自身にとって必要な知識や技術を獲得していくことはますます重要になると思われます。その時身近な機能する図書館がある自治体とない自治体とでは、市民力に大きな差がつかないでしょうか。いい図書館があるから横浜に住みたいと人々に思わせる自治体になってほしいと切に願います。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-2 図書館の施設整備の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
479	第2章-2	冊子版21頁にて、図書館を「1区1館」を基本とするとして、現状の1区1館をそのままにして進めるとのことだが、日本最大の人口規模と財政規模を誇る地方自治体である横浜市が、1区に1館ではあまりに少ない。せめて、1区に2館設けてもらいたい。財政が厳しいと横浜市は二言目には言及するが、予算の重点配分するところが違っていると思う。超高齢化時代、単身世帯が増えコミュニティの形成が大事になる時代に、図書館という人が集い居場所となる場所の存在があまりにも大きい。コミュニティとしての図書館機能を重視するのであれば、その規模として、1区2館を実現していただきたい。また、夏季の酷暑時に集まって市全体としてエネルギーの消費を抑えること、冬季の厳寒期に集って市全体としてエネルギーの消費を抑えることにも、役立つと思う。図書館の規模を増やすことのデメリットはないものと考えられる。ぜひ、再考願いたい。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-2 図書館の施設整備の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
480	第2章-2	山中市長の公約に新たな図書館の整備があります。 https://www.kensetsunews.com/web-kan/607226 しかし、リーフレットに「1区1館を基本としながら、」とあります。公約がなぜ破棄されたのか、経緯を示してください。3ページ『横浜市図書館ビジョンの位置づけ』で示された市の他の計画の中で、新たな図書館の整備について言及されているかお答えください。そもそも、図書館ビジョンへ、市長が、いつ頃、どのような形で関与したのか、それを示す公文書は存在するかお答えください。	その他	いただいたご意見につきましては、本ビジョンを進めていくうえでの参考にさせていただきます。
481	第2章-2	・「図書館の施設整備の考え方」(21p) 全体に抽象的な中で「1区1館」だけ具体的なことになりました。広い市内には図書館利用が困難な地域が多く存在します。取次所では「居場所」にならない。1区1館にこだわらず利用不便地域には新たに図書館を増設することを提言してほしい。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-2 図書館の施設整備の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
482	第2章-2	・「図書館の施設整備の考え方」(21p) 現在の地域図書館はあまりに狭い。ビジョンに記載されている「居場所」「機能拡張」を実現するには少なくとも今の1.5～2倍に広さが必要です。そして、市の北部に中央図書館クラスの規模を有する横浜らしさを表現する魅力的な図書館を設置してほしい。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-2 図書館の施設整備の考え方」「第2章-3 新たな機能・機能拡充に伴う空間づくりの考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。

No.	項目	ご意見	対応分類	本市の考え方
483	第2章-2	<p>横浜市図書館ビジョンについての意見です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 現在の一区一館制度を見直し、緊急を要する区から図書館の新增設を行うこと。最悪の場合でも、一区内に副図書館の増設を行っていただきたい。この問題の解決がないかぎり、どんなに図書館の諸問題を議論しても、問題は解決しません。 図書館の新增設は、人口の多い、港北区、青葉区、都筑区から行う事が望ましく、一気に各区一律でなくても良いと思われます。 新增設について、財政的に難しい場合には、今後の小学校の統・廃合によって出来る跡地を活用することも一案と思われます。 図書館の新增設は、情報化時代にふさわしいものとする事が重要で、パソコンの利用可能な電源設備、WIFIの設置などが最低限必要です。 図書館の新增設は、現在図書館が設置されている場所近くでなくても良いと思います。その際、車を無料で駐車できるスペースを確保していただきたい、と思います。 	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-2 図書館の施設整備の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
484	第2章-2	<p>図書館の数を人口に見合ったものにするよう増やして欲しい。 他都市など、もっと沢山の図書館があるそうです。</p>	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-2 図書館の施設整備の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
485	第2章-2	<p>素案全体について なぜ横浜市には、区に図書館が1つくらいしかないのでしょうか？他の街では、東京とか、区に何館も図書館があります。前に住んでいた区内では、区に10館以上図書館があって、歩いて子どもと一緒に行きましたが、横浜に来てからは、バスや車でしか行けません。こんなに格差があるとは、思ってもみませんでした。 「横浜市図書館ビジョンへのご意見」です。早く改善してください。</p>	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-2 図書館の施設整備の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
486	第2章-2	<p>行ってみたい、使ってみたくなる図書館になるためのアイデア ・商業施設の中にある小規模図書館</p>	参考	行きたくなる図書館についてのご意見は、本ビジョンを進める上で、今後の参考にさせていただきます。
487	第2章-2	<p>市立図書館についての意見 ・あまり身近にない少ない小さくても良いので区に1,2つは図書館があった方が良かった。</p>	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-2 図書館の施設整備の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
488	第2章-2	<p>全体について ・32Pの公共交通機関を使っている人が多く、とおい所にあるから人が少ないのではと思いました。</p>	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-2 図書館の施設整備の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
489	第2章-2	<p>●図書館組織（組織図の記載あり） 中央図書館1館。 横浜市〇〇区中央図書館18館（各区の図書館を区の中央図書館にする。西区の図書館を新しく建設する。老朽化した今の地域館を順次建て替えていく。その際、今の収容スペースの2～3倍の規模に建て替えること。） 横浜市〇〇区分館・横浜市〇〇区児童図書館90館余（各区の地区センターの図書室or図書コーナーを分館に格上げする約80館、今はコミュニティーハウスとなっているが、以前は各区にあった青少年図書館を児童専門図書館とする約10館？→18館）</p> <p>横浜市図書館の最大の課題（20政令都市の中で最下位である人口当たりの図書館数＝図書館比率、蔵書数＝蔵書比率の低さ）を解消する為に、長年の一区一館制を廃止すること。（市立中央図書館1館→区立中央図書館18館→各区の分館（児童書専門図書館含む）90～100館） これらの図書館をネットワークで結び、必ず司書を配置すること。 どんなに情報化社会になろうとも、デジタル化が進もうとも、利用者と本をつなぐのは人（司書さん）なのです。 ですから、中央図書館だけでなく、末端の図書館（分館）にも司書資格を持つ職員を配置すること。いきなり全100館配置はムリかもしれないが、市立図書館を定年退職した人（今の60代はまだまだ元気！）を再雇用して、これらの分館で勤務してもらい、在職中に培ったスキルを生かして、レファレンスや選書等の業務の中心者となって、若い司書さんの育成をも、になえたら最高だと思う。（現在のように再雇用者を不正規のアルバイトがやっている貸出・返却のみの仕事に就かせるのはもったいないですよ。）</p>	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-2 図書館の施設整備の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。

No.	項目	ご意見	対応分類	本市の考え方
490	第2章-2	事情により東京から横浜市に転居しました。横浜には市立図書館が区内一つしかない事に愕然としました。基本方針①「未来を担う子どもたちのための図書館とありますが、身近にできれば「何度でも行きたく」でも無理なのでは？ 都内在住であれば学校や職場からの帰りにでも、または一旦帰宅してから、すぐ近くの図書館に行く事ができるのに。増やしてほしいですが予算的に難しいでしょう。 都内の友人に横浜市の図書館は区に1つ…等の話をしたところ「え!?文化レベル低!!」と驚かれました。仕方ないですね。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-2 図書館の施設整備の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
491	第2章-2	5つの基本方針は、どれも必要な考え方であると思うが、この5つの方針を具現化するためには、1区1館という貧しい横浜市の方針を見直す必要がある。 デジタル社会に向かう状況の中で、紙媒体の書物を、子どもたちに残し、伝えるためには、くらしの中に図書館がもっと身近な存在であるべきと考える。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-2 図書館の施設整備の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
492	第2章-2	横浜市の図書館ビジョンで思う事は、なぜ1区1館にこだわっているのでしょうか。広い区、小さい区、いろいろあるのに区ごとの状況を考えて市民が利用しやすい図書館を作してほしいです。駒岡、上の宮からは駅近くの図書館は、小学生が一人で行く距離ではなく図書館が身近にありません。 司書のいる図書館を一館といわず作ってください。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-2 図書館の施設整備の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
493	第2章-2	横浜市図書館ビジョン（素案）を是非実現してほしい。 ①行政区に公共図書館が1館では不足。小規模でも良いので東西南北に分けて増設してほしい。 ②親子で絵本の読み聞かせできる場所、平面で座って子供が本に親しめる様な場所を図書館は勿論、他にも居住地域の中に作してほしい。（小さな公園がある様に）	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-2 図書館の施設整備の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
494	第2章-2	横浜市は1行政区1図書館以上を方針にしているとビジョンでは記述していますが、私が住んでいる西区岡野には以前（5年以上前？）西区青少年図書館があって利用していました。しかし、建物老朽化を理由に廃館になってしまいました。 廃館が提案された時、近くの町内会あげて反対し、結果として在庫してある図書を近くの地区センター、平沼集会所、浅間町コミュニティーセンターに分散して図書にふれる機会を残すとあいまいな結果におわりました。 岡野、浅野町周辺は横浜駅に近くマンションが林立して新住民が多数います。一区一図書館の方針にあるように西区にも図書館を作してほしいです。 よろしくをお願いします。 中央図書館は全市的な機能だと思うので、中央図書館が西区あるというのは理由にならないと思います。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-2 図書館の施設整備の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
495	第2章-2	②一区一館は少なすぎるので、人口比に応じて段階的に増設するような図書館拡充計画を。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-2 図書館の施設整備の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
496	第2章-2	・一区一館の方針を改め、東京並みに増やしてほしい。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-2 図書館の施設整備の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。

No.	項目	ご意見	対応分類	本市の考え方
497	第2章-2	はじめに 私は、現在75歳です。 鶴見区在住75年です。図書館は、歩いて40分(若いときは30分?)かかる鶴見図書館と、歩いて5分のところに「生麦地区センター」しかありません。今回の市図書館ビジョンを見て、次のことについて要望します。 1、図書館の数をもっと増やすことが急務 特に横浜市は、1区に1館しかないで、あってもなきがごとしです。 是非、東京都など他都市と図書館の数・利用者登録率など比較してみてください!ですから、図書館の便利さを知らない人がほとんどです。このことは、住民の知る権利(教育を受ける権利)・税金を納めた結果を受ける権利の格差そのものと思います。青葉区では、区内の図書館施設の連携で身近に図書を借りられる施設があると聞いています。以前、「ポストの数ほど図書館を」と聞いたことがあります。子どもも、お年寄りも、近くの図書館で雑誌や新聞を見たり、本を借りることができたら、どんなに喜ばれることか!近年、本や新聞等が高騰し本離れや、スマホ等断片的な情報に偏られている現状を憂慮しています。 方策として、公の施設の立替時または、近年問題になっている「空き家対策」等有効活用して大きな箱モノでなくコンパクトな図書館施設として数多く設置してください。以前「青少年図書館」として設置され、コミュニティハウスに転換された施設が、規模・蔵書数の点からも最も有効と思います。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-2 図書館の施設整備の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
498	第2章-2	港南区の港南図書館は地下鉄上永谷駅から更に徒歩で行かねばなりません。息子の妻は上大岡から2歳の子を連れて地下鉄に乗り歩いて図書館に行っています。乗降客の多い上大岡駅・港南台駅の駅近に図書館を作ったらもっとも利用者もふえ子育て世代が住みたくなる街になると思います。もちろん他の区についても同様です。一気に無理でも計画的に増やして欲しいと思います。歩いていける図書館をめざしてほしいです。	参考	ご意見につきましては、「第2章-2 図書館の施設整備の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
499	第2章-2	図書館が遠すぎてなかなか足を運びにくい。もっとすぐ近くにあったらいいのになあと思います。取次所だけでも近くに作ってほしいです。たくさんの知識の詰まっている図書館は魅力です。蔵書も多くしてほしいものです。	参考	ご意見の趣旨を踏まえ、素案の「第2章-1 蔵書・レファレンスの充実」「第2章-4 図書館外のサービスポイント設置の考え方」の取組について本ビジョンを推進してまいります。図書館数の増加へのご意見については、「第2章-2 図書館の施設整備の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
500	第2章-2	1、総務省の「公共施設再編計画」では図書館などの公共施設の合築・統合が推奨され、市としても国の方針に沿った計画が提出されているのかもしれませんが、横浜市の図書館行政は極めて遅れており、370万人強の人口で18館しかない貧しさです。国の方針に従うのではなく、現実の市の実態を基に計画を立ててください。図書館への市民アンケートでも、30~40分内の歩いていける図書館を市民は希望しています。1区1館の壁をクリアしてください。私は中央図書館をよく利用させてもらっていますが、近くで蔵書が豊富な主題別閲覧室になっており、豊富な資料をブラウジングしながら、興味を喚起される資料群を便利に使っています。また、各種の新聞のデータベースもそろえられ(都立中央図書館より種類は少ないです。県立よりデータベースは若干劣るようです。)調べごとにも便利です。また、高齢になると貸出期間が3週間あるといいなと思っています。人々の課題解決の役立つには、中央図書館なみの図書館を4つ位整備してもおかしくないと思っています。17館の地域館は規模も小さく、蔵書も少ない。建て替えるのなら、現行の倍以上の面積は必要でしょう。図書館サービス網を視野に入れた整備計画を再考してください。	参考	ご意見につきましては、「第2章-2 図書館の施設整備の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
501	第2章-2	・東京から移ってきて図書館が区内に1つしかない。電車に乗らないと本を借りに行けないということに、本当に驚いた。東京では中学校区に1館ぐらいの配置で図書館があり、自転車や徒歩で利用できる図書館というのは市民が知識や情報を自由に獲得できる「知のセンター」です。横浜は根本において文化の後進地です。	参考	ご意見につきましては、「第2章-2 図書館の施設整備の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
502	第2章-2	・いつでも開いている図書館が住まいの近くにほしい	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-2 図書館の施設整備の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。

No.	項目	ご意見	対応分類	本市の考え方
503	第2章-2	学校や図書館で読み聞かせのボランティアをしています。紙芝居や絵本の読み聞かせなどに必要な資料を使っているのですが、図書館が近いところはいいのですが、近くない人は困っています。区に図書館が1館しかありません。また、学校の図書館も常勤の司書さんが常時居るのか不明ですが、司書の資格をお持ちの方が少ないようです。370万人強の人口で1区1館しかないので、図書館が近くにない人は不自由です。1区2館にしてください。政令都市の中で、一番図書館の数が少ないと聞いています。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-2 図書館の施設整備の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
504	第2章-2	建て物が古すぎてきたない。建てかえて下さい。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-2 図書館の施設整備の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
505	第2章-2	市立図書館についての意見 ・家の近くになく、気軽に利用できない。 ・他県の市立図書館と比べると、あまり広くない。	参考	市立図書館についてのご意見は、本ビジョンを進める上で、今後の参考にさせていただきます。
506	第2章-2	○港北図書館は老朽化し、建て替えが必要と思います。立て替えの時には、区役所と一体化を図って下さい。また、建て替えの時には、市民が使いやすく職員が働きやすい施設設備にするために意見を聞き反映してください。その実現のために必要な予算を付けてください。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-2 図書館の施設整備の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
507	第2章-2	図書館がまったく身近ではありません。篠原地区センターは徒歩15分位で行けますが、新しい本は少ないし、読みたい本はだいたい借りて読んでしまいました。菊名の図書館まで歩いても乗り物を使っても3~40分はかかるでしょう。かなり古い本も多いですね。駅のなかか、駅近くに蔵書数も多く、新しい本がどんどん入る図書館を作ってほしいです。その方がたくさんの方が利用しやすいです。	参考	ご意見の趣旨を踏まえ、素案の「第2章-1 蔵書・レファレンスの充実」の取組について本ビジョンを推進してまいります。図書館数の増加へのご意見については、「第2章-2 図書館の施設整備の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
508	第2章-2	市立図書館への意見 ・もっと数を増やしてほしいです（小さくてもよいので）	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-2 図書館の施設整備の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
509	第2章-3	②ハードウェア施設の充実 (1) 駐車場の増設 (2) プライベートスペースが確保され、静かに勉強や調べものが出来る閲覧設備の増設 (3) 子供やお年寄りなど市民が憩えるスペースを併設 (4) 冷暖房等快適な空間の確保	参考	ご意見につきましては、「第2章-2 図書館の施設整備の考え方」「第2章-3 新たな機能・機能拡充に伴う空間づくりの考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
510	第2章-3	3 新たな機能・機能拡充に伴う空間づくりの考えかた 「こどもや子育て世代が利ようしやすい環境づくり」の理念とても素晴らしいと思います。確かに駅前図書館は需要は高いです。ですが、商業ビルの一角では、本来の図書館の持てる機能をフル活用できないのではと懸念しています。階層・フロアーごとに各テーマに沿ったグラデーションのある図書館ビルが希望です。せめて、商業施設は下の階層だけに留めて欲しいです。	参考	ご賛同いただきありがとうございます。ご意見の趣旨を踏まえ、素案の「第2章-3 新たな機能・機能拡充に伴う空間づくりの考え方」の取組について本ビジョンを推進してまいります。商業施設利用に関するご意見は、今後の参考にさせていただきます。
511	第2章-3	p23の居心地の良い空間づくりについて、来館者の施設だけでなく働いている職員も居心地よくできるようにするべきである。職員の居心地が良くなれば、職員から良い提案が生まれたり、市民に接する態度も変わり、更に居心地が良くなると思う。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-3 新たな機能・機能拡充に伴う空間づくりの考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
512	第2章-3	p.24 体験・交流の場づくりに関して、体験機会を充実させていくことは、利用者の来館理由創出や満足度向上の点において非常に有益だと感じます。同時に、より広い意味で知的刺激を得られるようなイベントを拡充する側面があってもよいと感じました。たとえば、各地域に独自の文物や施設を見て回る「街歩き」などは、図書館の持つ地域別の蔵書と相性がよいと感じました。館内でのイベントだけでなく、館外に出て行くことも一案ではないかと思えます。また館内イベントとして、作家やジャーナリストを講師として招いた創作講座があってもよいのではないかと思いました。私は小説家として活動しておりますが、単発で市民の方々とショートショートを書いてみるような企画や、即興小説を創作するようなイベントがあっても面白いかと思えます。よい書き手となることは、よい読み手となることにもつながります。	修正	ご賛同いただきありがとうございます。ご意見の趣旨を踏まえ、「第2章-3 新たな機能・機能拡充に伴う空間づくりの考え方」の取組について本ビジョンを推進してまいります。なお、ご提案の趣旨を踏まえ、基本方針3の取組・機能のアイデアを「地域のアーティストと連携したワークショップや作品展示」を追記するなど原案を追記修正しました。
513	第2章-3	・【概要版p2】空間作りの考え方の中に入れていただきたいこと。図書館は個人で本読むところなので、大きなテーブル席は不要。窓際に席を作るようにして欲しい。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-3 新たな機能・機能拡充に伴う空間づくりの考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。

No.	項目	ご意見	対応分類	本市の考え方
514	第2章-3	冊子版p22 3 新たな機能・機能拡充に伴う空間づくりの考え方 空間づくりの内容はとても素晴らしいと思うのですが、現在の図書館の蔵書ですら本棚からはみ出して横置きされている様子を考えると、そこに新しい空間をつくることは難しいと思います。しかし、小さい子どもに本の楽しさを伝えることは将来を考えてもとても大切なことです。以前住んでいたところでは、午前中は未就園児、午後は小学生の学童となっている場所がありました。夏休み中や代休の日など使えない日もありましたが、未就園児を連れてママ友とおしゃべりをしたり、支援員さんに子育ての相談をしたりという子育てにはとても頼りになる場所でした。スペースが取れない図書館では常設ではなくても、時間で分けたり、曜日で分けたりすることができたら、様々な空間をつくることのできるのではないのでしょうか。	参考	ご賛同いただきありがとうございます。ご提案の趣旨は、「第2章-3 新たな機能・機能拡充に伴う空間づくりの考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
515	第2章-3	P23のカフェスペース：地区館にぜひ設置してほしい。そして中央館は資料費にできる限り予算を振り向けるのが本来だと思います。中央館にもあってももちろんいいのですが、地区館でくつろいで図書館の良さをしっかり感じていただき、中央館へ専門資料を探しに行こうと思ってもらえる流れを作れたらいいのではと思います。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-3 新たな機能・機能拡充に伴う空間づくりの考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
516	第2章-3	P24の体験・交流の場づくり：図書館にも色々な設備があったらいいと思うのはもちろんですが、既存の地区センターや各種施設を活用した方がよほど無駄がないと思います。そのためにも、情報を知りたい人が図書館に得に行き、司書が地域の他の資源を紹介していく流れを作っていた方がいいのでは。情報の拠点であり、人が通り過ぎる場所でも良いのではないかと思います。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-3 新たな機能・機能拡充に伴う空間づくりの考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
517	第2章-3	3 未来を担う子どもたちへの読書環境を考えた時、学校図書館の充実が優先させることだと思います。	参考	学校図書館との連携については、「第1章-基本方針1 未来を担う子どもたちのための図書館」について本ビジョンを推進してまいります。学校図書館の充実へのご意見は、今後の参考にさせていただきます。
518	第2章-3	子どもがワイワイと楽しめる場所は一方で大人が学びを得る場所としては相応しいとは言えず、出来ることなら場所か時間を分けてもらいたいと思います。子ども向けの小規模な図書館を増やす一方で大学の社会人向けの講義のようなものを図書館で受けられる場所にしたり、今流行りの読書会を図書館主催で行うなど（そこに大学の先生を呼ぶとか専門分野の方をよぶ、研究者としてなら企業の方を呼ぶのならありかと。）、また特定の分野の方がコーディネートするPOPUP的な本のコーナーがあってもよろしいかとも思います。（総合的な小規模書店が減っている一方、冒険書店や旅の本屋のまどのように、特定の分野に特化した本屋や間借りした本のコーナーなどが増えており、そのイメージです。一時期ベ이스ターズの選手のお勧め本のコーナーはやられていたと思います。）本を通じて市内の歴史的建造物を学ぶとか開国を学ぶとか他国ルーツの方が多くいて皆さまの出身国について学ぶとか横浜市だからその強みもあると思います。あくまで本を基調に学びの場、もっと本を読んでもらえる仕掛けとしていくのならよいのではないのでしょうか。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-3 新たな機能・機能拡充に伴う空間づくりの考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
519	第2章-3	p23 居心地のよい空間づくり 多様な人が、それぞれ譲り合いながらすごせる空間になると良いと思う。社会的弱者にも配慮している空間であってほしい。ゾーニングも必要だが、声や音をある程度許容できる場所があるとよい。完成したら終わりではなく、成長し続ける空間であってほしい。地域の特性も生かしてどんな図書館にしていきたいのか、図書館で働く人たちの立場からの意見もしっかり聞いて、空間を作ってほしい。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-3 新たな機能・機能拡充に伴う空間づくりの考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
520	第2章-3	現在図書館を集中して読書したり学習するために利用しようとしても座席が圧倒的に足りていません。鶴見図書館の学習スペースが空いていなかったため、やむなく港北図書館まで移動したこともありました。学習スペースの拡充は喫緊です。書架を維持しつつ学習スペースも広げてください。集中できる場所が必要です。カフェやハンバーガーショップは通うにはお金がかかりますし店内放送で集中が妨げられることも多くあります。公共施設として個人で学習できる場の拡充を。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-3 新たな機能・機能拡充に伴う空間づくりの考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。

No.	項目	ご意見	対応分類	本市の考え方
521	第2章-3	<p>○新たな機能・機能拡充に伴う空間づくりの考え方</p> <p>個人的には最も興味のあるテーマですが、空間づくりについては「来館者数」や「貸出数」を増やすこと、つまり人気を得ることだけが目的化しないように、注意する必要があると思います。一般の方々の図書館に対するニーズやイメージは、時代とともに変化しています。また、それは単純な一義ではなく多様化しています。つまり、正統的な図書館の機能（役割）と一般の概念とが、少しずつ、しかし確実に離れていっている可能性があると思うのです。良し悪しの問題ではなく、二つの概念のはざまで、物理的な実態としての図書館や収蔵されている図書を、どう扱うべきなのかが、悩ましいことだと思います。図書や図書館は、物理的な実態がある以上、維持管理しなければなりません、維持管理にはお金がかかります。また、多くが自治体の運営する公共図書館ですから、住民に開かれ、利用促進を図る必要もあります。この辺りが、「指定管理者制度」を用いて、民間のノウハウや資金力を導入しようという試みや、図書館の空間そのものを「おしゃれ」なものに変えて行こう、という動きの源になっていると思います。この「おしゃれな空間」や「人気を博す空間」というものと、「インクルーシブな環境」や「居心地の良い空間」とは、重なる部分もあることから、混同されがちです。前者が悪いというものではありませんが、長い時間の経過を経ても、なお色褪せない空間づくりを心掛けるべきだと思います。</p> <p>一方、「体験・交流の場づくり」はこれからの図書館にとって、非常に重要なことだと思います。</p> <p>正に、ここに記載のとおり、体験と実践、交流の機会を充実させていくことが不可欠と信じます。</p>	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-3 新たな機能・機能拡充に伴う空間づくりの考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
522	第2章-3	<p>市立図書館についての意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漫画、ライトノベル（転スラなど）をもっといれてください ・なんとなく、図書館にいと、きょうふ感があります。 <p>ふしん者が出てきそうなふんいきがあり、ちょっと大人のスペースにいきにくいです。</p>	参考	市立図書館についてのご意見は、本ビジョンを進める上で、今後の参考にさせていただきます。
523	第2章-3	<p>市立図書館についての意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全性がもう少しほしい ・ふんいきが少し苦手なので、少し楽しいこと(と)いうか、ようきな感じにしてほしい。 ・物食べるスペース？がほしい。（子供もつかえる） 	参考	市立図書館についての意見は、本ビジョンを進める上で、今後の参考にさせていただきます。
524	第2章-3	<p>日頃図書館には本代の高騰の折助けられています。</p> <p>予約する本ほど人気が高く300から400人待ちなどざらです。</p> <p>横浜市は図書館の数が少ないのでその分を人気本の数を増やしていただくと共に本屋さんが少ないので施設を増やして下さい。</p> <p>コミュニティハウスや地区センターとの連携などは考えられないでしょうか？地域の穴場です。</p>	参考	ご意見の趣旨を踏まえ、素案の「第2章-1 蔵書・レファレンスの充実」「第2章-4 図書館外のサービスポイント設置の考え方」の取組について本ビジョンを推進してまいります。図書館数の増加へのご意見については、「第2章-2 図書館の施設整備の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
525	第2章-3	<p>3について：これは5と6にも関わることであるが、施策立案担当は利用者（市民）のどのニーズを捉えてこの項目を考えたのかたずねたい。近年公共図書館がまちづくりの拠点として多目的な複合施設の一部として設置される例が多いが、果たしてそれがいいのかどうか疑問である。図書館は図書館であって、図書館機能を併せ持つ複合施設とはまったく異なるものである。その図書館の定義をしっかりと考えずに見た目だけ華やかで美しい施設に仕上げてもあまり意味はないと思う。教育施設としての図書館という基本に戻り、その充実に向けて何をすべきか、考えてほしい。</p>	参考	本ビジョンの策定においては、市民アンケート、市民ワークショップ、有識者意見聴取を行い、それらを踏まえてまとめました。いただいたご意見につきましては、本ビジョンの策定にあたり参考にさせていただきます。
526	第2章-3	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代の保護者のみならず、あらゆる人がくつろいで過ごせるインクルーシブな環境づくりが望まれる。 ・横浜への理解が深まり、愛着が生まれるようなイベントやワークショップについてもぜひ開催検討をお願いいたします。 ・体験・実践・交流の機会としていただきたい。読書イベントや子供向けイベントのみならず、より多様なニーズや年齢層に対応したイベント・ワークショップの開催を希望します。 ・外国人の居住者も増えていく中で、多文化共生、国際社会への理解が深まるような蔵書、イベント内容などを検討していただきたい。 	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-3 新たな機能・機能拡充に伴う空間づくりの考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。

No.	項目	ご意見	対応分類	本市の考え方
527	第2章-3	<p>ワークショップに参加させていただきました。その節は大変お世話になりました。</p> <p>今般、貴課よりの総括を拝見しましたが、ワークショップで私の力説しました提案の趣旨について一言も触れられていないのでは、と大変残念に思い、ご認識を頂きたく再度その趣旨を説明させていただきます。勿論、とるに足らない意見であるとお考えならば看過いただいで結構でございます。</p> <p>当時、私が提案いたしましたのは下記の2点です。</p> <p>一つは、図書館の一角に手足や足腰を延ばして身体を少しでも動かせる空間が欲しい旨の提案いたしましたが、「まとめ」には見当たりませんでした。私に見落としがあればお詫び申し上げます。</p> <p>私は、現在、福祉施設や文化倶楽部で健康気功体操を教えている立場上、人の姿勢を観察する習慣があります。図書館で本を読んでいる人の大半は姿勢が前かがみになっていて、胸や心臓を圧迫しているケースが多いのです。</p> <p>まとめでは、「瞑想する空間があれば」という提案があるとされていましたが、瞑想だけですと、一時、本から目を離し閉じて座ったままの場所で行うことは可能だと思いますが、長時間同じ場所にじーと座りっぱなしでは、健康上良くないのは言うまでもありません。場所を変えて、身体を反らせたり、あくびしたりと、軽い体操が出来ると気分転換にもなり心身ともにリフレッシュが出来、能率も上がると思います。</p> <p>一人当たり公共の電話ボックス1台分か、もう一回り位の大きさで十分ですが、一度に何人か入れる部屋を設けても良いのではないのでしょうか。部屋の広さや数、入室の利用時間や人数の制限など、運営・コスト・管理上の問題は生じてくるとは思いますが、ご検討の余地があれば幸いです。</p>	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-3 新たな機能・機能拡充に伴う空間づくりの考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
528	第2章-3	<p>全体について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P22子育て世代のための環境の1つに、「子どもが声を出してよい環境と書いてあるけど、小さい子どもいても、周りを気にせず本の読み聞かせを行えたり、保護者自身がゆっくり本を読める時間を作れるシステムがあるとよいと思う。また、P22の子育て世代のための環境に、一時預かりスペースがあるけれど、保護者は、その時間内に本(を読)み終わられるとは、限らない。本を貸りても、読むヒマはないので、続書するには図書室にくるしかない。もう少し、本をゆったりと読めるシステムがあるといい。子どもをどうにかするしかない。 	参考	居心地のよい空間づくりに向けては時間や空間を分けるゾーニングが必要と考えています。ご提案の趣旨は、「第2章-3 新たな機能・機能拡充に伴う空間づくりの考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
529	第2章-3	<p>行ってみたい、使ってみたくなる図書館になるためのアイデア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館を区画に分けて、食事や遊びばなどスペースを分けて幅広い年齢層がストレスがうまれない空間 	参考	行きたくなる図書館についてのご意見は、本ビジョンを進める上で、今後の参考にさせていただきます。
530	第2章-3	<p>全体について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・p34.p37の「子どもが、声を出しても大丈夫」が、どこでも話して良いみたいなかんじに読みとれるから、それだと会話がもり上がってうるさくなって本が読めなくなる可能性があると思ったので、スペースを決めて話せる、声を出せる、のほうがいいと思った。 ・今井の地区センターみたいに、飲食ができるスペースがあるとよりすしやすいスペースになると思う。 	修正	スペースの使い方を時間や空間で区切ることは、素案の「第2章-3 新たな機能・機能拡充に伴う空間づくりの考え方」の取組について本ビジョンを推進してまいります。ご意見のうち、飲食できるスペースについては、いただいたご意見を踏まえ、「第1章-基本方針3 まちとコミュニティのための図書館」の取組・機能のアイデアに「飲食できる場所と軽食等の提供」を追記するなど原案を修正しました。
531	第2章-3	<p>全体について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P24体験について。ものづくりや、演奏など、家ではやりにくく、かと言って、やる場所もないというようなものができるような部屋（備品（普通家にはないもの（p24にあるように工具や3Dプリンターなど））を置いたり、防音になっていたりなど）があると、より人を集められて、それをSNS等で発信するのも良いと思いました。 	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-3 新たな機能・機能拡充に伴う空間づくりの考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。

No.	項目	ご意見	対応分類	本市の考え方
532	第2章-3	行ってみたい、使ってみたくなる図書館になるためのアイデア ・寝転がって本を読める。(Yogibo) ・漫画が読める。 ・自習できる。	修正	ご意見のうち、くつろげる椅子については、「第1章-基本方針3 まちとコミュニティのための図書館」の取組・機能のアイデアに「自由な姿勢で本が読めるビーズソファなどの設置」を追記するなど原案を修正しました。行きたくなる図書館についてのご意見は、本ビジョンを進める上で、今後の参考にさせていただきます。行きたくなる図書館についてのご意見は、本ビジョンを進める上で、今後の参考にさせていただきます。
533	第2章-3	行ってみたい、使ってみたくなる図書館になるためのアイデア ・一つの図書館内に複数のエリアをつくり、それを壁などでしきってある。 ・BOX型の個室がある。 ・外で読める場所がある。 ・イベントが開催される。(本以外のもの作りとか、講座とか)	修正	ご意見のうち、外で読める場所がある、については、「第1章-基本方針3 まちとコミュニティのための図書館」の取組・機能のアイデアに「屋外の閲覧席(バルコニーなど)の設置」を追記するなど原案を修正しました。いただいたご意見を踏まえ、本ビジョンを推進してまいります。
534	第2章-3	行ってみたい、使ってみたくなる図書館になるためのアイデア ・絵本などの絵をプロジェクターなどに映して、読み聞かせたら、子どもがたくさん来ると思う。大人数でいけたり…。	参考	行きたくなる図書館についてのご意見は、本ビジョンを進める上で、今後の参考にさせていただきます。
535	第2章-3	全体について ・P22の「環境づくりのアイデア」について、「飲食が可能なスペース」とかいてありますが、食べ物はずべて食べていいのですか？	参考	飲食できるスペースは、現時点のアイデアとしてお示ししているものですが「第2章-3 新たな機能・機能拡充に伴う空間づくりの考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
536	第2章-3	行ってみたい、使ってみたくなる図書館になるためのアイデア ・仕切りをつけて、個人で静かに本を読んだり勉強したりできるスペースがほしいです。	参考	行きたくなる図書館についてのご意見は、本ビジョンを進める上で、今後の参考にさせていただきます。
537	第2章-3	行ってみたい、使ってみたくなる図書館になるためのアイデア ・みんなで楽しく料理できるスペース	参考	行きたくなる図書館についてのご意見は、本ビジョンを進める上で、今後の参考にさせていただきます。
538	第2章-3	行ってみたい、使ってみたくなる図書館になるためのアイデア ・友達と一緒にいくとき腹がへってしまったりするのですがなかにフードコートとかがあったらありがたい	参考	行きたくなる図書館についてのご意見は、本ビジョンを進める上で、今後の参考にさせていただきます。
539	第2章-3	全体について ・23Pのキッズスペースはうるさくなるかもだけど、防音はどうするんですか。	参考	防音については、「第2章-3 新たな機能・機能拡充に伴う空間づくりの考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
540	第2章-3	行ってみたい、使ってみたくなる図書館になるためのアイデア ・カフェなどの飲食スペースはあるとよさそう ・はたみたいなやつを周りにおく ・かいほうかんをだす	参考	行きたくなる図書館についてのご意見は、本ビジョンを進める上で、今後の参考にさせていただきます。
541	第2章-3	行ってみたい、使ってみたくなる図書館になるためのアイデア ・パンフレットにもあったカフェスペース。→くつろぐ人が増える ・入りたくなるエントランス→旗立て ・流行のものを飾ったり、流行の本をたくさん置いたりする。 ・壁をなくして開放感を出す	参考	行きたくなる図書館についてのご意見は、本ビジョンを進める上で、今後の参考にさせていただきます。
542	第2章-3	・23ページにかいてあるカフェなど飲食スペースがあると良いと思います。カフェなどがあると10代の人も行きたいと思います。 ・23ページの学習室が個別だと良いと思います。しきりをして1人の空間にすると集中できると行きたくります。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-3 新たな機能・機能拡充に伴う空間づくりの考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。

No.	項目	ご意見	対応分類	本市の考え方
543	第2章-3	行ってみたい、使ってみたくなる図書館になるためのアイデア ・静かに過ごす所と誰かと話していい所で分けると、グループでも個人でも行きやすいと思います ・おばあちゃんに聞いたら、落ちついてお茶を飲めるスペースがあれば良いと言っていました ・中学生や高校生が図書館に来てくれるようにするにはティーン雑誌やまんが、オシャレに関する本を置くといいと思います ・読みたい本がなかったり、あっても司書さんに聞かなければいけない時、あきらめてしまうことが多いのでそこを改善してほしいです ・タブレットなどで電子書せきを読めると思います ・子ども向けの読みきかせや子ども同士で読み合ったり遊んだり出来ると思います	修正	グループでも個人でも行きやすい、とのご意見については、「第1章-基本方針1 未来を担う子どもたちのための図書館」の取組の方向性に「一人でもグループでも安心して過ごせる環境を整えます」と追記するなど原案を修正しました。行きたくなる図書館についてのご意見は「第2章-3 新たな機能・機能拡充に伴う空間づくりの考え方」などへのご意見として、今後の参考にさせていただきます。
544	第2章-3	市立図書館についての意見 ・今の図書館にはキッズルームのような子供同士で仲良くできるスペースが少ないと思うので、キッズルームをつくったら、もっと図書館に来てくれると思います。 ・私は、坂の上の方にある図書館に行ったことがあるのですが、行くだけで疲れてしまったので、お年寄りの方にもっと来てもらうには東戸塚駅のような駅の下に小さくつくったりしたらもっといいと思います。	参考	市立図書館についての意見は、本ビジョンを進める上で、今後の参考にさせていただきます。
545	第2章-3	行ってみたい、使ってみたくなる図書館になるためのアイデア ・自習室があるといいなと思います。 ・落ちつくBGM ・もっとマンガがほしいです。	参考	行きたくなる図書館についてのご意見は、本ビジョンを進める上で、今後の参考にさせていただきます。
546	第2章-3	全体について (概要版)・「図書館の施設整備の考え方」「新たな機能・機能拡充に伴う空間づくりの考え方」にかかわることかも知れないのですが、市立の図書館って窓が少ないかんじがするので、植物や花が見られる屋外テラスやガラスばりの所で本がよめたら楽しいだろうなって思いました	修正	いただいたご意見を踏まえ、基本方針3の機能・取組のアイデアに「屋外の閲覧席(バルコニーなど)の設置」を追記するなど原案を修正しました。
547	第2章-3	行ってみたい、使ってみたくなる図書館になるためのアイデア ・いろいろな人たちと本のかんそうが言い合える所がほしいです ・本が読まなくても本の内容が楽しめるように紹介動画やクイズ大会があったら楽しめると思います ・本当に色々な人たちが楽しめる図書館がいいから、点字本や、音声本、デジタル本、英語で書かれている本がたくさんあってほしいです。 ・個人的意見なのですがわたしはゆらゆらとゆられながら本を読んで、寝落ちするのが好きなので、太陽の光にてらされながらハンモックか何かで本がよめたらいいなって思いました	参考	行きたくなる図書館についてのご意見は、本ビジョンを進める上で、今後の参考にさせていただきます。
548	第2章-3	行ってみたい、使ってみたくなる図書館になるためのアイデア ・もっとくつろげる場所や本をためしよみできるスペースなどをもっとふやせばいいと思った。 市立図書館についての意見 ・よむスペースがはしっこにちょっとしかないからためしよみできるスペースをもっとほしいと思いました。	参考	行きたくなる図書館についてのご意見は、本ビジョンを進める上で、今後の参考にさせていただきます。
549	第2章-3	全体について ・静かな雰囲気強く、友達や家族と行っても話せないことが多いので、話すスペースと静かなスペースを分けるなどしてほしい ・同じ本を借りた人の感想が知りたいので、本ごとに感想シートなどを作ってほしい ・司書の方の仕事体験	修正	ご意見の趣旨を踏まえ「第1章-基本方針1 未来を担う子どもたちのための図書館」の取組・機能のアイデアに「静寂とにぎやかさなど、多様な過ごし方を受容する雰囲気づくり」を追記するなど原案を修正しました。いただいたご意見につきましては、本ビジョンを進めていくうえでの参考にさせていただきます。
550	第2章-3	・親子で行ってゆっくりと閲覧できるような図書館をつくって ・机とイスだけの閲覧場所ではなく、子どもが一人でも来て、寝ころがってでも読めるような空間のある図書館をつくってほしい	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-3 新たな機能・機能拡充に伴う空間づくりの考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
551	第2章-3	行ってみたい、使ってみたくなる図書館になるためのアイデア ・作ったりかをできる本だったら、自分ですぐに作れるようなスペースがあるといい。	包含・賛同	ご意見の趣旨を踏まえ、素案の「第2章-3 新たな機能・機能拡充に伴う空間づくりの考え方」の取組について本ビジョンを推進してまいります。
552	第2章-3	全体について ・カフェなどの休憩スペースを作る。 ・本を読みながら騒げるような子どもたちの遊び場を作る。	包含・賛同	ご意見の趣旨を踏まえ、素案の「第2章-3 新たな機能・機能拡充に伴う空間づくりの考え方」の取組について本ビジョンを推進してまいります。

No.	項目	ご意見	対応分類	本市の考え方
553	第2章-3	市立図書館についての意見 ・友達と行ってもあまりしゃべったり相談ができないから、しゃべってもいいスペースがあってほしい。	包含・賛同	ご提案の趣旨を踏まえ、素案の「第2章-3 新たな機能・機能拡充に伴う空間づくりの考え方」の取組について本ビジョンを推進してまいります。
554	第2章-3	行ってみたい、使ってみたくなる図書館になるためのアイデア ・図書館にある本の情報で勉強、体験ができると行ってみたいと思うのではないかと感じました。	包含・賛同	ご提案の趣旨を踏まえ、素案の「第2章-3 新たな機能・機能拡充に伴う空間づくりの考え方」の取組について本ビジョンを推進してまいります。
555	第2章-3	全体について ・親子で楽しめるような図書館と書いてあったのですが、図書館は利用する人で用途が違ってくると思うので、音を遮るような壁とかがあった方がトラブルの防止にもなるし、親も気軽に来館できると思いました。	包含・賛同	ご意見の趣旨を踏まえ、素案の「第2章-3 新たな機能・機能拡充に伴う空間づくりの考え方」の取組について本ビジョンを推進してまいります。
556	第2章-3	行ってみたい、使ってみたくなる図書館になるためのアイデア ・アメリカのような、ゲーム機がある図書館	参考	行きたくなる図書館についてのご意見は、本ビジョンを進める上で、今後の参考にさせていただきます。
557	第2章-3	全体について ・カフェがある。 ・静かすぎると逆に（少し）読みにくい雰囲気だから、部屋？みたいな感じで、静かに読みたい人は仕切りがある部屋で、あとは、普通に本を選ぶところで読んだりできる。	包含・賛同	ご提案の趣旨を踏まえ、素案の「第2章-3 新たな機能・機能拡充に伴う空間づくりの考え方」の取組について本ビジョンを推進してまいります。
558	第2章-3	行ってみたい、使ってみたくなる図書館になるためのアイデア ・図書館だから、本があるのは当たり前だけど、本以外にも、ワークスペース（勉強とかもOK!）があって、イートインスペースもあったら、くつろげる場所になると思います。	包含・賛同	ご提案の趣旨を踏まえ、素案の「第2章-3 新たな機能・機能拡充に伴う空間づくりの考え方」の取組について本ビジョンを推進してまいります。
559	第2章-3	全体について ・24時間ある、演奏について、もし管楽器を貸し出ししたりするなら衛生面で気を付けた方がよいと思いました。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-3 新たな機能・機能拡充に伴う空間づくりの考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
560	第2章-3	行ってみたい、使ってみたくなる図書館になるためのアイデア ・明るい雰囲気の図書館。 ・カフェスペース。	包含・賛同	ご提案の趣旨を踏まえ、素案の「第2章-3 新たな機能・機能拡充に伴う空間づくりの考え方」の取組について本ビジョンを推進してまいります。
561	第2章-3	市立図書館についての意見 ・「港南図書館は少しくらい雰囲気だ」と言いましたが、それについて少し補足します。明るい、暗い雰囲気は照明の明るさだけでなく、床や天井、壁などの色や窓があって日光が入るか（広いところだと真ん中の方は少し厳しいけど）という点もあるんじゃないかと思いました。	参考	市立図書館についてのご意見は、本ビジョンを進める上で、今後の参考にさせていただきます。
562	第2章-3	全体について ・p22に子どもための環境で、「子どもの遊び場」などの必要性を感じませんでした。便利な図書館はいけれど、すべて取り入れる必要はないと思う。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-3 新たな機能・機能拡充に伴う空間づくりの考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
563	第2章-3	行ってみたい、使ってみたくなる図書館になるためのアイデア ・軽食が食べられるところとつながっている図書館。 ・特定の本の内容をゲームや体を使って体験することのできる図書館。	包含・賛同	ご提案の趣旨を踏まえ、素案の「第2章-3 新たな機能・機能拡充に伴う空間づくりの考え方」の取組について本ビジョンを推進してまいります。
564	第2章-3	市立図書館についての意見 ・もっとくつろぎやすくしてほしい。	包含・賛同	ご意見の趣旨を踏まえ、素案の「第2章-3 新たな機能・機能拡充に伴う空間づくりの考え方」の取組について本ビジョンを推進してまいります。
565	第2章-3	・小さい子供もいるなら、もし階を分けられるなら、子どもたちのスペースを1階にして、勉強スペースを上階に設置するのがよいと思った。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-3 新たな機能・機能拡充に伴う空間づくりの考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
566	第2章-3	行ってみたい、使ってみたくなる図書館になるためのアイデア ・ドリンクバーとか、カフェの設置	参考	行きたくなる図書館についてのご意見は、本ビジョンを進める上で、今後の参考にさせていただきます。
567	第2章-3	行ってみたい、使ってみたくなる図書館になるためのアイデア ・私は普段から図書館を利用するのですが、本を借りた後の読むスペースが少し少ないと感じていて、椅子だけでなく机も置いてあるスペースがあったら、もっと図書館でできることも増え、静かな環境を利用して勉強したり読書をする人が増えると思いました。	参考	行きたくなる図書館についてのご意見は、本ビジョンを進める上で、今後の参考にさせていただきます。

No.	項目	ご意見	対応分類	本市の考え方
568	第2章-4	行ってみたい、使ってみたくなる図書館になるためのアイデア ・緑が多い図書館だと行った人たちも、そこの近くを通った人たちもおちつくとと思う。 市立図書館についての意見 ・図書取所を金沢区内にも、複数箇所を作ってほしい！→市立図書館が遠い地域もあるから。 ・あんまり図書館に行かない人でも本の位置がかんたんに分かりやすいようにしてほしい！	参考	取次所についてのご意見は、素案の「第2章-4 図書館外のサービスポイント設置の考え方」の取組について本ビジョンを推進してまいります。そのほか行きたくなる図書館、市立図書館についてのご意見は、本ビジョンを進める上で、今後の参考にさせていただきます。
569	第2章-4	概要版図書館3ページにあります、新たな図書館に向けての4 図書館外サービスポイント設置の考え方について、ポイント増やしてほしいです。特に図書館最寄り駅や区役所に返却ボックスがあれば便利です。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-4 図書館外のサービスポイント設置の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
570	第2章-4	p25の図書取次所について、横浜駅の建物の中に作ってほしい(横浜駅の行政サービスセンター内など)。自宅から各図書館はアクセスが悪いがもし横浜駅に取次所があれば貸出や返却をそこで日常的に行える。横浜駅の利用者はかなり多いので、図書館の資料を使いたいが不便で使っていない利用者の掘り起こしになると思う。	参考	ご意見の趣旨を踏まえ、素案の「第2章-4 図書館外のサービスポイント設置の考え方」の取組について本ビジョンを推進してまいります。立地については、今後の参考にさせていただきます。
571	第2章-4	p25 サービスポイントの拡充が実施されると本当にありがたいです。図書館が近くにある学校とそうでない学校では、子どもたちの本に対する興味に差があると感じています。	包含・賛同	ご賛同いただきありがとうございます。ご提案の趣旨は、素案の「第2章-4 図書館外のサービスポイント設置の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
572	第2章-4	同じく概要版3ページにある「図書館外のサービスポイント設置」について、綱島/新羽地区センターでも図書の検索・予約・受取・返却ができるようにしていただきたい。綱島・新吉田は日吉・菊名に劣らず人口が多いのに図書館がありません。菊名図書館までは自転車で片道25分かかります。もっと歳をとったらとても行けそうにありません。予約した本を綱島地区センターや新羽地区センターで受け取れたらありがたいです。同じく「アクセスを向上」については、駐車場のある図書館を増やしていただきたい。駐車場はすぐに満車になるのではという懸念は、30分を超えたら有料にするなどの方法で解決できると思います。	参考	ご意見の趣旨は、素案の「第2章-4 図書館外のサービスポイント設置の考え方」の取組について本ビジョンを推進してまいります。立地や駐車場については、今後の参考にさせていただきます。
573	第2章-4	P25の図書取次所：青葉区のように地区館と地区センターの流通を進めて欲しいと思いますが、それよりも交通結節点、商業施設内の取次がありがたいです。地区センターはどちらかというとそれ自体の資料の精度アップと、地区センター間での取り寄せができればいいです。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-4 図書館外のサービスポイント設置の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
574	第2章-4	○本の返却は近くの地区センターなどで取り扱う 本の取り寄せ、返却など近くの地区センターや区役所など公共施設で扱ってもらえたら利用者が増えます	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-4 図書館外のサービスポイント設置の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
575	第2章-4	○図書館外のサービスポイント 図書館サービスへのアクセスポイントとして、交通結節点などでの「取次所」の設置や、「移動図書館」の運用などは、効果的と思われますが、問題は、そのサービスの内容だと思います。 デジタル技術の活用とも密接に関係しますが、運営者側の都合ではなく、利用者にとって真に利便性や価値のあるサービスを提供できるかどうか鍵だと思います。こういう分野は、しっかりと「ニーズ」に応えることが重要です。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-4 図書館外のサービスポイント設置の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
576	第2章-4	・概要版P3の4図書館外のサービスポイント設置の考え方について図書館以外で本を借したり返したえいできるポイントを拡充しますとかいてあるが、横浜市内全ての区に設置したほうがよいと思う。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-4 図書館外のサービスポイント設置の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。

No.	項目	ご意見	対応分類	本市の考え方
577	第2章-4	趣旨；鶴見区民文化センターサルビアホール内に、図書館の分室機能、または図書予約や受け取りが可能なサービスコーナーを設けてほしい。 理由；ビジョンに伴う鶴見図書館の移転場所として、鶴見区では中心部の「豊岡複合施設（仮称）」に図書館機能を移転する計画があります。しかし、候補地の豊岡小学校付近は、JR鶴見駅、京急鶴見駅から徒歩で5～15分ほどかかり、高齢者や障害のある方にとっても利便性が必ずしも良いとは言えません。 また、横浜市での図書館ビジョンに関するアンケートを踏まえ（Q9）買い物、外食、通勤、通学の際に図書館に寄るとの回答が96%を占めており、最寄駅に近い図書館機能の整備は必須と考えます。 （Q15）イ；「身近な場所で本の貸出返却ができるサービスの充実」を求める声が半数を占めており、現在の鶴見区の方針である豊岡小学校は、広範な区民の利用を踏まえると身近な場所とは言えません。 （Q1）市民の中では、未就学児～高校生までの子どもがいる世帯は24%にとどまり、鶴見区の事情が大きく変わらないのであれば、小学校への図書館移転は子どものいる世帯のみにしかメリットがなく、4分の3の市民にとっては主要駅近くでの整備が望ましいと考えます。 以上より、鶴見区の図書館整備方針につきましては、豊岡町複合施設への移転のみではなく、サルビアホールへの分室等整備を含めた駅併設の案を合わせて検討いただきたい次第です。	参考	いただいたご意見につきましては、本ビジョンを進めていくうえでの参考にさせていただきます。
578	第2章-4	全体について ・地区センターの図書館の数が少ない	参考	地区センターで市立図書館の本を受け取ったり返したりできるサービスへのご意見として承ります。ご提案の趣旨は、「第2章-4 図書館外のサービスポイント設置の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
579	第2章-4	2. 検討お願い事項（提案）：自治会館との連携推進 ①自治会館の現状；小生利用している地域の自治会館 ・自治会館には図書機能、体育館、幼児のみが遊べる部屋、研修室、囲碁将棋コーナーを有し多くの人が活用している。 ・即ち図書館ビジョンに似たような機能を有していると感じている。 ②提案内容 ・図書館蔵書リストに各自治会館の蔵書も追加する。 現在横浜市図書館の借本の場合インターネットで検索、借用手配でき、受け取りは自治会館でも出来る。自治会館の蔵書は含まれていない、自治会館の蔵書も追加登録されれば横浜市全体で管理出来、借本数増加、場所の有効利用、費用の有効利用につながる。 ・連携を通じて基本方針1～4個別事項に関しても、自治会館機能とダブらないようにする。 （各自治会館において違いがあるかもしれないが？） 以上	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-4 図書館外のサービスポイント設置の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
580	第2章-4	②25p 取次所について取次所を増やすことには大賛成です。同時に、小学校の図書館とつなぐことが必要だと思います	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-4 図書館外のサービスポイント設置の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
581	第2章-4	■p25.図書館外～自動貸出機の導入で担い手不足に対する対策がされることを期待します。それと併せて、サービス空白地帯の「無人図書館」もあると良いと思いました。海外では無人スーパーなどが試験的に導入されていますが、入退館は図書館のIDカードで行い、自身で自動貸出機を利用して貸出/返却できる施設のようなものがあると、家の近くで身近に本にアクセスできるスポットができ、より利用者が見込めるのではないかと思います。また今後横浜市でも空き家対策が課題となってきますが、その対策として空き家・ビルなどとのマッチングを行えば、治安の面でも貢献できるかと思えます。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-4 図書館外のサービスポイント設置の考え方」「第2章-5 効率的・効果的なサービス提供とツールの充実/デジタル技術の活用によるサービスの最大化」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
582	第2章-4	冊子版25pにて図書館外のサービスポイントについて記載がありますが、取次サービスを人が多い場所に設置するのは良い取り組みだと思います。ただ、青葉区だけが取次サービスが充実しているのはなぜでしょうか？同じ横浜市ですから、平等に設置してほしいです。	包含・賛同	取次所の設置場所についてご賛同いただきありがとうございます。ご意見の趣旨を踏まえ、素案の「第2章-2 図書館の施設整備の考え方」の取組について本ビジョンを推進してまいります。

No.	項目	ご意見	対応分類	本市の考え方
583	第2章-4	概要版の3ページの「4図書館外のサービスポイント設置の考え方」について私の自宅は奈良町で交通アクセスは主に小田急線鶴川駅です。和光大学ポプリホール鶴川2階の町田市「鶴川駅前図書館」が利用できるのですが、当該図書館の書物しか借りられません。町田市のほうが蔵書が多いので、町田市の他の図書館の書物も借りられるようにしてください。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-4 図書館外のサービスポイント設置の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
584	第2章-4	25p 図書館外のサービスポイント設置については、地区センター、コミュニティハウス等に加えて以前金沢文庫駅にあったように駅構内も検討してください。駅周辺に商業施設や病院が多い場合は利用者は多数と考えます。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-4 図書館外のサービスポイント設置の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
585	第2章-4	・図書館外のサービスポイント設置の考え方(24p) 地区センターとの連携強化は分室化も含めて進めてほしい。ただ、コミュニティハウスの図書コーナー、学校開放の市民図書室は利用の活発なところと閑散としているところがある。利用実態などを踏まえ見直しを行っていいと考えます。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-4 図書館外のサービスポイント設置の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
586	第2章-4	全体について ・P31アンケート結果「身近な場所で、本の貸出や返却ができるサービスの充実」(50.9%)は、自分も、本の貸出や返却は図書館等に行かないといけなく、少し不便に感じていた部分もあるので、東戸塚駅にあるような、本の貸出や返却のみ行えるような場所を増やしても良いと感じた。	包含・賛同	ご意見の趣旨を踏まえ、素案の「第2章-4 図書館外のサービスポイント設置の考え方」の取組について本ビジョンを推進してまいります。
587	第2章-4	・図書館をもっと身近にするため、公園などに「移動図書館」をしにいったら良いと思います。	修正	移動図書館はまかせ号についていただいたご意見を踏まえ、「第2章-4 図書館外のサービスポイント設置の考え方」の図書館・サービスポイントの配置の図に、移動図書館の配置を追記するなど原案を修正しました。ご提案の趣旨は、「第2章-4 図書館外のサービスポイント設置の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
588	第2章-4	③閲覧手続きはインターネットで利用出来ても、書籍の取りつぎ場所を図書館以外に増設してほしい。(菊名にある港北図書館は港北区では交通機関が不便な場所にあるので。) ④書店が廃業し、街から消えた。今後図書館を利用したいので、閲覧手続きはインターネットを利用出来ても、本の取り継ぎ場所を増設してほしい。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-4 図書館外のサービスポイント設置の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
589	第2章-4	①取次所を市内にもっと増やしてほしい。例えば商業施設内、一部コンビニ、商店街空き店舗などを活用してほしい。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-4 図書館外のサービスポイント設置の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
590	第2章-4	4、図書の取次 身近にある地区センターは、規模・蔵書数の点からも、図書館機能としては不十分な施設ですが、数の点から、市図書館からの図書の取次のポイントとして有効活用が可能かと思えます。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-4 図書館外のサービスポイント設置の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
591	第2章-4	・受けとったり、返したりするところも増やして下さい。地区センターとか、都筑に新しくできたポッシュの一角の文化センター？とか	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-4 図書館外のサービスポイント設置の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
592	第2章-4	今まで利用できていた鶴見図書館が、高齢に伴って遠くて利用できなくなった。ケアプラザ等身近なところに増やしてほしい。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-4 図書館外のサービスポイント設置の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
593	第2章-4	・駅に返却ポストを設置してほしい	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-4 図書館外のサービスポイント設置の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
594	第2章-4	3pの図書館外のサービスポイント設置について、港南台地区センターをよく活用している。今後は非さらに増やしてほしい。	包含・賛同	ご意見の趣旨を踏まえ、素案の「第2章-4 図書館外のサービスポイント設置の考え方」の取組について本ビジョンを推進してまいります。

No.	項目	ご意見	対応分類	本市の考え方
595	第2章-4	行ってみたい、使ってみたくなる図書館になるためのアイデア ・デジタルのサービスを提供できる 市立図書館についての意見 ・返却ポストを学校にもつけてください、デジタルのサービスが充実していない	参考	行きたくなる図書館、市立図書館についてのご意見は、「第1章-基本方針4 利用しやすい図書館サービス」「第2章-4 図書館外のサービスポイント設置の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
596	第2章-4	冊子P25「図書館外のサービスポイント設置の考え方」(1) 図書取次所について図書館以外でも本の貸し出し返却ができるサービスポイントが増えることは、図書館数が少ない横浜市では、図書館から遠い地域の市民にとって便利になるサービスだと思います。ぜひ増やして欲しいのですが、この本を借りたいと自分で解っている人には良いサービスでも、図書館へ行って、そこで初めて良い本に出合うという利用者のニーズを満たすことができません。また、地区センター等にも本があるから、図書館とネットでつながるなら便利になると思いますが、読書を目的とした利用者に対応できるだけで、本来の図書館サービスを受けることの代わりにはなりません。図書館は読書をするための場所じゃないからです。「図書館以外のサービスポイント設置の考え方」は、10年から20年後を見据えた図書館ビジョンというよりは、今の図書館が少ない状態をカバーするためのものだと思います。20年後にもまだこの程度なら市民としてたいへん残念です。(2) 移動図書館について移動図書館の活用を広げることは、図書館数が少ない現状の中で具体的に図書館機能と図書館サービスを図書館から遠い地域の市民に届けられる方法だと考えます。積極的に活用する提案が良いと思います。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-4 図書館外のサービスポイント設置の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
597	第2章-4	4「図書館以外で本を借りたり返したりできるサービスポイントを充実します」について地区センターを図書館と繋いで、図書館分館として横浜市図書館にしてほしい。高齢者にも子育て世代にも、歩いて行ける場所に図書館がある事を望む。今の状態では地区センターの図書機能は、予約もできないし分類の仕方も分かりやすく、司書もいず、一部の人の利用に限られている。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-4 図書館外のサービスポイント設置の考え方」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
598	第2章-5	市の図書館は以前に比べるととても利用しやすくなっていると感じています。特に26ページのデジタル技術の活用については今後もぜひとも積極的に進めていただきたいです。実現可能かは分かりませんが、スマートフォン向けのアプリなどで読書管理のアプリが数多く提供されています。これらを利用して横浜市の図書館利用者による図書の管理システム(本の感想や意見などを市民が共有できる)などがあると面白いなと思っています。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-1 蔵書・レファレンスの充実」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
599	第2章-5	p26 AIチャットで利用案内を受けられると便利だと感じました。	包含・賛同	素案の「第2章-5 効率的・効果的なサービス提供とツールの充実/デジタル技術の活用によるサービスの最大化」の機能・取組のアイデアについてご賛同いただきありがとうございます。いただいたご意見を踏まえ本ビジョンを推進してまいります。
600	第2章-5	26頁:25頁にも関係するのだが、建物を建てないという観点で、ウェブを活用するというのを考える。図書館のいいところは、ブラウジングができることにある。ウェブの欠点を少し補っているのはアマゾンである。アマゾンでは既に著書にもよるが「サンプルを見る」として、ブラウジングが可能になっている。このようにデジタル技術を活用して、本来借用したい図書の周り、例えば本棚のイメージで言えば、前後50冊程度の本であったり、作者の著書名と前書きや目次が読めるようになると、本棚をただ埋めていたかもしれない本が、活用できるようになるかもしれない。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-5 効率的・効果的なサービス提供とツールの充実/デジタル技術の活用によるサービスの最大化」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
601	第2章-5	p26 効率的・効果的なサービス・・・ 司書の専門性を生かしたサービスを受けられるよう、司書の人数も増やしてほしい。司書が、利用者個々の立場に立ってサービスを提供するためには、和やかな雰囲気と利用者向き合う時間が必要。AIは司書の仕事をサポートするものであって、司書の仕事に置き換わるものではない。デジタル技術の活用しつつ、人と人のコミュニケーションから生まれる発想を大切にしたい図書館であってほしい。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-5 効率的・効果的なサービス提供とツールの充実/デジタル技術の活用によるサービスの最大化」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。

No.	項目	ご意見	対応分類	本市の考え方
602	第2章-5	<p>○効率的・効果的なサービス提供とツールの充実/デジタル技術の活用によるサービスの最大化</p> <p>デジタル技術の活用は不可欠であり、積極的に導入を図るべきですが、注意すべき点は、次の2点に絞られると思います。</p> <p>①プライバシー保護</p> <p>基本方針4にも書きましたが、デジタル技術の活用とプライバシー保護は、トレードオフの様な関係でもあるので注意が必要です。</p> <p>例えば、閲覧履歴や位置情報に基づいて、広告や情報が意図せずに表示されることに、我々は慣れっ子になっています。しかし、図書館という公共サービスでは、リスクの自覚と慎重さが求められます。</p> <p>②利用しやすく利便性の高いサービスの提供</p> <p>利用者が「これは便利」と実感できるようなサービスでないという意味がありません。我が国のデジタルサービスの多くは、利用者の立場に立った設計がなされていないと感じます。</p> <p>なぜなら、利用者よりも管理者・運営者側にとって都合の良いシステムになっているからです。</p> <p>例えば、スーパーのセルフレジ、あれは本当に便利でしょうか？ 従業員がやっていた「レジ打ち業務」を客にやらせて人員削減、しかも「万引き」できないよう厳重なシステムにするなど、完全に店側の都合です。</p> <p>①と②は、互いに矛盾する概念かも知れません。しかし、うまく両立すること、適切な妥協点を探ることが重要だと思います。</p>	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-5 効率的・効果的なサービス提供とツールの充実 / デジタル技術の活用によるサービスの最大化」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
603	第2章-5	<p>P26: AIの導入等ありますが、人(司書)が対応することが重要な点を強調して記載してはどうでしょうか。</p>	参考	素案の「第2章-1 蔵書・レファレンスの充実」において、生成AIなど新たな技術が誕生する時代のなか、図書館は、それら膨大な知識や情報への入口であり案内役となるとしております。ご提案の趣旨は、「第2章-5 効率的・効果的なサービス提供とツールの充実 / デジタル技術の活用によるサービスの最大化」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
604	第2章-5	<p>行ってみたい、使ってみたくなる図書館になるためのアイデア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館にある本をけんさくして、その場所を教えてくれる機械とかあったらいいと思います。 	参考	行きたくなる図書館についてのご意見は、本ビジョンを進める上で、今後の参考にさせていただきます。
605	第2章-5	<p>〈冊子版〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ P26のAIチャットボットやロボットの導入についてなのですが、小さい子やお年寄りさんたちは、もしかしたらあつかい方が分からないかもしれないかもなっていました。なので操作をいかに簡単にするか、丈夫にするかが、大切になってくるんじゃないかなと思いました。 	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-5 効率的・効果的なサービス提供とツールの充実 / デジタル技術の活用によるサービスの最大化」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
606	第2章-5	<p>市立図書館についての意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本をさがす機械があるのは知っているのですが、その機械を見つけるのに時間がかかるので、もっと分かりやすくするか、数をふやすなどしていただけたらうれしいなと思っています。 ・ 本が高い所にあり、とれない子どもを見かけたことがあるので、ふみ台などをふやしていただけたらなと思っています。 	参考	市立図書館についての意見は、本ビジョンを進める上で、今後の参考にさせていただきます。
607	第2章-5	<p>(1)本の予約申し込み等パソコンの操作手順がほしいです。</p> <p>(2)室内に観葉植物・四季の花等置いてもらいたい。</p> <p>(3)飲料水等自動販売機がほしいです。</p> <p>(4)図書館で図書カード等を紛失した場合、場内放送で「お知らせ」して下さい。</p> <p>私も何年も図書館を利用させてもらっています。本が私の先生です！図書館へ行くのがたのしみです。いつも有難うございます。事務局の皆様素晴らしい図書館になる様ががんばってください。</p>	参考	ご意見は、本ビジョンを進める上で、今後の参考にさせていただきます。カード紛失時の対応については、本ビジョンに位置づけはありませんが、今後の参考にさせていただきます。
608	第2章-5	<p>全体について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (概要版) 3pの貸し出し、返却のセルフ化がいいと思った。 	包含・賛同	ご意見の趣旨を踏まえ、素案の「第2章-5 効率的・効果的なサービス提供とツールの充実 / デジタル技術の活用によるサービスの最大化」の取組について本ビジョンを推進してまいります。

No.	項目	ご意見	対応分類	本市の考え方
609	第2章-5	概要版の3ページの「5効率的・効果的なサービス提供とツールの充実」について1. 図書館カードの更新が地区センターでもできるようにしてください。自宅からですと設置図書館に行くには電車やバスを利用しなければならず、交通費も時間もかかります。電子化されているのあれば、最寄りの地区センターでも更新が可能ははずです。図書館は一区に一つしかない現状では、図書館から遠く離れた区民の実情をよく考えてください。2. ネット予約冊数を10冊にしてください。図書館では10冊まで借りられるのに、ネット予約はなぜか6冊まで。奈良地区センターには徒歩で行けますが、設置図書館には交通機関を利用しなければいけないので、図書の借り入れ予約はネットで、地区センターに受け取りに行く利用をしています。このように図書館には行けないので、ネットと地区センターを利用している利用者市民の利便性の向上を図ってください。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-5 効率的・効果的なサービス提供とツールの充実 / デジタル技術の活用によるサービスの最大化」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。なお、令和6年1月から図書館カードの更新がオンラインでできるようになりました。詳しくは図書館ホームページ「オンラインによる登録・更新・変更 手続のご案内」をご覧ください。 https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kyodo-manabi/library/guide/toroku/onlineshisei.html
610	第2章-6	P26の連携の対象：コーディネーターとして人とまちと図書館をつなぐ。というのは良い取組と感じます。自分自身が思っているリンクワーカーに近いです。ただ、対象の中に、高齢障害の分野が入っていません。すでに様々な取り組みがあるとは思いますが、今一度入れて欲しいです。また具体的に地域ケアプラザ、国際交流ラウンジ、男女共同参画センターなど支援色のある施設とも積極的に連携を進めて欲しいと思います。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-6 多様な主体との協働・共創」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
611	第2章-6	5 多様な主体の協働・協創は、特に民間との連携は、慎重に、かつ柔軟に。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-6 多様な主体との協働・共創」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
612	第2章-6	6については、図書館の運営に他都市では取り組まれている地域住民が参加する図書館協議会を設置して進めることをお願いします。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-6 多様な主体との協働・共創」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
613	第2章-6	27 p 6 . . . 団体・組織・企業があり 民間企業との共創による . . . whicheverも、舵取りの難しい面がありそうで、高い見識が求められるでしょう。団体が、真理と自由を掲げる図書館理念を損なうことのないことや、企業の理念、資金力によって図書館の姿がゆがめられないことが担保できるのか、慎重な対応を望みます。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-6 多様な主体との協働・共創」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
614	第2章-6	6 多様な主体と協働・共創 について 図書館の毎年の小学生、中学生のおすすめの本のパンフレットを、市内の小中学校で掲示しており、可能な限りその本を購入し、児童・生徒に勧めている実状も知らせて欲しいです。どの学校も、パンフレットを貰うだけでは無く、それを活用しているので、一方通行ではなく、学校との連携を知らせて欲しいです。	参考	学校図書館との連携については、「第1章-基本方針1 未来を担う子どもたちのための図書館」について本ビジョンを推進するとともに、ご意見の趣旨を踏まえ、「第2章-6 多様な主体との協働・共創」に関連するご意見として今後の参考にさせていただきます。
615	第2章-6	「6 多様な主体との協働・共創」について：多様な主体はありますが、利益性を求める民間委託事業にするのはやめてほしいです。未来を担う子どもたちの創造・教育にかかわる図書館事業です。あらゆる世代が出入りする場所になります。横浜市としての責任と役割が明確である体制にしてください。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-6 多様な主体との協働・共創」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
616	第2章-6	p27 多様な主体との . . . 例えば、学校とも、もっとつながれるような市立図書館になってほしい。具体的には、 ・ 司書と学校司書が対等に話せる場を定期的に設け、お互いの現場を知り、より良いサービスを構築する ・ 司書が学校(司書)同士をつなげるようなハブの役目 ・ 教職員貸出の充実(図書運搬車の運行、どこの市立図書館でも手続きができるようにする) このように、多様な主体とつながるためには、人材を確保し育てることが必要。長期的な視点を持ち、人とのつながりを大切にすることも、働く人を大切にすること。	参考	学校図書館との連携については、「第1章-基本方針1 未来を担う子どもたちのための図書館」について本ビジョンを推進するとともに、ご意見の趣旨を踏まえ、「第2章-6 多様な主体との協働・共創」に関連するご意見として今後の参考にさせていただきます。
617	第2章-6	○多様な主体との協働・共創 私自身、「市民ワークショップ」に参加して、横浜市民、いや一般市民の見識や問題解決能力の高さを、改めて実感いたしました。 こうした市民・多様な主体との連携を失わず、横浜市の貴重な財産として、協働・共創を進めることは、必ずや良い結果を生むものと信じます。	包含・賛同	ワークショップにご参加いただきありがとうございます。ご意見の趣旨を踏まえ、素案「第2章-6 多様な主体との協働・共創」を推進してまいります。

No.	項目	ご意見	対応分類	本市の考え方
618	第2章-6	・「多様な主体との協働・共創」(27p) 市民協働条例を持つ横浜市として市民との協働は重要です。各図書館で市民と司書が同じテーブルで図書館のあり方について自由に意見交換ができる場を持つこと、それと、市レベルで図書館法に基づき図書館協議会を設置し、市民参加の制度化を図ってほしい。 以上です。こどもたちの10～20年先に希望を託せるようより踏み込んだビジョン・計画を期待します。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-6 多様な主体との協働・共創」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
619	第2章-6	全体について ・(概要)3ページの6番多様な主体との協働を読んで感じたことは、これからの社会や市民のニーズの変化に応じた知識情報サービスを提供できるのは素晴らしいと感じました。	包含・賛同	ご賛同いただきありがとうございます。ご意見の趣旨を踏まえ、素案の「第2章-6 多様な主体との協働・共創」の取組について本ビジョンを推進してまいります。
620	第2章-6	全国40都府県には図書館協議会があり、神奈川県にはないそうで驚きました。住民福祉、文化向上のためには、図書館協議会が必要であり、税金は直接住民が役立つために使ってください。いろいろな本をどんどん借りて読む生活をしたいと望んでいます。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-6 多様な主体との協働・共創」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
621	第2章-6	冊子版p.27の「6 多様な主体との協働・共創」について、前の問いで記載した横浜市大などの先生や学生からのアドバイスや、棲み分けを意識した蔵書とアクセスのしやすい運用について検討いただければと思います。	参考	ご提案の趣旨は「第2章-6 多様な主体との協働・共創」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
622	資料編	p.46 蔵書に関してはデジタル化したうえで一部図書については廃棄することも検討してよいのではないかと思います。省スペースになるだけでなく、デジタル化によってインターネット上で参照できるようにになれば、さらによいのでしょうか。空間の限界を踏まえつつ、アクセス性を向上させることで、市民の利便性を損なわない運用ができると思います。また本ページには寄贈数が記されており、受入図書のうち相当の割合を占めていることがわかります。一方で、需要の高い図書は不足しているとも感じます。私は2020年度から微力ながら児童書寄贈を続けており、そのたびに図書館側からリクエストをいただきますが、例年のラインナップがかなり類似しています。需要の高い図書の受入をさらに推進するため、寄贈についてはもう少し市民への呼びかけを強化してもよいのではないかと感じました。	参考	ご提案の趣旨は、「第2章-1 蔵書・レファレンスの充実」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
623	資料編	(要望)(p39)「各種基礎調査」の結果は、どこを見ればよいのか提示していただきたい。以上	参考	基礎調査は、本ビジョン策定に向けて行ったものですが現時点では公表しておりません。調査結果は、図書館ビジョン策定後に公表予定です。
624	資料編	3. p. 48 第4章 資料編 「本のある市民利用施設等の状況」に ①文庫 ②あーすぶらざ のライブラリー ③神奈川県立図書館 ④JICAの図書室(桜木町駅下車近く)が記載されていませんが、②③④は横浜市の施設ではないから記載されていないのでしょうか？ 4. p. 51 「図書館の役割の変化」の項に以下の2点を追加していただきたいと思います。① 昨今、多言語話者(住人、観光者、長期滞在者)が増加していますので、図書館利用の手助けとして、多言語の通訳者の確保(ボランティアも含む)を早急に検討していただきたいと思っています。また、図書館司書がFLA大会に出席できるような方針をうちたててほしいと望んでいます。できれば事例発表をすることも検討していただきたいと切に願っています。	参考	資料編「本のある市民利用施設等の状況」については本市の施設を掲載しています。いただいたご意見につきましては、本ビジョンを進めていくうえでの参考にさせていただきます。
625	資料編	冊子版p.46「横浜市立図書館の蔵書」について、空間の確保に限界があることは理解できますが、古い本は痛みが激しいものでない限りは、廃棄されることなく電子化されることを強く希望します。特に、電子書籍化されていない古い雑誌は貴重なもので、電子化されることは大変有意義なことと思います。	参考	図書や雑誌の電子化については、著作権法など社会動向を踏まえる必要があります。ご提案の趣旨は、「第2章-1 蔵書・レファレンスの充実」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
626	その他	(5)拙速に進めず、関係者と市民の声を汲みつけて図書館ビジョンを作成すること ① あと半年という年限を区切った性急な決め方ではなく、各図書館ごとの利用者懇談会で図書館についての声を集めること。 ② 全市にわたる政策であり、十分に市民の中で図書館ビジョンについての情報が行き渡る取り組みとすること。	参考	市民ワークショップや市民意見公募を経て図書館ビジョンを策定しました。ご提案の趣旨は、「第2章-6 多様な主体との協働・共創」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。
627	その他	③市民生活の利便性向上、及び文化に対する予算の充実 一過性のイベントや過剰な海外視察予算を市民生活や文化施設に振り向ける事	その他	ご提案内容については本ビジョンに位置づけはありませんが、今後の参考にさせていただきます。

No.	項目	ご意見	対応分類	本市の考え方
628	その他	全体として目指すものは素晴らしいのに、実態が追いついていない感覚です。予算が足りないのでしょうか？いろいろ豪華な箱もの施設を建設する前に、予算の使い方を考えてほしいです。	参考	いただいたご意見につきましては、ビジョンを進めていくうえでの参考にさせていただきます。
629	その他	市役所と図書館のホームページの一元化を願う。	その他	ご提案の趣旨については、本ビジョンに位置づけはありませんが、今後の参考にさせていただきます。
630	その他	読み落としかもしれないですが、図書館の防災機能についても触れる必要あるかと思いました。能登半島地震があったからそう思ったのですが、あのような災害時は通信環境が不安定になるので、インターネット関連のサービスは難しくなると思います。災害対応等は防災計画の範疇になるとは思います。念のため。	その他	防災計画については、本ビジョンに位置づけはありませんが、今後の参考にさせていただきます。
631	その他	都内と比べ、人が少ないときの司書の私語も多い気がします。カウンター奥の部屋から大きな笑い声が聞こえてくることも。図書館内は静かに一が原則ですが、子供が大声出しても、大人が普通に談話されても、注意はされてませんね。	参考	ご意見については、今後の参考にさせていただきます。
632	その他	コロナで利用者が減っていた頃、返却された本を書棚に戻す作業の時、低い棚だったのか、床に直接（注：元文は下線部の箇所）本を置いていたのを目撃した人がいます。以降、南図書館を利用できなくなったと言っています。これはもう…絶対（注：元文は下線部の箇所）やめていただきたいです。コロナに関わりなく。	その他	ご意見については、今後の参考にさせていただきます。
633	その他	学校図書館のデザインについてです。ほとんどの学校図書館では、本をNDCの分類順に並べており、また教育委員会でも推奨されています。また、学校図書標準を満たすことも目標とされています。ですが、横浜市の学校図書館の標準設計デザイン（市からでる予算で作れるパッケージ）では、図書標準を満たす冊数をNDC順に並べて配架することができないのが現状です。分かる範囲の方々に聞いても、どこで誰が設計したり仕様を決めているのか分からないと言われましたが、現場の声を聞いて欲しいです。新設の学校図書館でも、棚の数がそもそも足りず、棚一段の高さが課題図書も入らず、奥行きが浅すぎ（深すぎ）、子どもの手が届かない高さまでぎっちり本をつめないと本が入らない、という学校が多いのが現状です。図書館の本は大きさを揃えて並べられる自宅の本棚とは違い、日本十進分類法という分類にそって配架することが求められるため、0～8類の棚は特に、ある程度の高さが必要になります。また、本は紫外線による日焼けに弱いので、窓を広くとるよりは、カーテンが必要です。ご検討お願いいたします。	参考	学校図書館との連携については、「第1章-基本方針1 未来を担う子どもたちのための図書館」について本ビジョンを推進します。学校図書館の設計デザインに関する具体的な取組について、本ビジョンに位置づけはありませんが、今後の参考にさせていただきます。
634	その他	小学校の図書室の蔵書が少ないと思います。年間予算を中学校と同じにすると、かなり改善できると思います。	参考	学校図書館との連携については、「第1章-基本方針1 未来を担う子どもたちのための図書館」について本ビジョンを推進するとともに、学校図書館の蔵書の充実へのご意見は、今後の参考にさせていただきます。
635	その他	学校司書をしております。同じ「図書館員」として、・勤務時間・給与の差を感じます。「入口」も任務も違うので、同じ扱いを希望しているわけではありません。しかし、個人的には、「司書資格」「司書教諭の資格」「教員免許」を持っているにも関わらず、給与と任務に反映されていないことが残念です。勤務時間に限りがあるため、かなり無給で働かざるを得ない現状であり、さらにはあきらめざるを得ない、もっと子どものためにやりたいことも多々あります。事実として、他の自治体から「引き抜き」の声もあります。総合的に考えて、横浜市の子どものために働きたい気持ちで、現在も横浜市で勤務しています。このままでは、優れた学校司書こそが横浜市を離れてしまうのではないかと懸念しています。全学校司書が、志高く勤務しているとも限らないことも耳に入るので、大変難しい問題とは思いますが、希望は・資格給・雇用体系の多様性（教諭と同じ時間帯の勤務をする学校司書の雇用）・勤務時間の延長・長期休みの間の勤務の許可・新人学校司書へのサポートです。よろしく願いいたします。	その他	図書館ビジョンは市立図書館の「目指す姿」や「目指す方向性」を示すものです。学校司書の待遇改善について、本ビジョンに位置づけはありませんが、今後の参考にさせていただきます。

No.	項目	ご意見	対応分類	本市の考え方
636	その他	<p>図書館の80%の空きスペースについての私の愚案を述べさせていただきます。</p> <p>1 考え方を考えるために、このスペースを、情報教育の「未来館」と名称します。子育て支援から、社会人教育、高齢者健康教育などの最先端の教育を行います。今後、横浜市はもとより日本を背負って立つ人材を数多く養成します。</p> <p>2 この「未来館」の担当部署は市長直属に致します。勿論トップは市長になります。横浜市はもとより、日本中から優秀な人材を集めて最先端の教育を行います。教育は、教師や職員を優先的に行うことがよいと思います。</p> <p>3 「未来館」については、地元の大学をはじめとして、あらゆる教育機関及び各種政治経済団体が協力する強固な体制をつくります。</p> <p>4 「未来館」の最大の目標は、日本最先端の学び直し（リスキリング）のノウハウを確立実行して、横浜市、神奈川県はもとより日本中に普及して日本の再建を実行することです。</p> <p>5 耐震性が保障されるなら、建物や設備にお金をかける必要は全くありません。ソフトにすべての予算を投入して、本物の「リスキリング教育」をすべきと考えます。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、本ビジョンを進めていくうえでの参考にさせていただきます。</p>
637	その他	<p>図書の貸出範囲の拡大希望</p> <p>情報技術の基礎知識が必須とされる時代であり、大学入試にも情報Ⅰが取り入れられはじめた。</p> <p>蔵書検索により情報Ⅰの教科書があったが貸出禁止、閲覧のみ可能となっていた。</p> <p>貸出禁止の理由が解らない。時代の要求に役立てていただきたいものである。教科書の出版社は数社あると思われるが、図書館には種類も冊数も足りないと思った。</p> <p>閲覧時間のみで理解出来る内容なのか自信が持てない。貸出可能としていただきたい。</p> <p>デジタル化の先頭を走り後期高齢者になった技術者として情報技術教育の今を確認してみたいものである。</p>	参考	<p>ご提案の趣旨は、素案の「第2章-1 蔵書・レファレンスの充実」に関連するご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>